

上尾市

男女共同参画に関する市民意識・実態調査  
報告書

令和2年3月

上尾市



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	5
1. 調査実施の目的 .....	7
2. 調査の対象 .....	7
3. 調査方法と回収状況 .....	7
4. 調査項目 .....	8
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	9
<b>第2章 調査結果の概要</b> .....	11
<b>第3章 調査結果の詳細</b> .....	19
1. 回答者の属性 .....	21
(1) 性別 .....	21
(2) 年齢 .....	21
(3) 職業 .....	22
(4) 世帯 .....	23
(5) 結婚状況 .....	23
(6) 配偶者・パートナーの職業 .....	23
(7) 子どもの有無 .....	24
(8) 子どもの人数 .....	24
(9) 子どもの年齢 .....	24
(10) 介護の必要な家族の有無 .....	24
(11) 同居の有無 .....	24
2. 家庭生活について .....	25
(1) 家庭生活における役割分担（実態と理想）について .....	25
(2) 子育て経験／介護経験の有無、かかわり方について .....	43
3. 男女平等に関する意識について .....	49
(1) 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の役割分担意識について .....	49
(2) 女性と男性の地位の平等感について .....	51
(3) 言葉の認知度について .....	68
4. 人権について .....	76
(1) 配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について .....	76
(2) 配偶者・パートナーへの加害経験について .....	85
(3) 加害行為に至ったきっかけ .....	90
(4) 配偶者・パートナーからの被害経験について .....	91
(5) 配偶者・パートナーからの被害の相談経験について .....	96
(6) 相談した相手 .....	97
(7) 相談できなかった理由 .....	98
(8) 交際相手の有無 .....	99

(9) 交際相手からの被害経験、同居中の被害経験について	100
(10) 交際相手からの被害の相談経験について	103
(11) 相談した相手	104
(12) 相談できなかった理由	105
5. 性について	106
(1) 「LGBT」という言葉の認知度	106
(2) 性別についての悩みの有無	107
(3) 相談した相手	108
(4) 性に関する正しい情報を得るために必要なこと	109
(5) 性に関する教育を始めるべき時期	110
6. 就業について	111
(1) 男性が育児／介護休業を取得することについて	111
(2) 取得しないほうがよいと思う理由	115
(3) 女性が職業を持つことについての現実と理想	116
(4) 女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと	120
(5) 女性の管理職以上への昇進に対する意識	121
(6) 女性が管理職以上への昇進を希望しない理由	122
7. 防災について	123
(1) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること	123
8. 女性の活躍推進について	124
(1) 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿	124
(2) 女性の活躍を進めるに際しての障害	125
9. 市の男女共同参画の推進に関する施策について	126
(1) 上尾市の施策について	126
10. 自由記述	127
(1) 男女共同参画に関して感じていること、市の男女共同参画施策に望むこと	127

<b>第4章 調査票</b>	<b>131</b>
----------------	------------

# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

この調査は、上尾市男女共同参画に関する市民の意識や実態を総合的に把握し、令和3年度に予定されている第3次上尾市男女共同参画計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の対象

市内に居住する満18歳以上の男女（住民基本台帳から無作為抽出）

## 3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配布一郵送回収

調査期間：令和元年9月25日（水）～10月24日（木）

発送数：2,000件

回収数：757件（有効回収率：37.9%）

### 回収状況

年代	人口(人)			対象者数(人)			回収数(人) (回収率:%)			
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	不明
18～19歳	4,583	2,313	2,270	47	24	23	12 (25.5)	2 (8.3)	8 (34.8)	2
20～24歳代	11,748	5,827	5,921	121	60	61	16 (13.2)	5 (8.3)	8 (13.1)	3
25～29歳代	11,372	5,853	5,519	117	60	57	25 (21.4)	9 (15.0)	14 (24.6)	2
30～34歳代	12,142	6,281	5,861	126	65	61	43 (34.1)	10 (15.4)	27 (44.3)	6
35～39歳代	13,816	7,217	6,599	142	74	68	41 (28.9)	10 (13.5)	28 (41.2)	3
40～44歳代	16,489	8,490	7,999	166	84	82	56 (33.7)	18 (21.4)	33 (40.2)	5
45～49歳代	20,201	10,386	9,815	208	107	101	58 (27.9)	17 (15.9)	35 (34.7)	6
50～54歳代	16,728	8,537	8,191	172	88	84	65 (37.8)	25 (28.4)	35 (41.7)	5
55～59歳代	13,309	6,830	6,479	137	70	67	48 (35.0)	22 (31.4)	25 (37.3)	1
60～64歳代	12,306	6,218	6,088	127	64	63	70 (55.1)	28 (43.8)	33 (52.4)	9
65～69歳代	14,811	7,089	7,722	153	73	80	93 (60.8)	35 (47.9)	43 (53.8)	15
70歳以上	46,964	20,767	26,197	484	214	270	204 (42.1)	83 (38.8)	85 (31.5)	36
不明	-	-	-	-	-	-	26	1	4	21
合計	194,469	95,808	98,661	2,000	983	1017	757 (37.9)	265 (27.0)	378 (37.2)	114

#### 4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 家庭生活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活における役割分担（実態）について</li> <li>・家庭生活における役割分担（理想）について</li> <li>・子育て経験の有無</li> <li>・介護経験の有無</li> <li>・子育てについてのかかわり方について</li> <li>・介護についてのかかわり方について</li> </ul>
2. 男女平等に関する意識について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男性は仕事、女性は家庭」という男女の役割分担意識について</li> <li>・女性と男性の地位の平等感について</li> <li>・言葉の認知度について</li> </ul>
3. 人権について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について</li> <li>・配偶者・パートナーへの加害経験について</li> <li>・加害行為に至ったきっかけ</li> <li>・配偶者・パートナーからの被害経験について</li> <li>・配偶者・パートナーからの被害の相談経験について</li> <li>・相談した相手</li> <li>・相談できなかった理由</li> <li>・交際相手の有無</li> <li>・交際相手からの被害経験、同居中の被害経験について</li> <li>・交際相手からの被害の相談経験について</li> <li>・相談した相手</li> <li>・相談できなかった理由</li> </ul>
4. 性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「LGBT」という言葉の認知度</li> <li>・性別についての悩みの有無</li> <li>・相談した相手</li> <li>・性に関する正しい情報を得るために必要なこと</li> <li>・性に関する教育を始めるべき時期</li> </ul>
5. 就業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が育児／介護休業を取得することについて</li> <li>・取得しないほうがよいと思う理由</li> <li>・女性が職業を持つことについての現実と理想</li> <li>・女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと</li> <li>・女性の管理職以上への昇進に対する意識</li> <li>・女性が管理職以上への昇進を希望しない理由</li> </ul>
6. 防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること</li> </ul>
7. 女性の活躍推進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿</li> <li>・女性の活躍を進めるに際しての障害</li> </ul>
8. 市の男女共同参画の推進に関する施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾市の施策について</li> </ul>

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が3未満の場合、回答の傾向をみるにあたり、十分な母数に達さなかったため、報告書中のグラフにおいて掲載を行っていない。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・今回の調査では、性別に関する問いの回答に、「その他」を設けた。これは、男性・女性では答えられない方のために設けたものである。
- ・掲載している国（内閣府）の調査結果は、内閣府が令和元年度に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」及び平成29年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」である。
- ・掲載している埼玉県の調査結果は、埼玉県が平成30年度に実施した「男女共同参画に関する意識・実態調査」である。



## 第2章 調査結果の概要



## 調査結果の概要

### 1. 回答者の属性

回答者の属性について、性別で見ると男性が35.0%、女性が49.9%、その他は回答がなく、無回答が15.1%となっている。年齢では60歳代、70歳以上が2割台となっており、20歳代以下を除き、他の年代は1割台となっている。職業は「会社員・団体職員」が約3割と最も多くなっている。2世代世帯が約5割となっており、「結婚している（※事実婚を含む）」が7割以上となっている。配偶者・パートナーの職業は「会社員・団体職員」が3割台、次いで「無職」が約3割となっている。子どもは7割以上が「いる」と回答し、そのうちの約6割が人数は「2人」、年齢は「19歳以上」と回答している。介護の必要な家族は約2割が「いる」と回答し、そのうちの6割以上が同居していない。

### 2. 家庭生活について

#### (1) 家庭生活における役割分担(実態と理想)について

家庭生活における役割分担の実態について、「共同して分担」はすべての項目で4割以下となっている。「主として女性」が『家事』、『家計の管理』で6割台となっている一方で、『生活費の確保』は「主として男性」が過半数を占めている。

「主として女性」と回答した人を性別で見ると、すべての項目で女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は『生活費の確保』を除くすべての項目で上尾市が埼玉県を下回っており、『子育て』で特に男性で大きな差が見られる。

また、家庭生活における役割分担の理想について、「共同して分担」はすべての項目で5割以上となっているが、実態（問1）は理想に反してすべての項目で4割以下となっている。「主として女性」は実態と同様、『家事』、『家計の管理』でそれぞれ約2割、約4割と多くなっている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は『子育て』、『介護・看護』、『地域の行事への参加』、『自治会・PTA活動への参加』、『家計の管理』、『高額な商品や土地・家屋の購入の決定』で男女ともに上尾市が埼玉県を下回っているが、『家事』は男性で上尾市が埼玉県を上回り、女性で上尾市が埼玉県を下回っている。

#### (2) 子育て経験／介護経験の有無、かかわり方について

子育て／介護経験の有無について、子育て、介護経験ともに自分自身に経験が「ある」との回答は、女性が男性を上回っており、配偶者・パートナーに経験が「ある」との回答は、男性が女性を上回っているため、女性のほうが男性よりも子育て、介護の経験がある。

子育てへのかかわり方について、男性は自分自身のかかわり方を《十分でない》（「十分でない」と「あまり十分でない」の合計）との回答が約4割となっており、女性でも配偶者・パートナーのかかわり方が《十分でない》との回答が4割以上となっている。

また、介護へのかかわり方についても、男性は自分自身のかかわり方を《十分でない》と回答した人が約4割となっており、女性で配偶者・パートナーのかかわり方が《十分でない》と回答した人が4割以上となっている。

### 3. 男女平等に関する意識について

#### (1) 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の役割分担意識について

男女の役割分担意識について、「同感しない」は男性で3割、女性で4割以上となっている。男性で年代が上がるごとに「同感しない」の回答が減少傾向にある。埼玉県との調査と比較すると、「同感しない」は上尾市が埼玉県を大きく下回っている。

#### (2) 女性と男性の地位の平等感について

各分野での女性と男性の地位の平等感について、《男性優遇》（「男性優遇」と「どちらかといえば男性優遇」の合計）は、『職場の中で』、『政治の場で』、『社会通念や風潮（慣習・しきたり）で』、『社会全体で』で5割以上となっている。特に、『政治の場で』（72.6%）、『社会通念や風潮（慣習・しきたり）で』（68.8%）、『社会全体で』（65.0%）で多くなっている。

女性のほうが男性より、男性が優遇であると感じている傾向がみられる。

国の調査と比較すると、「平等」は、『社会全体で』を除くすべての項目で男女ともに上尾市が国を下回っている。『社会全体』は男性で上尾市が国を上回っているが、女性で上尾市が国を大きく下回っている。

#### (3) 言葉の認知度について

男女共同参画に関する用語の認知度について、「内容を知っている」は、『配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス／DV）』が79.8%と最も多く、『上尾市男女共同参画推進条例』が1.5%と最も少なくなっている。「聞いたことはあるが内容は知らない」は11項目で男性が女性を上回っており、「内容を知っている」は、『ワーク・ライフ・バランス』、『女性活躍推進法』、『政治分野における男女共同参画の推進に関する法律』で男性が女性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「内容を知っている」は、『男女共同参画社会』以外の項目では、上尾市が埼玉県を上回っており、特に『妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント』、『デートDV』、『DV防止法』、『育児・介護休業法』、『男女雇用機会均等法』で大きな差が見られる。

### 4. 人権について

#### (1) 配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について

配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、『体を傷つける可能性のある物でなぐる』が95.4%と最も多く、『大声でどなる』が47.2%と最も少なくなっている。「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、ほとんどの項目で女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、すべての項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、上尾市が国を上回っている。特に、女性で上回っている項目が多い。

**(2) 配偶者・パートナーへの加害経験について**

配偶者・パートナーへの加害経験の有無について、「まったくない」が8～9割となっているが、『身体的暴行』、『心理的攻撃』では《経験がある》（「1、2度あった」と「何度もあった」の合計）が1割以上となっている。すべての項目で、男性が女性より加害経験がある傾向がみられる。

**(3) 加害行為に至ったきっかけ**

加害経験に至ったきっかけについて、男女ともに「いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発した」が5割前後と最も多くなっている。次いで、女性では「相手がそうされても仕方がないようなことをした」が約3割で多く、男性では「相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとした」が3割以上で多くなっている。

**(4) 配偶者・パートナーからの被害経験について**

配偶者・パートナーからの被害経験の有無について、「まったくない」が8割前後となっているが、《経験がある》が『身体的暴行』、『心理的攻撃』で約2割、『性的強要』、『経済的圧迫』で1割前後となっている。どの項目でも、女性のほうが男性より被害経験があると回答している。

**(5) 配偶者・パートナーからの被害の相談経験について**

配偶者・パートナーからの被害について、「相談した」は男性で約1割、女性で3割以上となっている。「相談できなかった」は女性が男性より多くなっているが、「相談しようとは思わなかった」は男性が女性を上回っている。

**(6) 相談した相手**

相談先について、「家族・親せき」が7割以上で最も多くなっている。次いで「友人・知人」となっており、回答者が少ないが、男性では全員が「友人・知人」に相談している。

**(7) 相談できなかった理由**

相談できなかった理由について、「相談するほどのことではないと思った」が男女ともに4割台と最も多くなっている。「相談しても無駄だと思った」は女性が男性より多くなっており、「自分に悪いところがあると思った」は男性が約4割で、女性を大きく上回っている。

**(8) 交際経験の有無**

交際相手の有無について、「交際相手がいた（いる）」は4割台、「交際相手はいなかった（いない）」は3割台となっている。

**(9) 交際相手からの被害経験、同居中の被害経験について**

交際相手からの被害経験の有無について、すべての項目のどの年代でも被害経験があったとの回答は1割未満となっている。「20歳代」の被害経験と、『心理的攻撃』がやや多くなっている。また、同居中の被害については、どの項目でも「20歳代」の被害が多くなっている。

**(10) 交際相手からの被害の相談経験について**

交際相手からの被害の相談経験について、「相談できなかった」と「相談しようとは思わなかった」の合計と、「相談した」は、それぞれ約5割で、相談しなかった場合が相談した場合をやや上回っている。

**(11) 相談した相手**

相談先については、回答者が少ないが、「友人・知人」が7割以上で最も多く、次いで「家族・親せき」が多くなっている。

**(12) 相談できなかった理由**

相談できなかった理由について、「相談しても無駄だと思った」、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」、「他人を巻き込みたくない」、「相談するほどのことではないと思った」が約4割と多くなっている。

**5. 性について**

**(1) 「LGBT」という言葉の認知度**

「LGBT」について、「知っている」は男女ともに過半数となっており、男性は40歳代で、女性は30歳代で多くなっている。

**(2) 性別についての悩みの有無**

自分の性別について悩んだ経験について、20歳代で12.2%が「ある」と回答し、30・50・60歳代で回答があった。

**(3) 相談した相手**

性別についての悩みの相談について、回答者が少なく、唯一相談先として「友人・知人」の回答があった。

**(4) 性に関する正しい情報を得るために必要なこと**

性に関する正しい情報を得るために必要なことについて、「学校等での教育」が約8割となっており、次いで「情報・資料の提供」、「広報・啓発の推進」は4割台となっている。

**(5) 性に関する教育を始めるべき時期**

性に関する教育を始めるべき時期について、「小学校高学年から」が7割以上となっており、次いで「中学生から」が約2割となっている。「中学生から」は、男性のほうが女性より多くなっている。

## 6. 就業について

### (1) 男性が育児／介護休業を取得することについて

男性の育児休業／介護休業取得について、《取得したほうがよい》（「積極的に取得したほうがよい」と「どちらかといえば取得したほうがよい」の合計）は、男女ともに8割以上で、特に介護休業で男性は9割以上となっており、介護休業が育児休業よりやや高くなっている。70歳以上では他の年代に比べて、育児休業について「積極的に取得したほうがよい」が少ない。

埼玉県の調査と比較すると、育児休業では、「積極的に取得したほうがよい」は男性で上尾市が埼玉県を上回っている。介護休業では、「積極的に取得したほうがよい」は男女ともに上尾市が埼玉県を上回っており、特に男性で差が大きい。

### (2) 取得しないほうがよいと思う理由

育児休業・介護休業を取得しないほうがよい理由について、「収入が減る」が最も多く、次いで「評価・昇進・配属等で不利」が多くなっている。

### (3) 女性が職業を持つことについての現実と理想

女性が職業を持つことについて、現実では男性・女性ともに「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が最も多くなっているが、理想としては、女性は「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」が約3割と最も多く、男性では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が2割以上で最も多くなっている。

結婚している女性の現実と理想の働き方についてみると、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」という働き方を希望している女性のうち、現実でも同じ働き方をしている女性は4割以上となっている。「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」という働き方を希望している女性の4割以上は、現実ではパートタイムで仕事を続けている。

### (4) 女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと

女性が働き続けたり、再就職するために必要なことについて、「夫など家族が家事や育児を分担し、協力すること」が男性で6割以上、女性で7割以上と最も多くなっている。女性で「上司や同僚に理解があり、出産後も働き続けられる雰囲気があること」は約5割となっているが、男性では3割台となっている。

### (5) 女性の管理職以上への昇進に対する意識

管理職以上への昇進に対する意識について、女性全体で「そう思わない」が約4割となっており、30歳代～50歳代で過半数を占めている。「そう思う」は全体で2割となっている。

### (6) 女性の管理職以上への昇進を希望しない理由

管理職以上への昇進を希望しない理由について、女性全体で「そのような立場になりたいと思わない」が約7割となっており、50歳代では7割以上となっている。次いで「職場にそのような環境がない」、「家庭環境が整っていない」が1割以上となっている。

## 7. 防災について

### (1) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること

防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があることについて、男女ともに「避難所に男女別のトイレや更衣室、授乳室を設置すること」が最も多くなっているが、男性で5割以上、女性で6割以上と女性が男性を上回っている。一方で、「被災者に対する相談窓口を設置すること」は、男性で約4割、女性で約3割と男性が女性を上回っている。

## 8. 女性の活躍推進について

### (1) 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿

政治・経済・地域などの各分野で女性の参加が進み、リーダーが増えることによる影響について、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が男女ともに約7割と多くなっている。「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」で女性が男性を上回っており、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」は男性が女性を上回っている。

### (2) 女性の活躍を進めるに際しての障害

政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害になるものについて、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が男女ともに最も多くなっているが、女性で過半数、男性では4割となっている。「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」は、男性が女性を上回っている。

## 9. 市の男女共同参画の推進に関する施策について

### (1) 上尾市の施策について

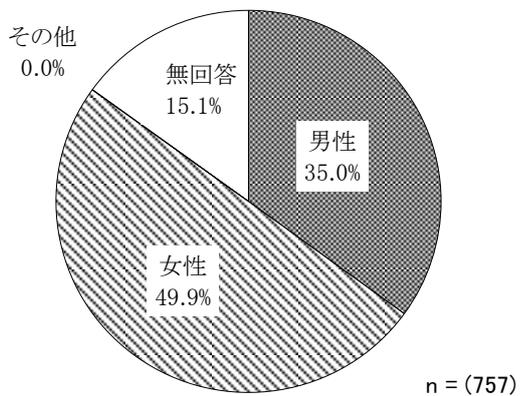
男女共同参画に関する施策について、今後力を入れていくべきこととして、男性は「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力するように啓発すること」が約4割と最も多く、女性は「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実をはかること」が4割以上と最も多くなっている。

## 第3章 調査結果の詳細

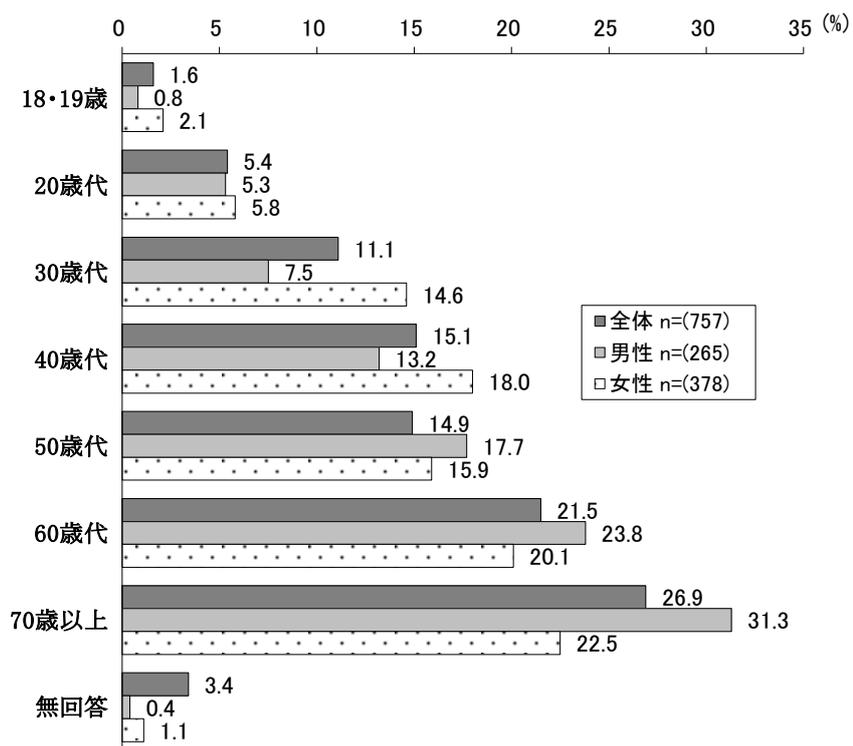


## 1. 回答者の属性

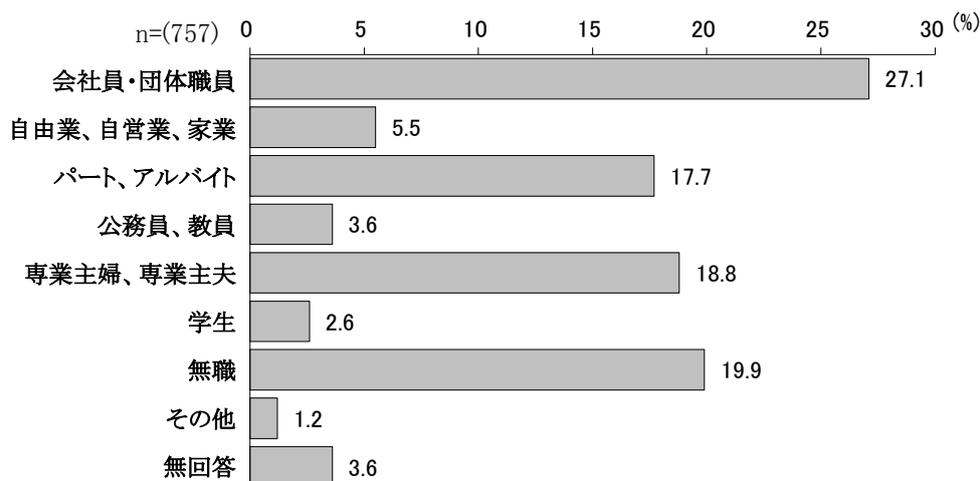
### (1) 性別



### (2) 年齢



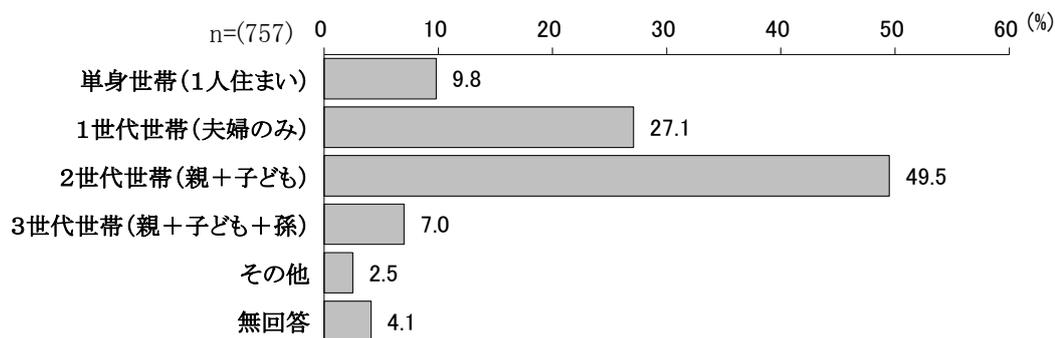
(3) 職業



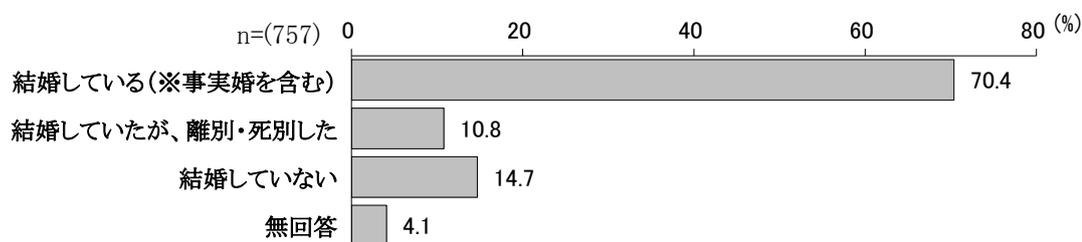
○年代別職業区分 (表)

		n	会社員・団体職員	自由業、自営業、家業	パート、アルバイト	公務員、教員	専業主婦、専業主夫	学生	無職	その他	無回答
	全体	757	27.1	5.5	17.7	3.6	18.8	2.6	19.9	1.2	3.6
男性	18・19歳	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	20歳代	14	57.1	-	21.4	7.1	-	14.3	-	-	-
	30歳代	20	80.0	5.0	-	-	-	-	15.0	-	-
	40歳代	35	82.9	11.4	-	5.7	-	-	-	-	-
	50歳代	47	76.6	6.4	4.3	10.6	-	-	2.1	-	-
	60歳代	63	38.1	9.5	17.5	3.2	-	-	30.2	1.6	-
	70歳以上	83	6.0	4.8	2.4	2.4	2.4	-	77.1	4.8	-
女性	18・19歳	8	12.5	-	-	-	-	87.5	-	-	-
	20歳代	22	36.4	4.5	-	13.6	18.2	22.7	4.5	-	-
	30歳代	55	40.0	7.3	16.4	7.3	25.5	-	1.8	1.8	-
	40歳代	68	27.9	-	47.1	1.5	19.1	-	2.9	1.5	-
	50歳代	60	28.3	5.0	51.7	1.7	10.0	-	-	1.7	1.7
	60歳代	76	5.3	7.9	28.9	1.3	46.1	-	10.5	-	-
	70歳以上	85	-	2.4	7.1	1.2	50.6	-	37.6	-	1.2

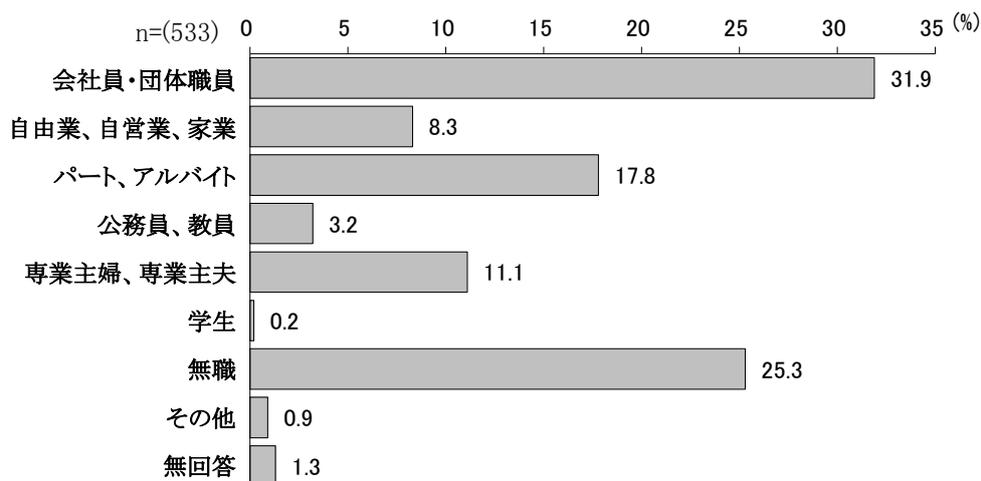
(4) 世帯



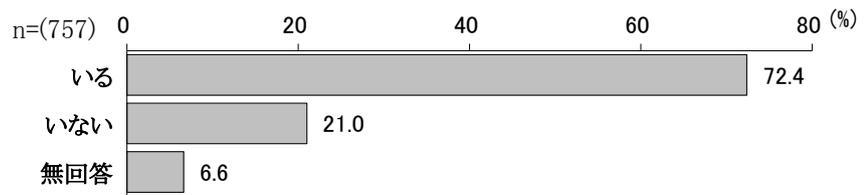
(5) 結婚状況



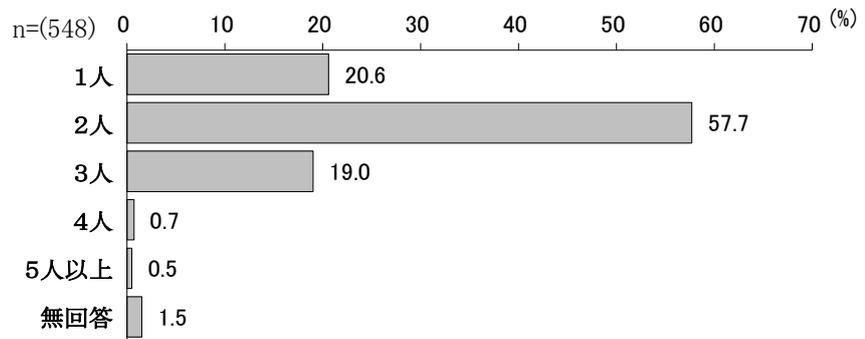
(6) 配偶者・パートナーの職業



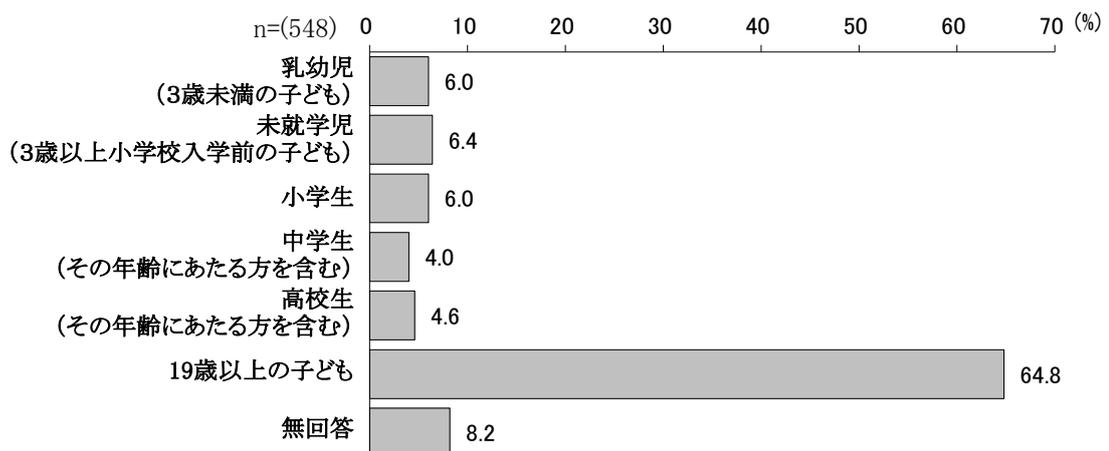
(7) 子どもの有無



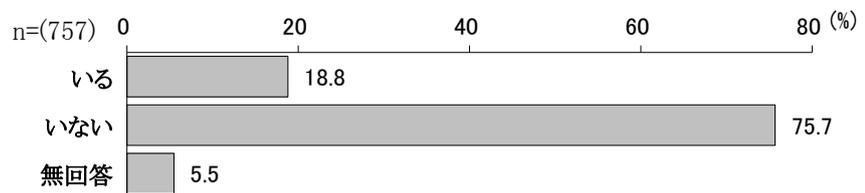
(8) 子どもの人数



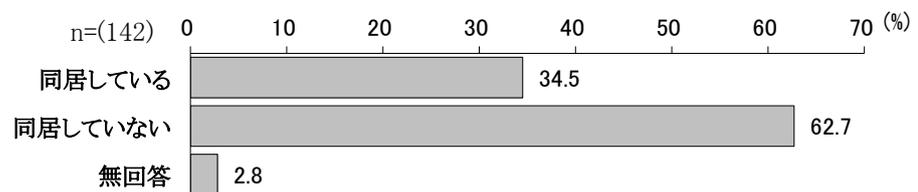
(9) 子どもの年齢



(10) 介護の必要な家族の有無



(11) 同居の有無

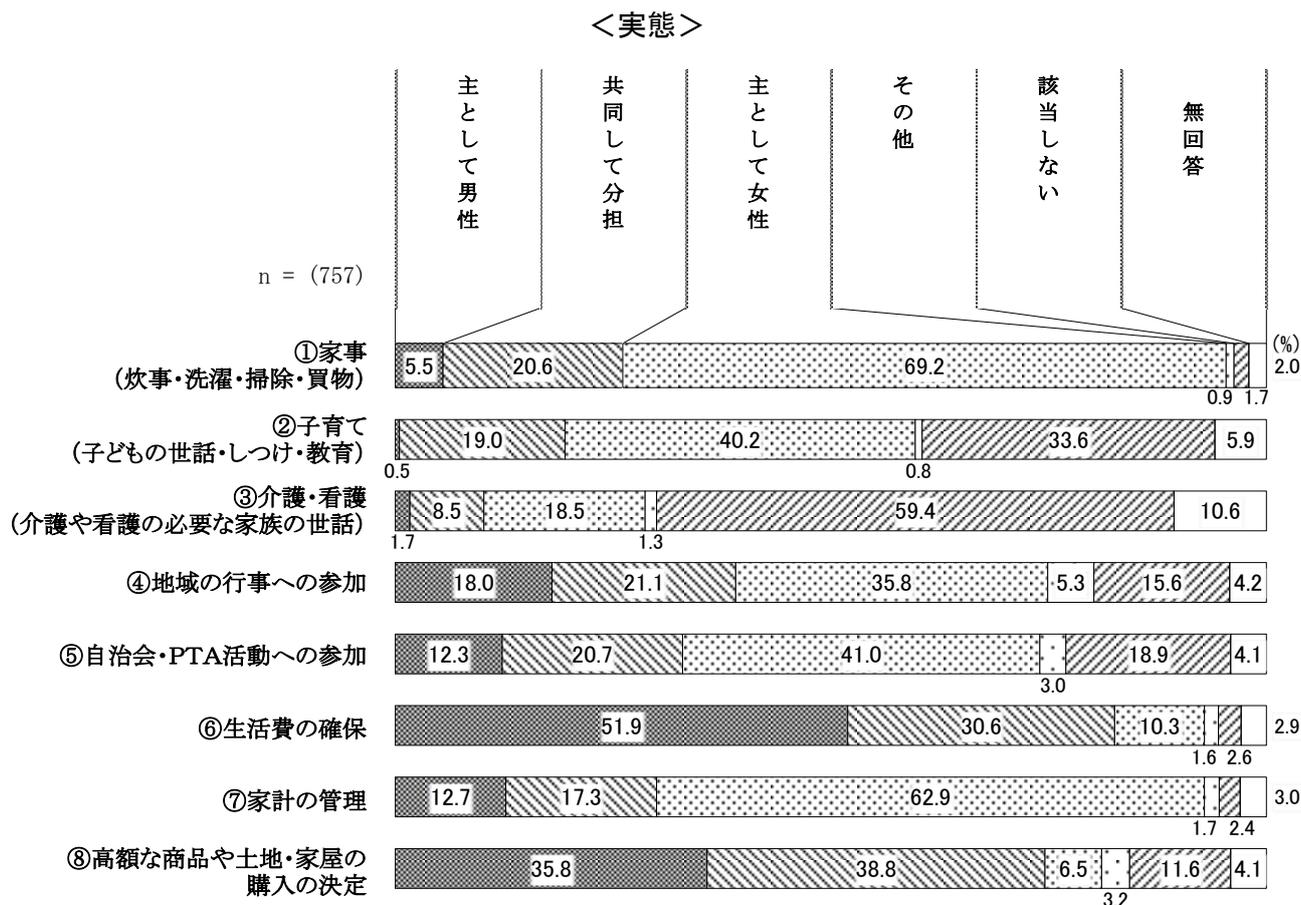


## 2. 家庭生活について

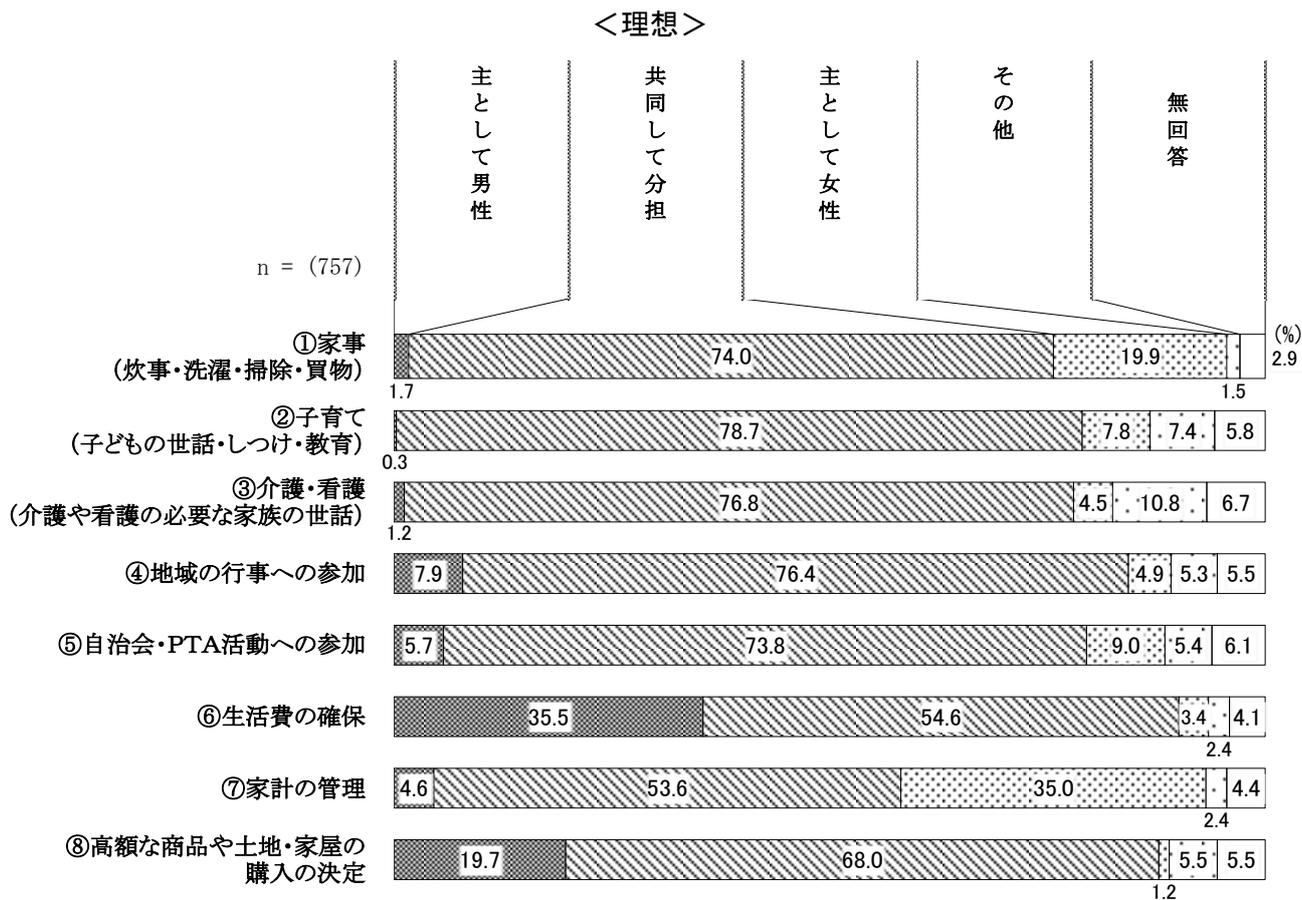
### (1) 家庭生活における役割分担（実態と理想）について

問1 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。（各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください）

問2 次のことについて、どのように担うほうが良いと思いますか。（各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください）



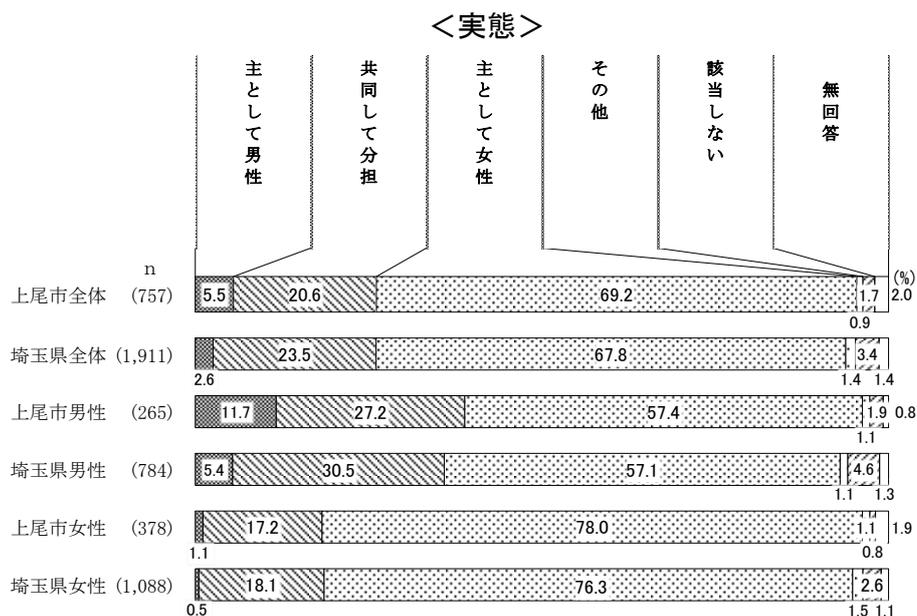
家庭生活における役割分担の実態について、「共同して分担」はすべての項目で4割以下となっている。「主として女性」は、『家事（炊事・洗濯・掃除・買物）』で69.2%、『家計の管理』で62.9%と過半数を占めている。「主として男性」は『生活費の確保』で51.9%、『高額な商品や土地・家屋の購入の決定』で35.8%と特に多くなっている一方で、『家事（炊事・洗濯・掃除・買物）』、『子育て（子どもの世話・しつけ・教育）』、『介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）』で、1割以下となっている。



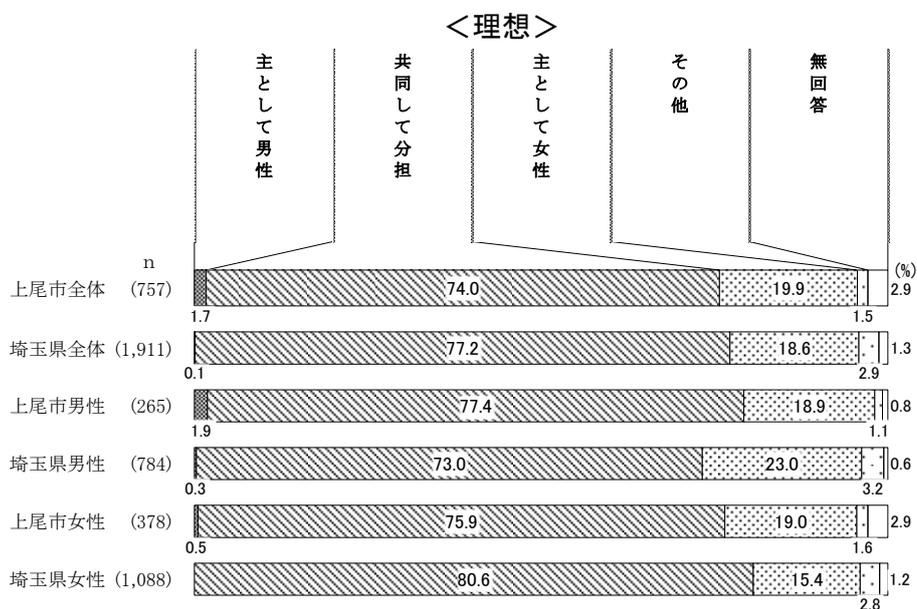
家庭生活における役割分担の理想については、「共同して分担」がすべての項目で5割以上となっており、『家事（炊事・洗濯・掃除・買物）』（74.0%）、『子育て（子どもの世話・しつけ・教育）』（78.7%）、『介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）』（76.8%）、『地域行事への参加』（76.4%）、『自治会・PTA活動への参加』（73.8%）で7割以上となっている。「主として男性」は『生活費の確保』（35.5%）、『高額な商品や土地・家屋の購入の決定』（19.7%）、「主として女性」は『家事（炊事・洗濯・掃除・買物）』（19.9%）、『家計の管理』（35.0%）で特に多くなっている。

①家事（炊事・洗濯・掃除・買物）

【性別／埼玉県との比較】



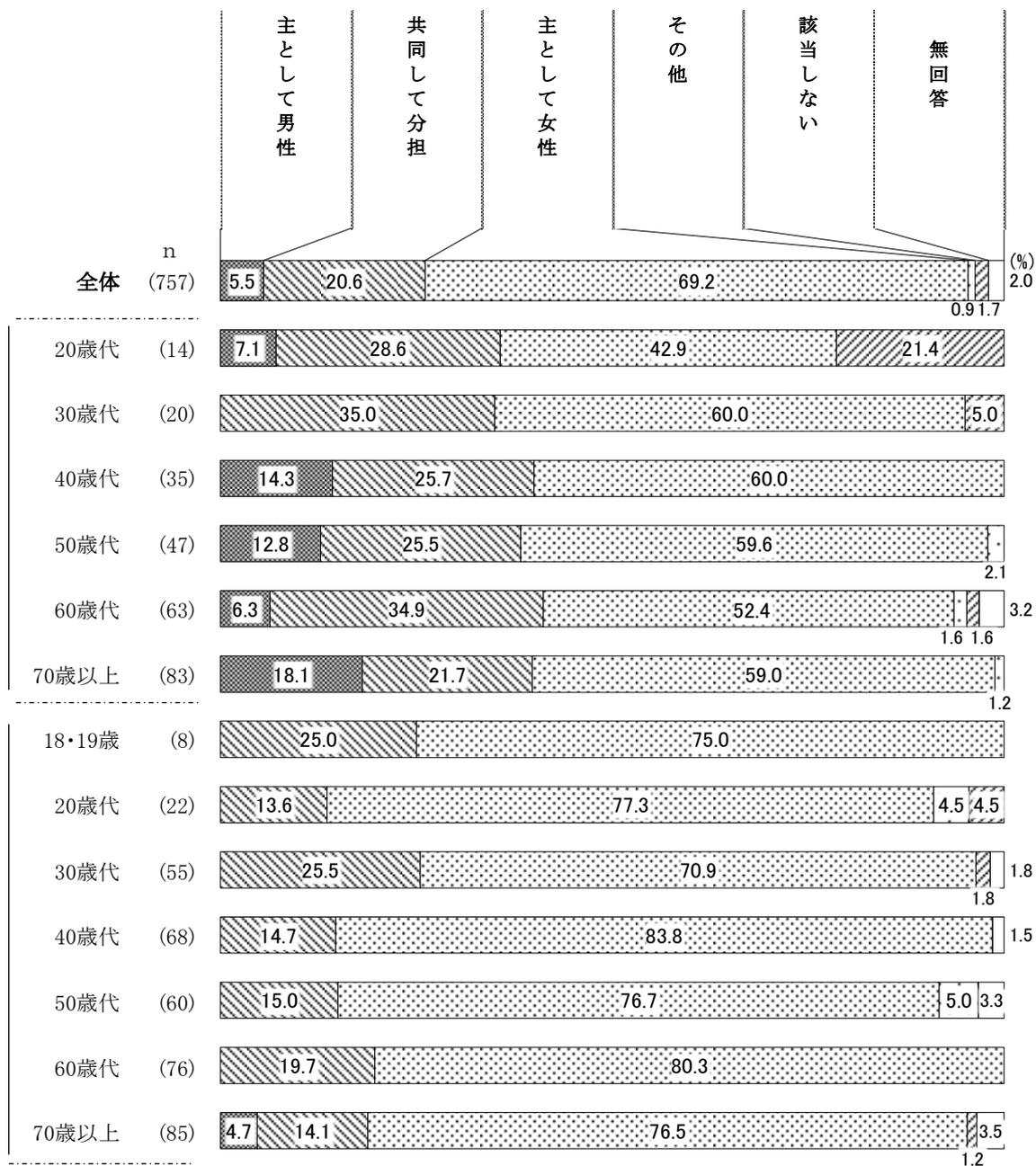
性別で見ると、実態では、「主として女性」は男性で57.4%、女性で78.0%と男女ともに最も多くなっているが、20.6ポイント女性が男性を上回っている。一方で、「主として男性」は男性で11.7%、女性で1.1%、「共同して分担」は男性で27.2%、女性で17.2%とそれぞれ男性が女性を上回っている。埼玉県の調査と比較すると、「主として女性」は上尾市、埼玉県ともに約7割と最も多くなっている。「主として男性」は上尾市男性で11.7%、埼玉県男性で5.4%と6.3ポイント上尾市男性が上回っている。



性別で見ると、理想では、あまり大きな違いはみられない。埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で74.0%、埼玉県で77.2%と3.2ポイント上尾市が下回っている。「主として女性」は上尾市男性で18.9%、埼玉県男性で23.0%と4.1ポイント上尾市男性が下回っている一方で、上尾市女性では19.0%、埼玉県女性では15.4%と3.6ポイント上尾市女性が上回っている。

①家事（炊事・洗濯・掃除・買物）

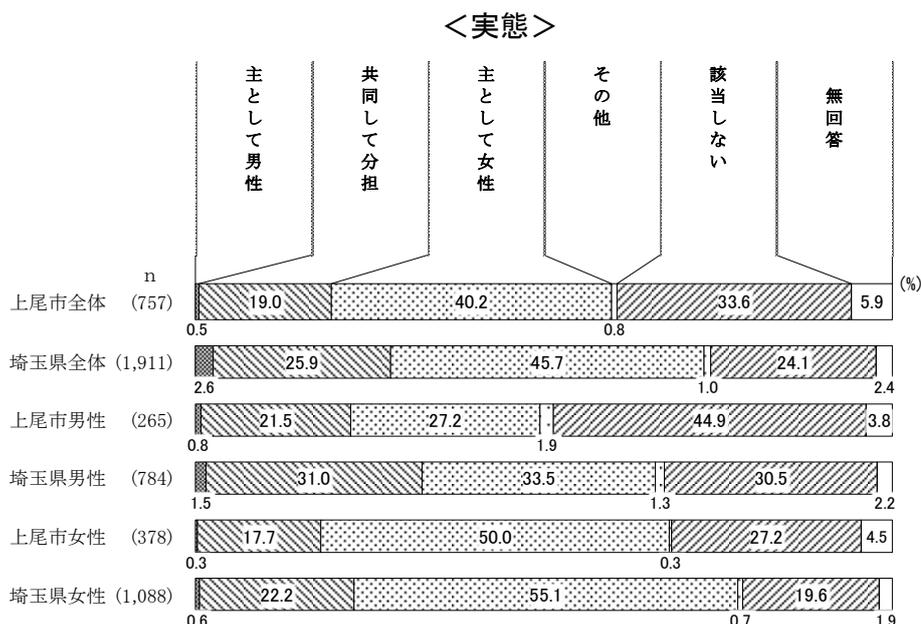
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として女性」は女性40歳代・60歳代で8割以上となっている。「主として男性」は男性40歳代・50歳代・70歳以上で1割以上となっているが、女性では70歳以上でのみ回答があった。「共同して分担」は男性60歳代で34.9%、女性30歳代で25.5%と多くなっている。

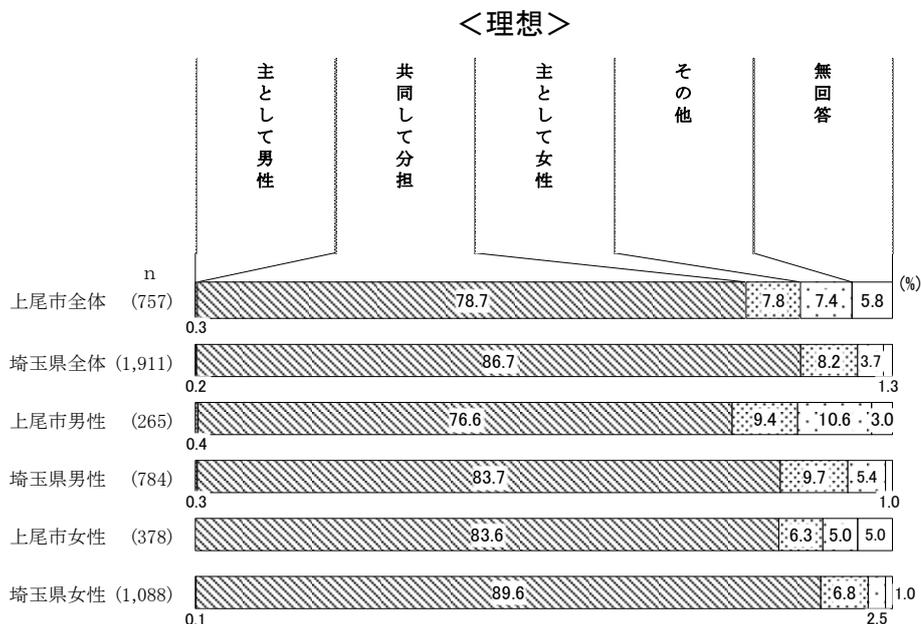
②子育て（子どもの世話・しつけ・教育）

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として女性」は男性で27.2%、女性で50.0%と22.8ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で19.0%、埼玉県で25.9%と6.9ポイント上尾市が下回っている。

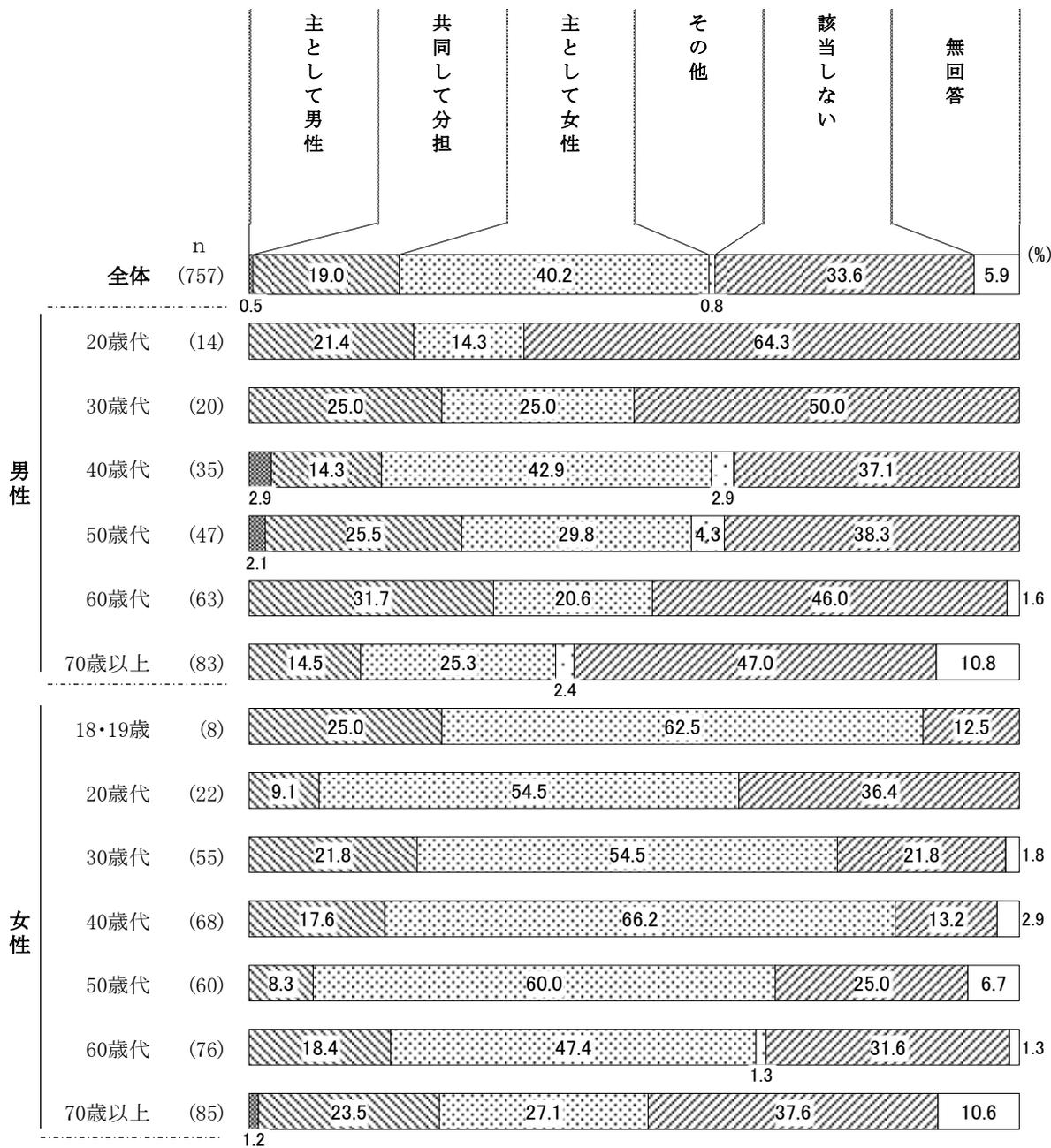


性別で見ると、理想では、「共同して分担」は男性で76.6%、女性で83.6%と7.0ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で78.7%、埼玉県で86.7%と8.0ポイント上尾市が下回っている。

②子育て（子どもの世話・しつけ・教育）

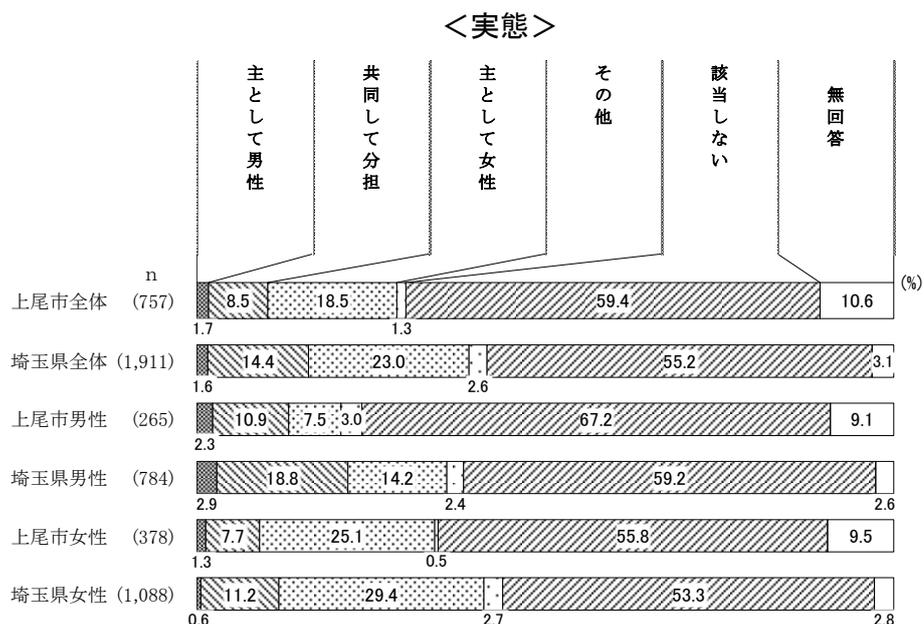
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として女性」は、男性40歳代で42.9%、女性40歳代で66.2%と多くなっている。「共同して分担」は、男性60歳代で31.7%と多くなっており、女性30歳代・70歳以上で2割以上となっている。

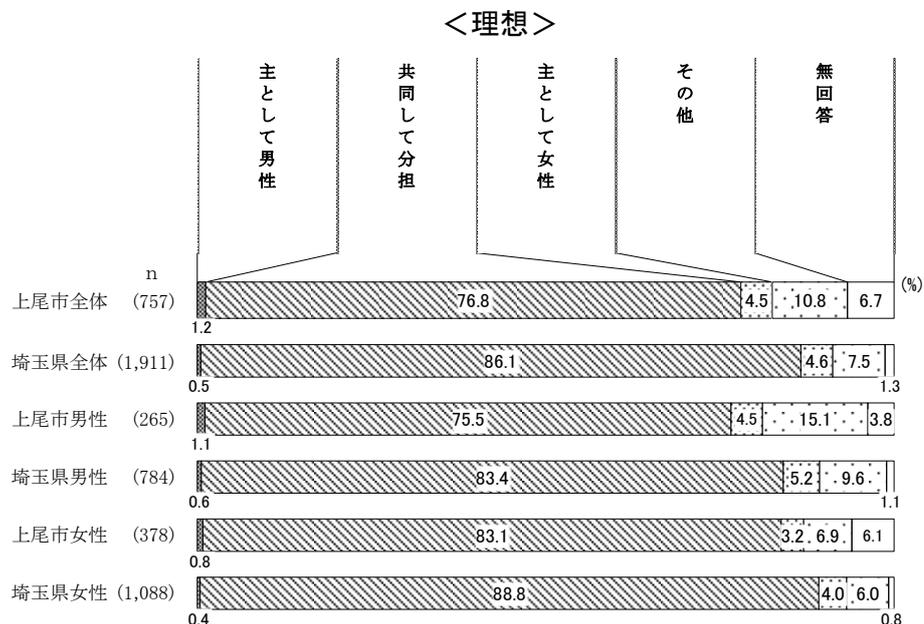
③介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として女性」は男性で7.5%、女性で25.1%と17.6ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市男性で10.9%、埼玉県男性で18.8%と7.9ポイント上尾市男性が下回っている。

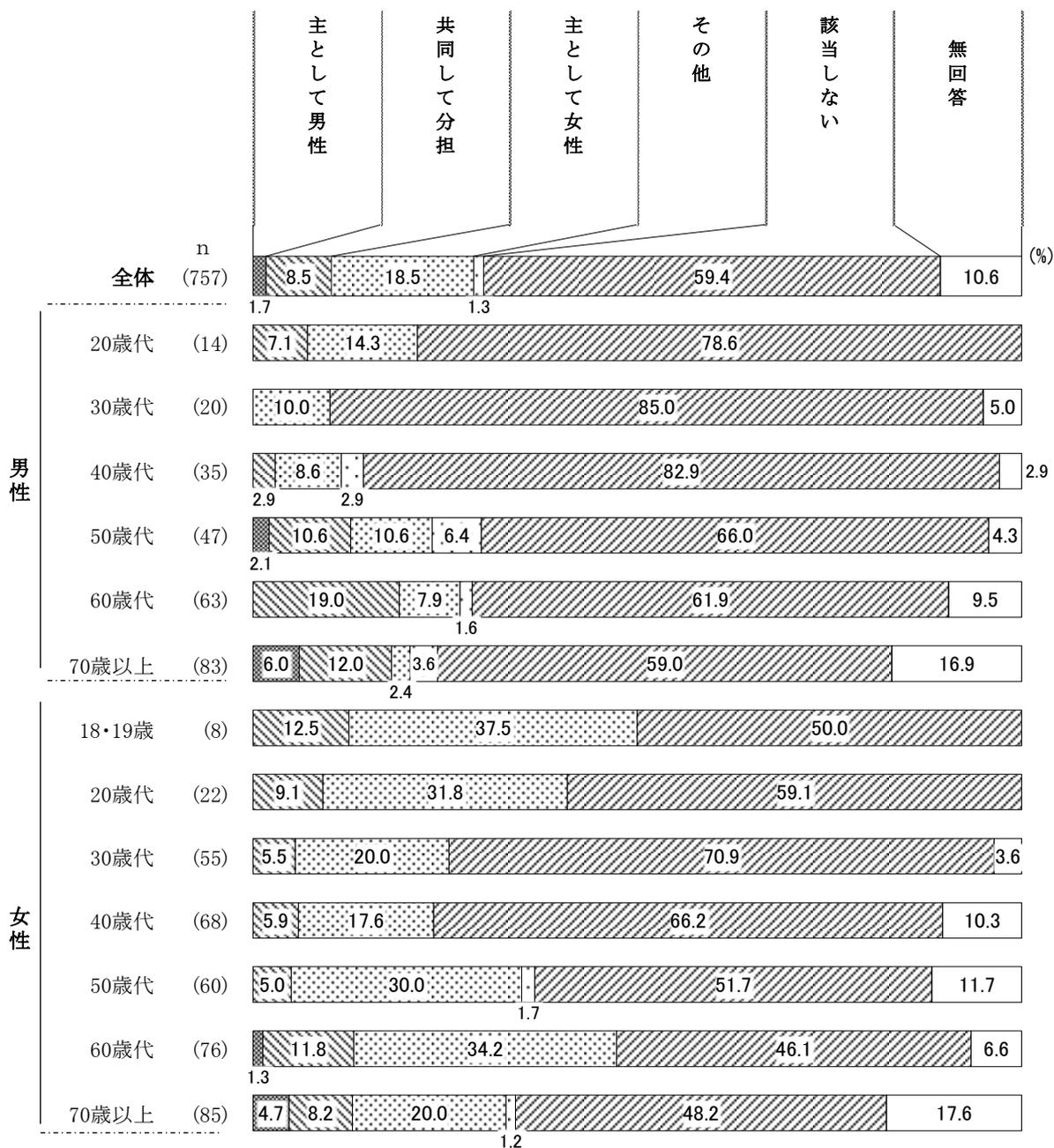


性別で見ると、理想では、「共同して分担」は、男性で75.5%、女性で83.1%と7.6ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」が上尾市で76.8%、埼玉県で86.1%と9.3ポイント上尾市が下回っている。

③介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）

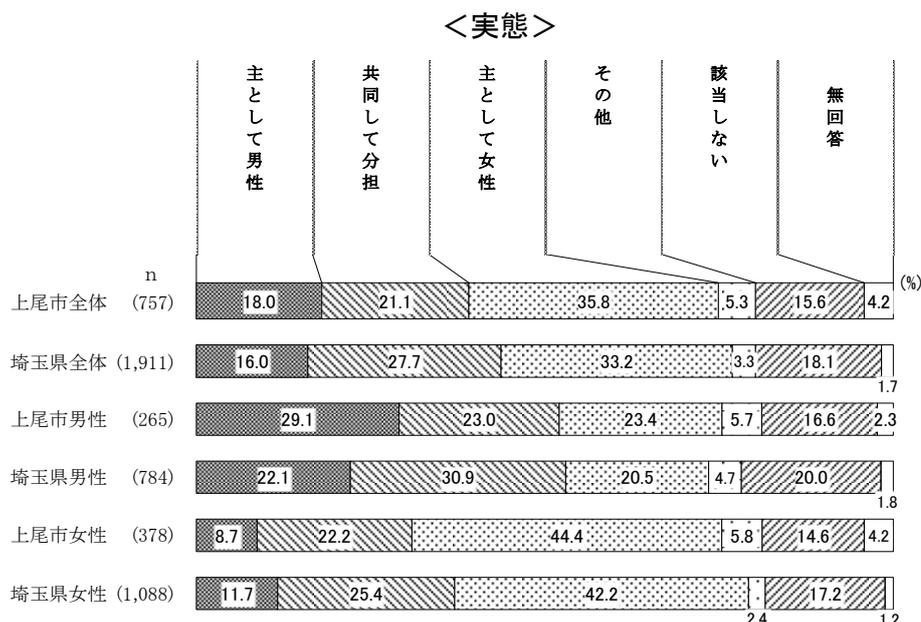
【性別・年代別】



性別・年代別で見ると、「共同して分担」は男性60歳代で19.0%、女性60歳代で11.8%と多くなっている。「主として女性」は女性50歳代・60歳代で3割以上となっている。

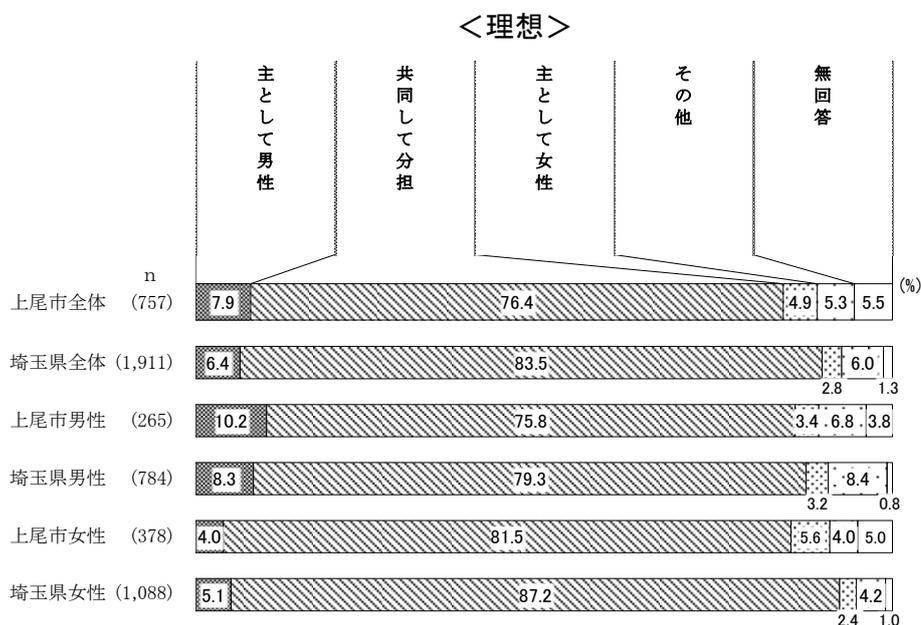
④地域の行事への参加

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として男性」は男性で29.1%、女性で8.7%と20.4ポイント男性が女性を上回っている。一方、「主として女性」は男性が23.4%、女性が44.4%と21.0ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市男性で23.0%、埼玉県男性で30.9%と7.9ポイント上尾市男性が下回っている。

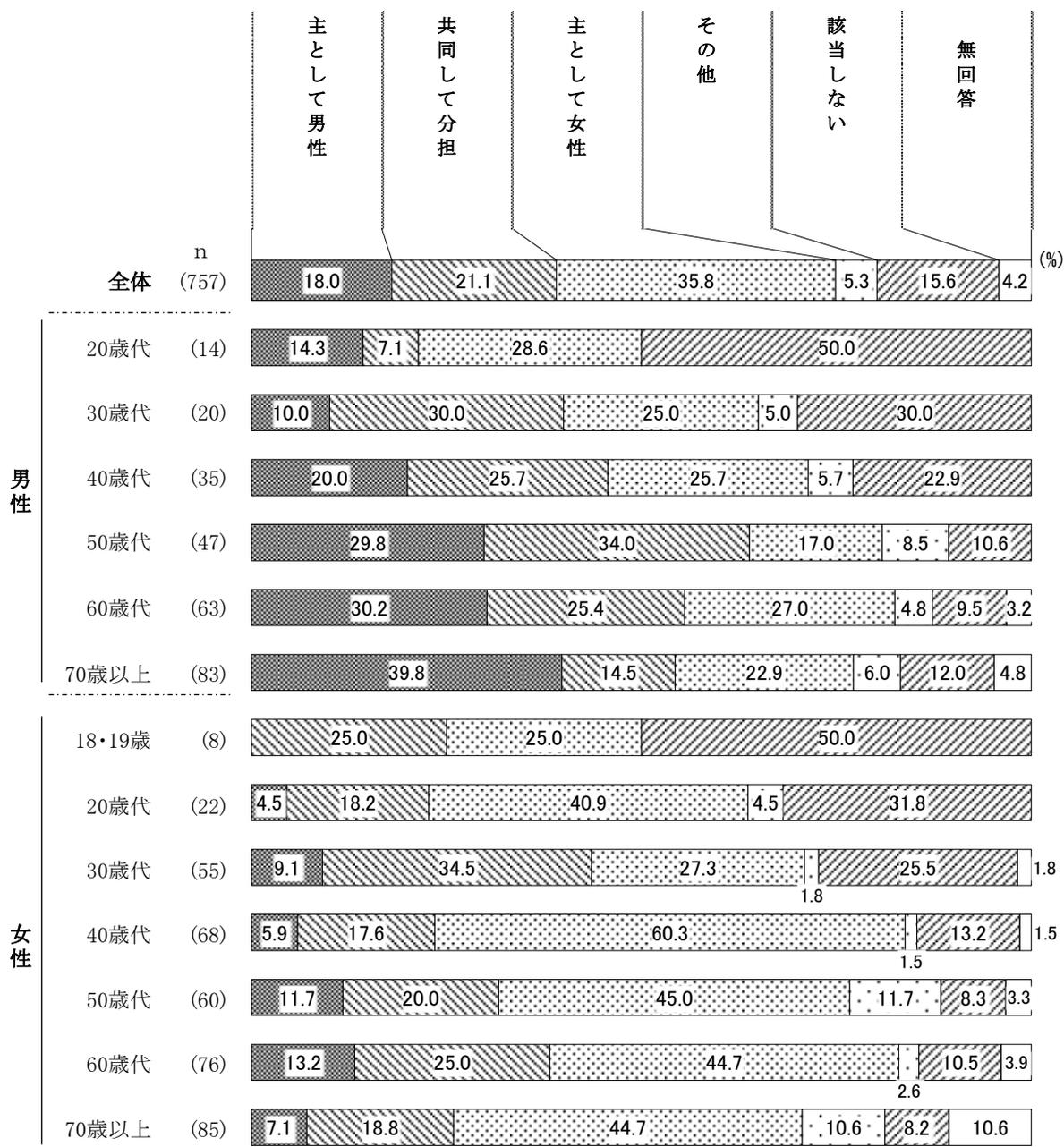


性別で見ると、理想では、「主として男性」は男性で10.2%、女性で4.0%と6.2ポイント男性が女性を上回っている。「共同して分担」は男性で75.8%、女性で81.5%と5.7ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で76.4%、埼玉県で83.5%と7.1ポイント上尾市が下回っている。

④地域の行事への参加

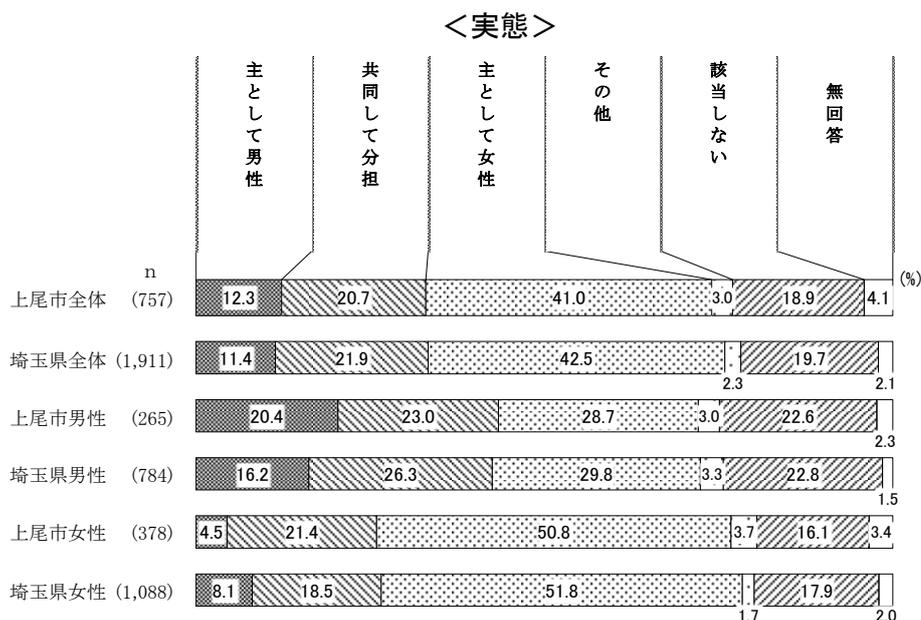
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として男性」は男性50歳代で29.8%、60歳代で30.2%と約3割となっており、70歳以上で39.8%と最も多くなっている。「共同して分担」は男性50歳代で34.0%、女性30歳代で34.5%と3割以上となっている。「主として女性」は、女性40歳代で60.3%と6割以上となっている。

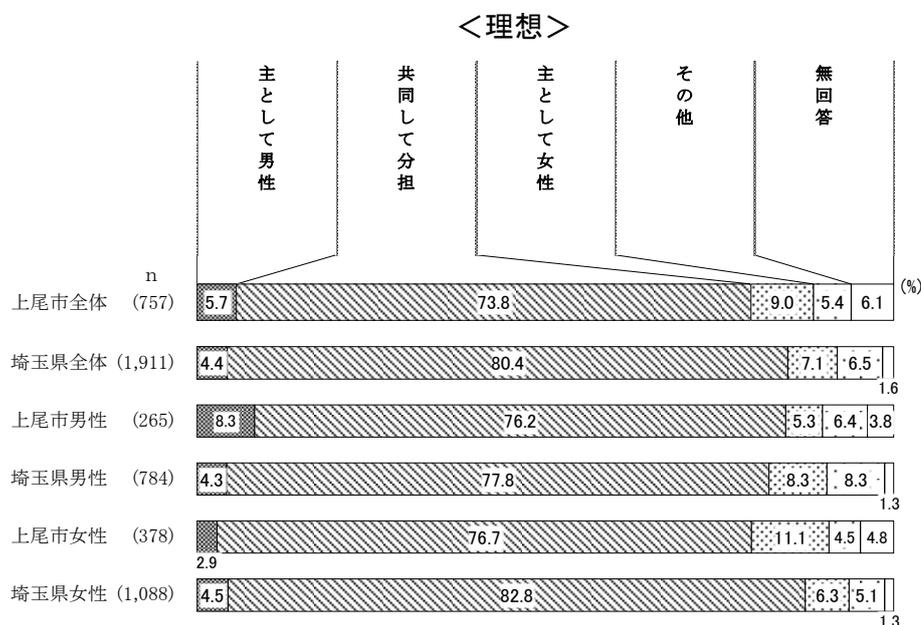
⑤自治会・PTA活動への参加

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として男性」は男性で20.4%、女性で4.5%と15.9ポイント男性が女性を上回っている。「主として女性」は男性が28.7%、女性が50.8%と22.1ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「主として男性」は上尾市男性で20.4%、埼玉県男性で16.2%と4.2ポイント上尾市男性が上回っている。

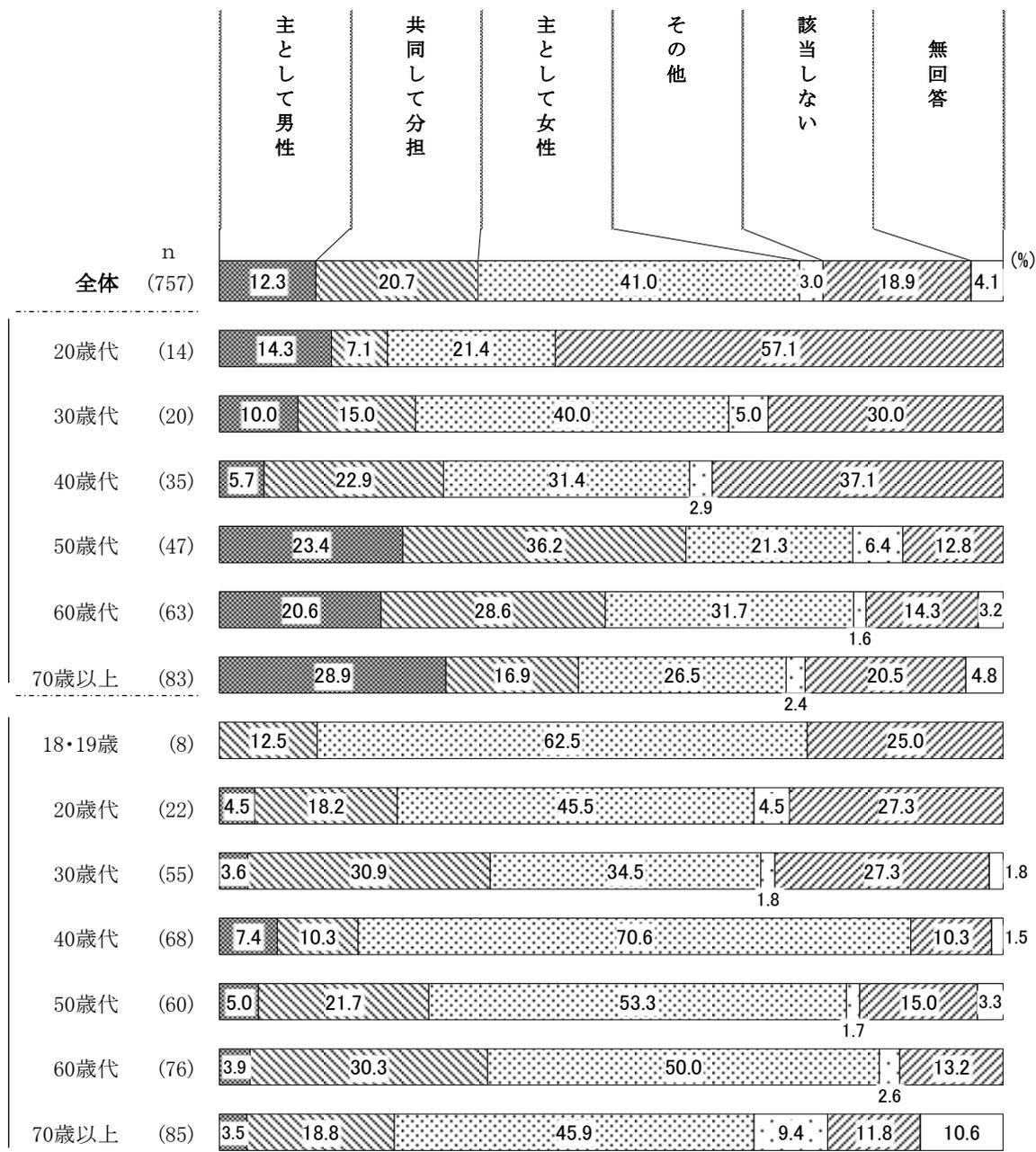


性別で見ると、理想では、「主として男性」は男性で8.3%、女性で2.9%と5.4ポイント男性が女性を上回っている。「主として女性」は男性で5.3%、女性で11.1%と5.8ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「主として男性」は上尾市男性で8.3%、埼玉県男性で4.3%と4.0ポイント上尾市男性が上回っている。「共同して分担」は上尾市女性で76.7%、埼玉県女性で82.8%と6.1ポイント上尾市女性が下回っている。

⑤自治会・PTA活動への参加

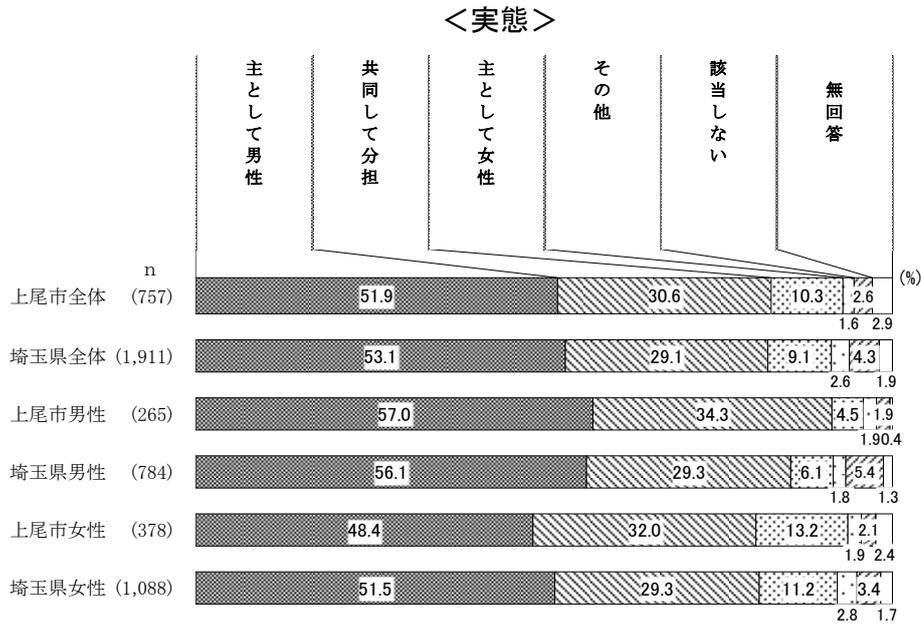
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として男性」は男性50歳代～70歳以上で2割以上となっている。「共同して分担」は、男性50歳代で36.2%、女性30歳代で30.9%、女性60歳代で30.3%と3割以上となっている。「主として女性」は女性40歳代で70.6%と特に多くなっている。

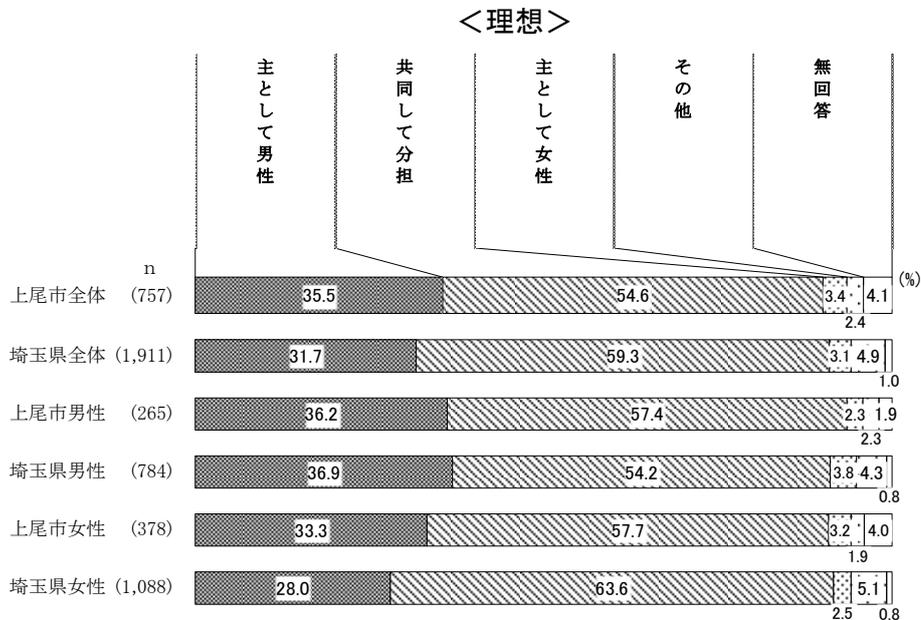
⑥生活費の確保

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として男性」は、男性で57.0%、女性で48.4%と8.6ポイント男性が女性を上回っている。「主として女性」は、男性で4.5%、女性で13.2%と8.7ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「主として男性」は上尾市女性で48.4%、埼玉県女性で51.5%と3.1ポイント上尾市女性を下回っている。「共同して分担」は上尾市男性で34.3%、埼玉県男性で29.3%と5.0ポイント上尾市男性を上回っている。

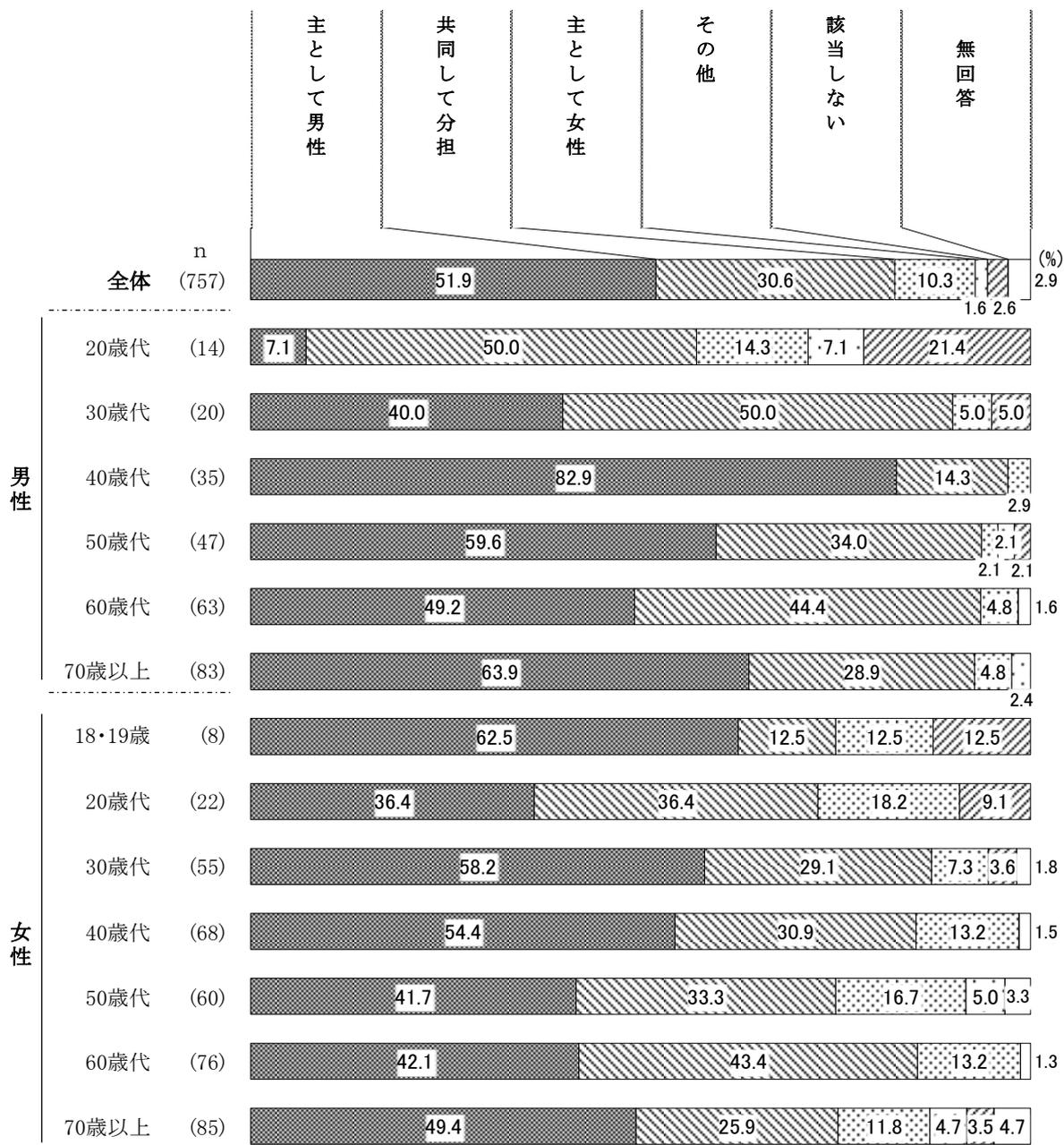


性別で見ると、理想では、あまり大きな違いはみられない。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で54.6%、埼玉県で59.3%と4.7ポイント上尾市が下回っている。「主として男性」は上尾市女性で33.3%、埼玉県女性で28.0%と5.3ポイント上尾市が上回っている。

⑥生活費の確保

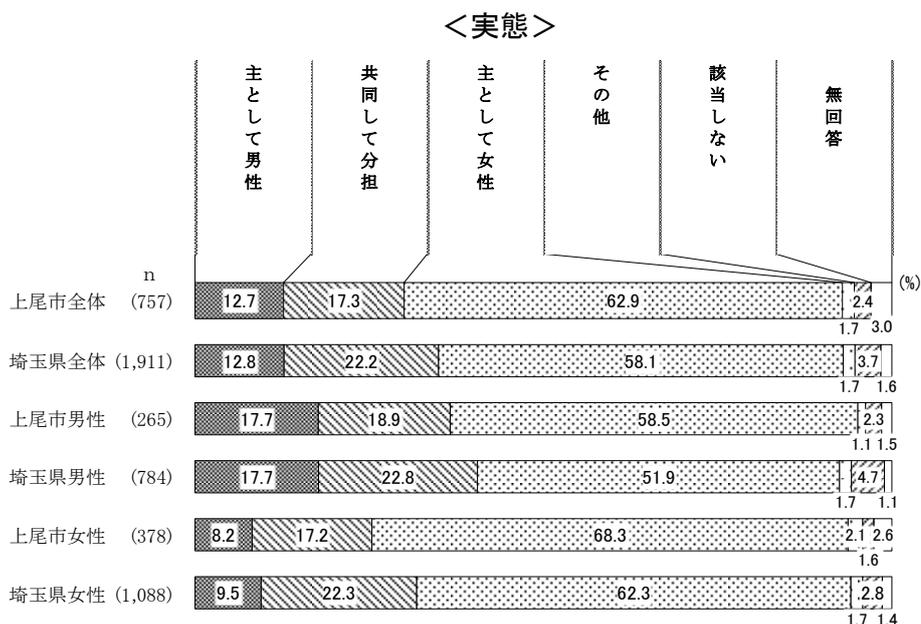
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として男性」は男性40歳代で82.9%と特に多くなっている。「共同して分担」は男性60歳代で44.4%、女性60歳代で43.4%と4割以上となっている。

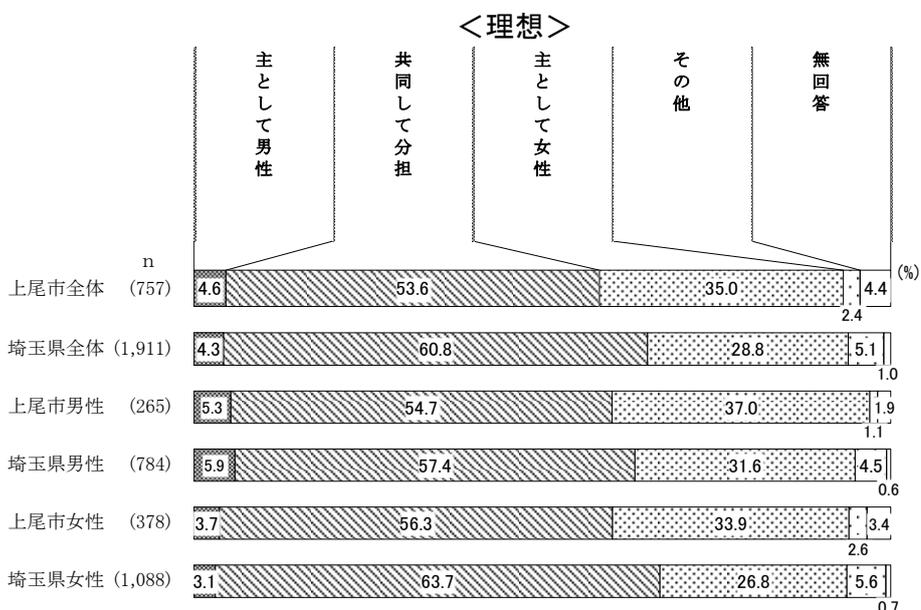
⑦家計の管理

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「主として男性」は男性で17.7%、女性で8.2%と9.5ポイント男性が女性を上回っている。「主として女性」は男性で58.5%、女性で68.3%と9.8ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で17.3%、埼玉県で22.2%と4.9ポイント上尾市が下回っている。「主として女性」は上尾市で62.9%、埼玉県で58.1%と4.8ポイント上尾市が上回っている。

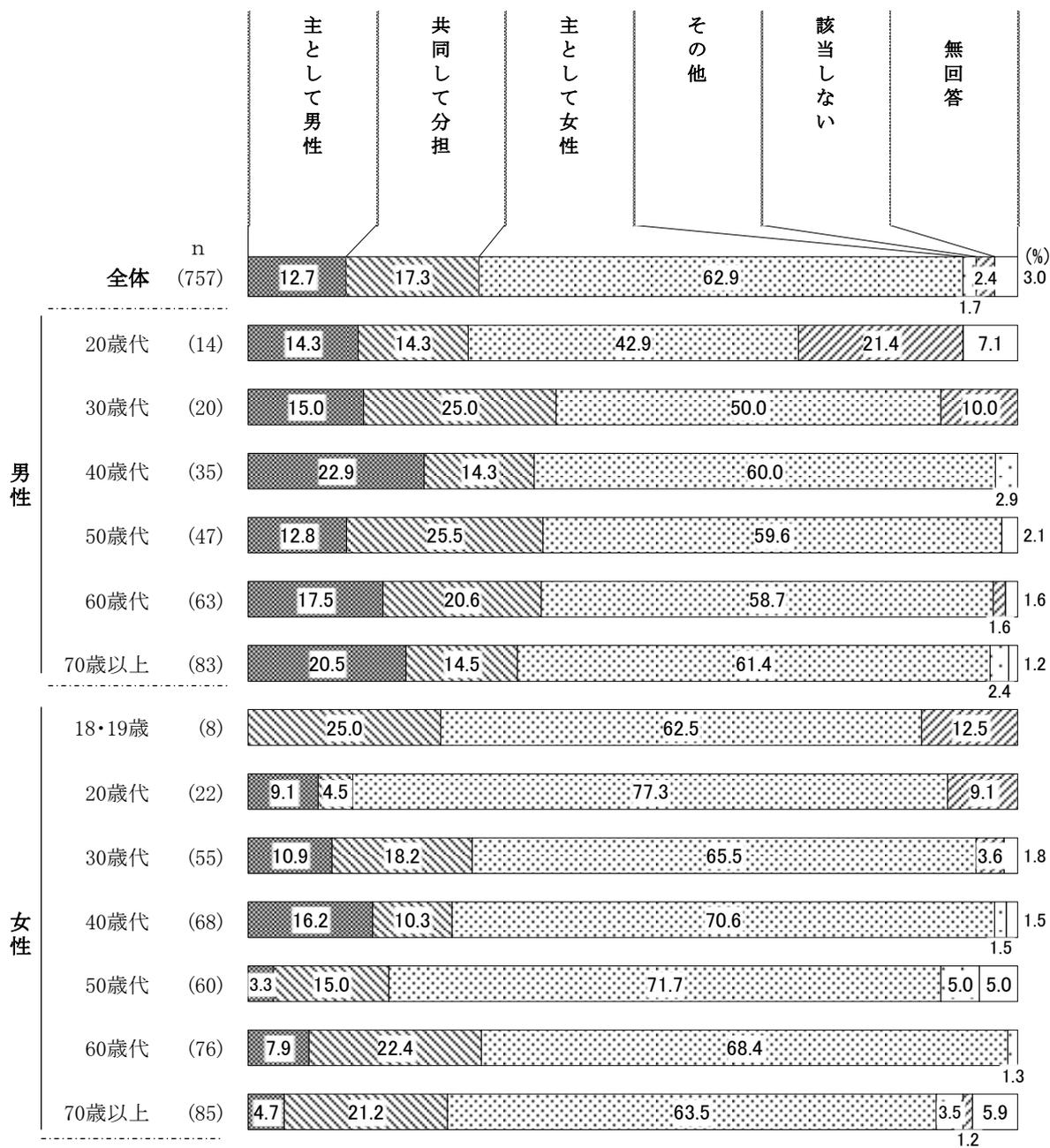


性別で見ると、理想では「主として女性」は男性で37.0%、女性で33.9%と3.1ポイント男性が女性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「主として女性」は上尾市で35.0%、埼玉県で28.8%と6.2ポイント上尾市が上回っている。「共同して分担」は上尾市女性が56.3%、埼玉県女性が63.7%と7.4ポイント上尾市が下回っている。

⑦家計の管理

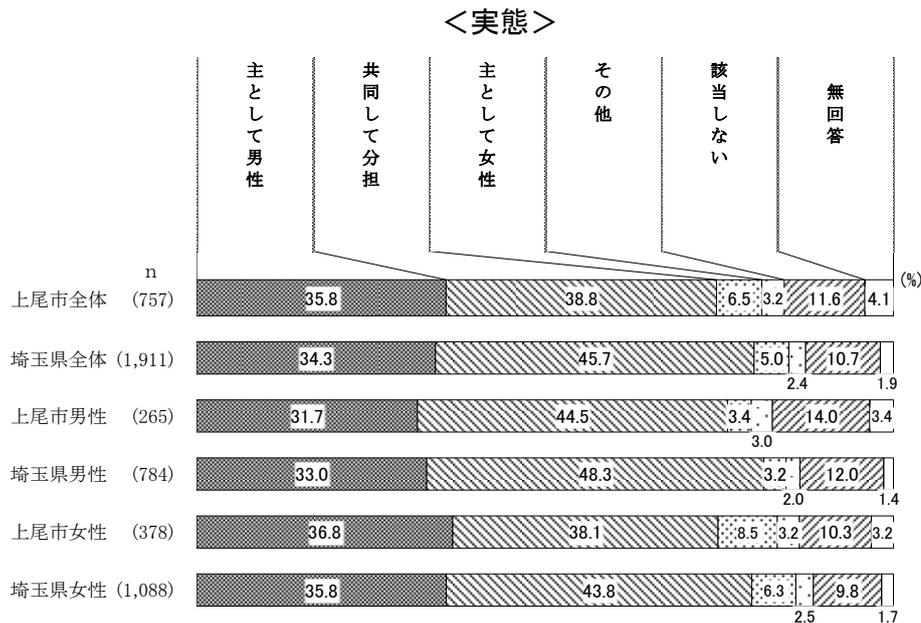
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として男性」は男性40歳代で22.9%、70歳以上で20.5%と2割以上となっており、女性40歳代で16.2%と多くなっている。「共同して分担」は男性50歳代で25.5%、60歳代で20.6%と2割以上となっている。「主として女性」は女性40歳代で70.6%、50歳代で71.7%と7割以上となっている。

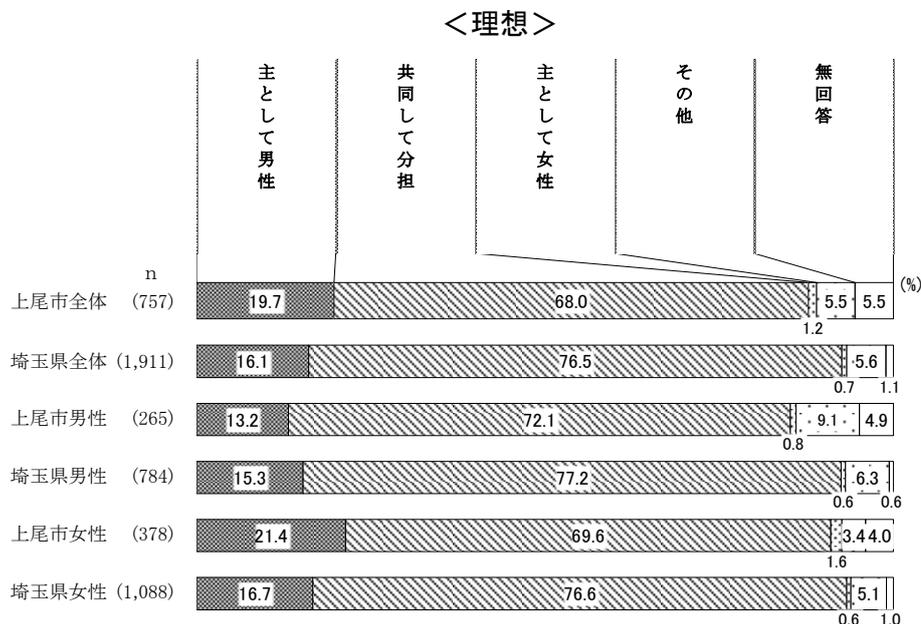
⑧高額な商品や土地・家屋の購入の決定

【性別／埼玉県との比較】



性別で見ると、実態では、「共同して分担」は男性で44.5%、女性で38.1%と6.4ポイント男性が女性を上回っている。「主として男性」、「主として女性」は5.1ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「共同して分担」は上尾市で38.8%、埼玉県で45.7%と6.9ポイント上尾市が下回っている。

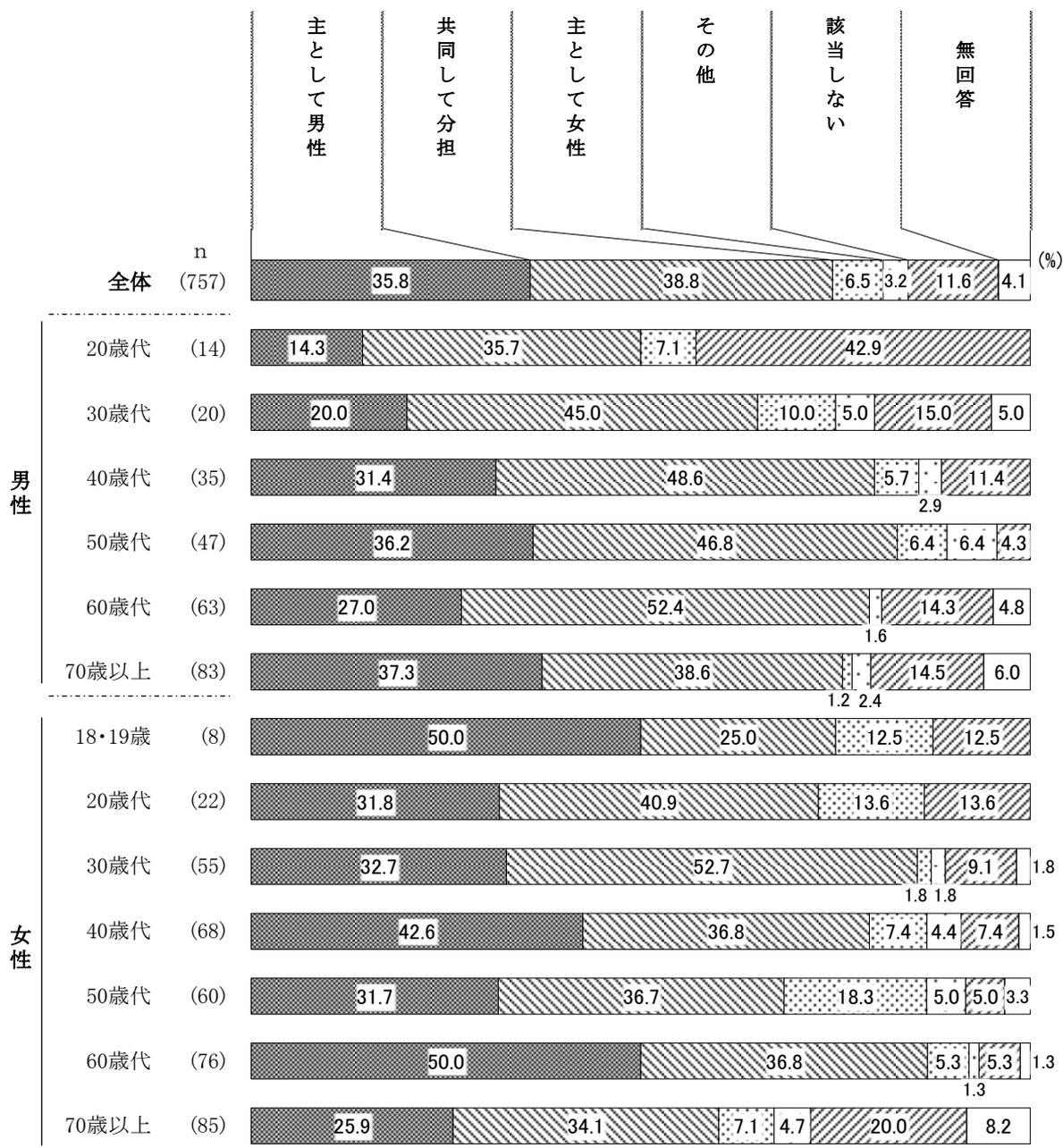


性別で見ると、理想では、「主として男性」は男性で13.2%、女性で21.4%と8.2ポイント女性が男性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「主として男性」は上尾市で19.7%、埼玉県で16.1%と3.6ポイント上尾市が上回っている。「共同して分担」は上尾市女性で69.6%、埼玉県女性で76.6%と7.0ポイント上尾市女性が下回っている。

⑧高額な商品や土地・家屋の購入の決定

【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「主として男性」は女性60歳代で50.0%と5割となっている。「共同して分担」は男性60歳代で52.4%、女性30歳代で52.7%と5割以上となっている。「主として女性」は女性50歳代で18.3%と多くなっている。

(2) 子育て経験／介護経験の有無、かかわり方について

【配偶者・パートナーのいる方にお伺いします】

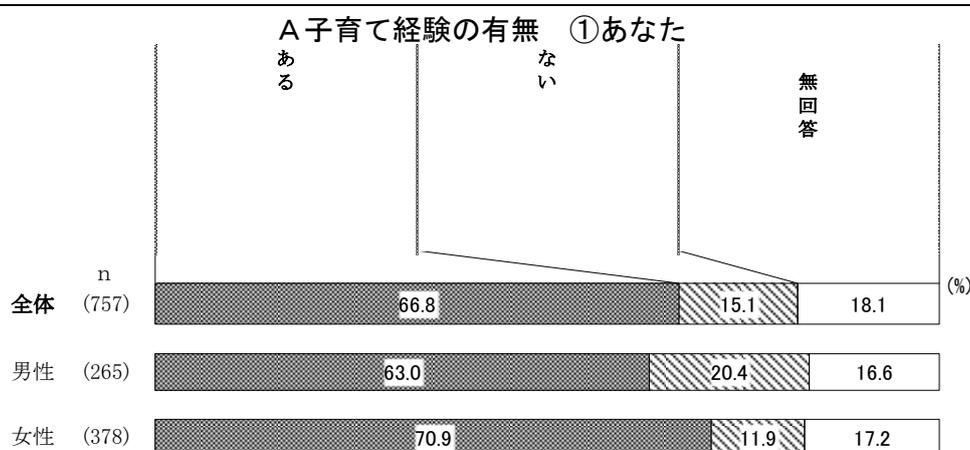
問3 あなたと配偶者・パートナーそれぞれに子育ての経験、介護の経験はありますか。  
(A、Bについて各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

【問3のA子育て経験で、「ある」と回答した方にお伺いします】

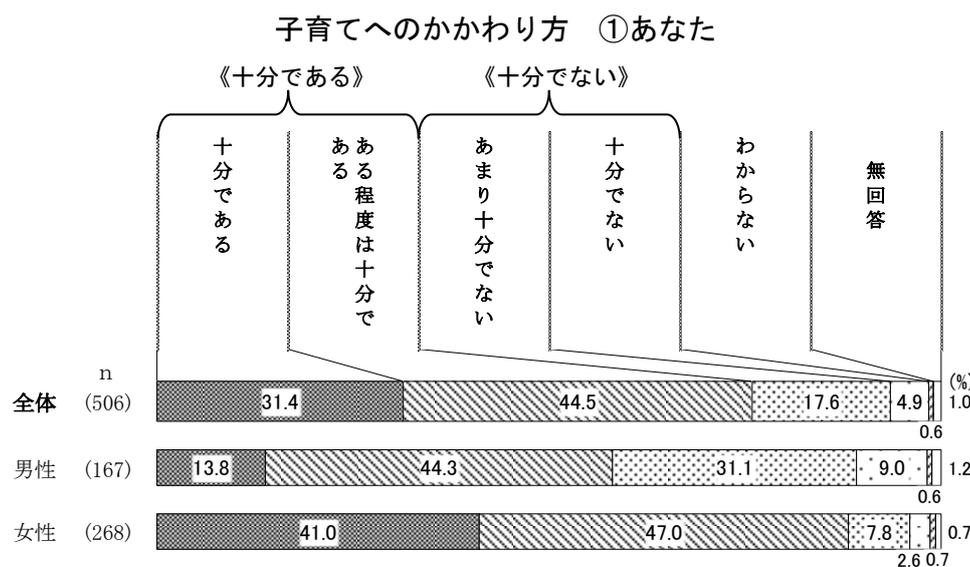
問3-1 あなたと配偶者・パートナーの子育てのかかわりは十分だ(だった)と思いますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

【問3のB介護経験で、「ある」と回答した方にお伺いします】

問3-2 あなたと配偶者・パートナーの介護へのかかわりは十分だ(だった)と思いますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)



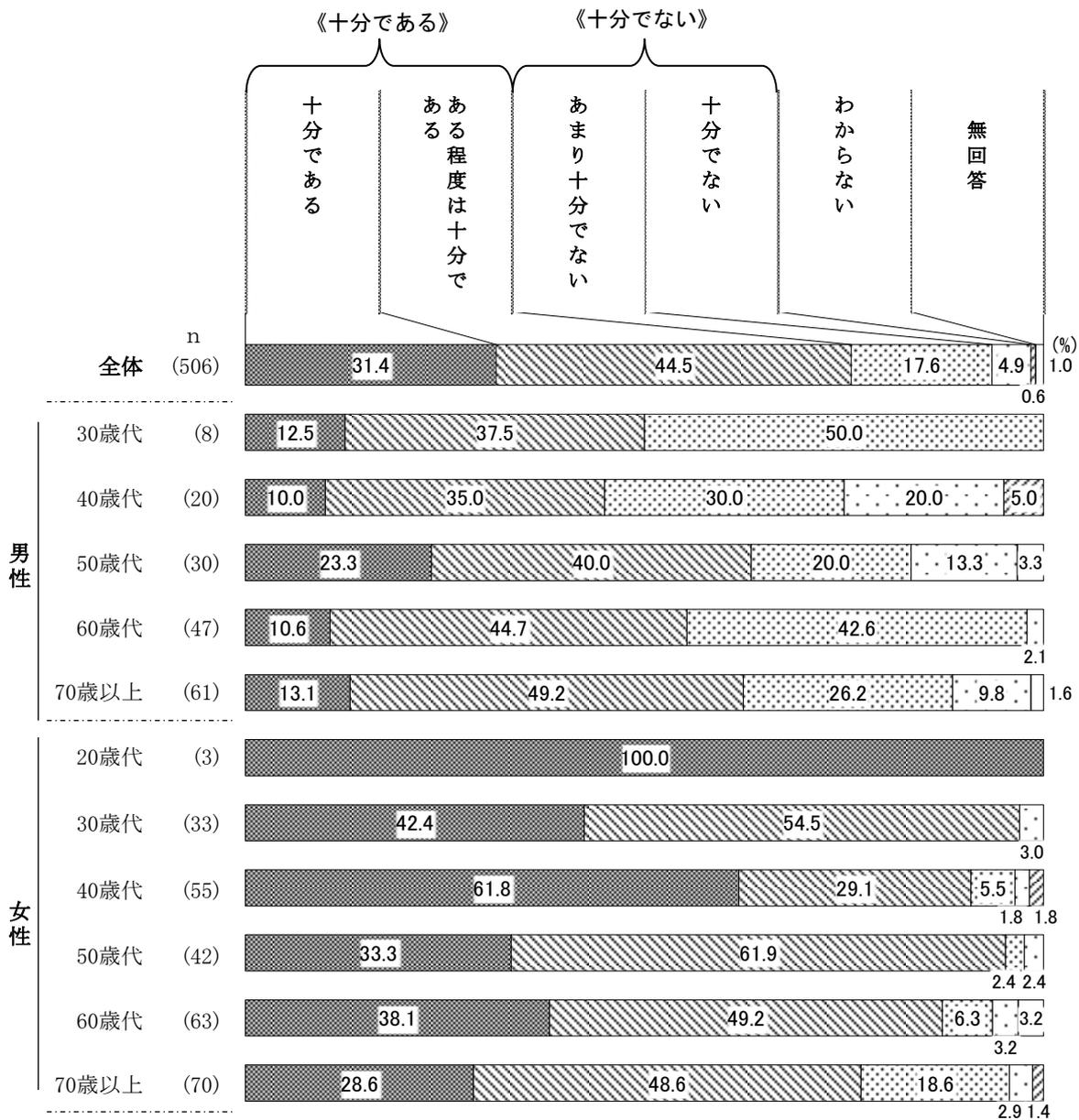
自分自身の子育て経験の有無について、性別でみると、自分自身に子育て経験があるのは、男性で63.0%、女性で70.9%と7.9ポイント女性が男性を上回っている。



自分自身の子育てへのかかわり方について、「十分である」は男性で13.8%、女性で41.0%となっており、「ある程度は十分である」をあわせた《十分である》は、男性で58.1%、女性で88.0%となっている。男性で「あまり十分でない」は31.1%、「十分でない」は9.0%となっており、「あまり十分でない」と「十分でない」をあわせた《十分でない》は40.1%となっている。

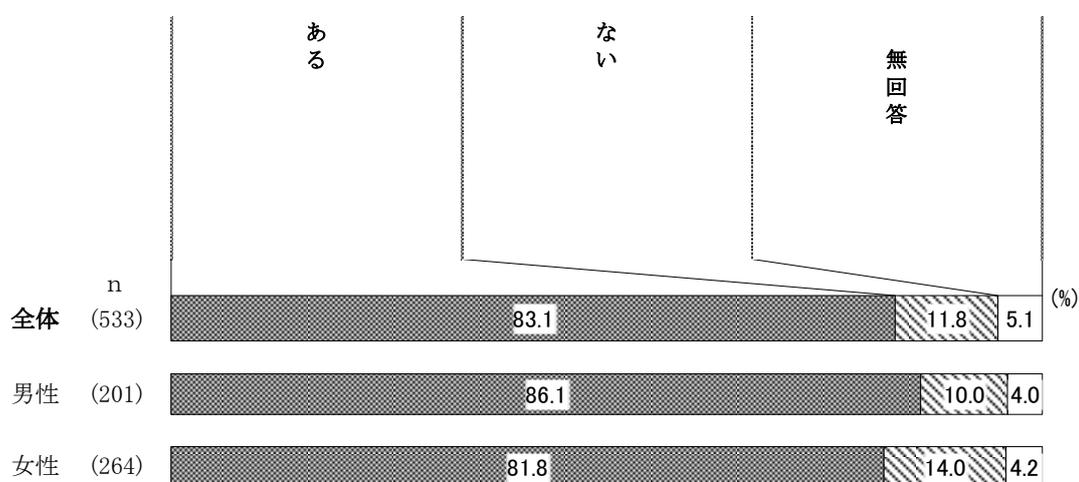
子育てへのかかわり方 ①あなた

【性別・年代別】



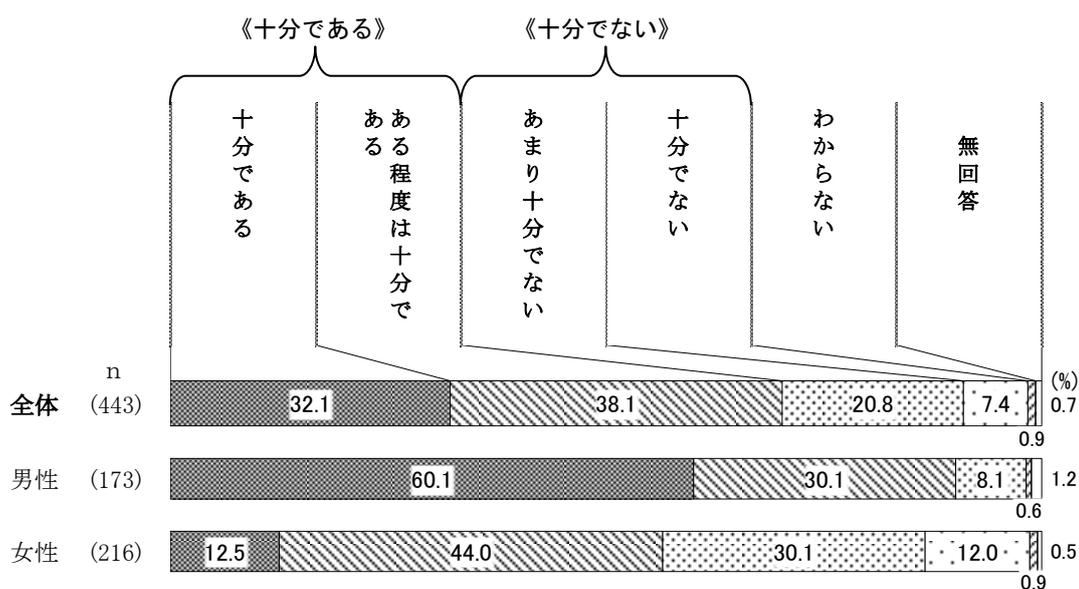
性別・年代別でみると、自分自身の子育てへのかかわり方について、「十分である」は男性 50 歳代で 23.3%、女性 40 歳代で 61.8%と最も多くなっている。「あまり十分でない」は男性 60 歳代で 42.6%と多くなっている。女性ではほとんどの年代で 1 割以下となっているが、女性 70 歳以上で 18.6%と最も多くなっている。

A子育て経験の有無 ②配偶者・パートナー



配偶者・パートナーの子育て経験の有無については、配偶者・パートナーに子育て経験があるのは、男性で86.1%、女性で81.8%と4.3ポイント男性が女性を上回っている。

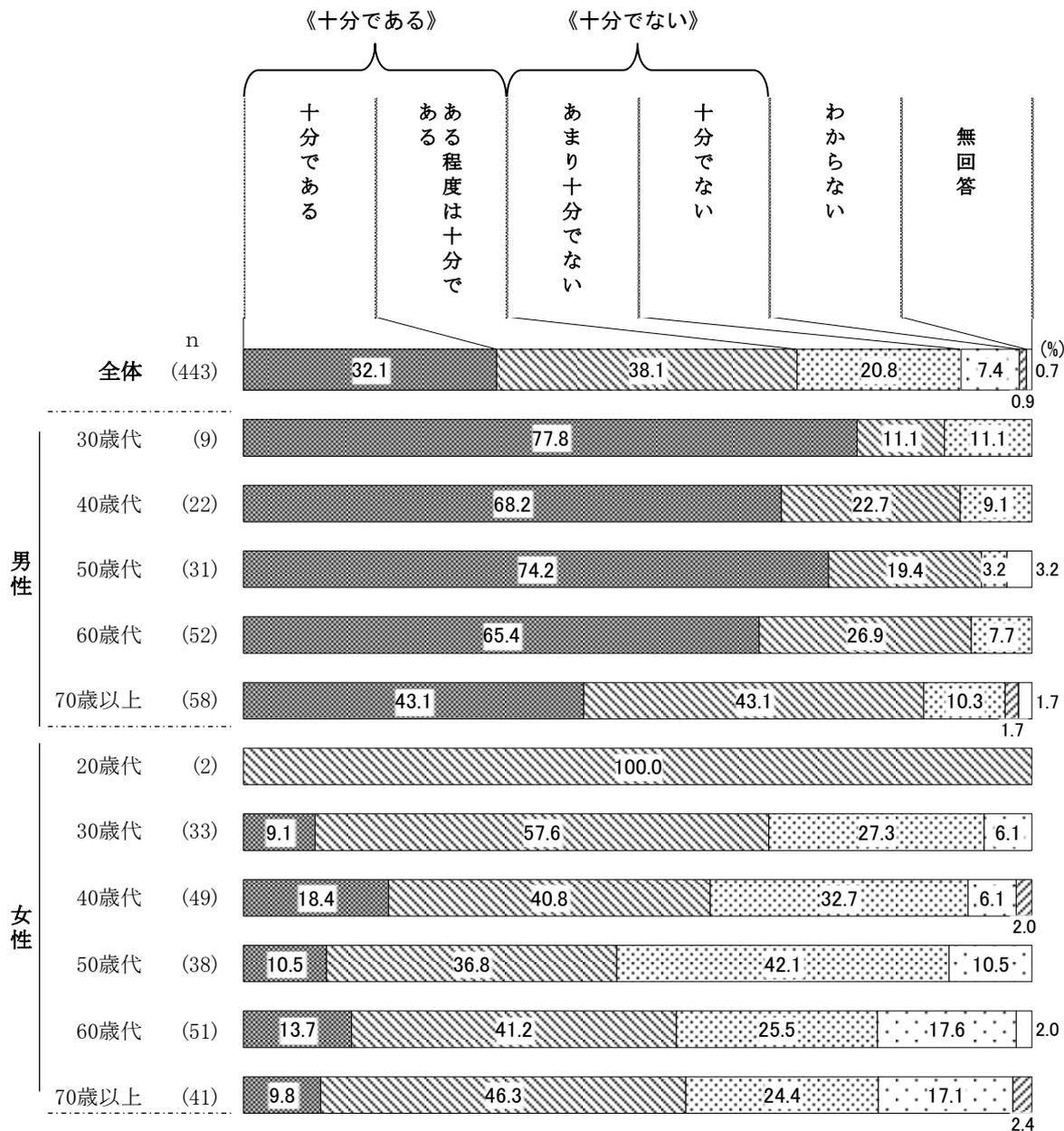
子育てへのかかわり方 ②配偶者・パートナー



配偶者・パートナーの子育てへのかかわり方については、「十分である」は男性で60.1%、女性で12.5%となっており、「十分である」は男性で90.2%、女性で56.5%となっている。男性で「あまり十分でない」は8.1%となっており、「十分でない」は0.0%となっている。女性で「十分でない」は12.0%となっており、「十分でない」は42.1%となっている。

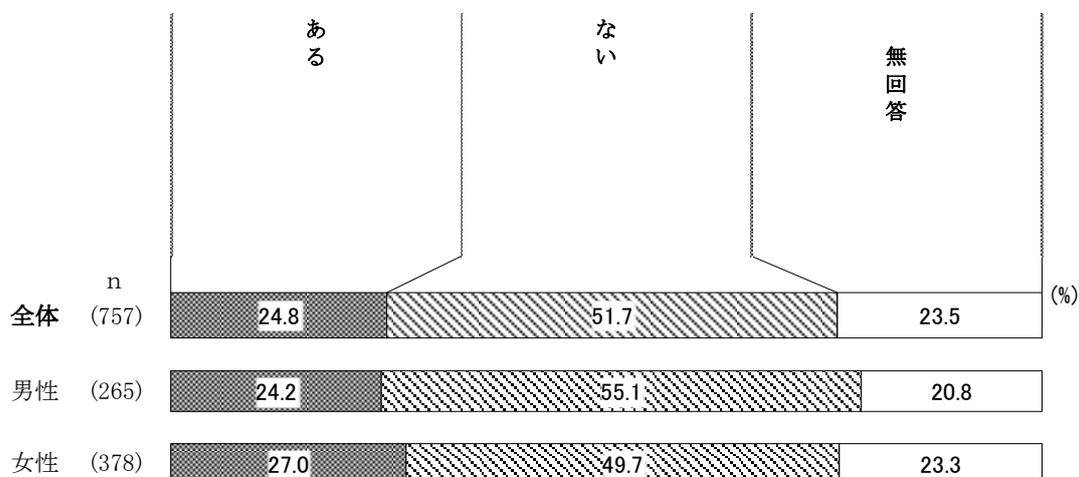
子育てへのかかわり方 ②配偶者・パートナー

【性別・年代別】



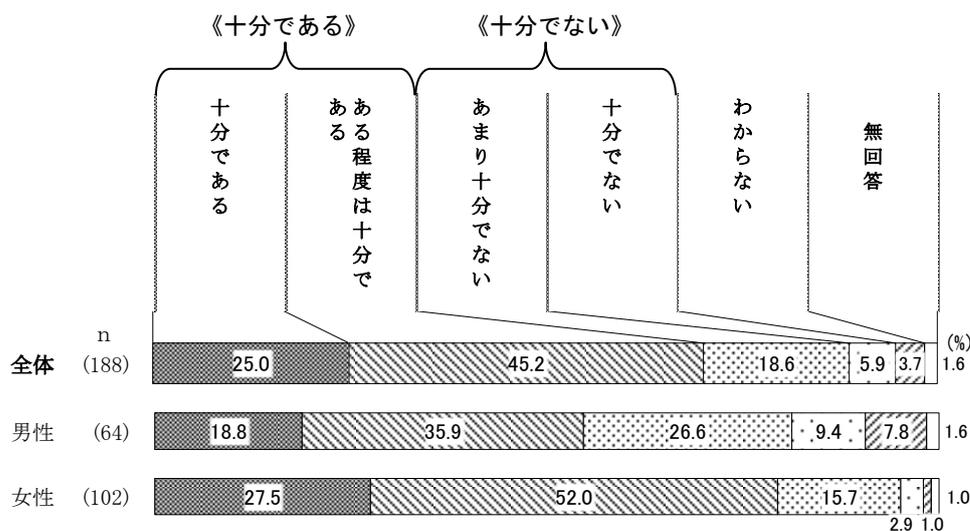
性別・年代別でみると、配偶者・パートナーの子育てへのかかわり方については、《十分である》は男性ですべての年代で9割前後となっているが、女性では7割以下となっており、女性50歳代で47.3%と最も少なくなっている。《十分でない》は女性50歳代で52.6%と5割以上となっている。

B介護経験の有無 ①あなた



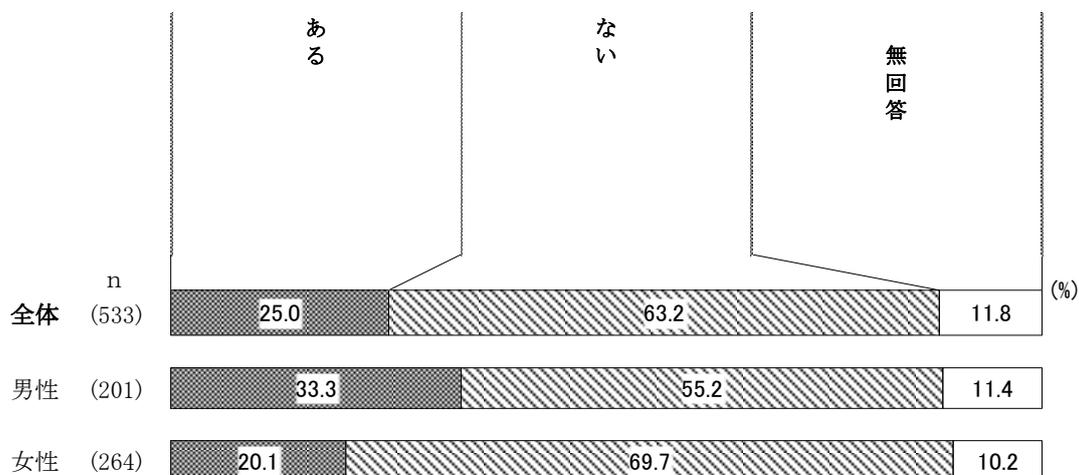
自分自身の介護経験の有無については、性別で見ると、自分自身に介護経験があるのは、男性で24.2%、女性で27.0%となっている。介護経験がないのは、男性で55.1%、女性で49.7%と5.4ポイント男性が女性を上回っている。

介護へのかかわり方 ①あなた



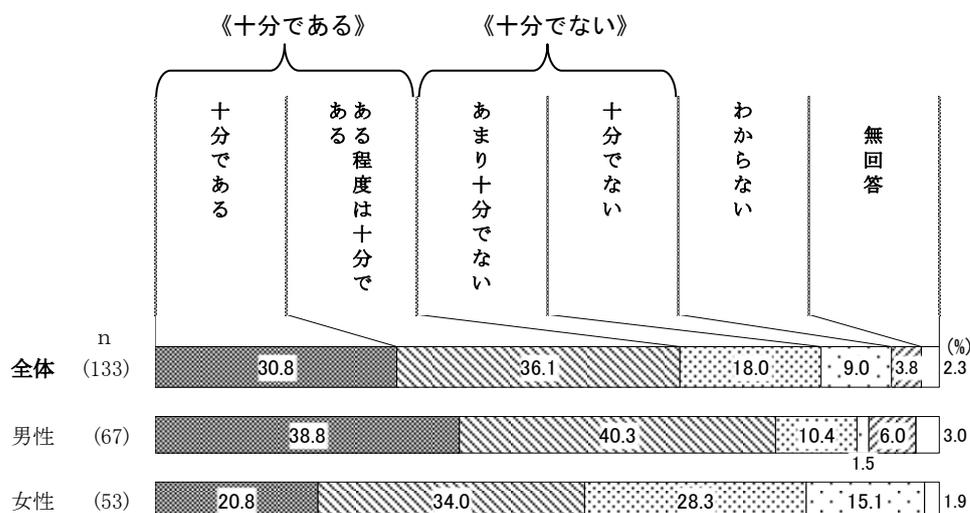
自分自身の介護へのかかわり方について、「十分である」は男性で18.8%、女性で27.5%となっており、「十分である」は男性で54.7%、女性で79.5%となっている。「十分でない」は男性で9.4%、女性で2.9%となっており、「十分でない」は男性で36.0%、女性で18.6%となっている。

B 介護経験の有無 ②配偶者・パートナー



配偶者・パートナーの介護経験の有無については、配偶者・パートナーに介護経験があるのは、男性で33.3%、女性で20.1%と13.2ポイント男性が女性を上回っている。

介護へのかかわり方 ②配偶者・パートナー



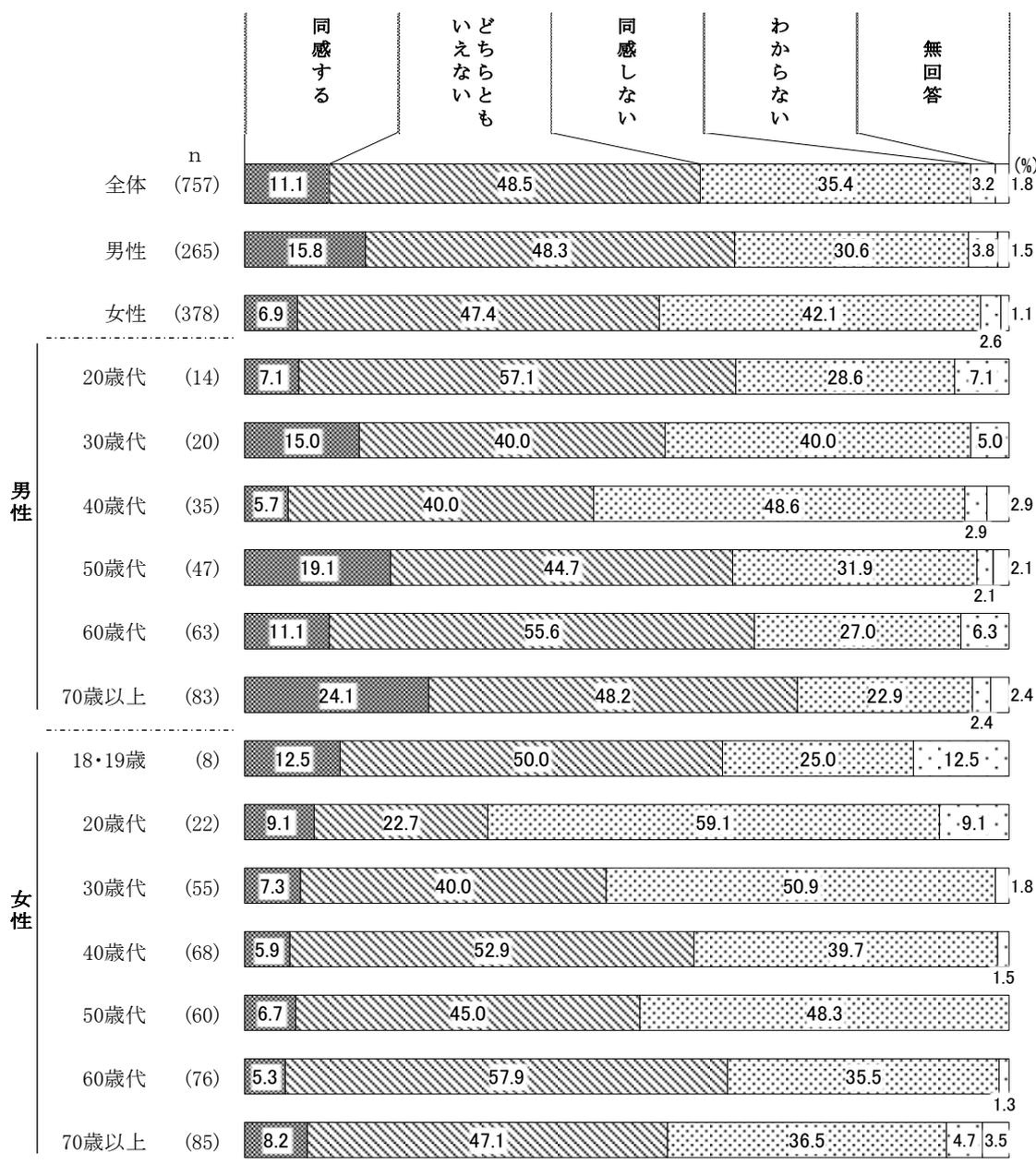
配偶者・パートナーの介護へのかかわり方については、「十分である」は男性で38.8%、女性で20.8%となっており、「十分である」は男性で79.1%、女性で54.8%となっている。「十分でない」は男性で1.5%、女性で15.1%となっており、「十分でない」は男性で11.9%、女性は43.4%となっている。

### 3. 男女平等に関する意識について

#### (1) 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の役割分担意識について

問4 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたは、どう思いますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

【性別・年代別】

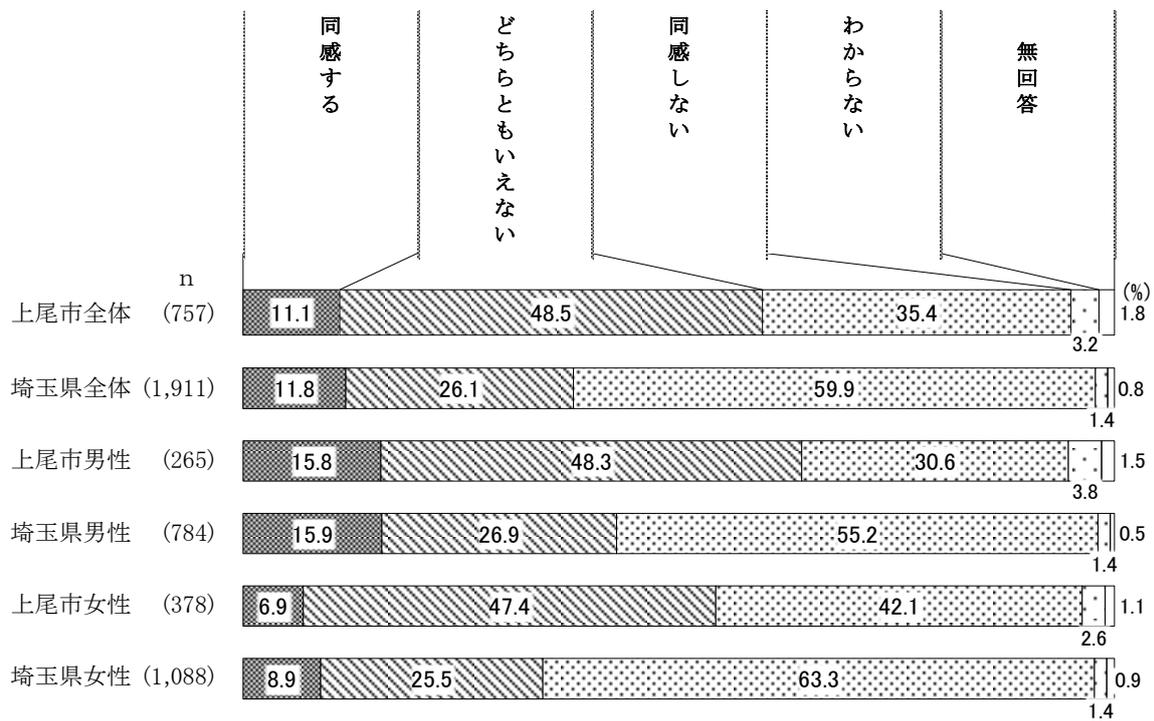


男女の役割分担意識について、「同意しない」は35.4%となっている。

性別で見ると、「同意しない」は男性で30.6%、女性で42.1%と11.5ポイント女性が男性を上回っている。「同意する」は男性で15.8%、女性で6.9%と8.9ポイント男性が女性を上回っている。

性別・年代別で見ると、「同意しない」は男性40歳代で約5割、女性30歳代・50歳代で5割前後となっている。

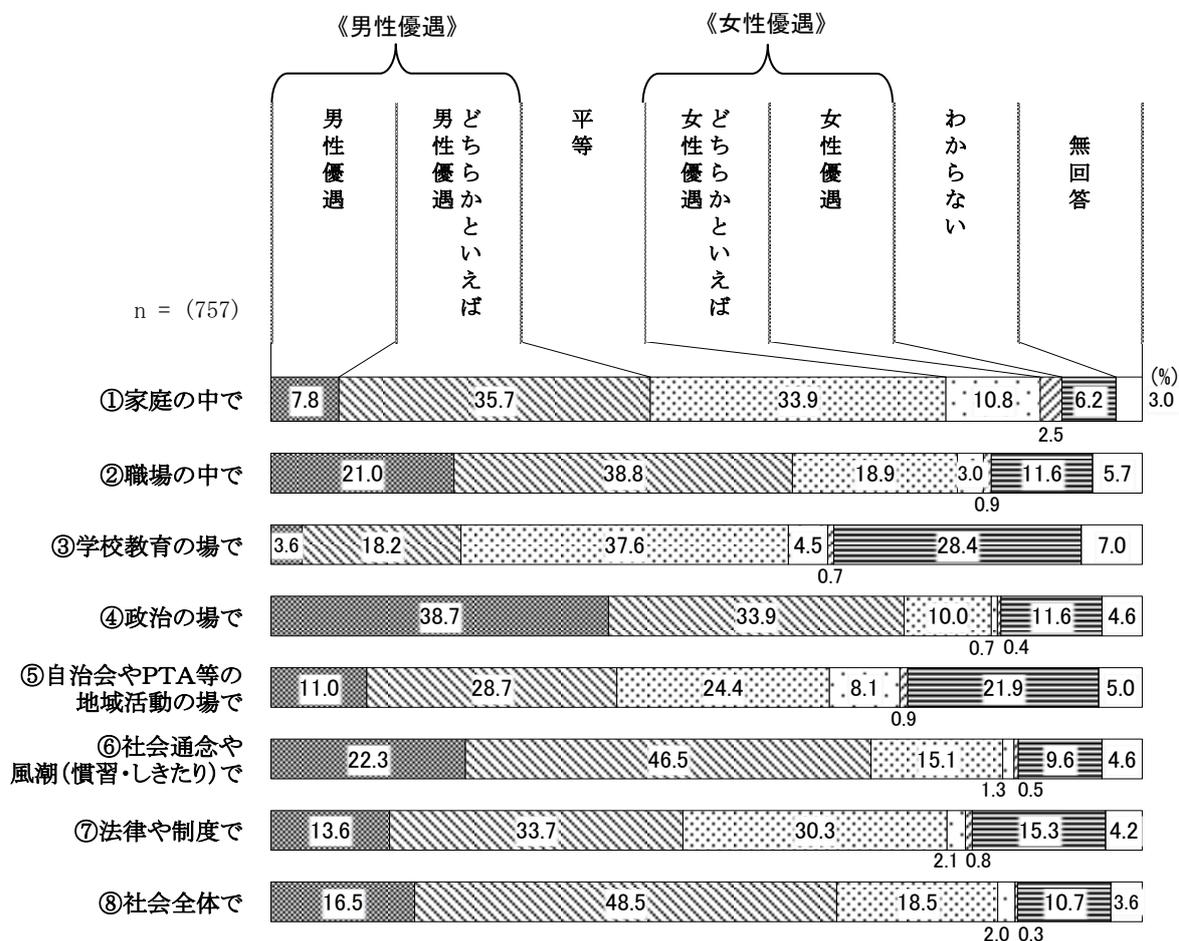
【性別／埼玉県との比較】



埼玉県の調査と比較すると、「同意しない」は上尾市で35.4%、埼玉県で59.9%と24.5ポイント上尾市が下回っている。「どちらともいえない」は上尾市で48.5%、埼玉県で26.1%と22.4ポイント上尾市が上回っている。

(2) 女性と男性の地位の平等感について

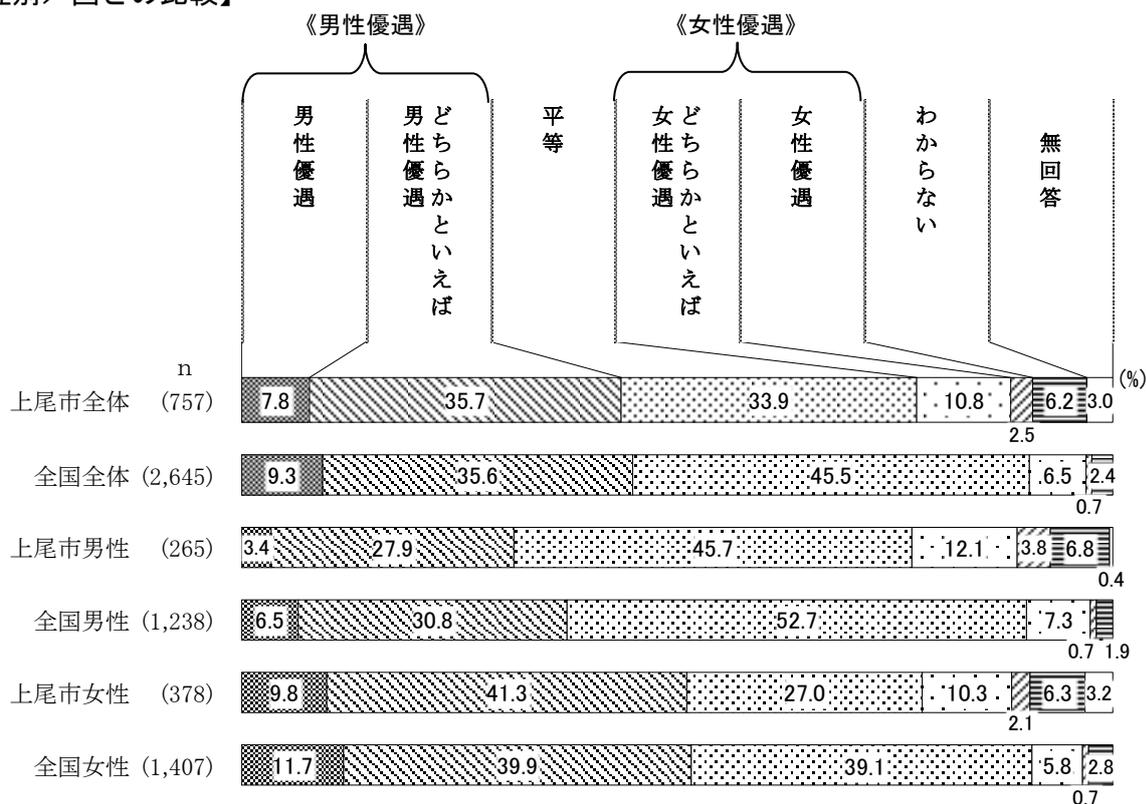
問5 次の分野で男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)



各分野での女性と男性の地位の平等感について、「平等」は『学校教育の場で』で37.6%と最も多くなっている。「男性優遇」と「どちらかといえば男性優遇」をあわせた《男性優遇》は、『政治の場で』(72.6%)で7割以上、『社会通念や風潮(慣習・しきたり)で』(68.8%)、『社会全体で』(65.0%)で6割以上となっている。「女性優遇」と「どちらかといえば女性優遇」をあわせた《女性優遇》は、『家庭の中で』で13.3%と1割以上となっている。

①家庭の中で

【性別／国との比較】

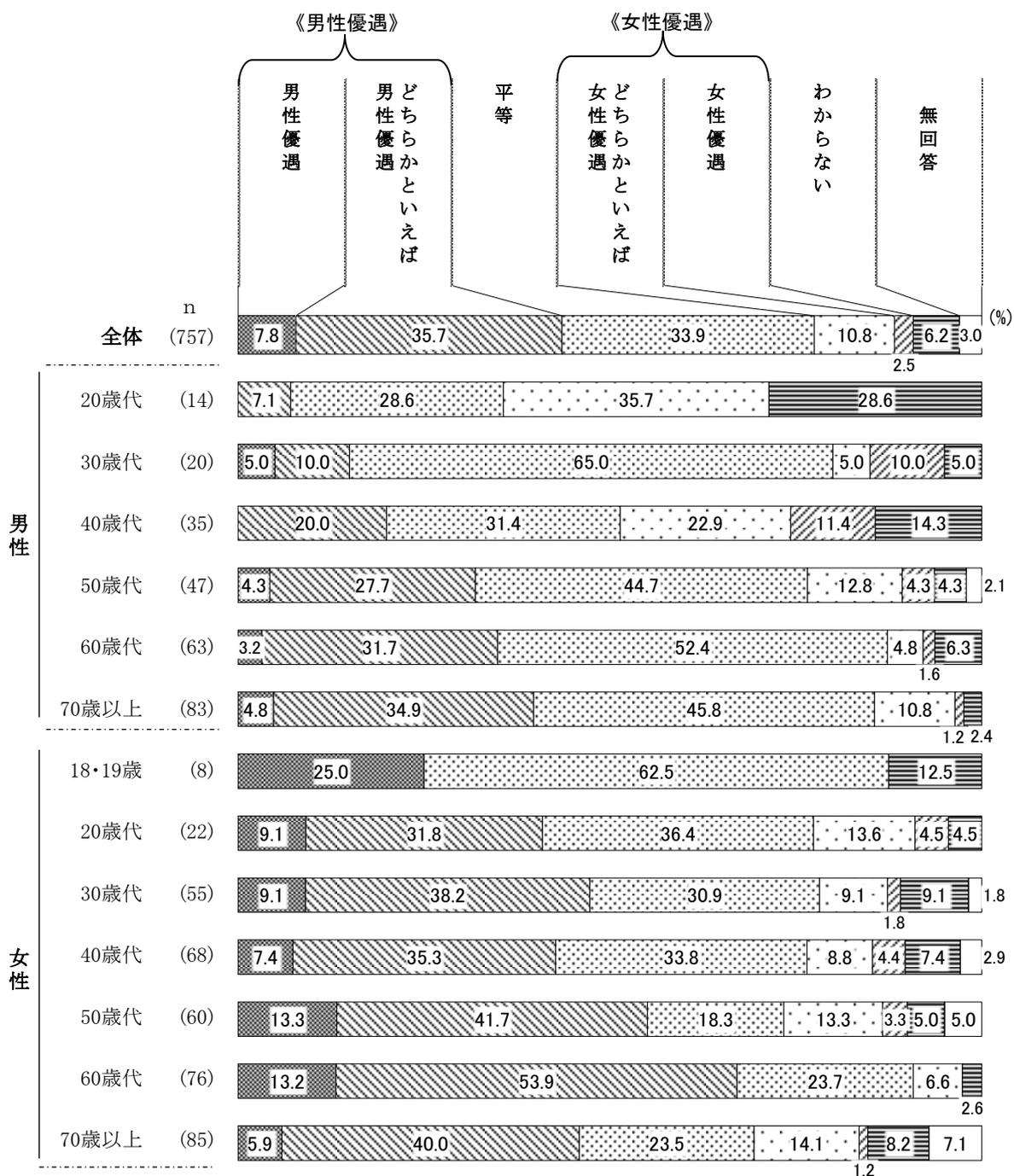


『家庭の中で』について、性別で見ると、「平等」は男性で45.7%、女性で27.0%と18.7ポイント男性が女性を上回っている。《男性優遇》は女性で51.1%と過半数を占めており、19.8ポイント女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、「平等」は上尾市で33.9%、国で45.5%と11.6ポイント上尾市が下回っている。《女性優遇》は上尾市で13.3%、国で7.2%と6.1ポイント上尾市が上回っている。

①家庭の中で

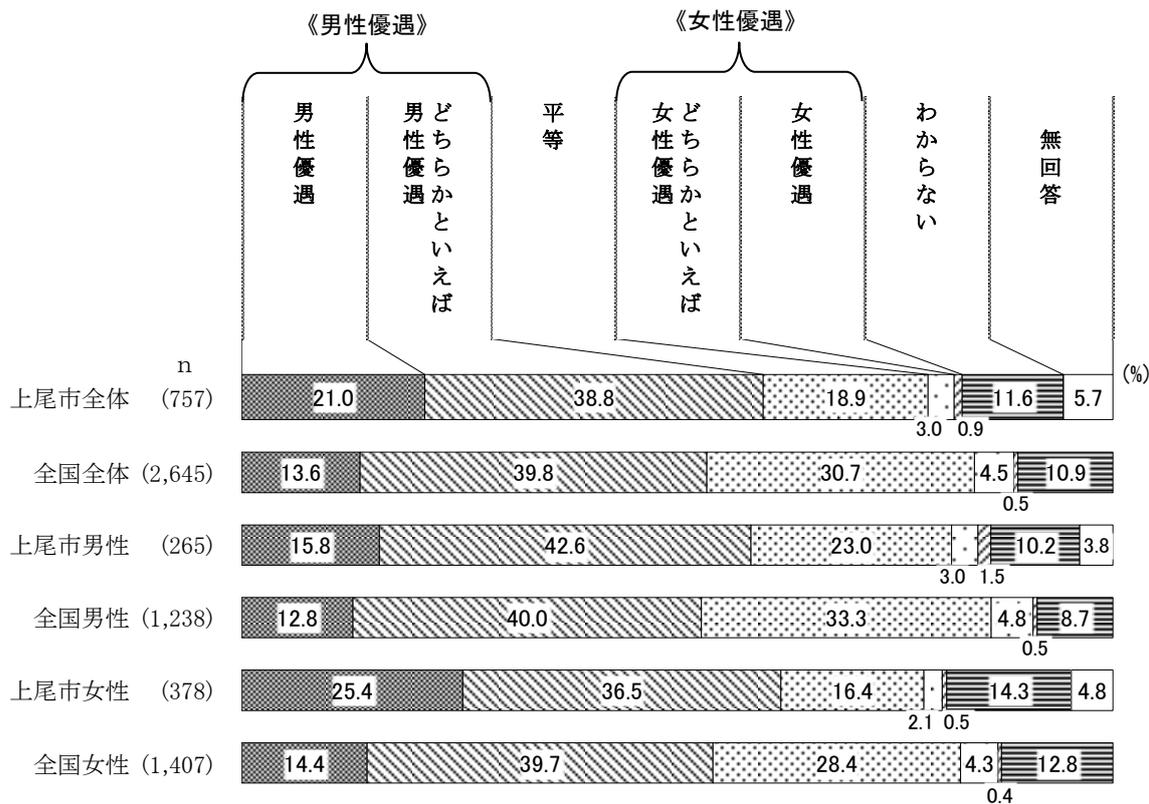
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「男性優遇」は女性50歳代で13.3%、60歳代で13.2%と1割以上となっている。《男性優遇》は女性60歳代で67.1%と最も多くなっている。「平等」は男性60歳代で52.4%と多く、女性50歳代で18.3%と少なくなっている。「どちらかといえば女性優遇」は男性40歳代で22.9%と多くなっている。

②職場の中で

【性別／国との比較】

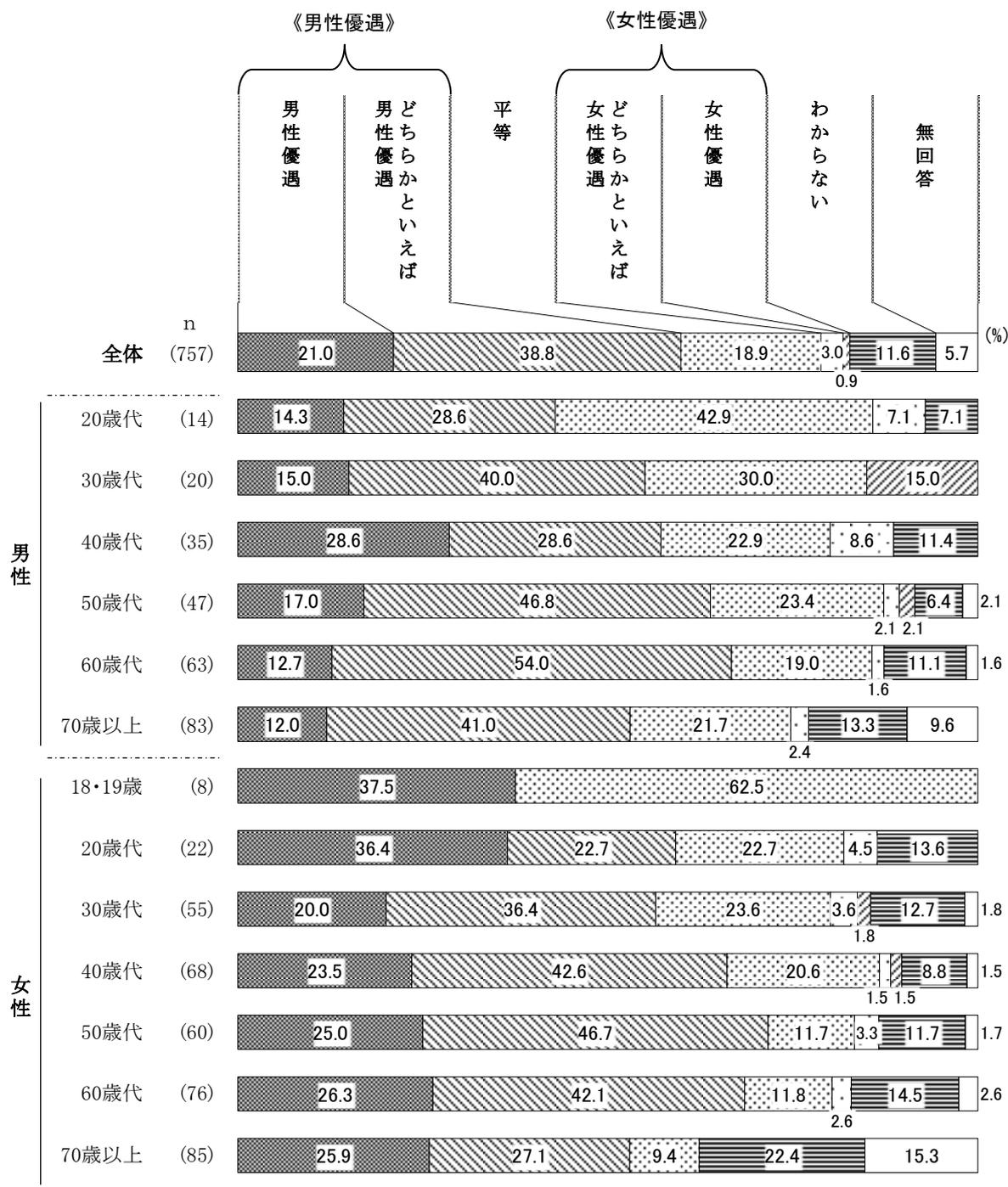


『職場の中で』について、性別で見ると、「平等」は男性で23.0%、女性で16.4%と6.6ポイント男性が女性を上回っている。「男性優遇」は男性で15.8%、女性で25.4%と9.6ポイント女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、「平等」は上尾市で18.9%、国で30.7%と11.8ポイント上尾市が下回っている。「男性優遇」は、上尾市女性で25.4%、全国女性は14.4%と11.0ポイント上尾市女性が上回っている。

②職場の中で

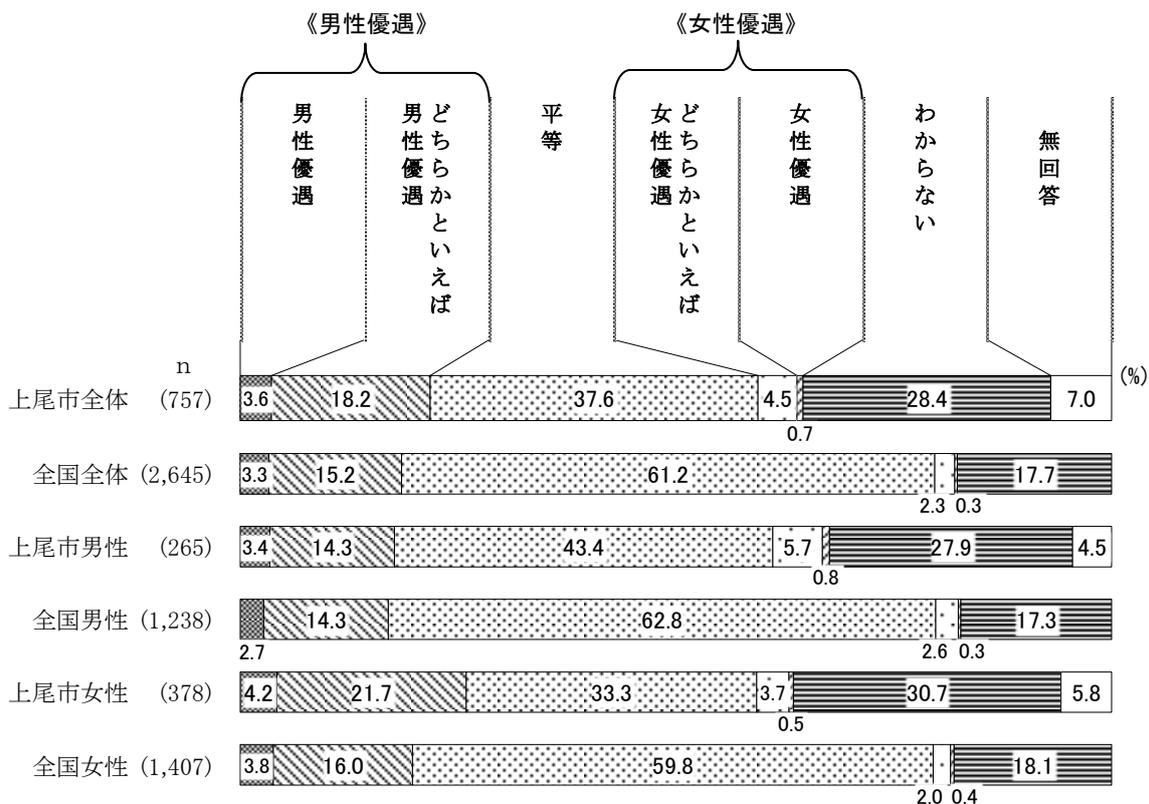
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「男性優遇」は男性60歳代で66.7%、女性50歳代で71.7%と多くなっている。「男性優遇」は男性のほとんどの年代で1割台だが、40歳代で28.6%と多くなっている。「平等」は女性30歳代・40歳代で2割台だが、50歳代～70歳以上で1割前後となっている。

③学校教育の場で

【性別／国との比較】

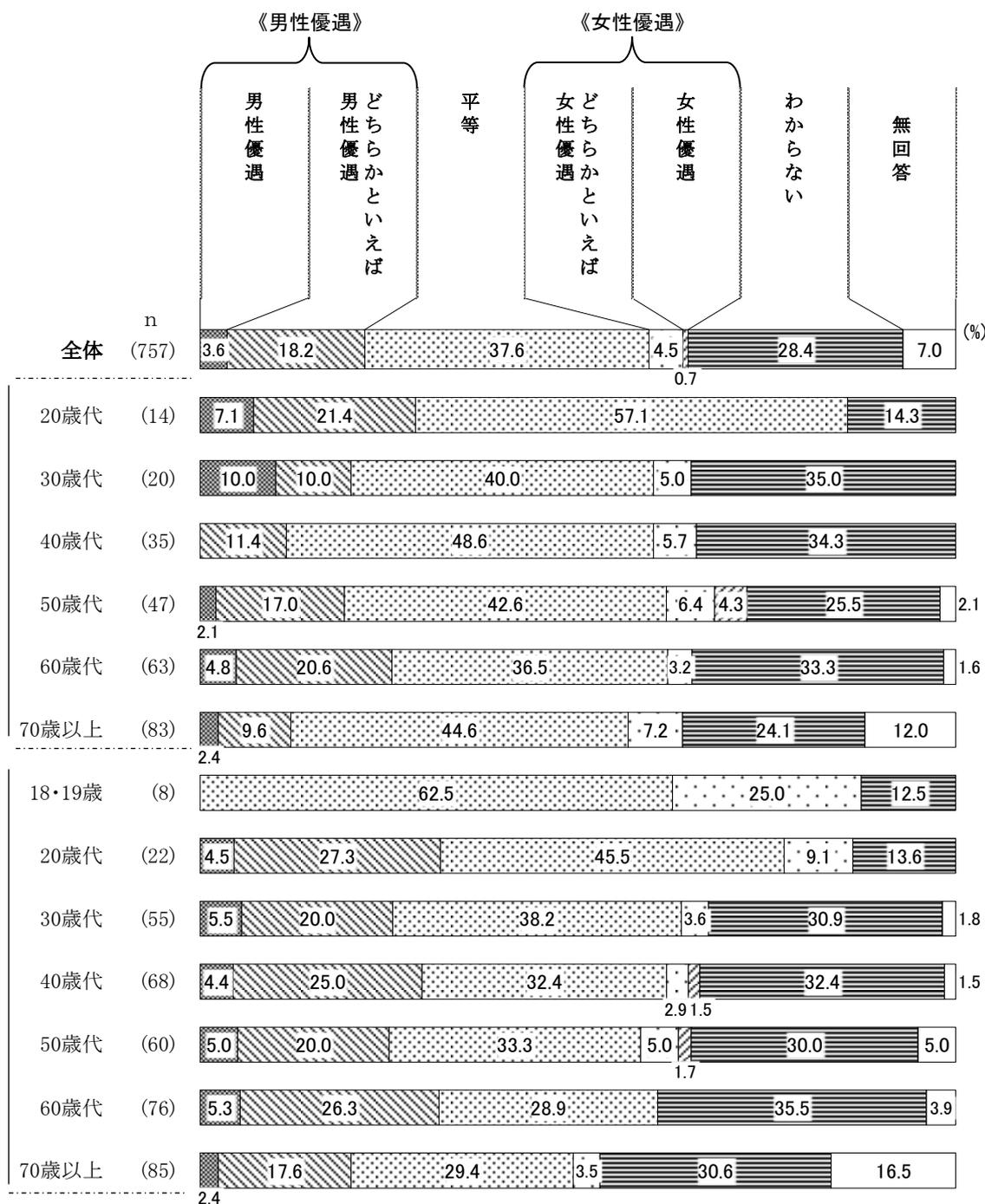


『学校教育の場で』について、性別で見ると、「平等」は男性で43.4%、女性で33.3%と10.1ポイント男性が女性を上回っている。《男性優遇》は男性で17.7%、女性で25.9%と8.2ポイント女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、《男性優遇》は上尾市女性で25.9%、全国女性で19.8%と6.1ポイント上尾市女性が上回っている。「平等」は上尾市女性で33.3%、全国女性で59.8%と26.5ポイント上尾市女性が下回っている。

③学校教育の場で

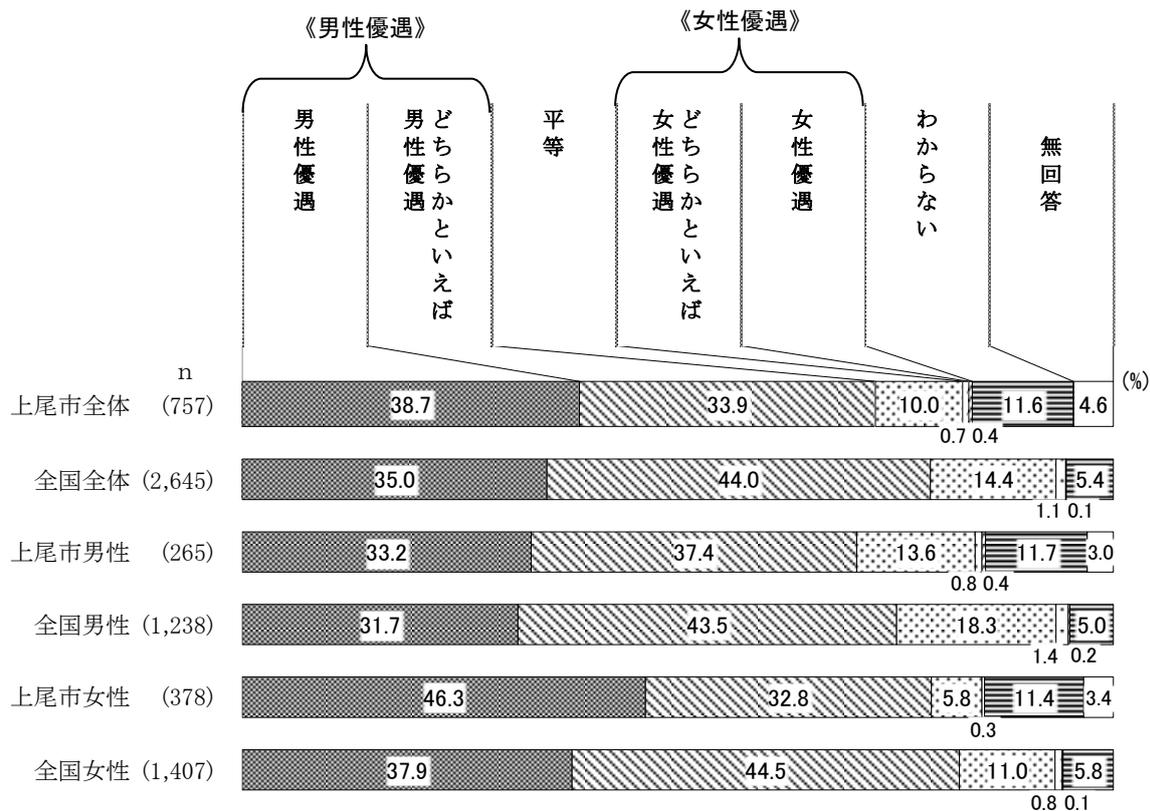
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、《男性優遇》は男性60歳代で25.4%と多くなっている。女性ではほとんどの年代で3割前後となっているが、70歳以上で20.0%と2割となっている。

④政治の場で

【性別／国との比較】

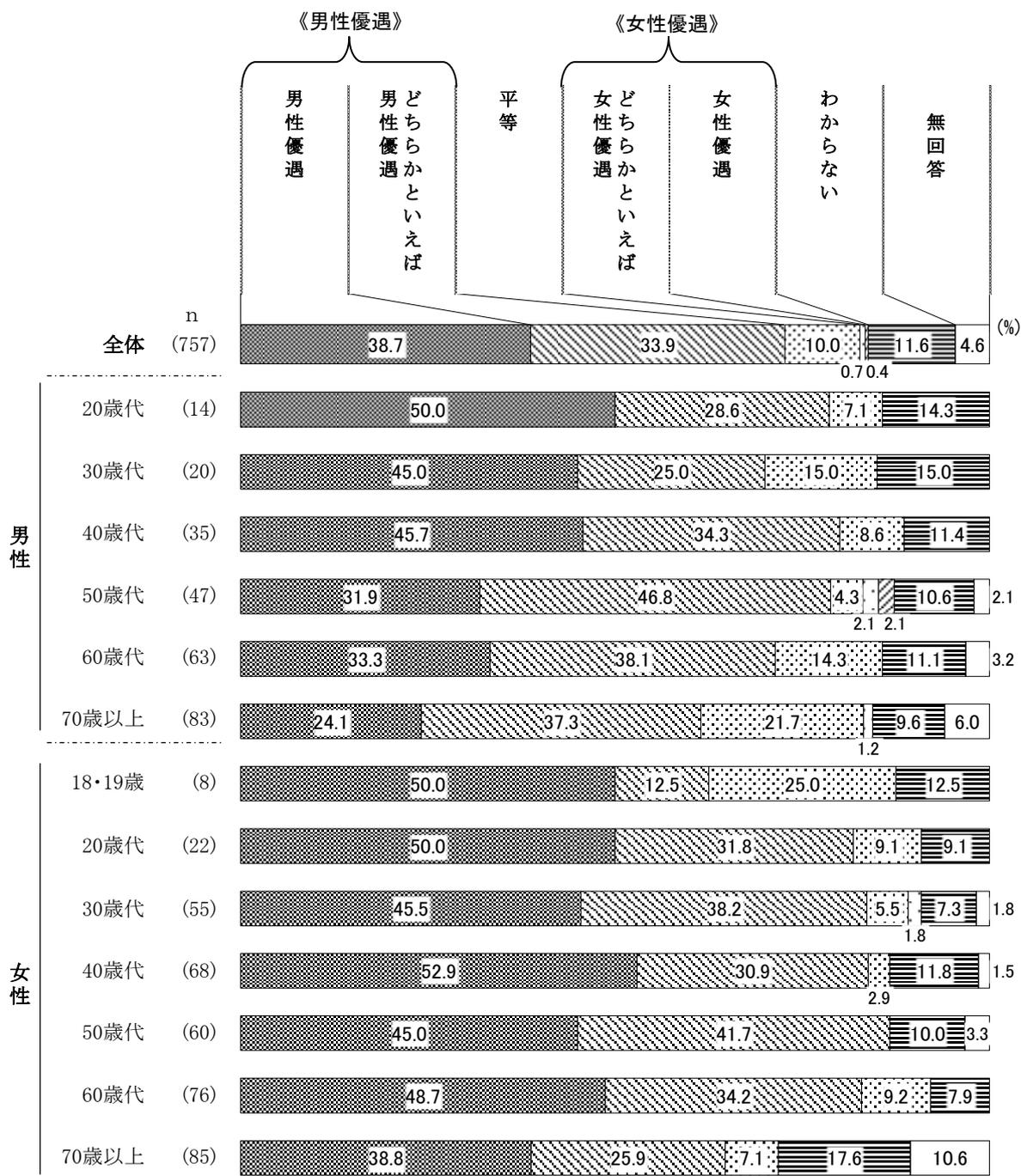


『政治の場で』について、性別で見ると、「平等」は男性で13.6%、女性で5.8%と7.8ポイント男性が女性を上回っている。《男性優遇》は男性が70.6%、女性が79.1%と8.5ポイント女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、「平等」は上尾市で10.0%、国で14.4%と4.4ポイント上尾市が下回っている。「男性優遇」は上尾市女性で46.3%、全国女性で37.9%と8.4ポイント上尾市女性が上回っている。

④政治の場で

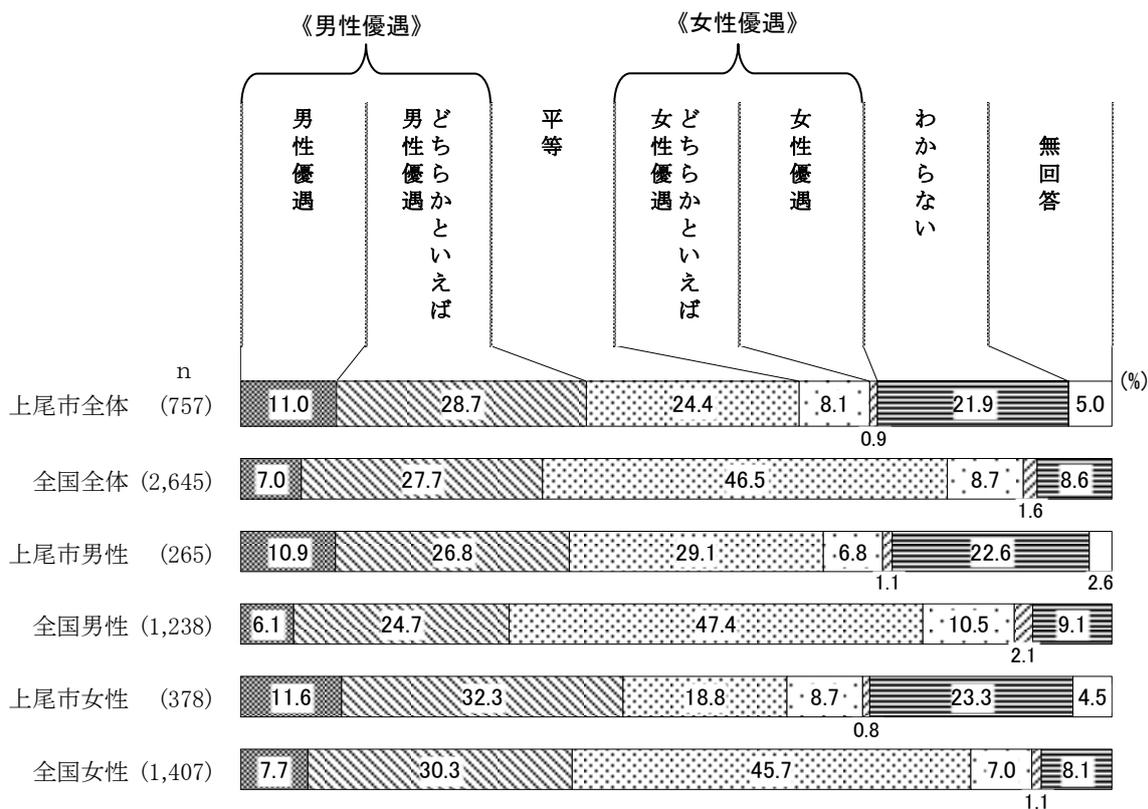
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「男性優遇」は男性40歳代で45.7%、女性40歳代で52.9%と最も多くなっている。《男性優遇》は女性でほとんどの年代で8割台となっているが、70歳以上では6割台となっている。「平等」は男性70歳以上で21.7%と多くなっている。《女性優遇》は男性50歳代・70歳以上、女性30歳代を除いたすべての年代で回答はなかった。

⑤自治会やPTA等の地域活動の場で

【性別／国との比較】

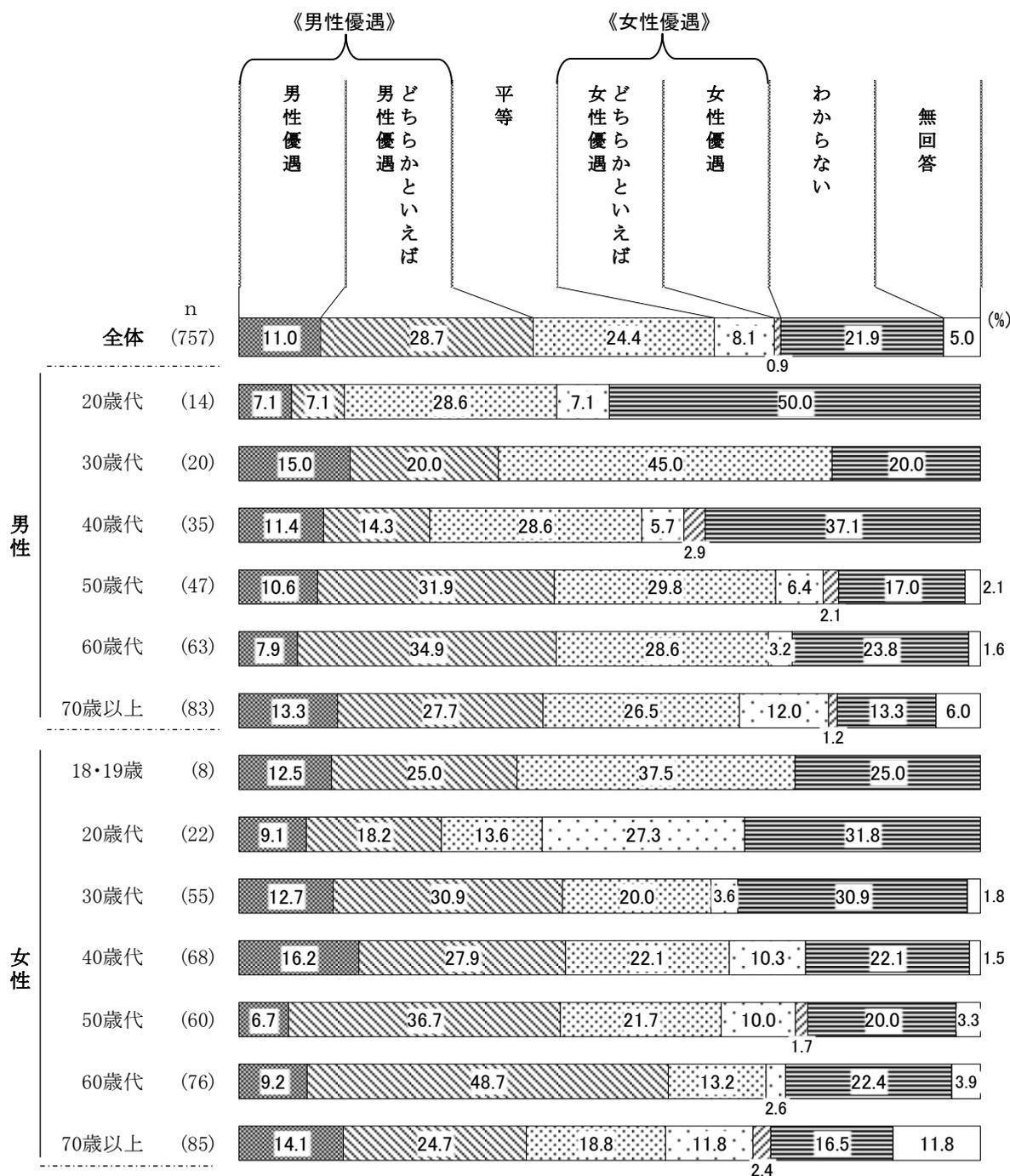


『自治会やPTA等の地域活動の場で』について、性別で見ると、「平等」は男性で29.1%、女性で18.8%と10.3ポイント男性が女性を上回っている。

国の調査と比較すると、《男性優遇》は上尾市で39.7%、国で34.7%と5.0ポイント上尾市が上回っている。「平等」は上尾市女性で18.8%、全国女性で45.7%と26.9ポイント上尾市女性を下回っている。

⑤自治会やPTA等の地域活動の場で

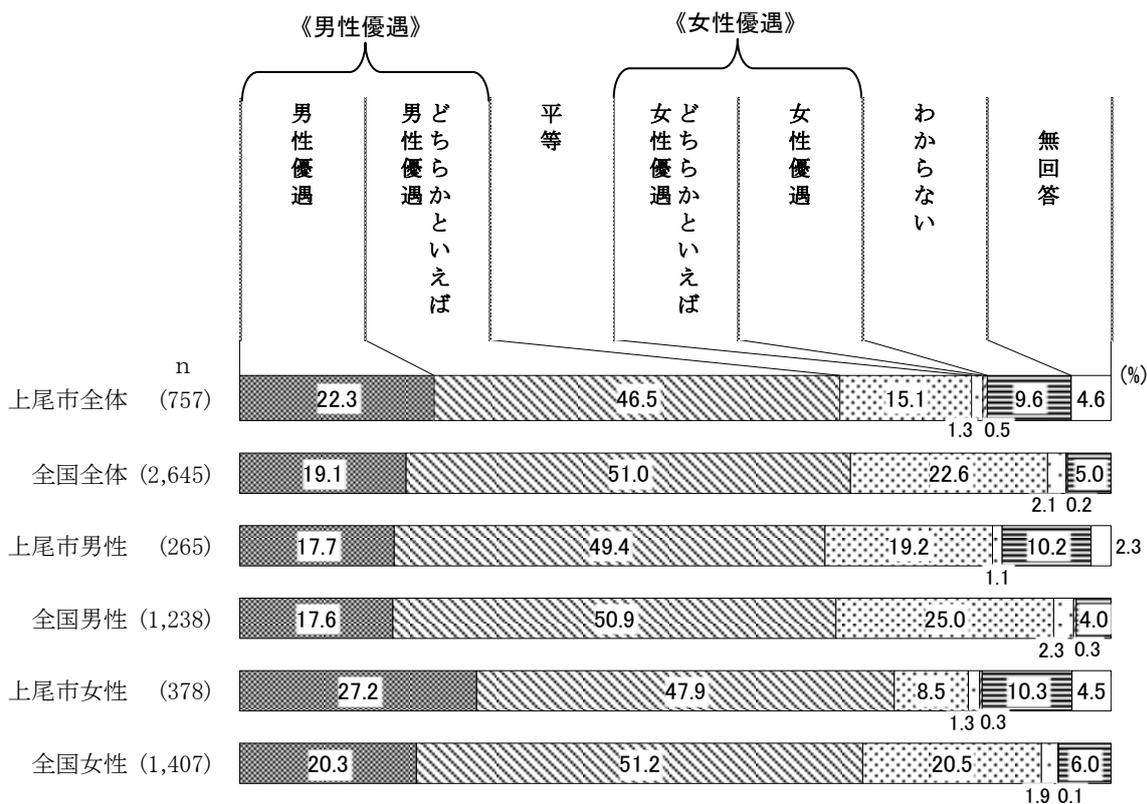
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、《男性優遇》は男性40歳代で25.7%と少なくなっている。女性では60歳代で57.9%と最も多くなっている。「どちらかといえば女性優遇」は男性70歳以上、女性40歳代・50歳代・70歳以上で1割以上となっている。

⑥社会通念や風潮（慣習・しきたり）で

【性別／国との比較】

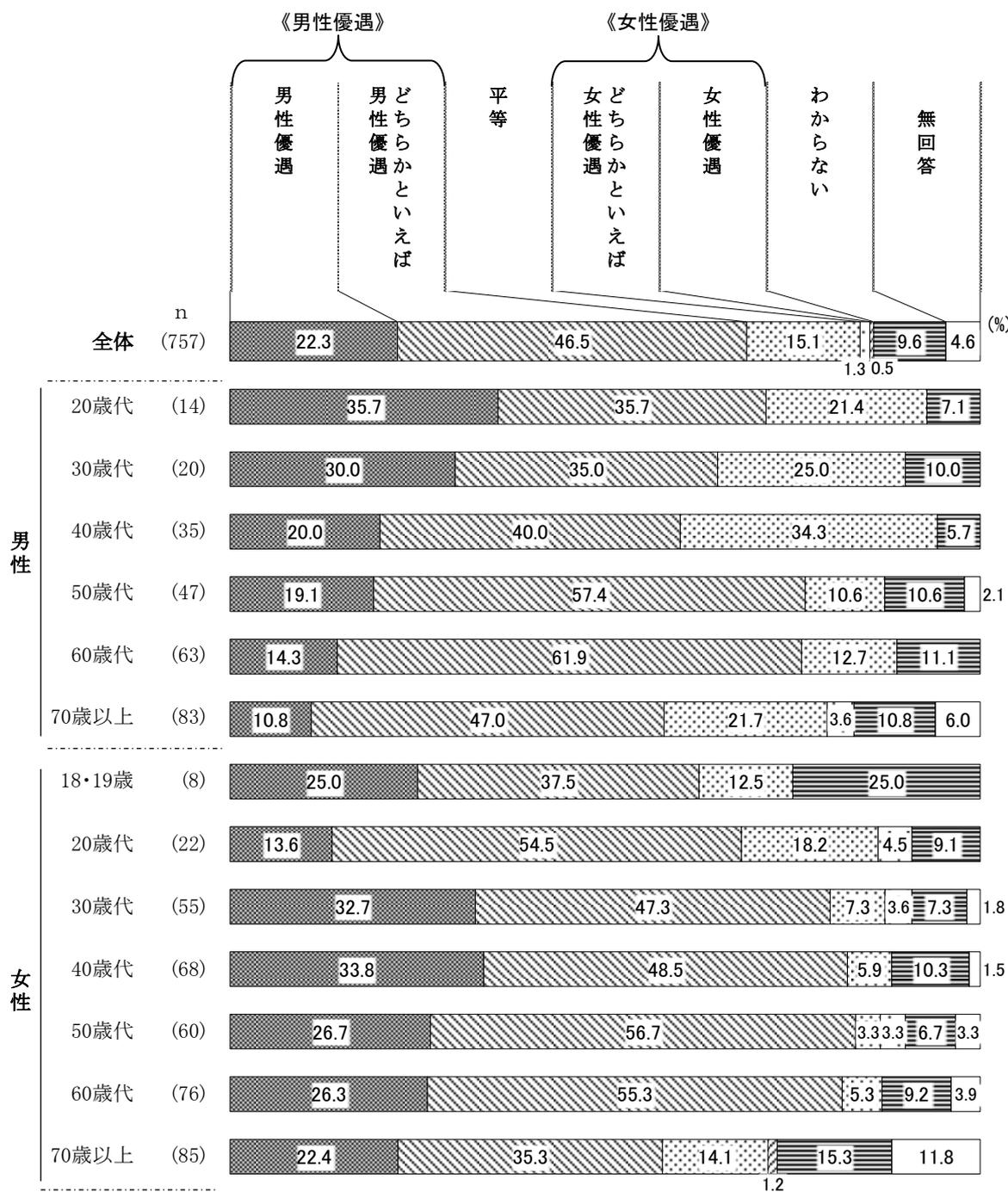


『社会通念や風潮（慣習・しきたり）で』について、「男性優遇」は男性で17.7%、女性で27.2%と9.5ポイント女性が男性を上回っている一方で、「平等」は男性で19.2%、女性で8.5%と、10.7ポイント男性が女性を上回っている。

国の調査と比較すると、「平等」は上尾市で15.1%、国で22.6%と7.5ポイント上尾市が下回っている。「男性優遇」は上尾市女性で27.2%、全国女性で20.3%と6.9ポイント上尾市女性が上回っている。

⑥社会通念や風潮（慣習・しきたり）で

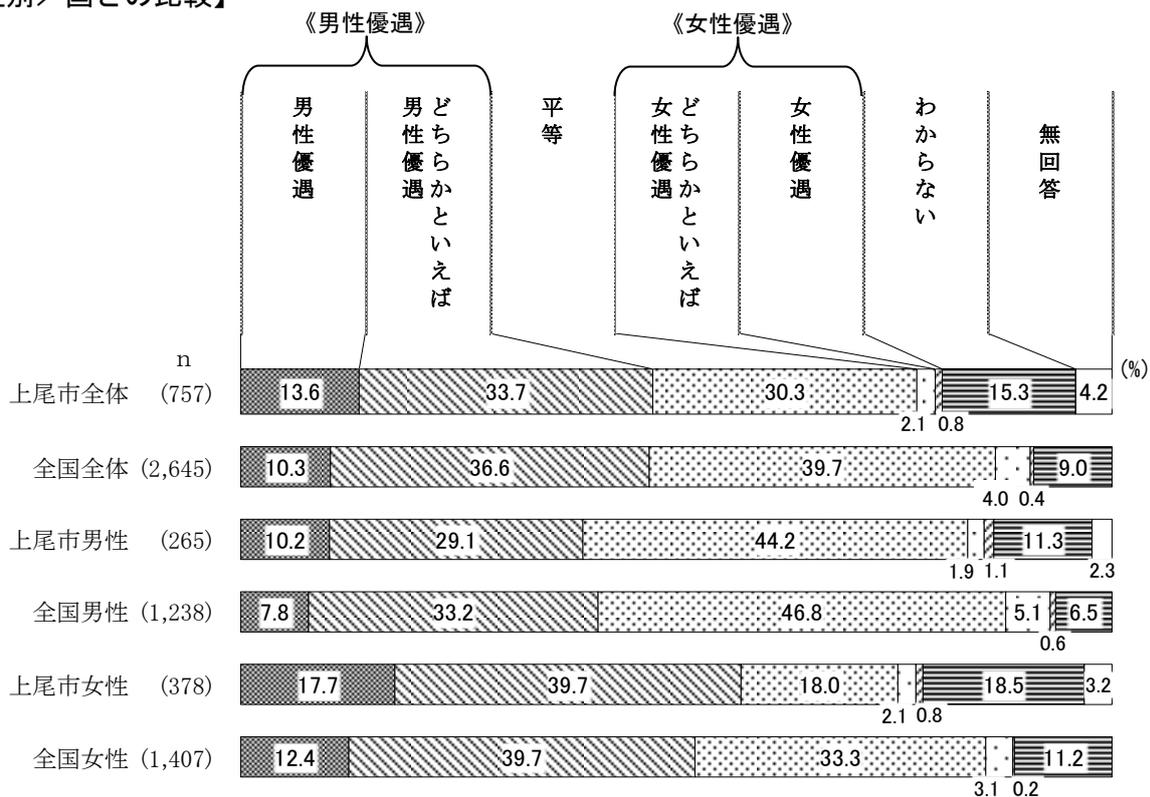
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「男性優遇」は男性50歳代で76.5%、60歳代で76.2%と約8割と多くなっている。「男性優遇」は女性30歳代で32.7%、40歳代で33.8%と3割以上となっている。「平等」は男性40歳代で34.3%と3割以上となっている。

⑦法律や制度で

【性別／国との比較】

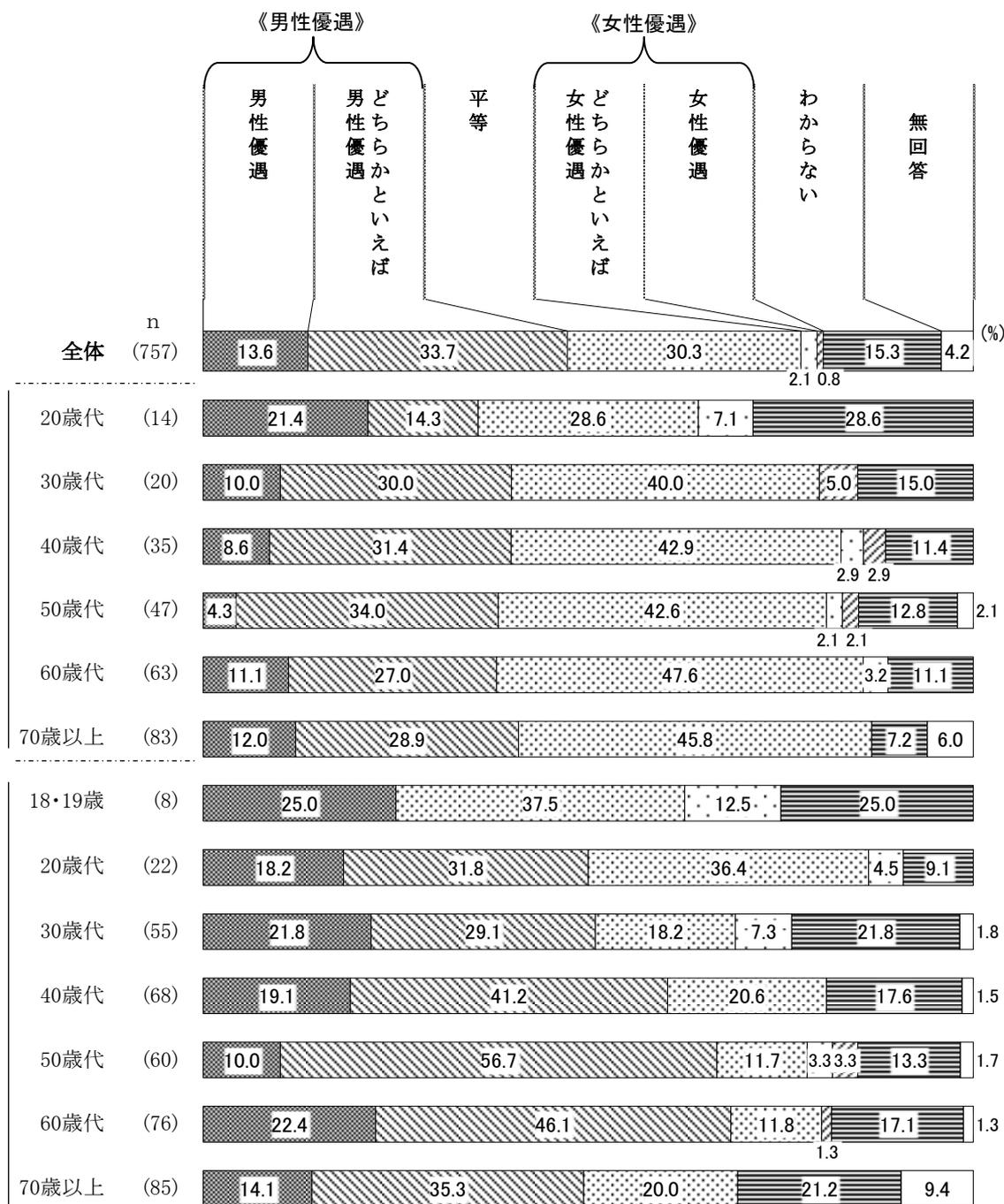


『法律や制度で』について、性別で見ると、《男性優遇》は男性で39.3%、女性で57.4%と18.1ポイント女性が男性を上回っている。「平等」は男性で44.2%、女性で18.0%と26.2ポイント男性が女性を上回っている。

国の調査と比較すると、「平等」は上尾市女性で18.0%、全国女性で33.3%と15.3ポイント上尾市女性が下回っている。

⑦法律や制度で

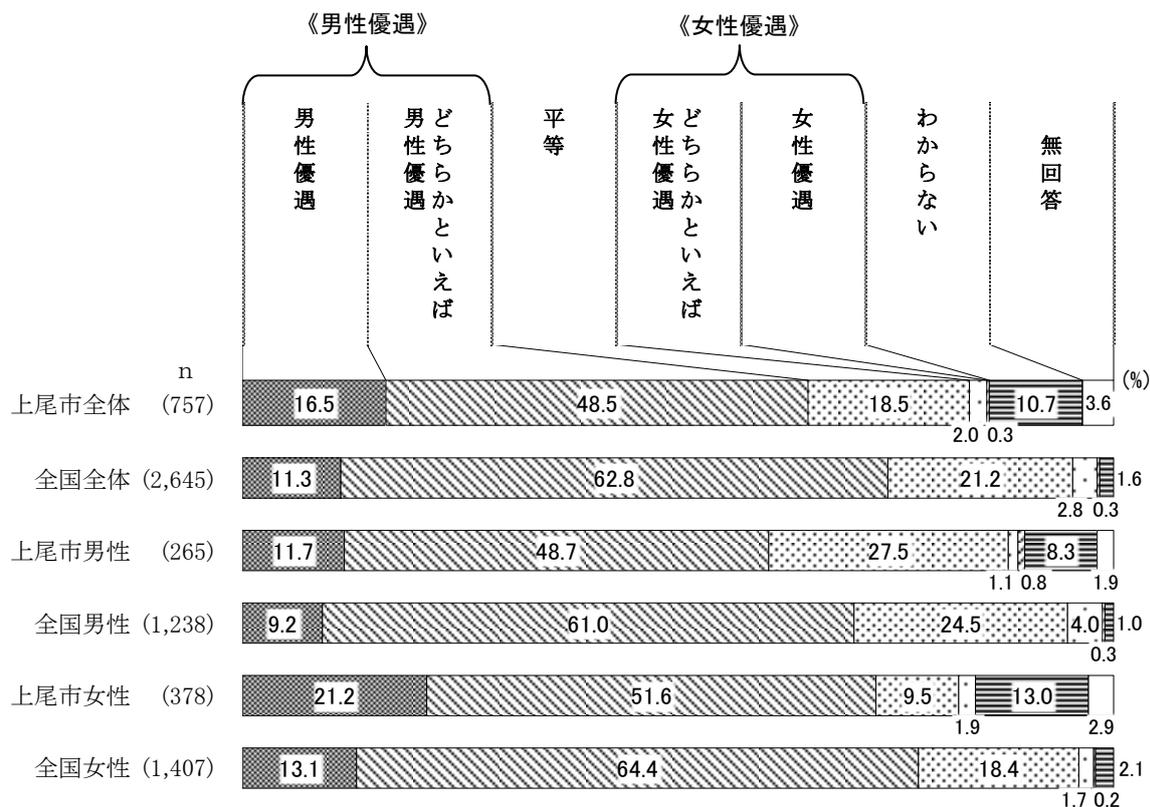
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「男性優遇」は男性50歳代で4.3%、女性50歳代で10.0%と少なくなっている。「平等」は女性50歳代・60歳代で1割台と少なくなっている。

⑧社会全体で

【性別／国との比較】

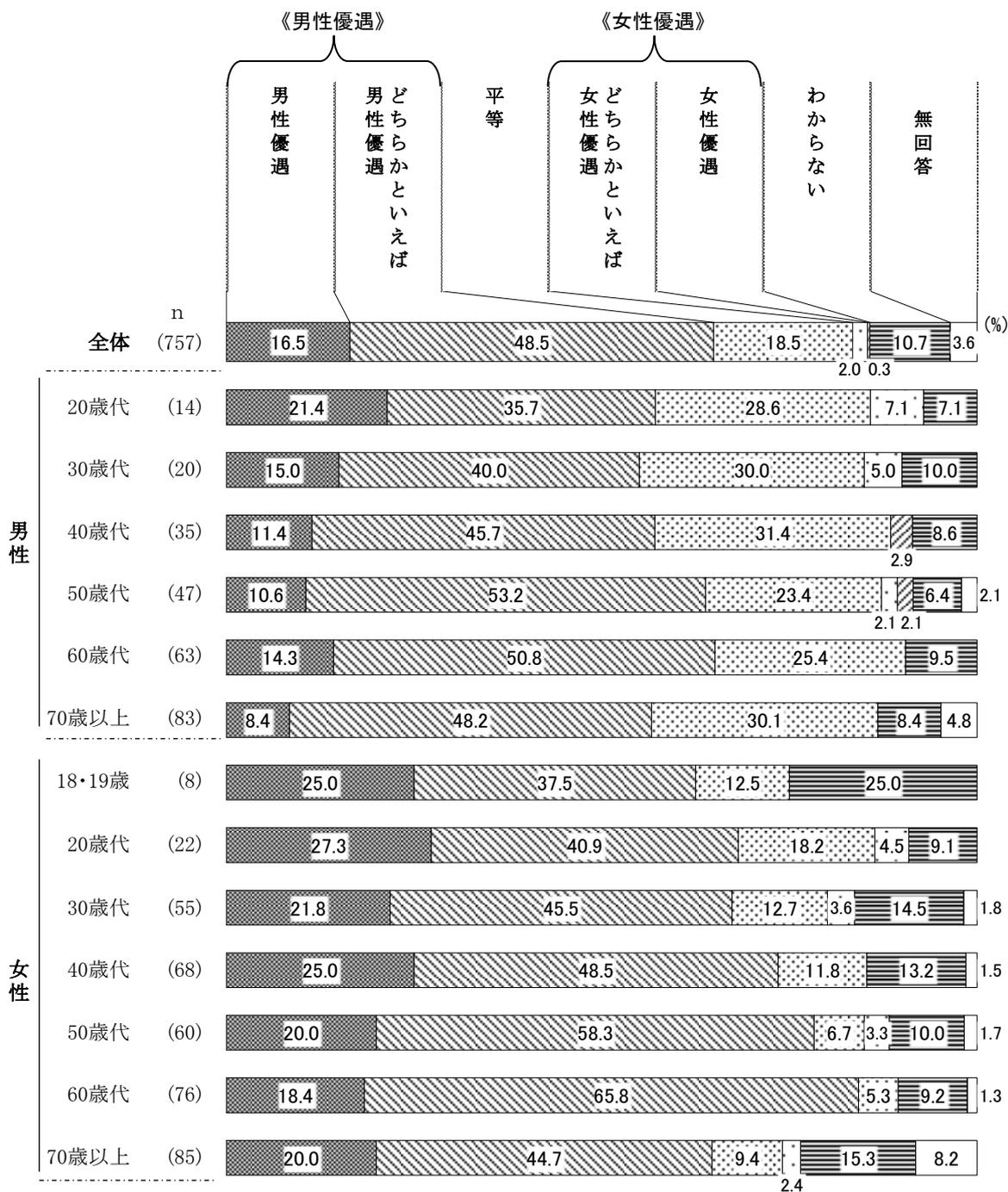


『社会全体で』について、性別で見ると、「男性優遇」は男性で11.7%、女性で21.2%と9.5ポイント女性が男性を上回っている。「平等」は男性で27.5%、女性で9.5%と18.0ポイント男性が女性を上回っている。

国の調査と比較すると、「男性優遇」は上尾市で16.5%、国で11.3%と5.2ポイント上尾市が上回っている。「平等」は上尾市で48.5%、全国で62.8%と14.3ポイント上尾市が下回っている。

⑧社会全体で

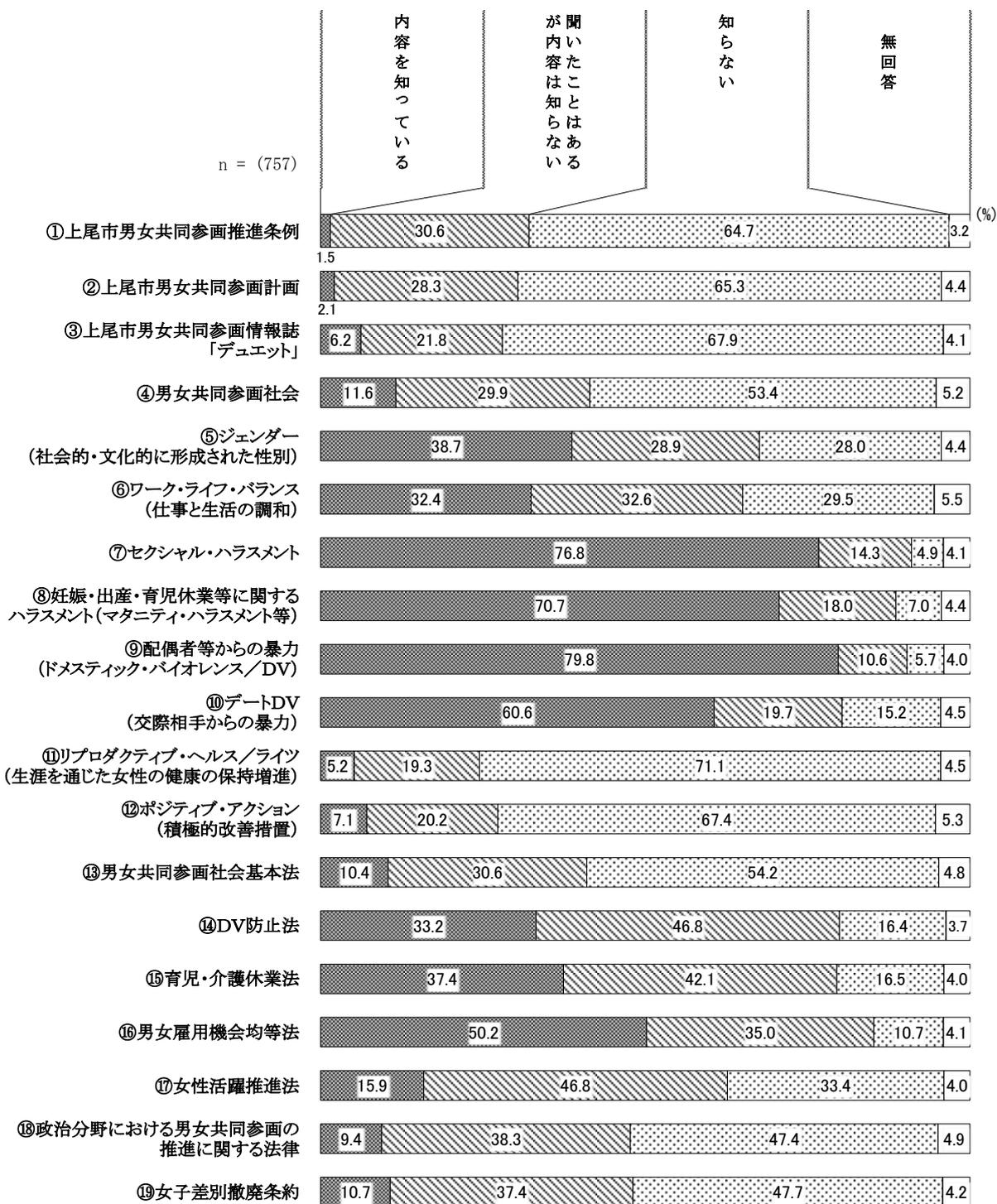
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「どちらかといえば男性優遇」は女性60歳代で65.8%と約7割となっている。「平等」は女性30歳代・40歳代で1割以上となっている。

(3) 言葉の認知度について

問6 男女共同参画に関する以下の事柄について、内容を知っていますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

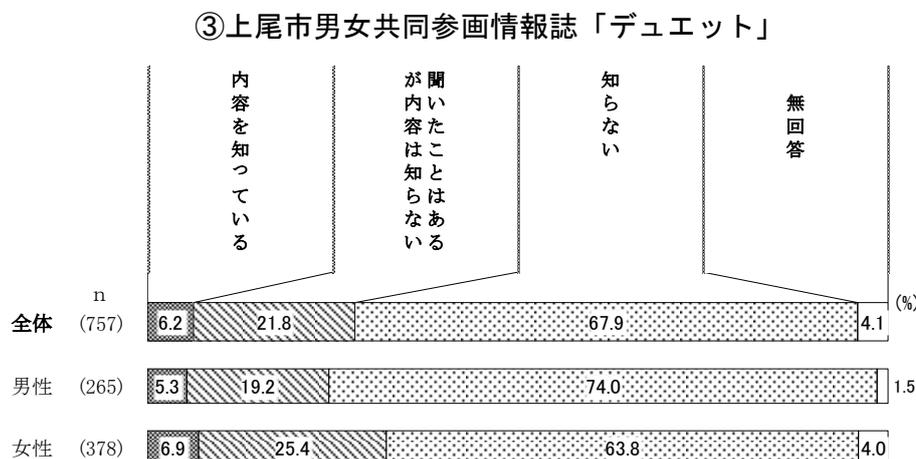
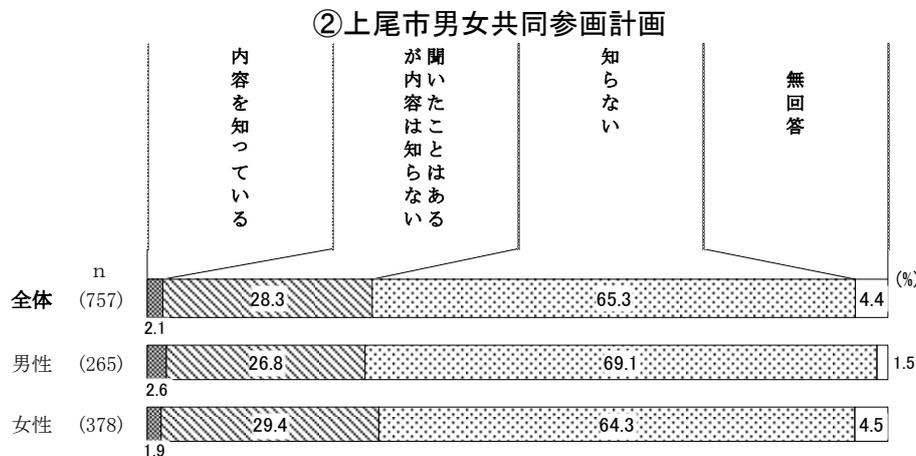
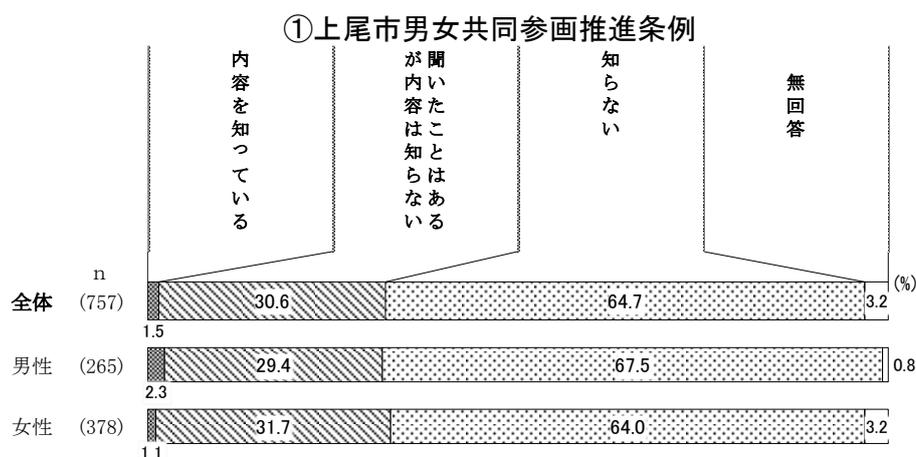


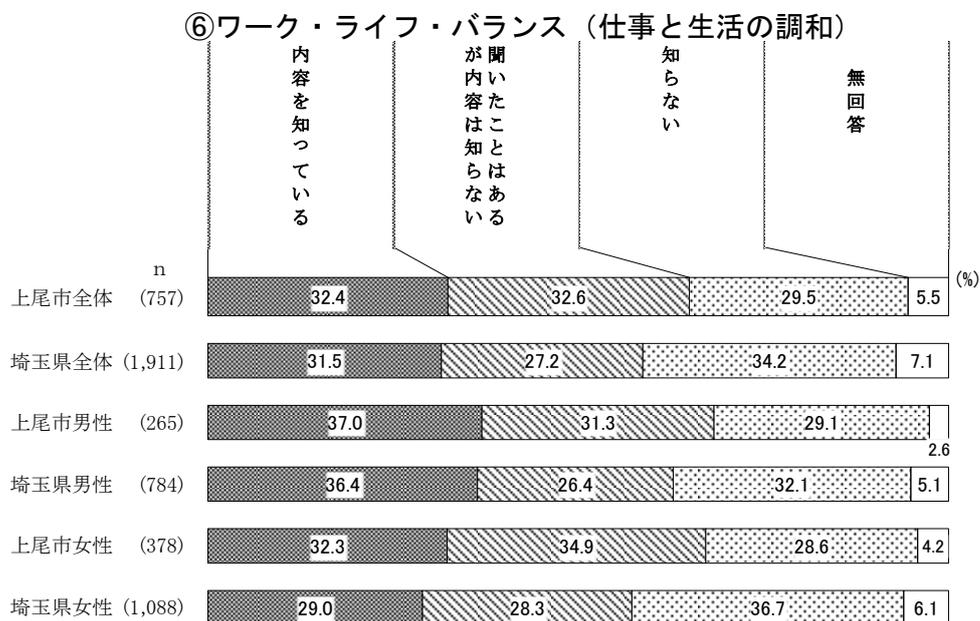
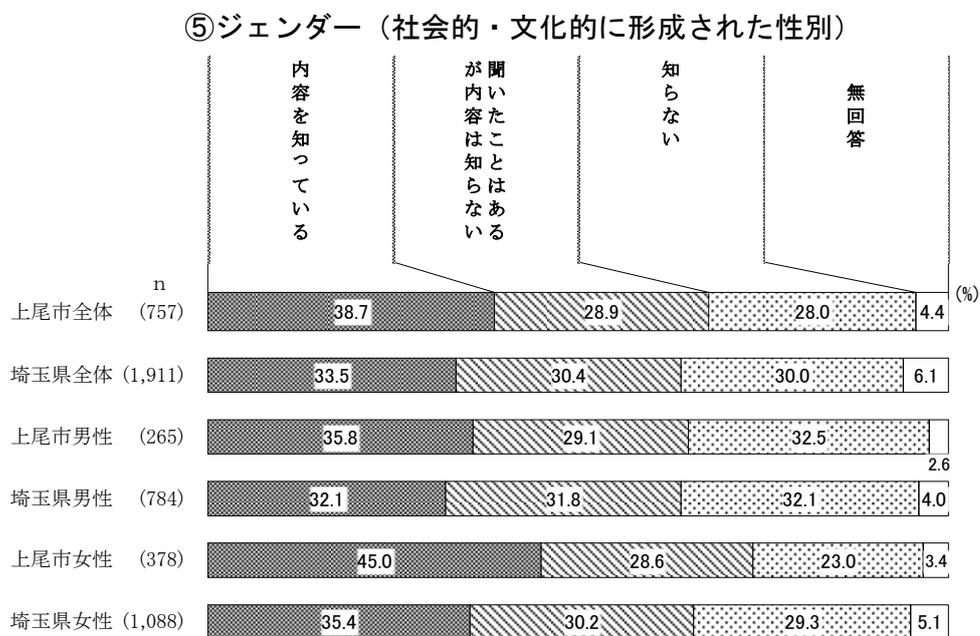
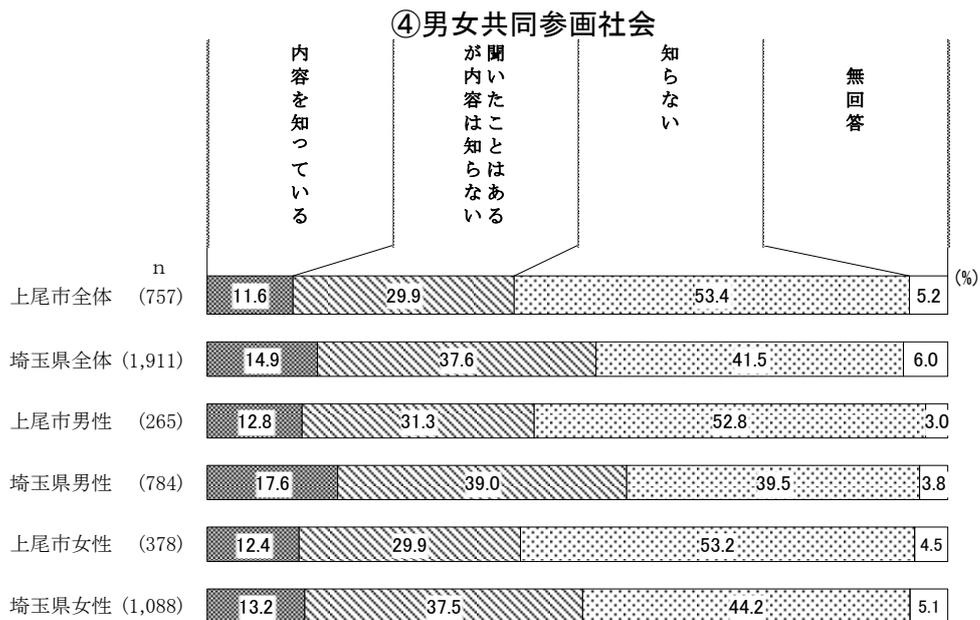
男女共同参画に関する言葉の認知度について、「内容を知っている」は『配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス/DV)』で79.8%と最も多く、『上尾市男女共同参画推進条例』で1.5%と最も少なくなっている。

【性別／埼玉県との比較】

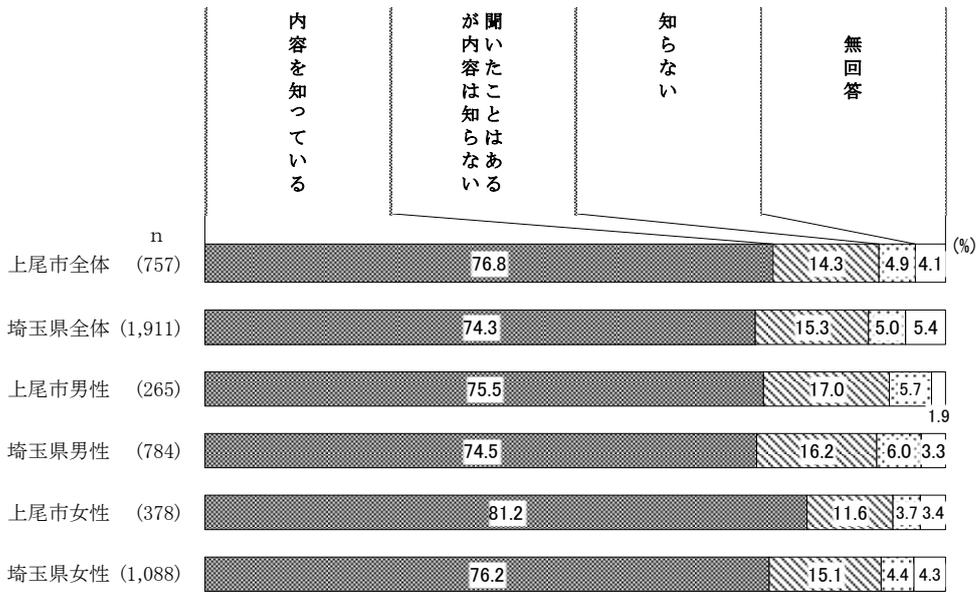
各項目について性別でみると、「内容を知っている」は、あまり大きな違いがみられないものが8項目となっており、『ワーク・ライフ・バランス』、『女性活躍推進法』、『政治分野における男女共同参画の推進に関する法律』で男性が女性を上回っている。「聞いたことはあるが内容は知らない」は、あまり大きな違いがみられないものが6項目、『上尾市男女共同参画情報誌「デュエット」』、『ワーク・ライフ・バランス』で女性が男性を上回っているが、それ以外の項目では男性が女性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「内容を知っている」は、『男女共同参画社会』以外の項目では、上尾市が埼玉県を上回っており、特に『妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント』、『デートDV』、『DV防止法』、『育児・介護休業法』、『男女雇用機会均等法』で大きな差が見られる。

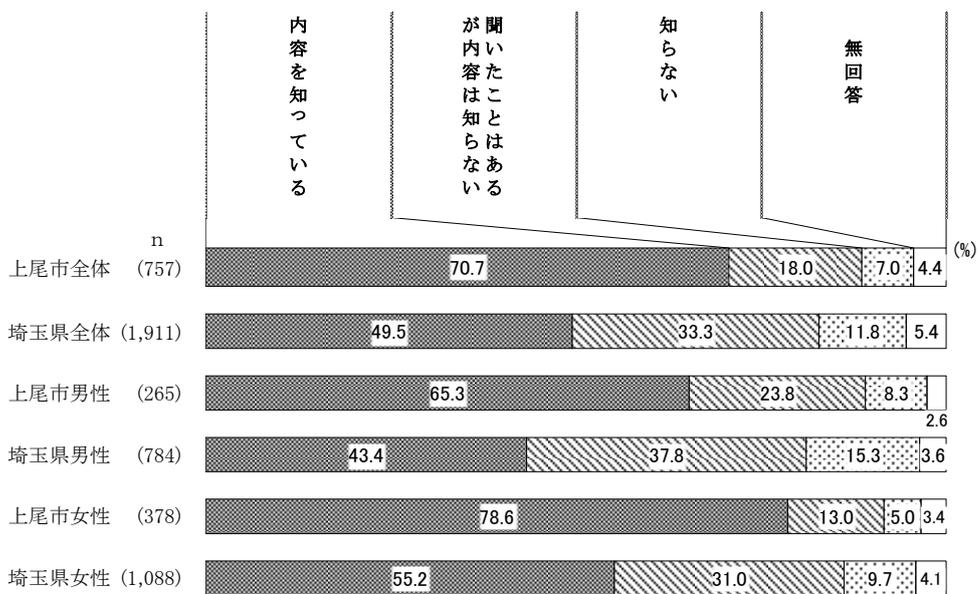




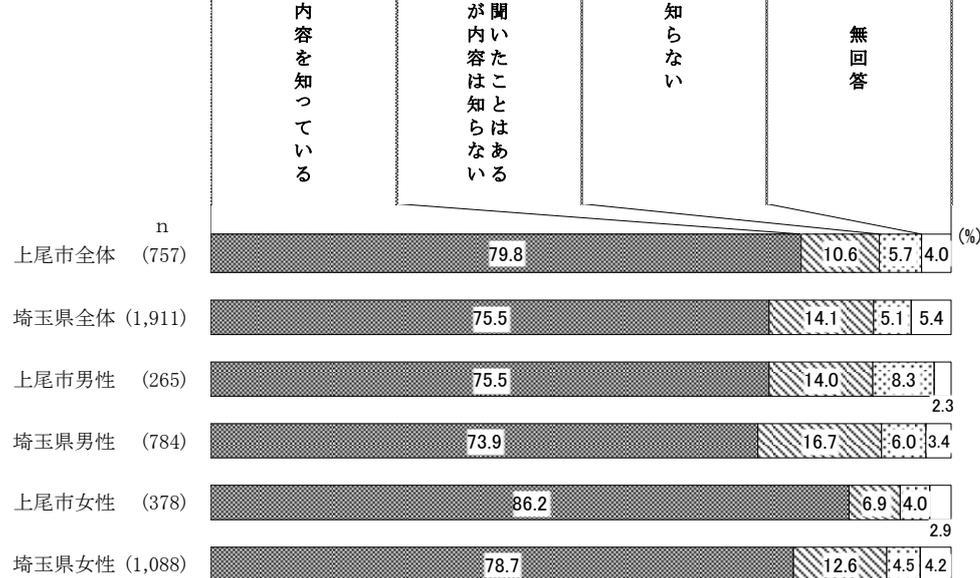
⑦セクシャル・ハラスメント



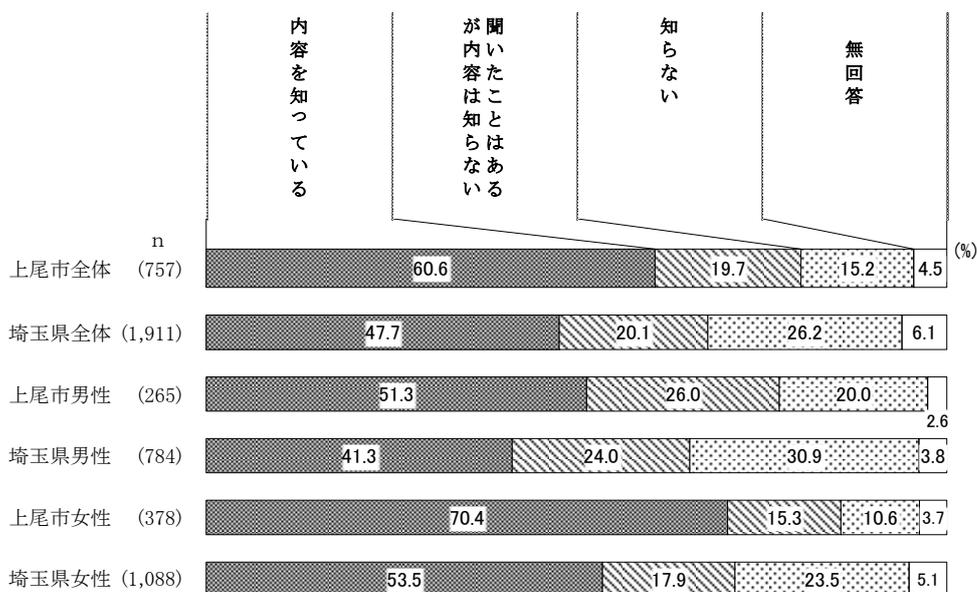
⑧妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（マタニティ・ハラスメント等）



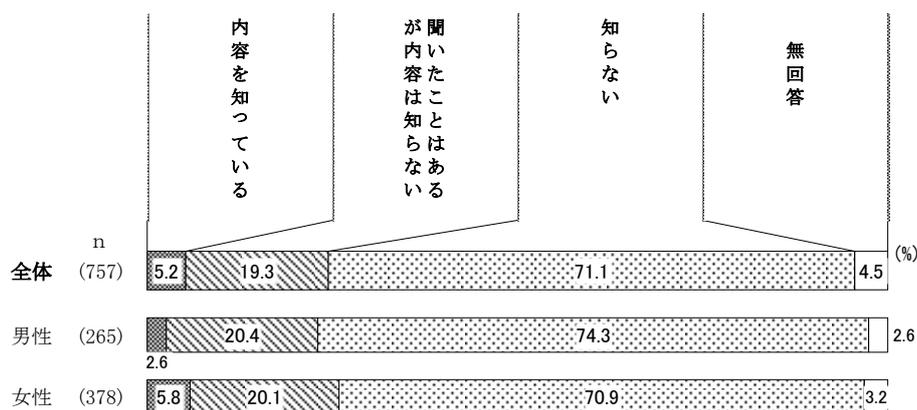
⑨配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス／DV）



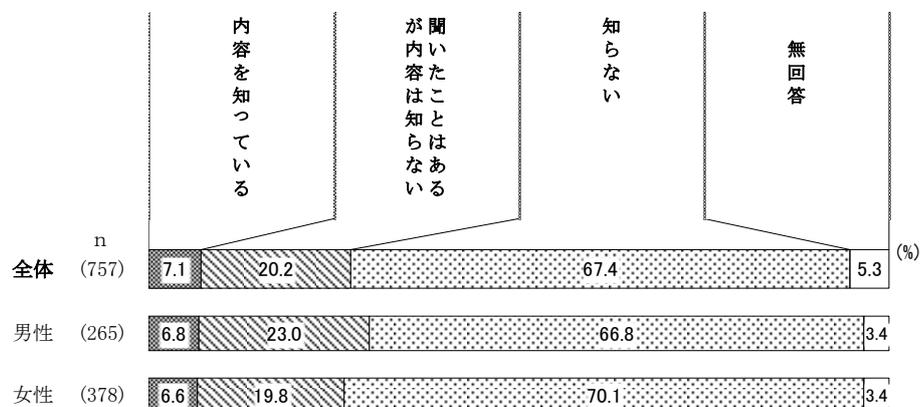
⑩デートDV（交際相手からの暴力）



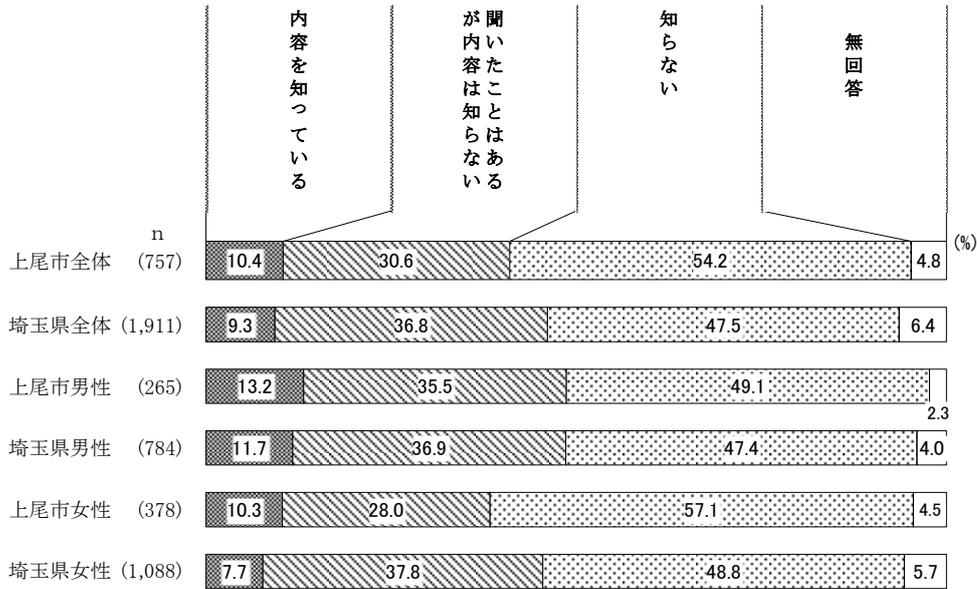
⑪リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（生涯を通じた女性の健康の保持増進）



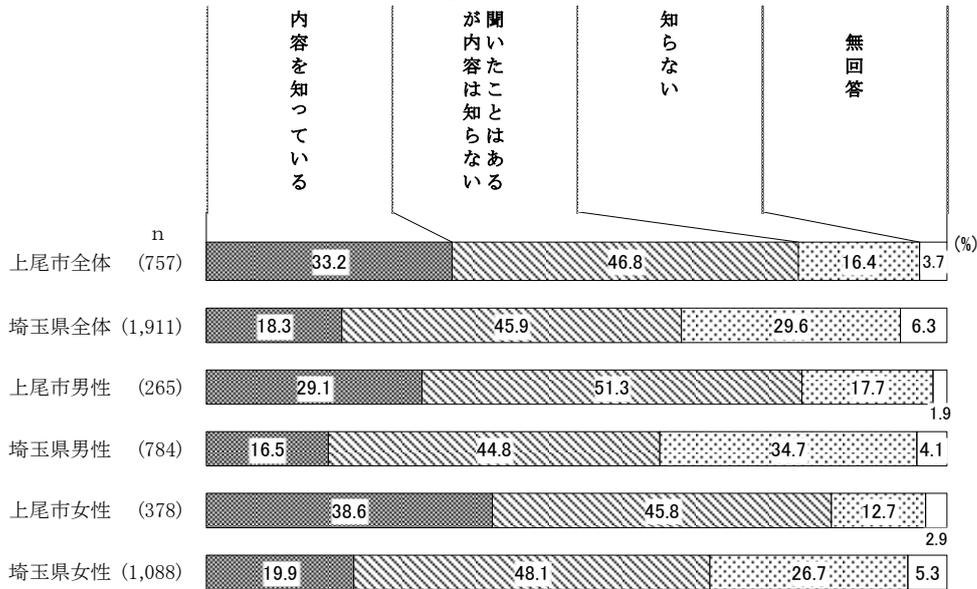
⑫ポジティブ・アクション（積極的改善措置）



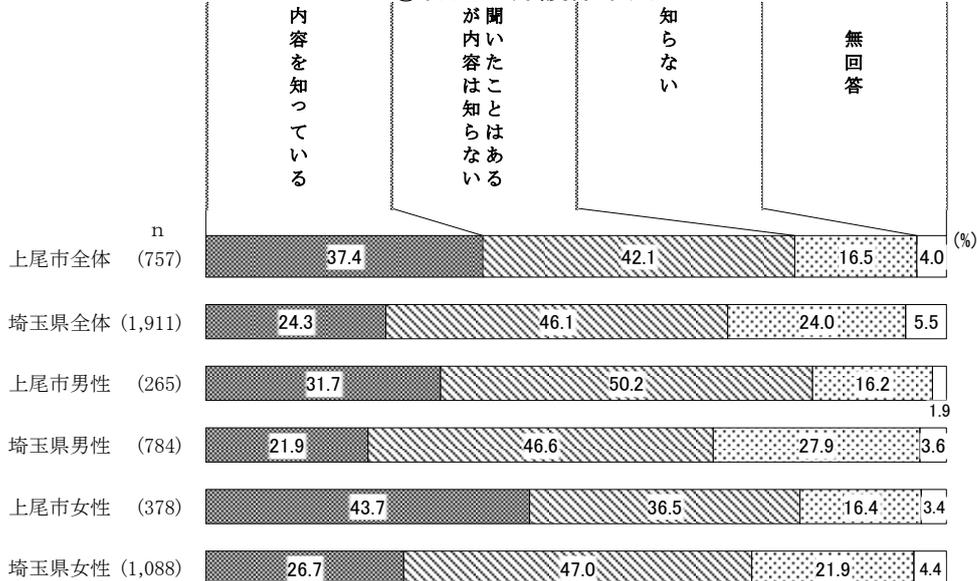
⑬男女共同参画社会基本法



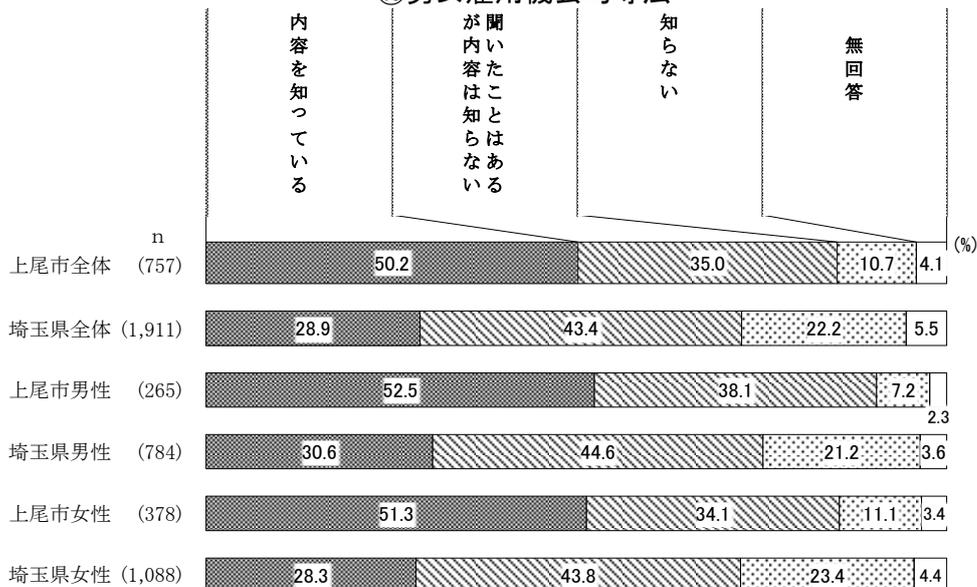
⑭DV防止法



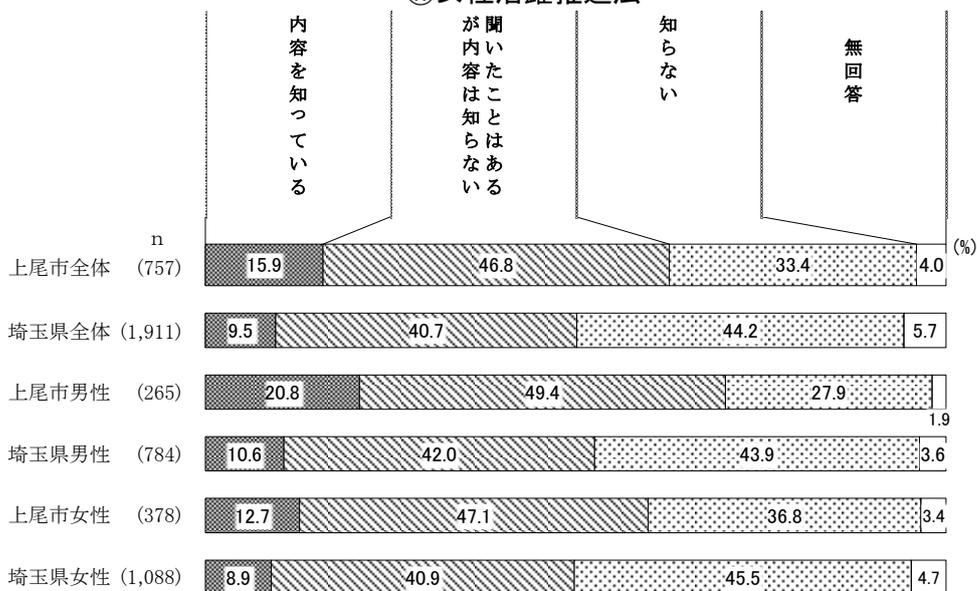
⑮育児・介護休業法



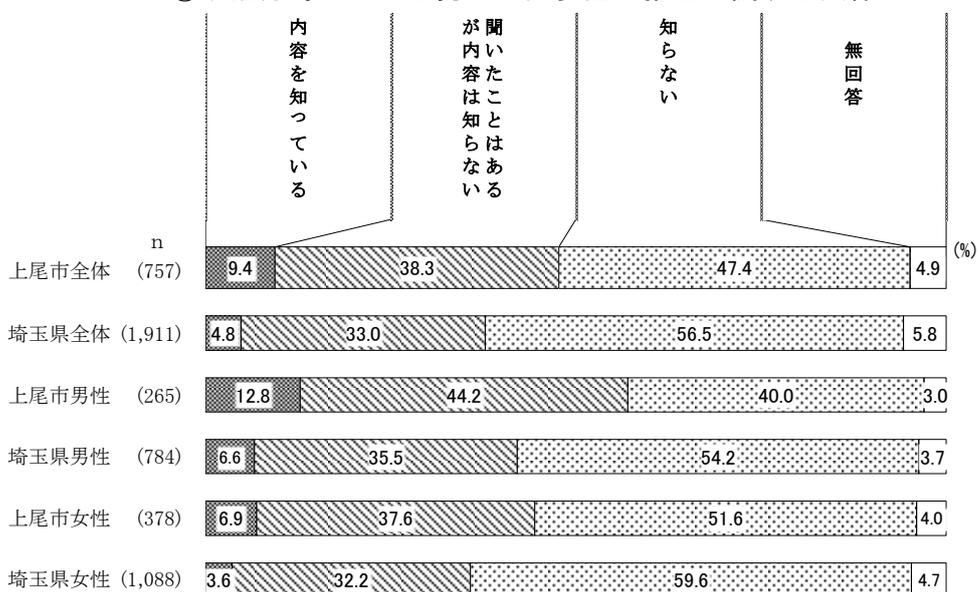
⑩男女雇用機会均等法



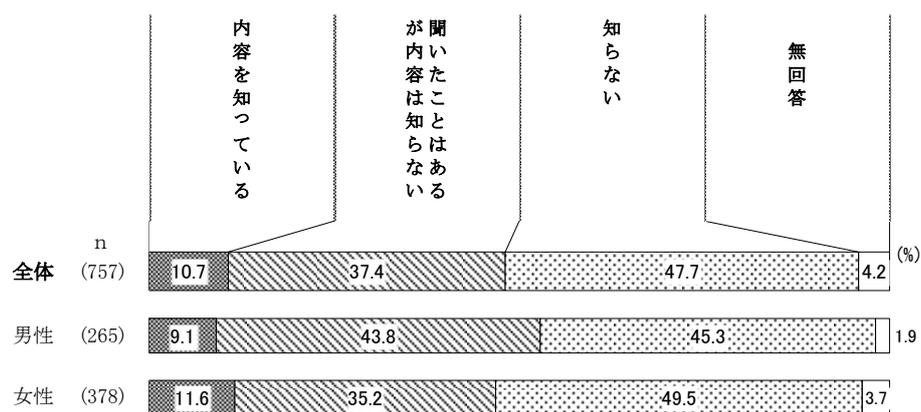
⑪女性活躍推進法



⑫政治分野における男女共同参画の推進に関する法律



⑱女子差別撤廃条約

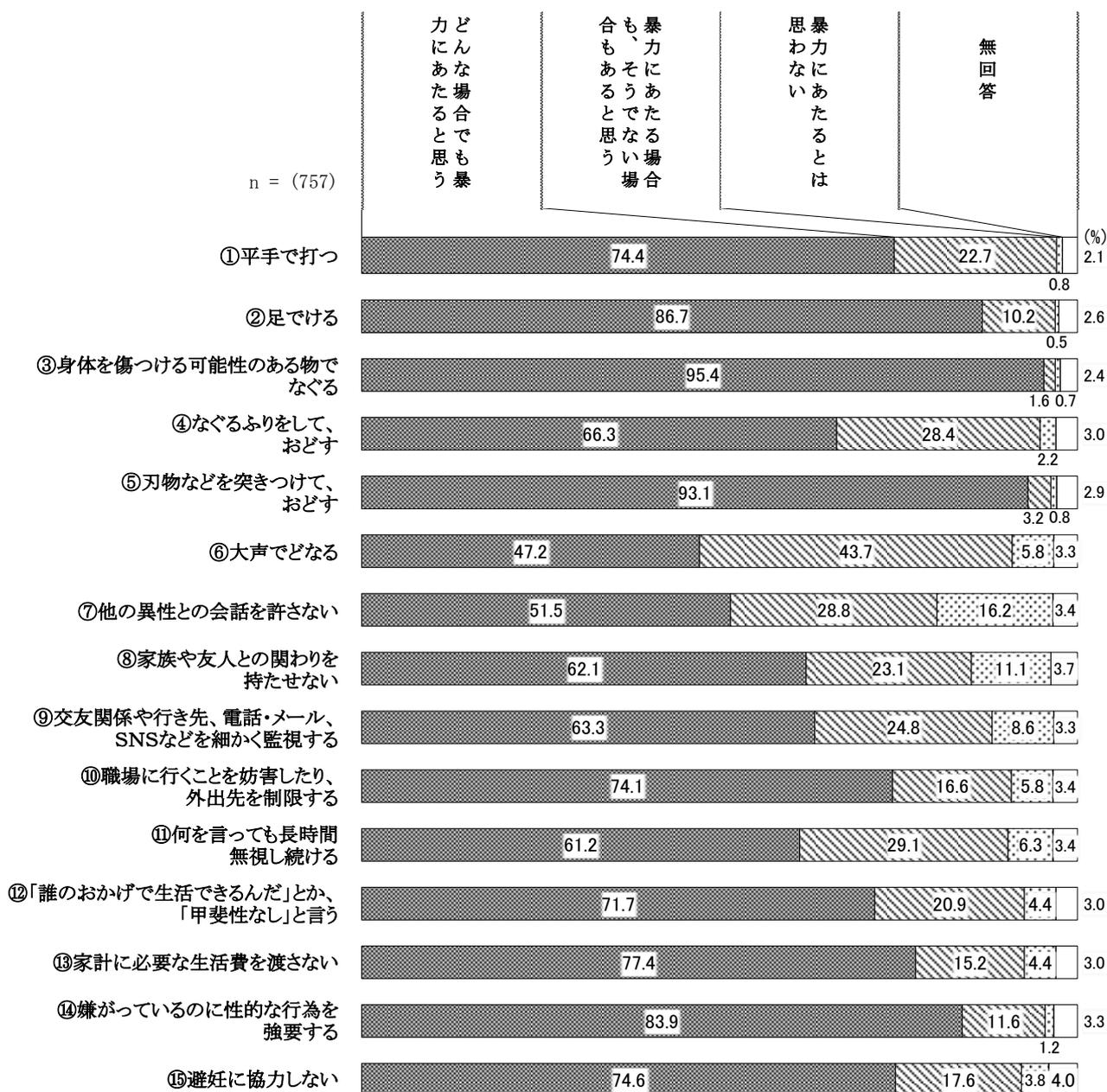


## 4. 人権について

### (1) 配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について

問7 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。

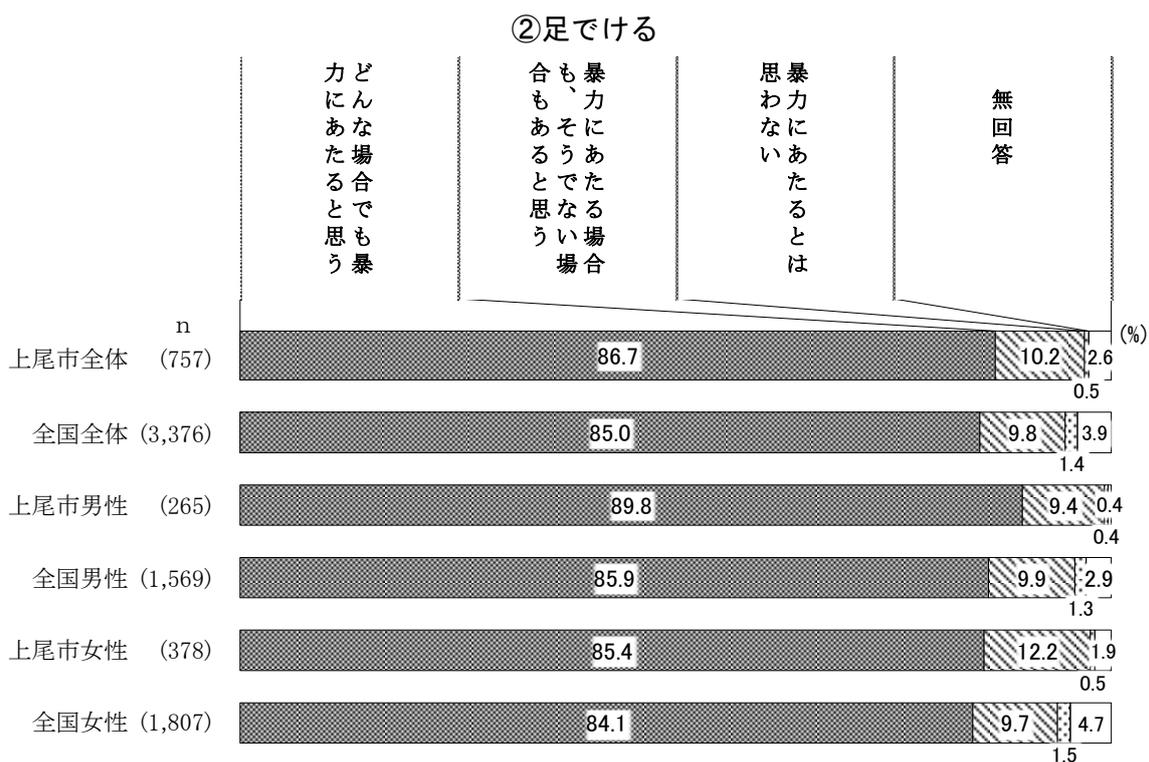
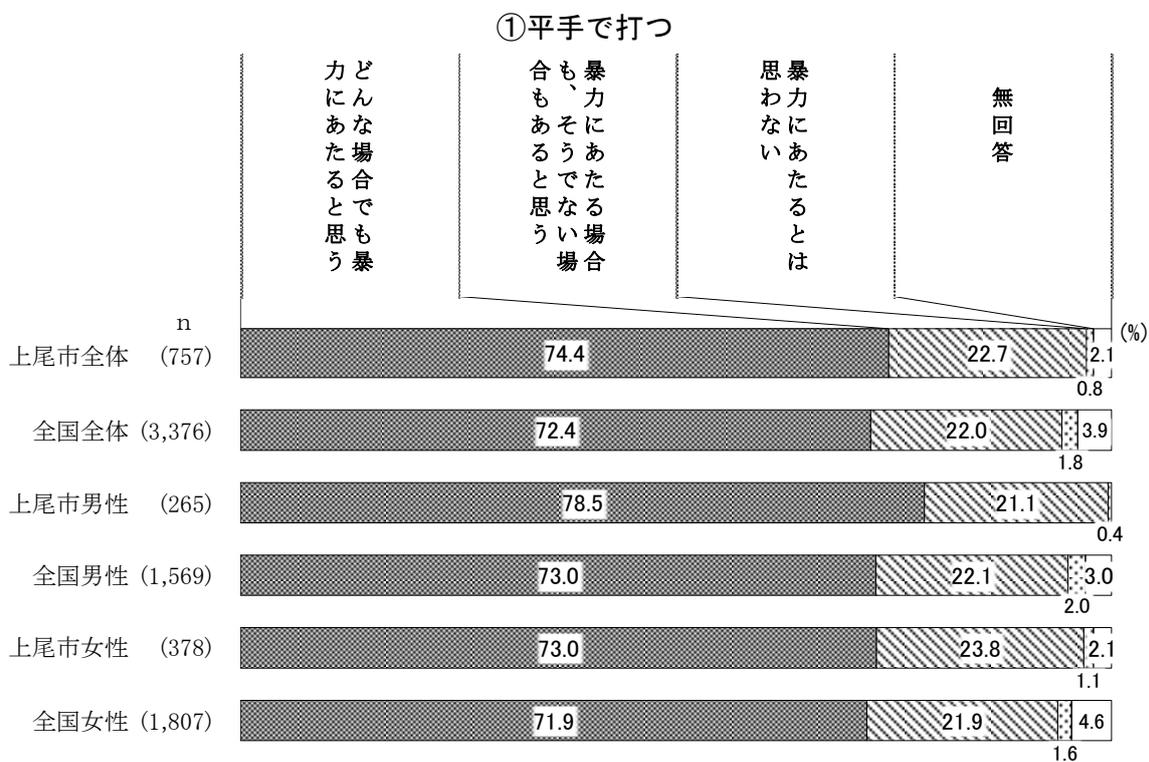


配偶者・パートナー間での行為における暴力としての認識について、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、『身体を傷つける可能性のあるものでなぐる』が95.4%と最も多く、『大声でどなる』が47.2%と最も少なくなっている。「暴力にあたるとは思わない」は、『他の異性との会話を許さない』(16.2%)、『家族や友人との関わりを持たせない』(11.1%)を除いて1割未満となっている。

【性別／国との比較】

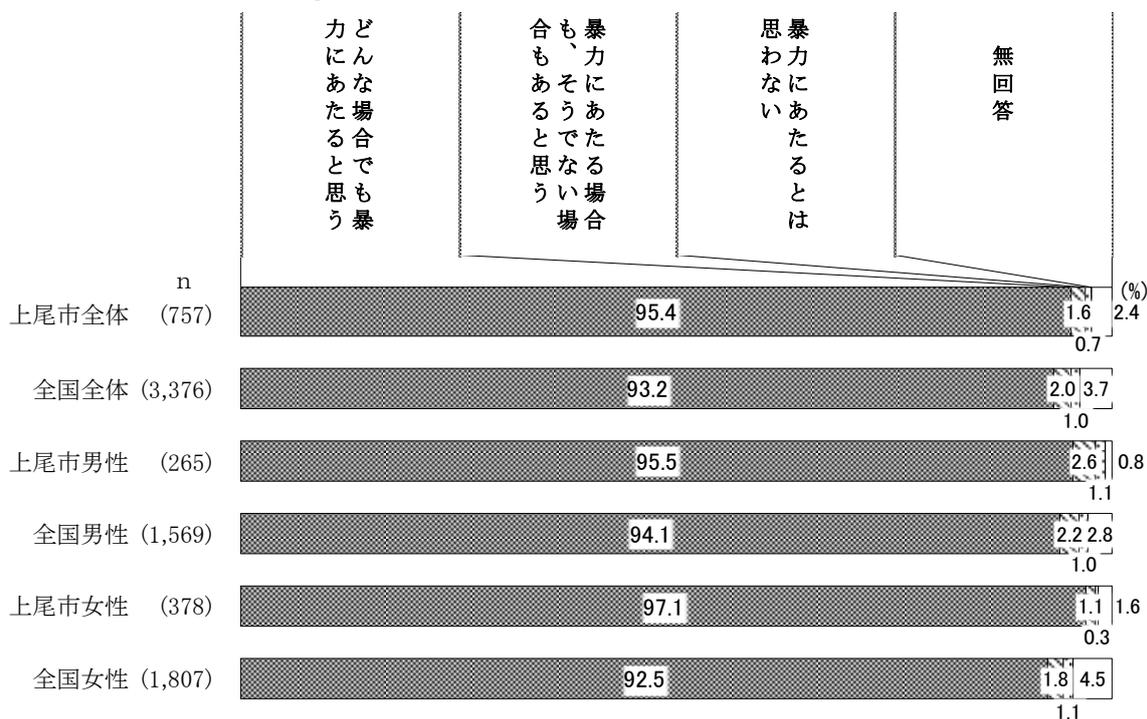
各項目について性別で見ると、『平手で打つ』、『足でける』を除いたすべての項目で、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、女性が男性を上回っている。

国の調査と比較すると、すべての項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、上尾市が国を上回っている。特に、女性で大きく上回っている項目が多い。

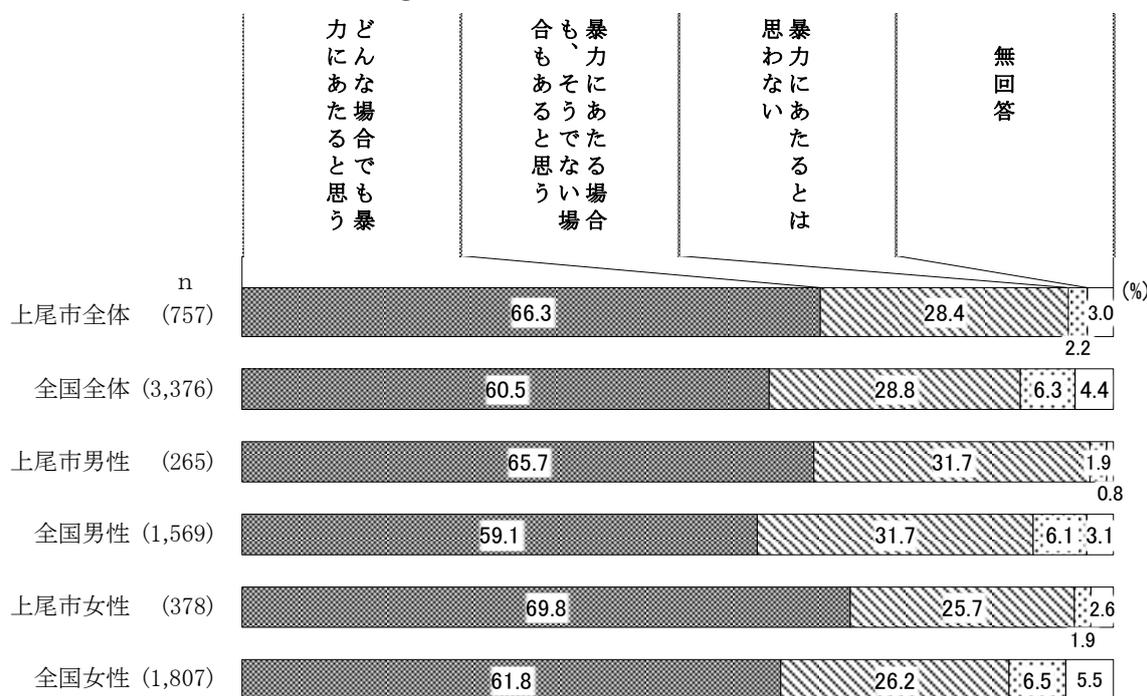


【性別／国との比較】

③身体を傷つける可能性のある物でなぐる

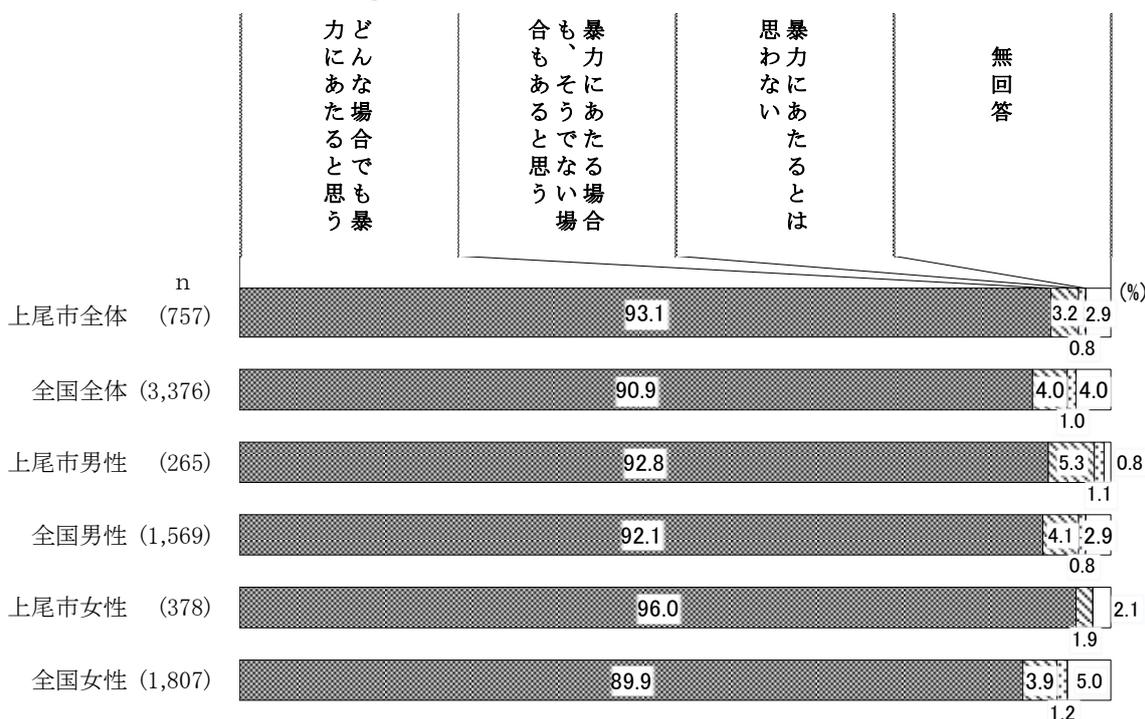


④なぐるふりをして、おどす

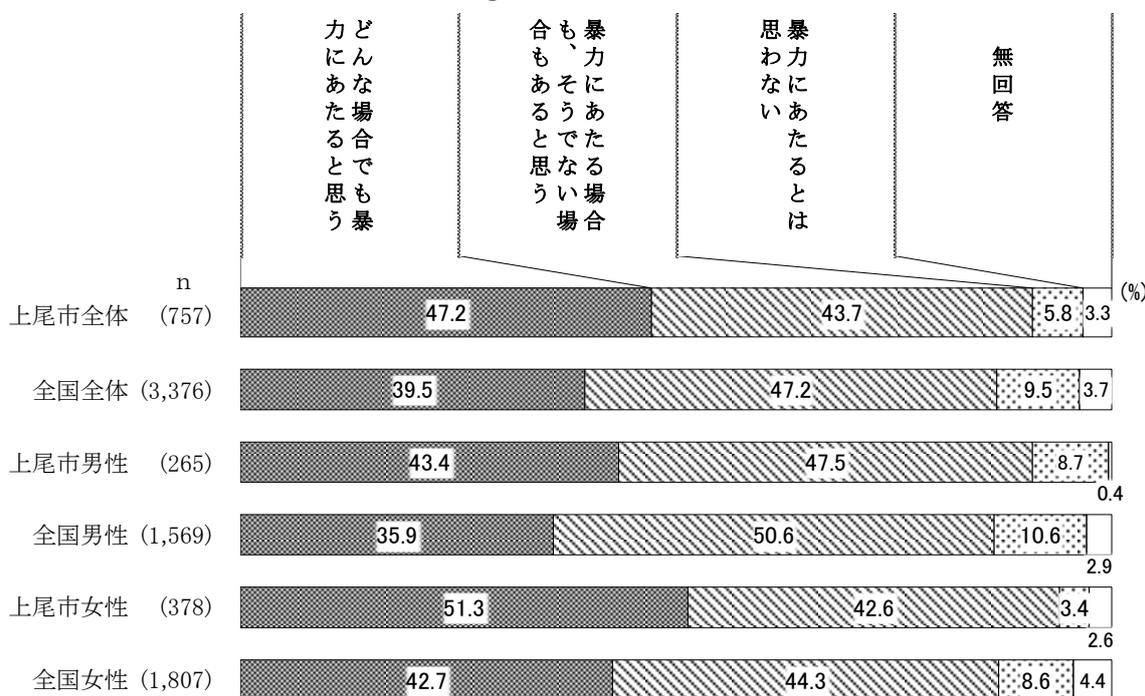


【性別／国との比較】

⑤刃物などを突きつけて、おどす

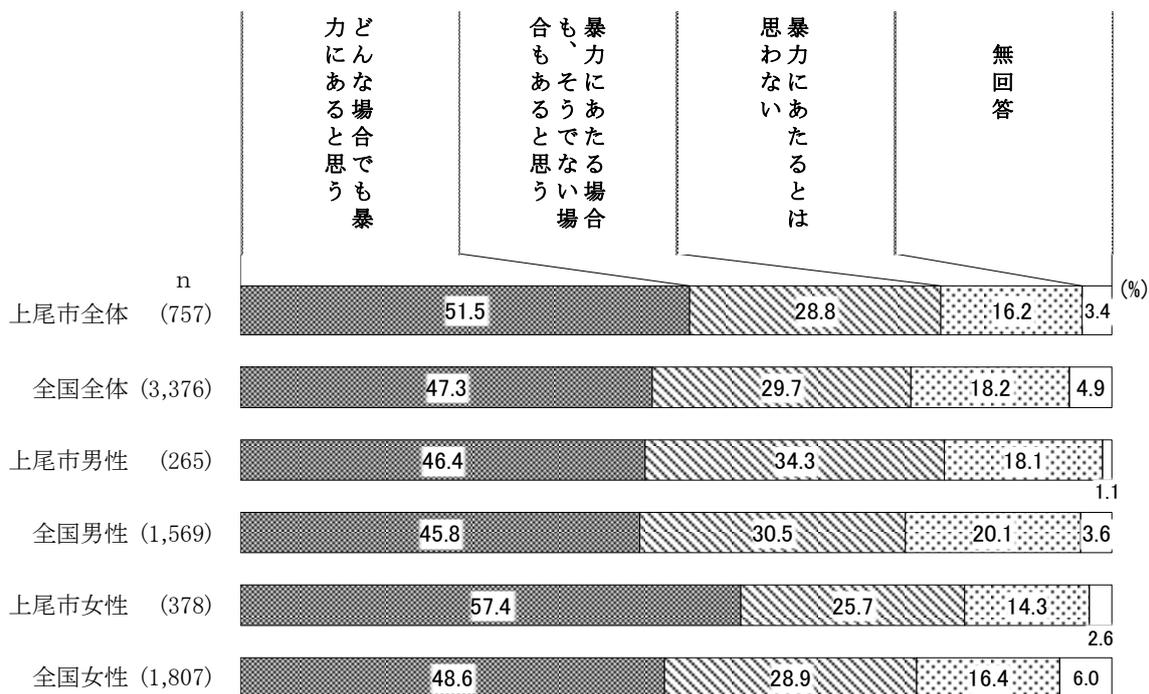


⑥大声でどなる

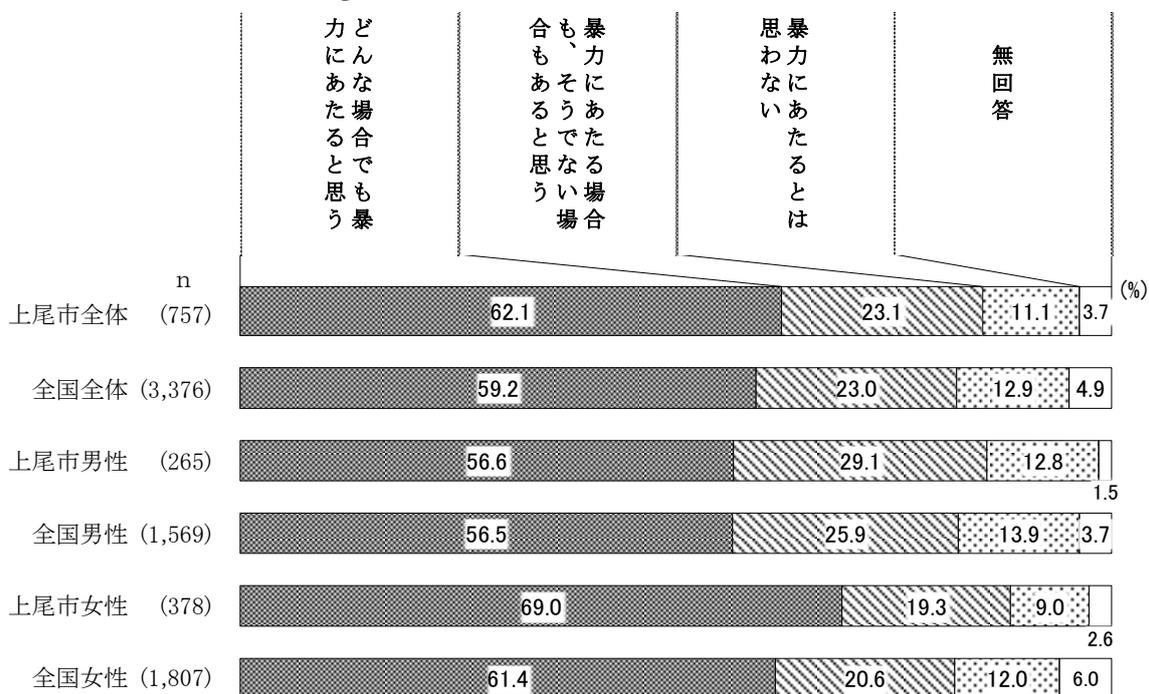


【性別／国との比較】

⑦他の異性との会話を許さない

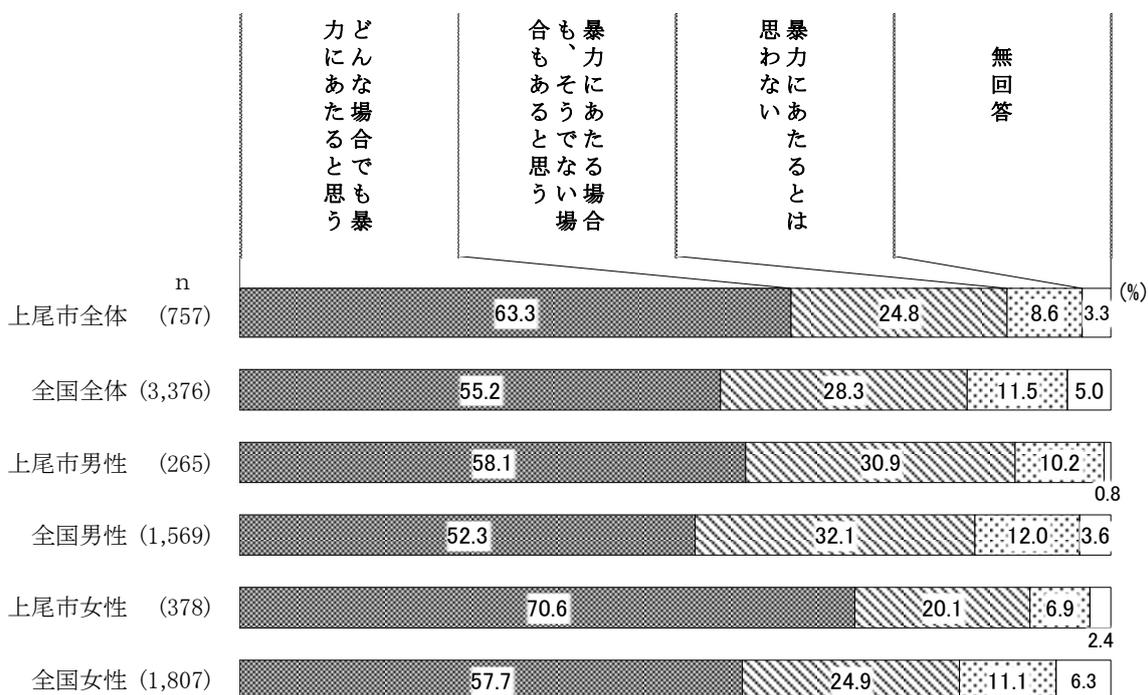


⑧家族や友人との関わりを持たせない

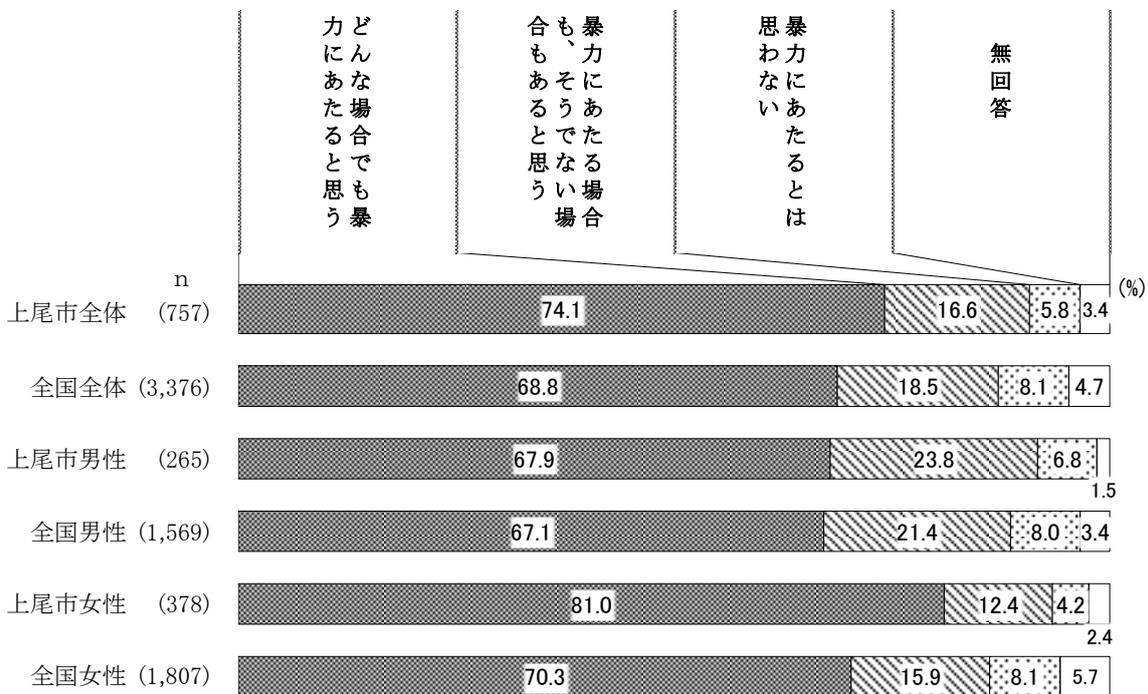


【性別／国との比較】

⑨交友関係や行き先、電話・メール、SNSなどを細かく監視する

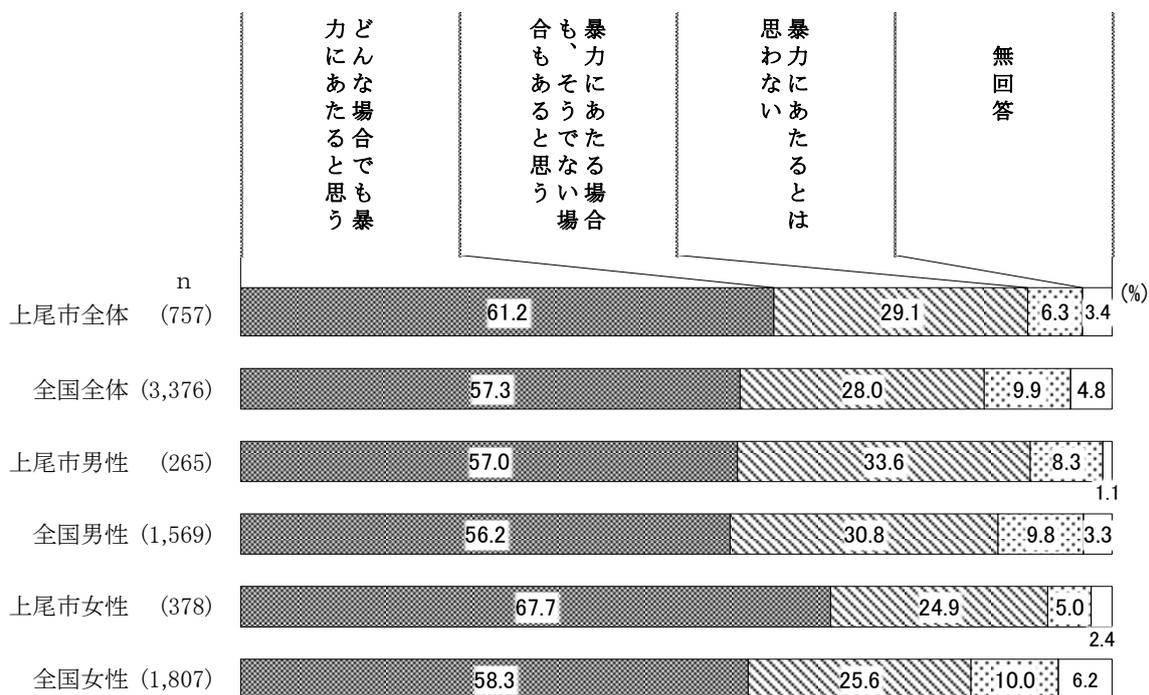


⑩職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する

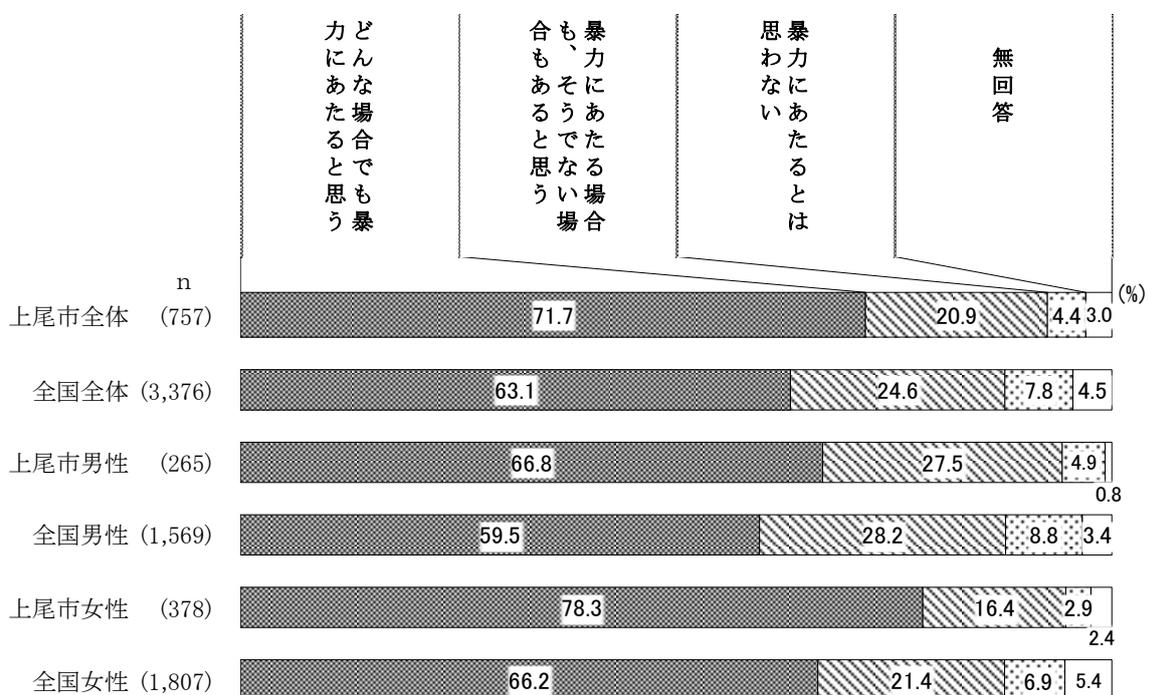


【性別／国との比較】

⑪何を言っても長時間無視し続ける

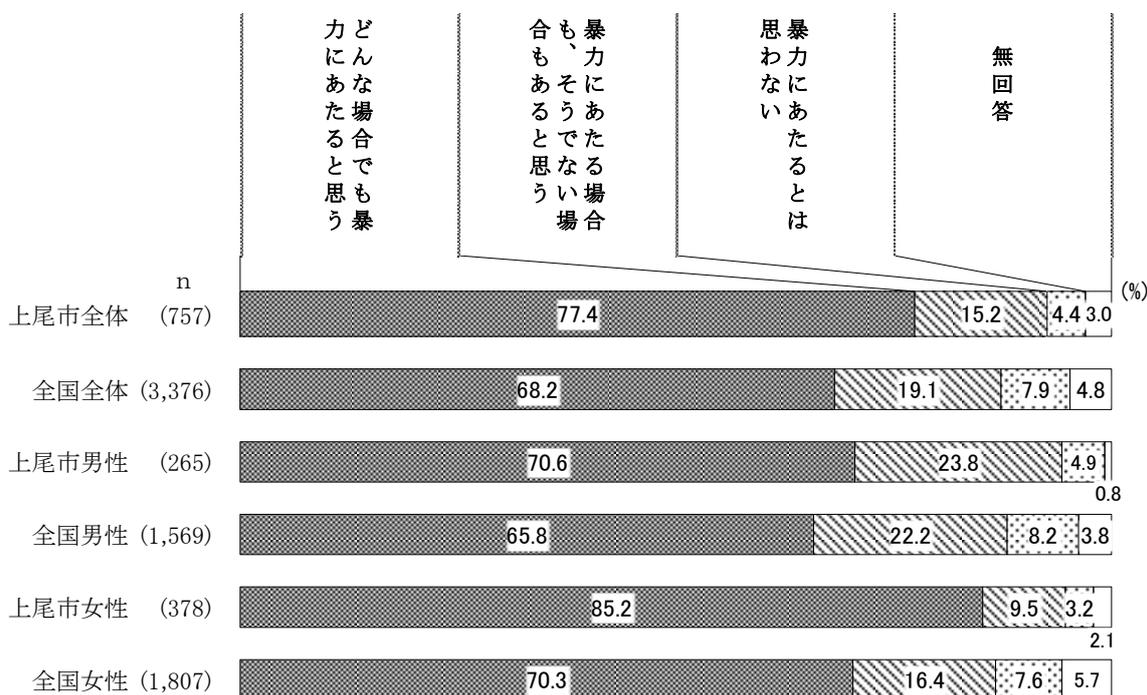


⑫「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う

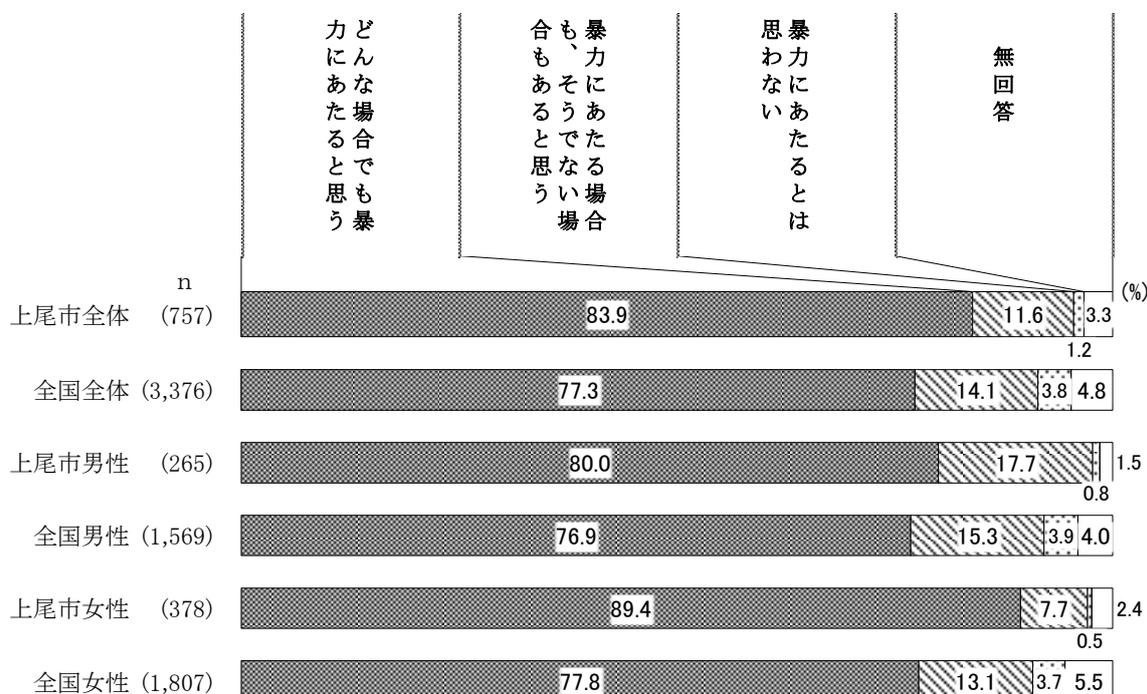


【性別／国との比較】

⑬家計に必要な生活費を渡さない

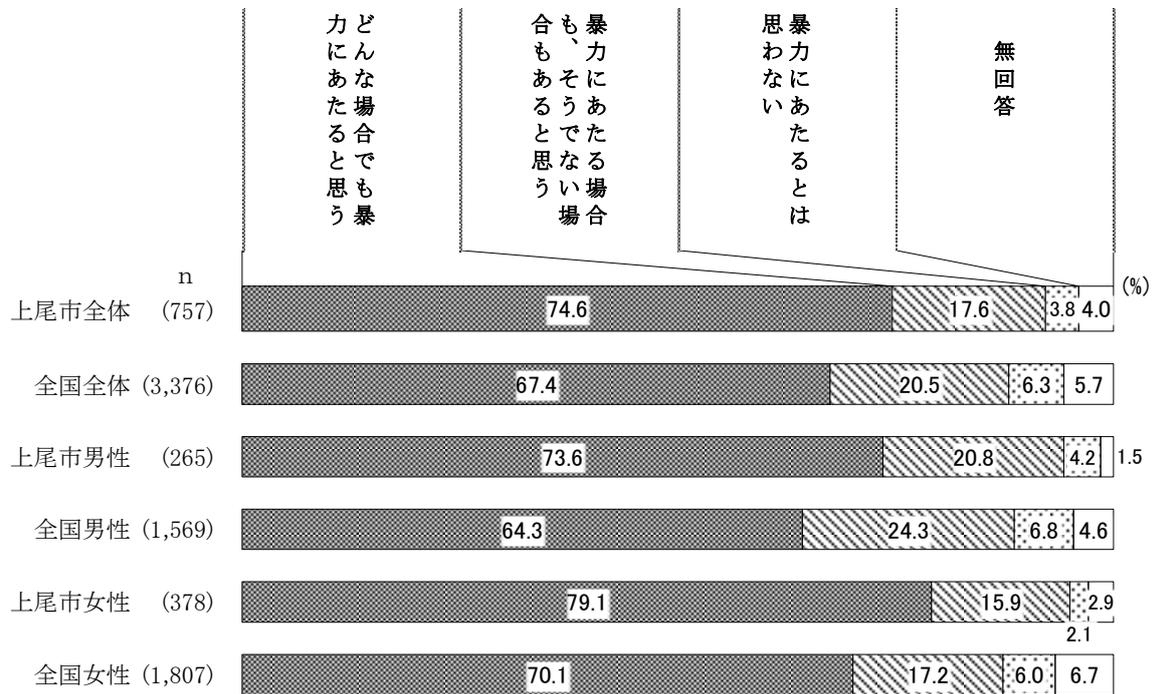


⑭嫌がっているのに性的な行為を強要する



【性別／国との比較】

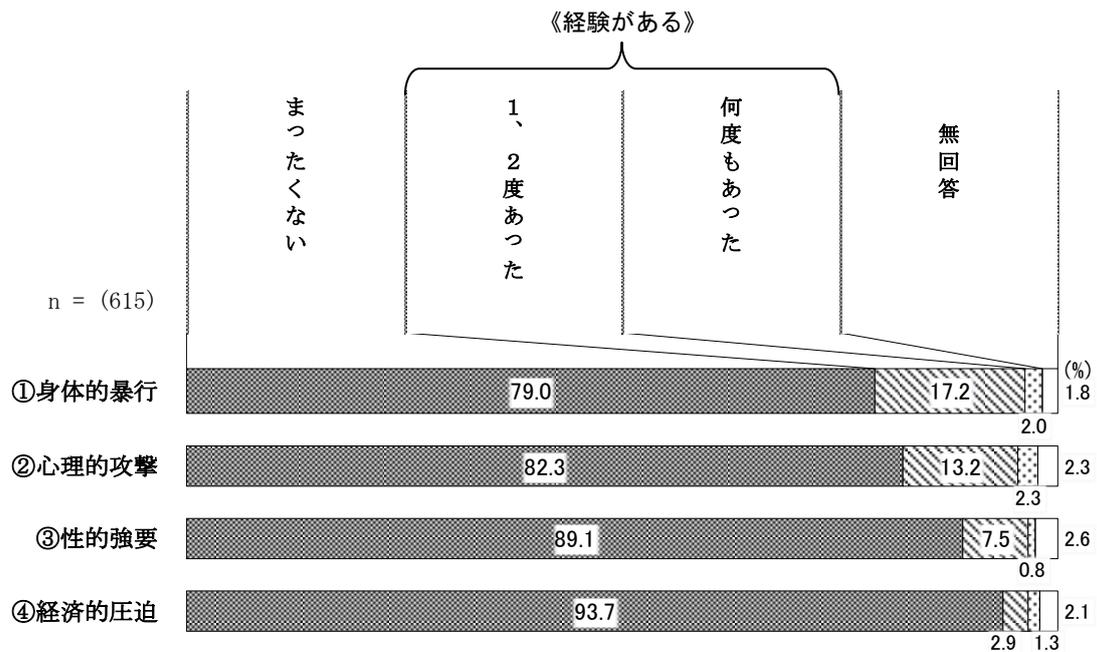
⑮避妊に協力しない



(2) 配偶者・パートナーへの加害経験について

問8 あなたは、これまでに、配偶者・パートナーに対して次のようなことをしたことがありますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

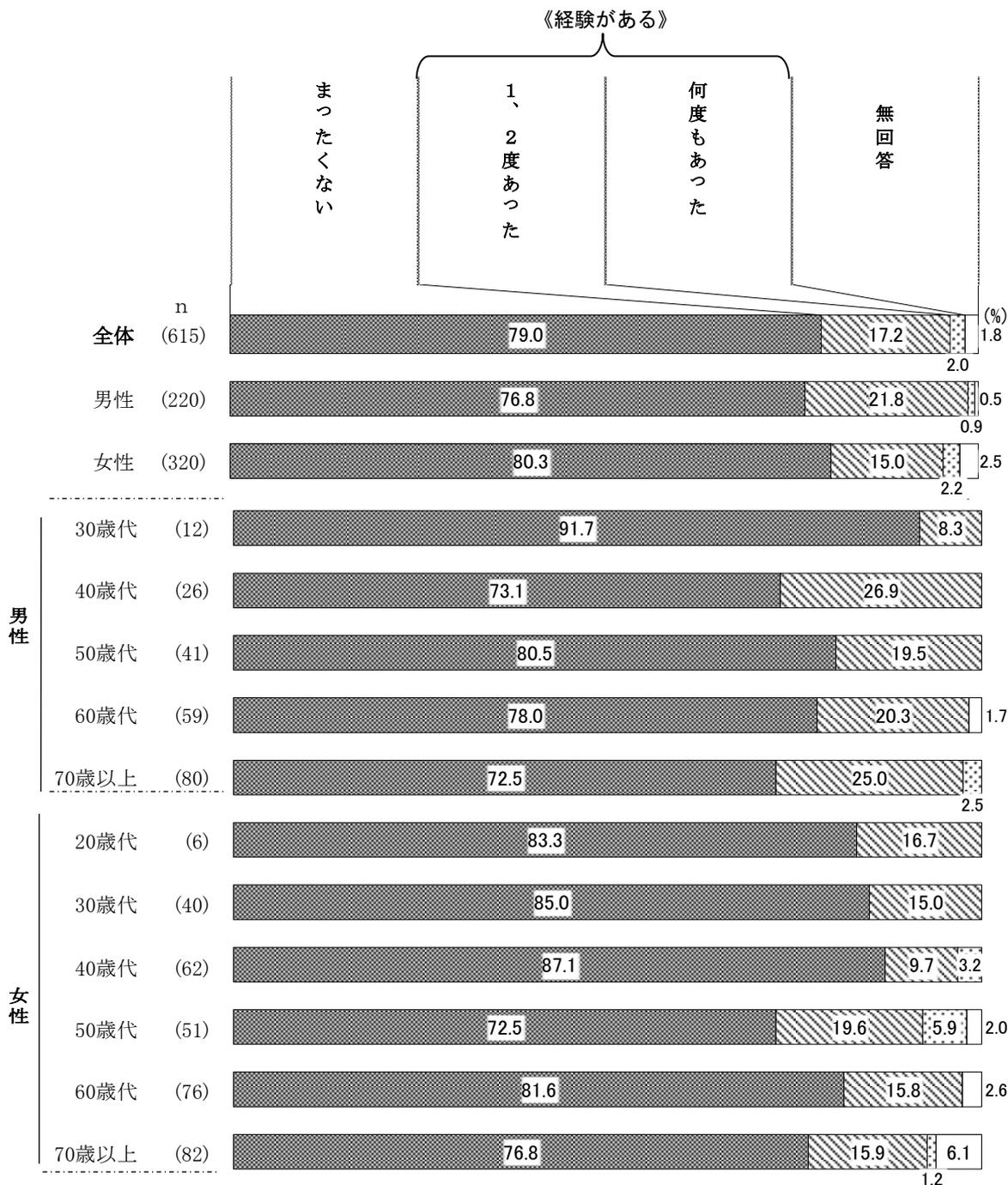
※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。



配偶者・パートナーへの加害経験について、「1、2度あった」と「何度もあった」をあわせた《経験がある》は『身体的暴行』で19.2%、『心理的攻撃』で15.5%、『性的強要』で8.3%、『経済的圧迫』で4.2%となっている。

①身体的暴行

【性別・年代別】

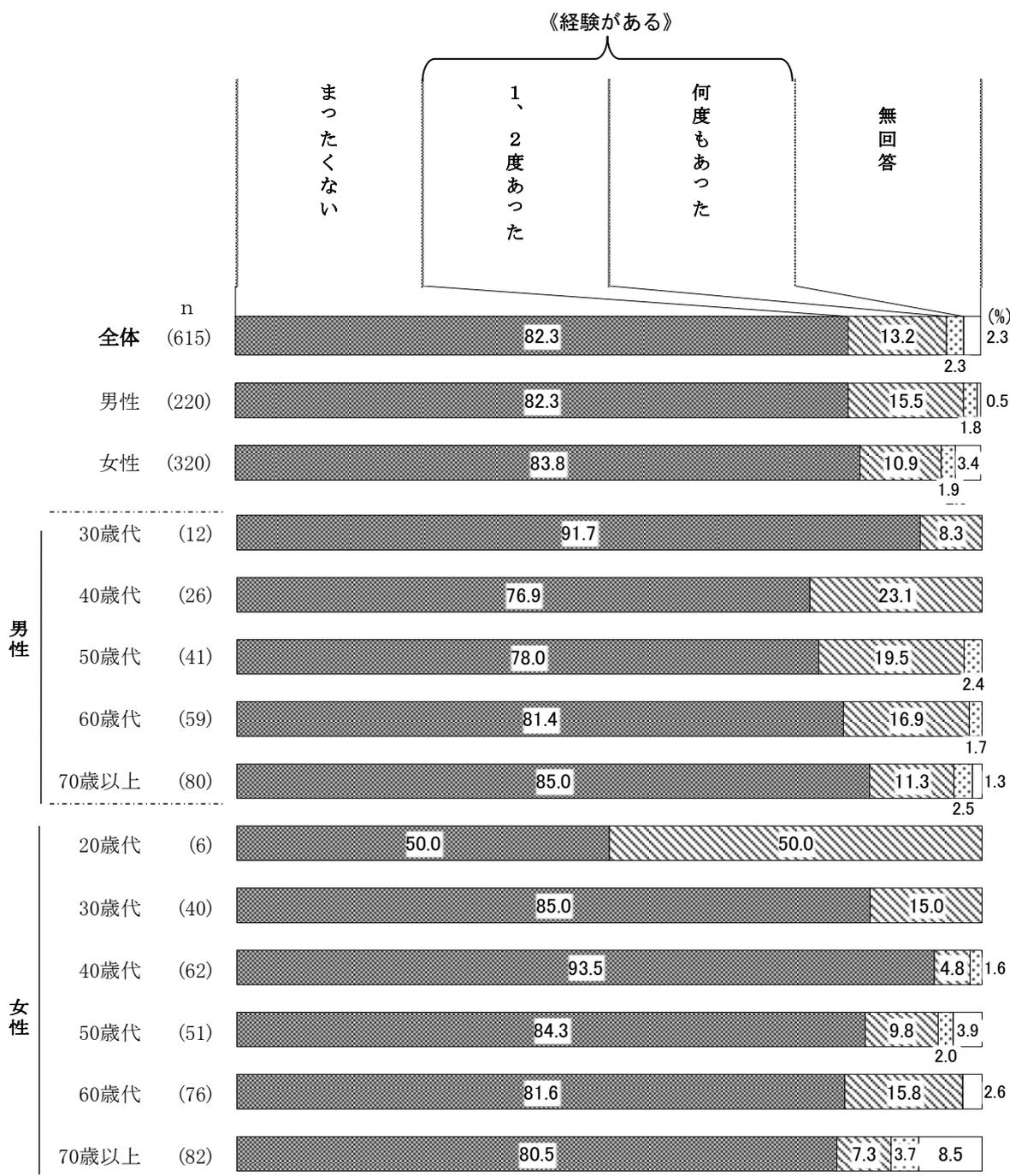


加害経験のうち『身体的暴行』について、性別で見ると、《経験がある》は男性で22.7%、女性で17.2%と5.5ポイント男性が女性を上回っている。

性別・年代別で見ると、「1、2度あった」は男性50歳代～70歳以上、女性50歳代で2割前後となっている。

②心理的攻撃

【性別・年代別】

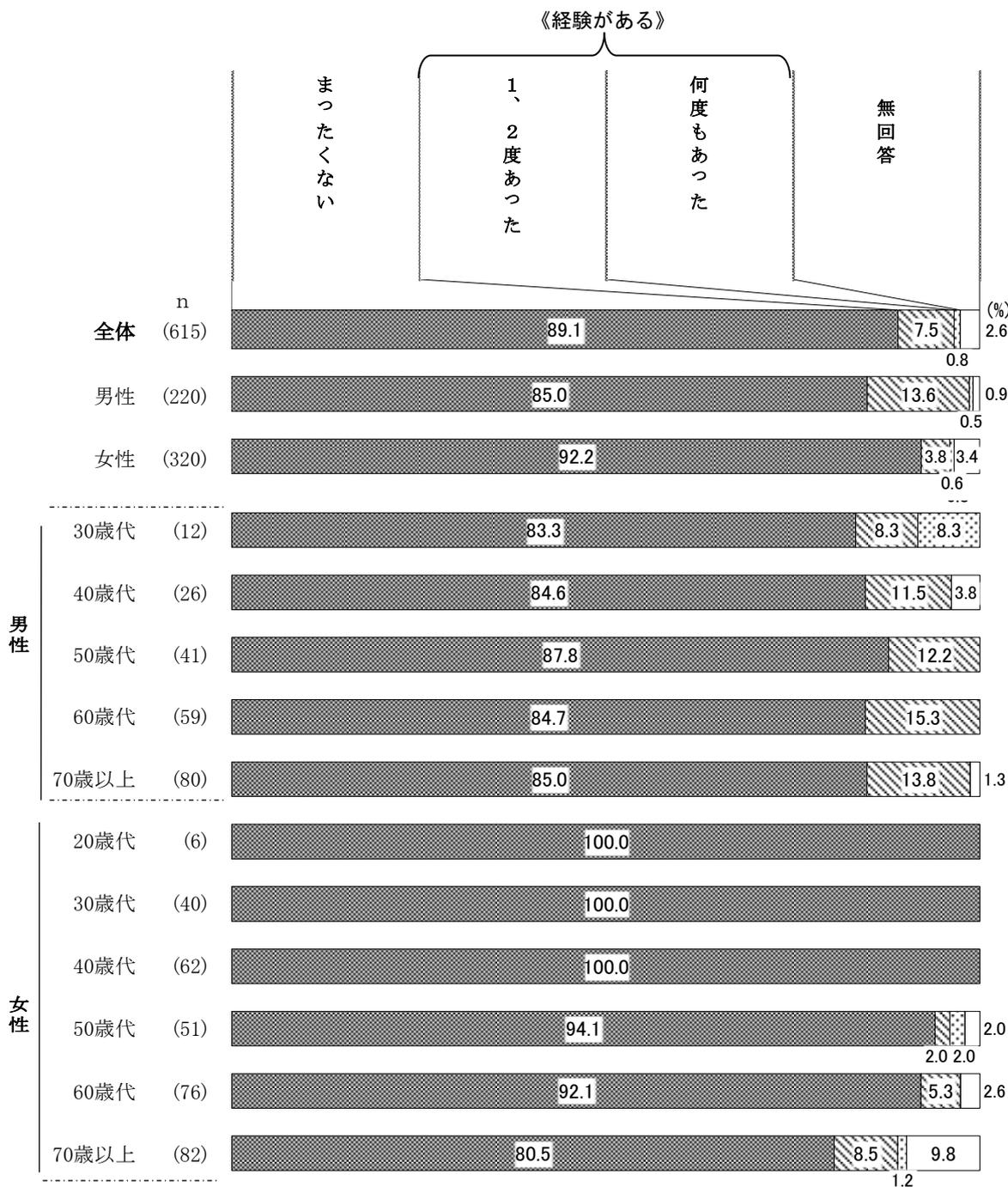


加害経験のうち『心理的攻撃』について、性別で見ると、《経験がある》は男性で17.3%、女性で12.8%と4.5ポイント男性が女性を上回っている。

性別・年代別で見ると、「1、2度あった」は女性30歳代で15.0%、60歳代で15.8%と1割以上となっている。

③性的強要

【性別・年代別】

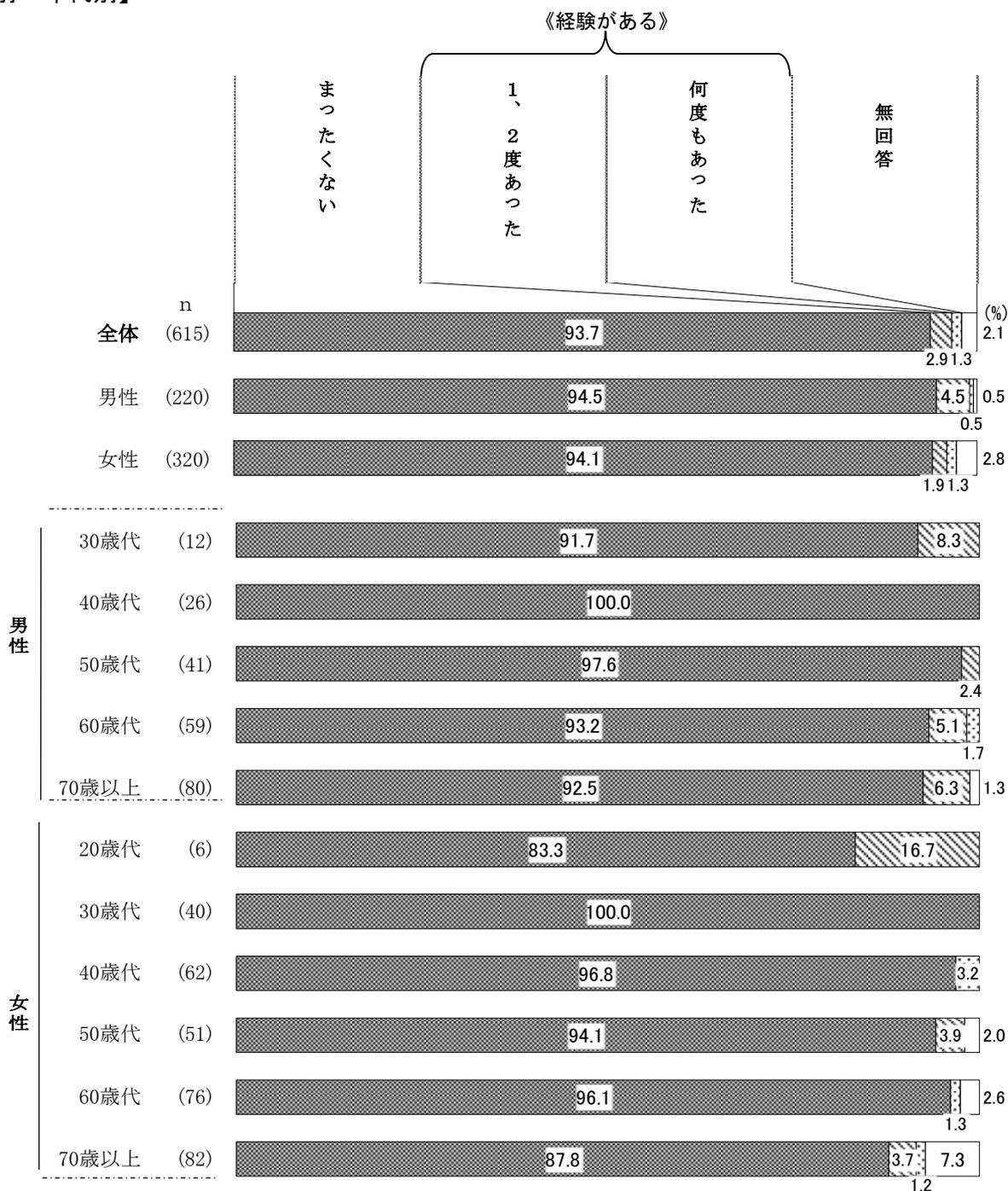


加害経験のうち『性的強要』について、性別で見ると、《経験がある》は男性で14.1%、女性で4.4%と9.7ポイント男性が女性を上回っている。

性別・年代別で見ると、「1、2度あった」は男性60歳代で15.3%と最も多くなっており、女性では50歳代以上で加害経験があると回答があった。

④経済的圧迫

【性別・年代別】



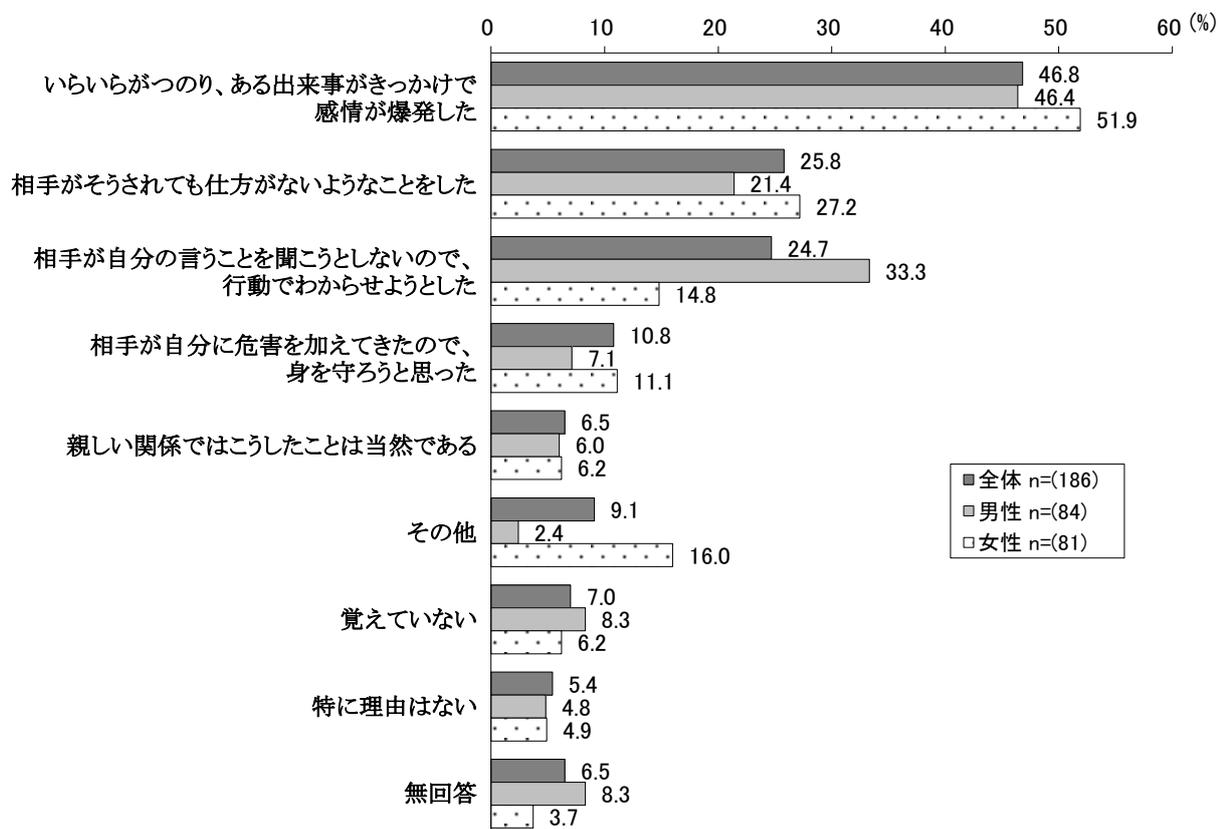
加害経験のうち『経済的圧迫』について、性別でみると、《経験がある》は男性で5.0%、女性で3.2%となっておりあまり大きな違いはみられない。

性別・年代別でみると、「何度もあった」は男性60歳代、女性40歳代・60歳代・70歳以上で回答があった。

(3) 加害行為に至ったきっかけ

【問8で、「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお伺いします】

問8-1 あなたがそのような行為をするに至ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

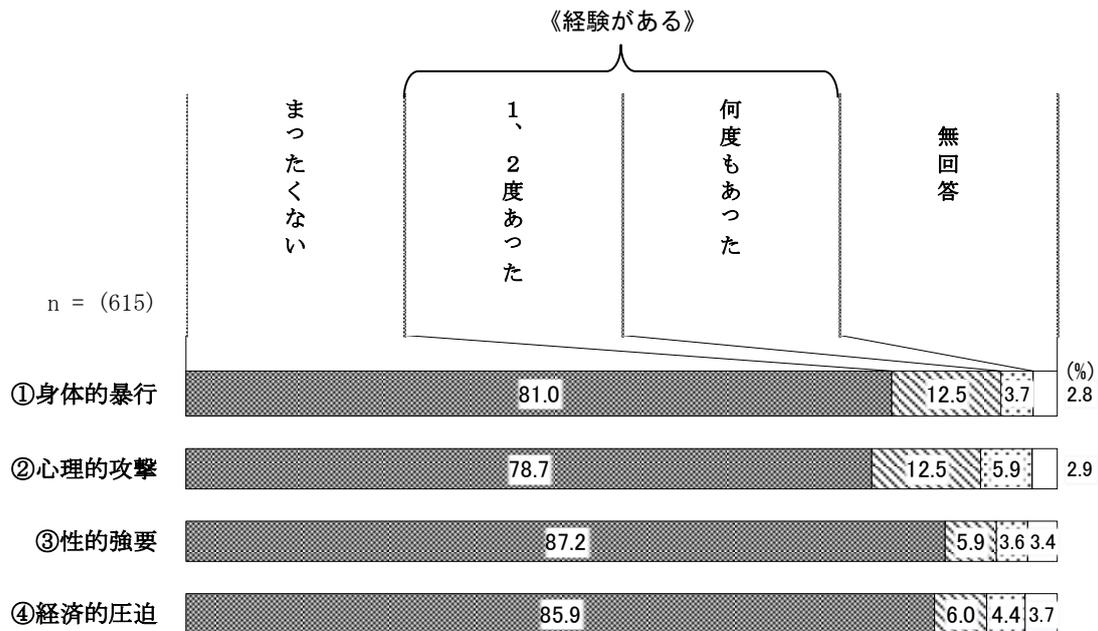


加害行為に至ったきっかけについて、「いらいらがつわり、ある出来事がきっかけで感情が爆発した」が全体で46.8%と男女ともに最も多く、次いで「相手がそうされても仕方がないようなことをした」が全体で25.8%となっており、男性が21.4%、女性が27.2%と5.8ポイント女性が男性を上回っている。「相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとした」が全体で24.7%となっており、男性で33.3%、女性で14.8%と18.5ポイント男性が女性を上回っている。

(4) 配偶者・パートナーからの被害経験について

問9 あなたは、これまでに、あなたの配偶者・パートナーから次のようなことをされたことがありますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

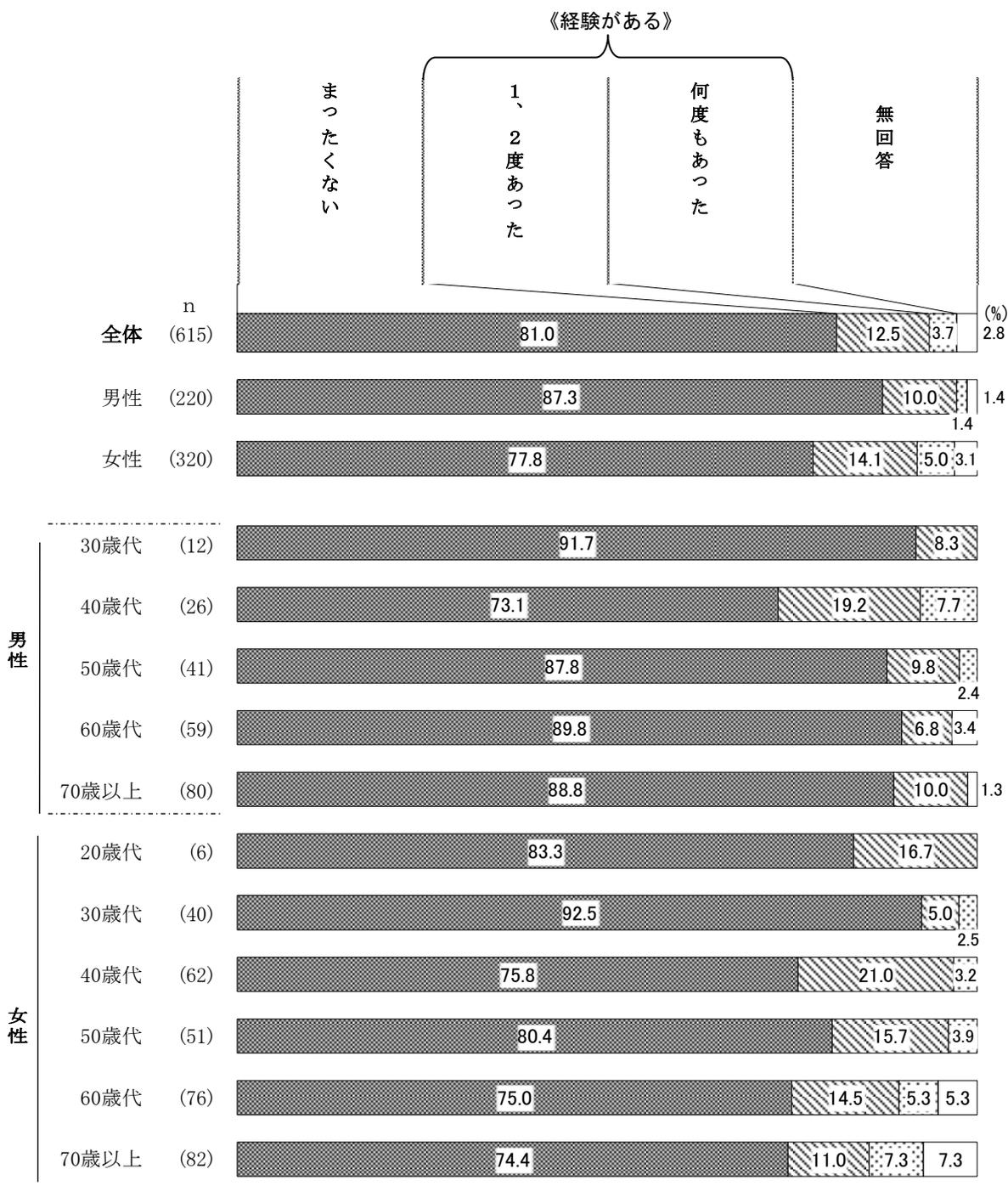
※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。



配偶者・パートナーからの被害経験について、「1、2度あった」と「何度もあった」をあわせた《経験がある》は『身体的暴行』で16.2%、『心理的攻撃』で18.4%、『性的強要』で9.5%、『経済的圧迫』で10.4%となっている。

①身体的暴行

【性別・年代別】

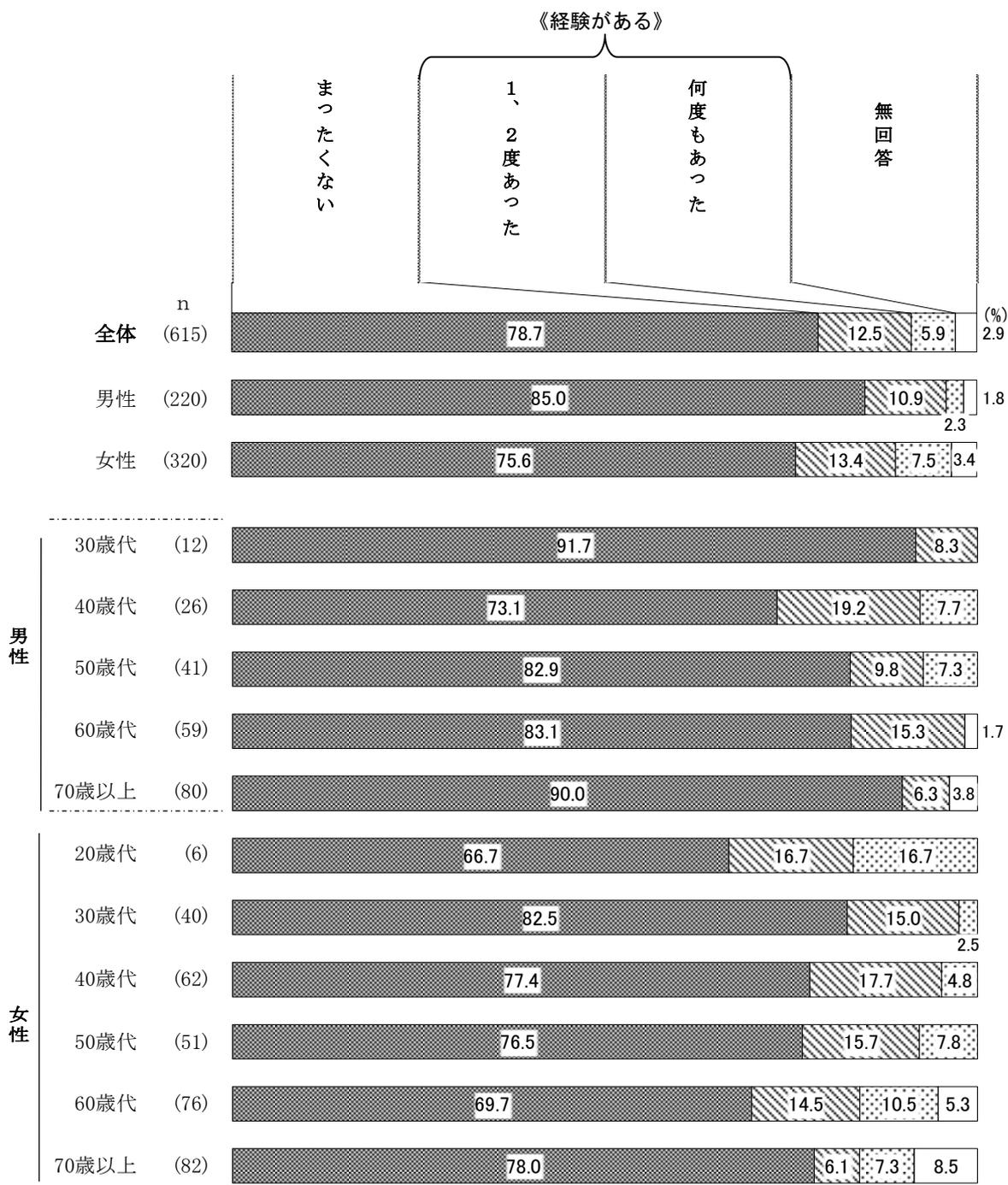


被害経験のうち『身体的暴行』について、性別で見ると、《経験がある》は男性で11.4%、女性で19.1%と7.7ポイント女性が男性を上回っている。

性別・年代別で見ると、《経験がある》は女性40歳代で24.2%と最も多くなっている。

②心理的攻撃

【性別・年代別】

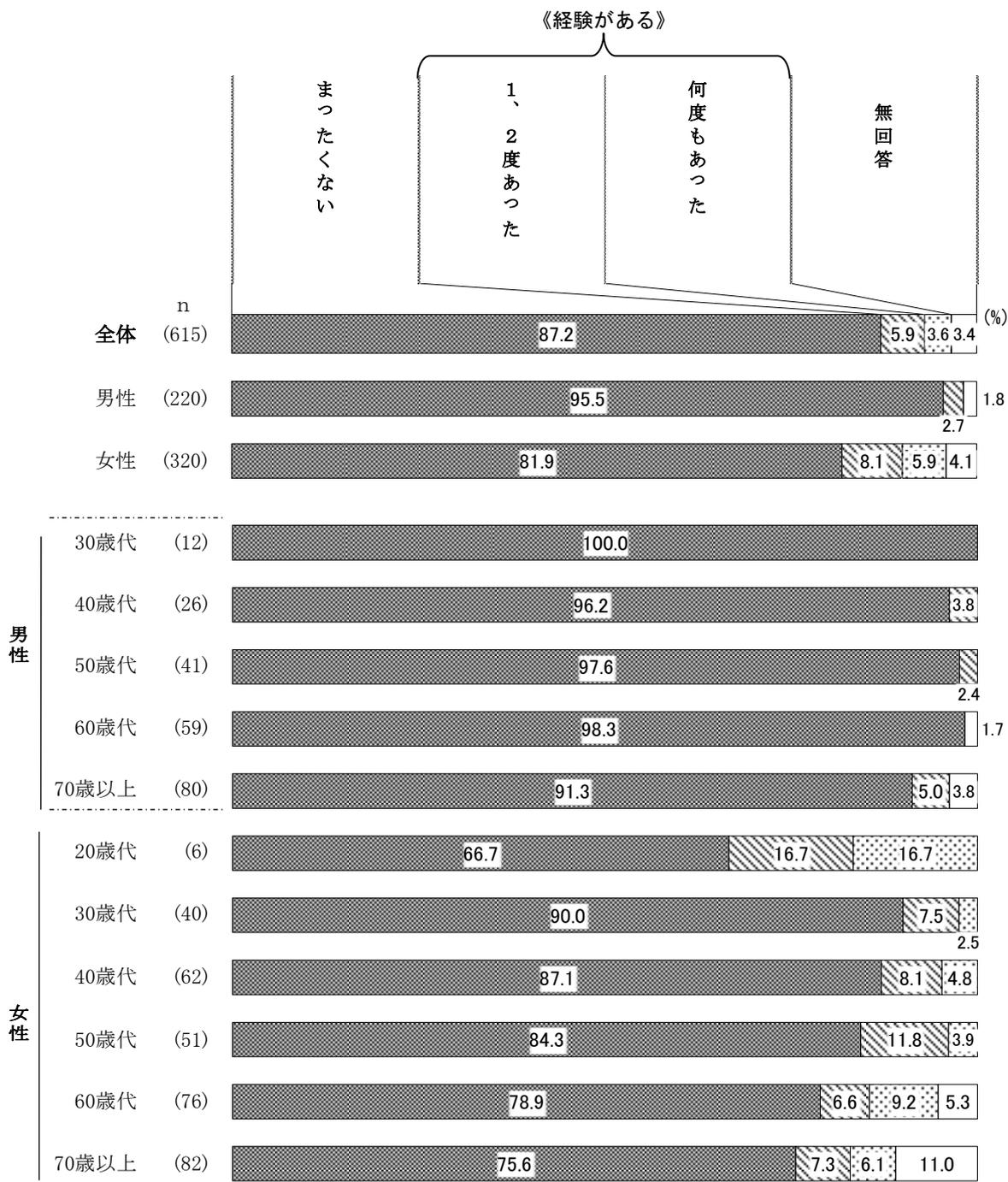


被害経験のうち『心理的攻撃』について、性別で見ると、《経験がある》は男性で13.2%、女性で20.9%と7.7ポイント女性が男性を上回っている。

性別・年代別で見ると、「何度もあった」は女性60歳代で10.5%と1割以上となっている。

③性的強要

【性別・年代別】

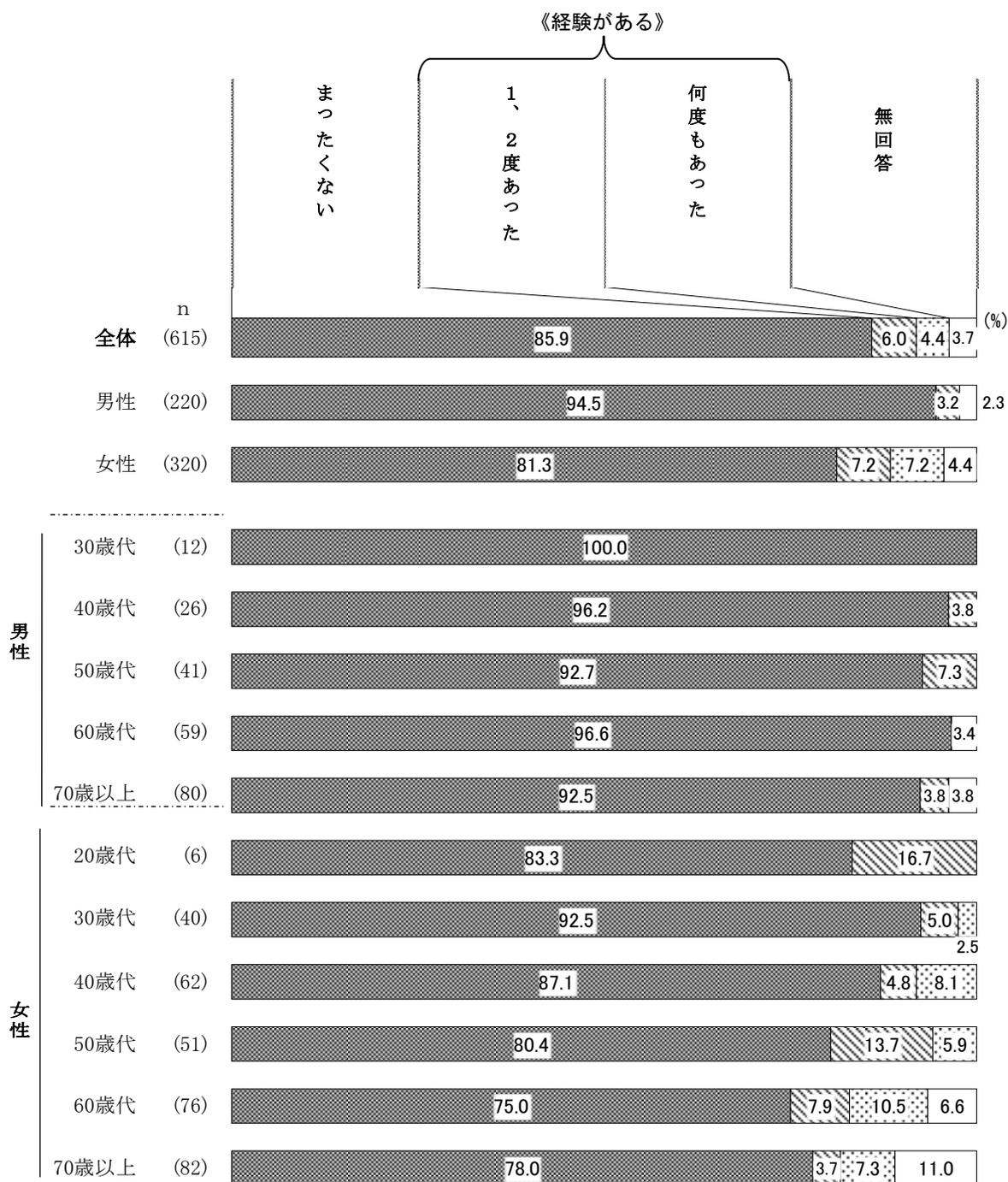


被害経験のうち『性的強要』について、性別でみると、《経験がある》は、男性で2.7%、女性で14.0%と11.3ポイント女性が男性を上回っている。

性別・年代別でみると、男性では40歳代・50歳代・70歳以上で経験があると回答があったが、女性ではすべての年代で経験があると回答があった。

④経済的圧迫

【性別・年代別】



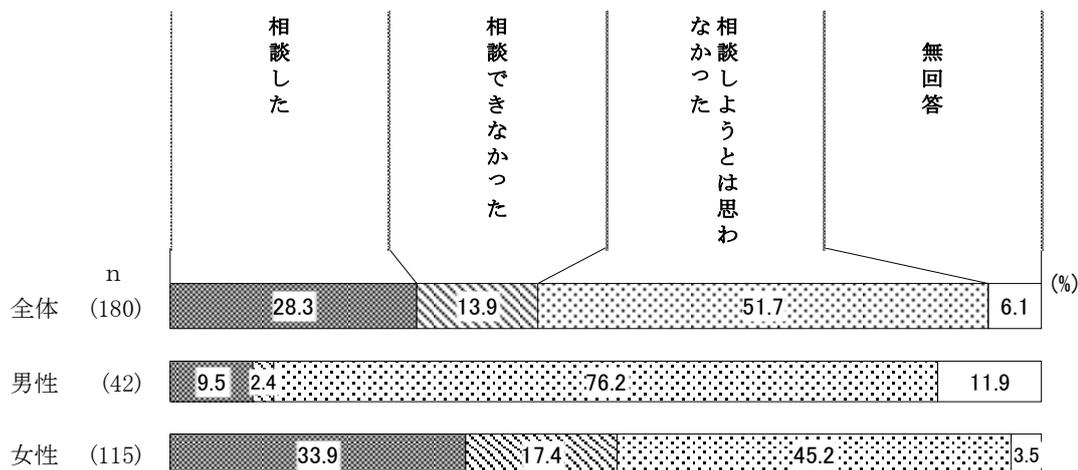
被害経験のうち『経済的圧迫』について、性別で見ると、『経験がある』は男性で3.2%、女性で14.4%となっている。「何度もあった」は男性では回答がなかった。

性別・年代別で見ると、「1、2度あった」は男性50歳代で7.3%、女性50歳代で13.7%と多くなっている。「何度もあった」は女性60歳代で10.5%と1割以上となっている。

(5) 配偶者・パートナーからの被害の相談経験について

【問9で、「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお伺いします】

問10 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものに○を1つつけてください)



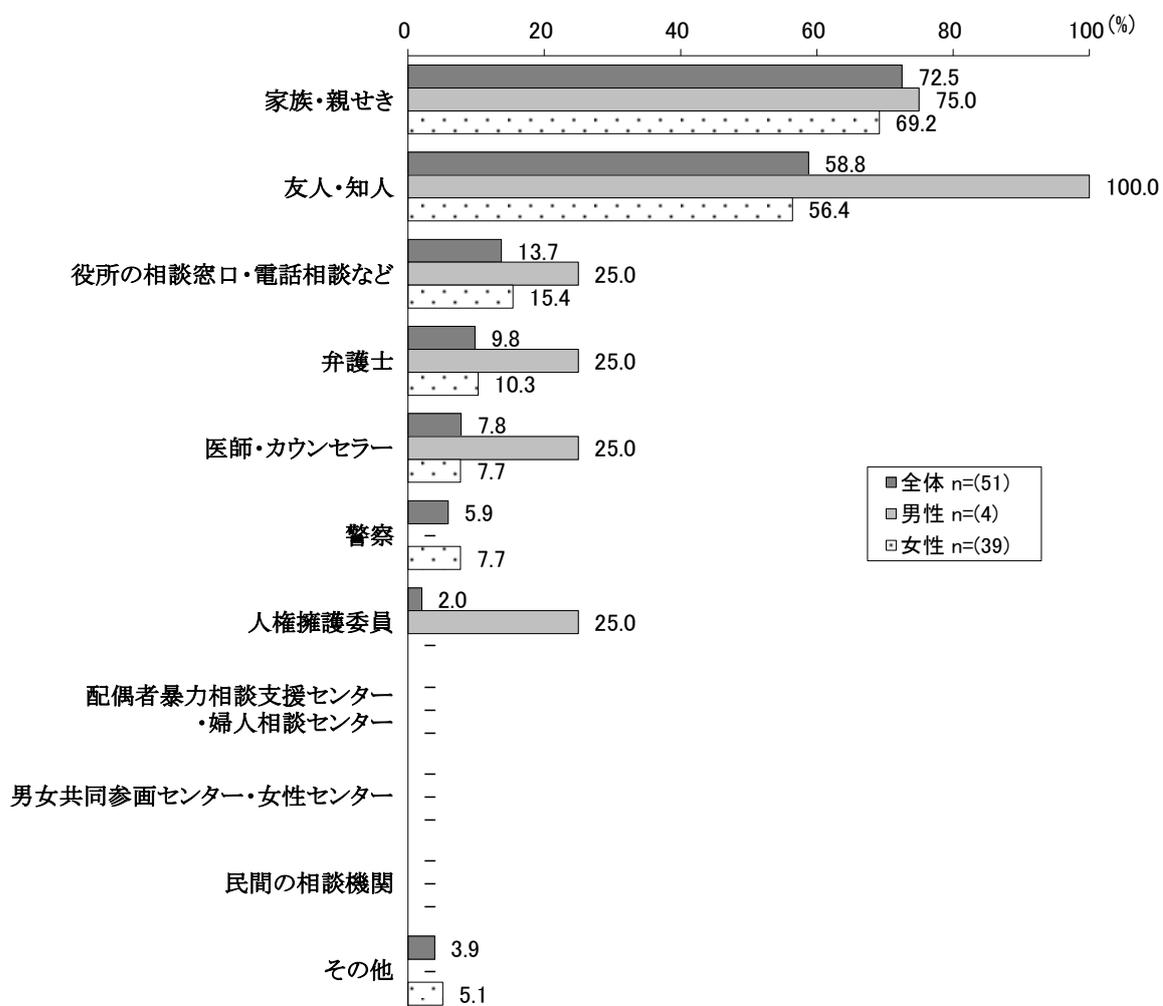
相手から受けた行為について、「相談した」は全体で28.3%、「相談できなかった」は13.9%、「相談しようとは思わなかった」は51.7%となっている。

性別でみると、「相談した」は男性で9.5%、女性で33.9%と24.4ポイント女性が男性を上回っている。「相談できなかった」は男性で2.4%、女性で17.4%と15.0ポイント女性が男性を上回っている。一方、「相談しようとは思わなかった」は男性で76.2%、女性で45.2%と31.0ポイント男性が女性を上回っている。

(6) 相談した相手

【問10で、「相談した」と回答した方にお伺いします】

問10-1 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

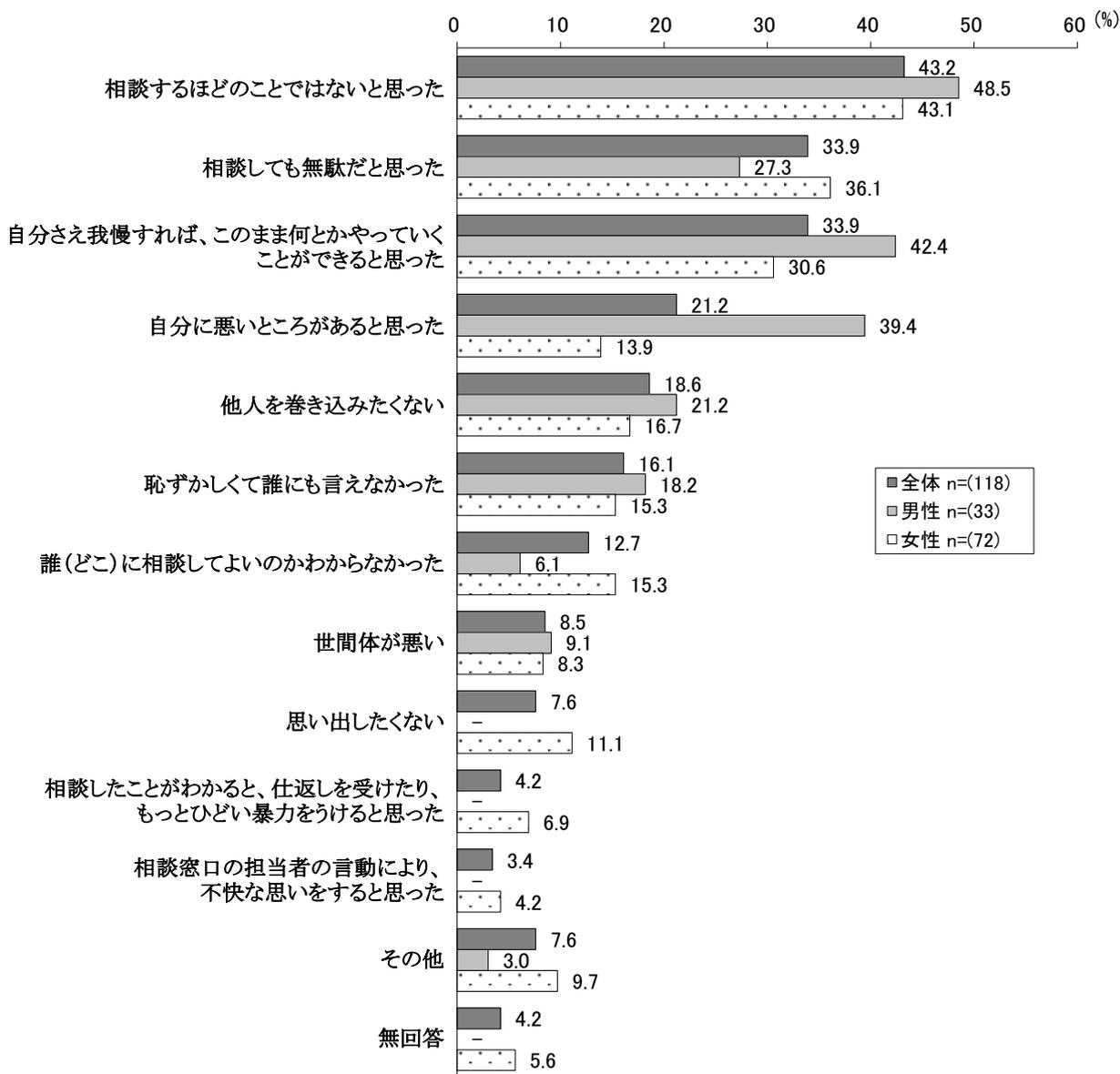


相談した人（場所）について、「家族・親戚」が全体で72.5%と最も多く、女性で69.2%となっている。次いで「友人・知人」が全体で58.8%、男性では全員が相談したと回答している。

(7) 相談できなかった理由

【問10で、「相談できなかった」または「相談しようとは思わなかった」と回答した方にお伺いします】

問10-2 あなたが、誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

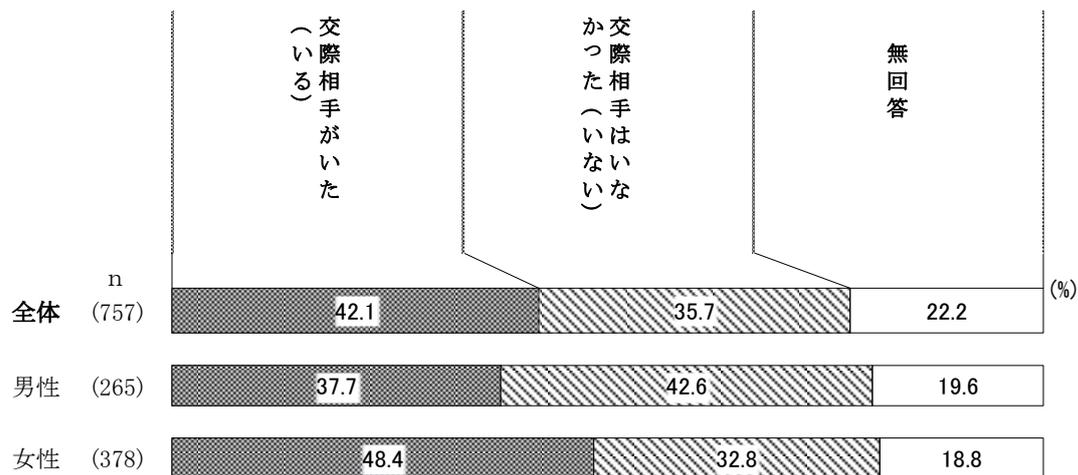


誰（どこ）にも相談できなかった理由について、「相談することのほどではないと思った」は全体で43.2%と男女ともに最も多く、次いで「相談しても無駄だと思った」、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」が全体で33.9%となっている。「相談しても無駄だと思った」は男性で27.3%、女性で36.1%と8.8ポイント女性が男性を上回っている。「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」、「自分に悪いところがあると思った」は男性が女性を大きく上回っている。「思い出したくない」は女性で11.1%だが、男性では回答者はいない。

(8) 交際相手の有無

【問11は、あなたの交際相手からの暴力の被害経験についてうかがいます】

問11 あなたには、これまでに交際相手がありましたか。結婚している方、したことのある方（事実婚を含む）は、配偶者・パートナーとなった相手以外についてお答えください。（あてはまるものに○を1つつけてください）

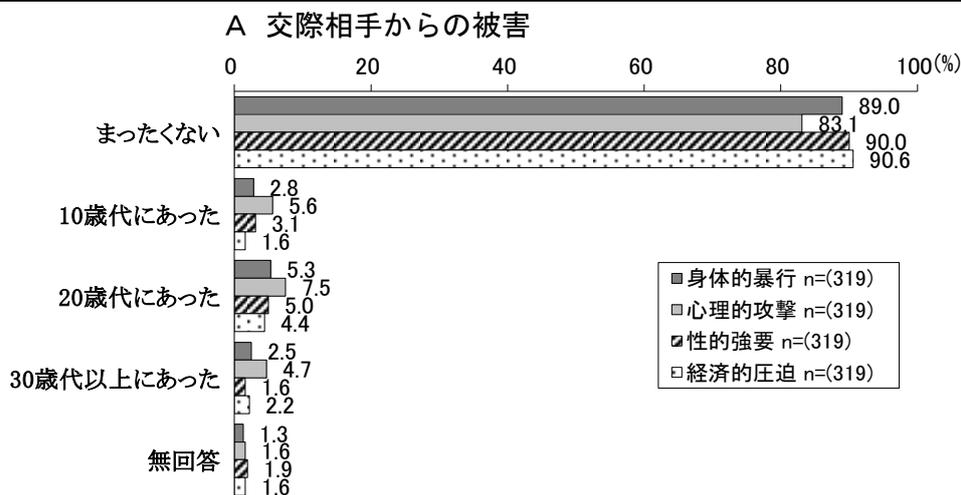


交際相手の有無について、「交際相手があった（いる）」は男性で37.7%、女性で48.4%となっている。

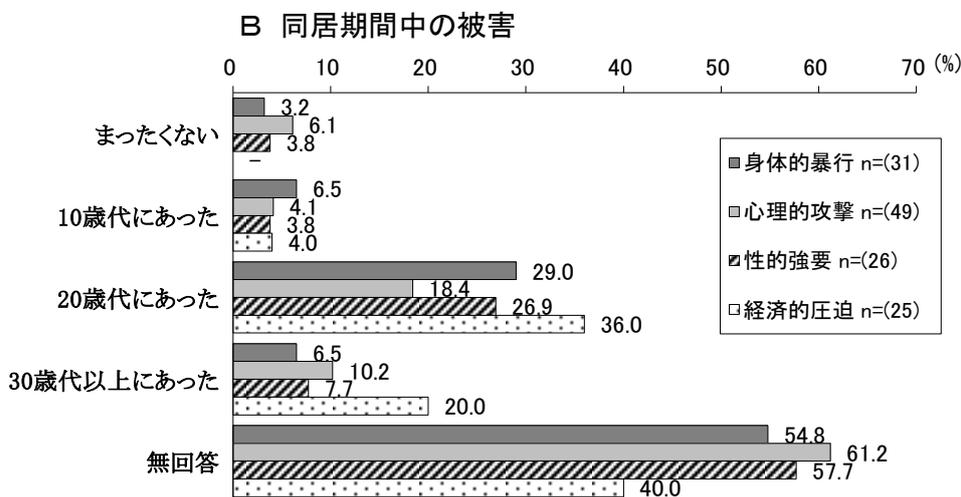
(9) 交際相手からの被害経験、同居中の被害経験について

【問11で、「交際相手がいた（いる）」と回答した方にお伺いします】

問12 あなたはこれまでに、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。それぞれについて、「A 交際相手からの被害」のあてはまる番号に○をつけてください。また、交際相手と同居した経験（いわゆる同棲経験）がある方は、「B 同居期間中の被害」についてもお答えください。（各項目それぞれあてはまるものに○をつけてください）



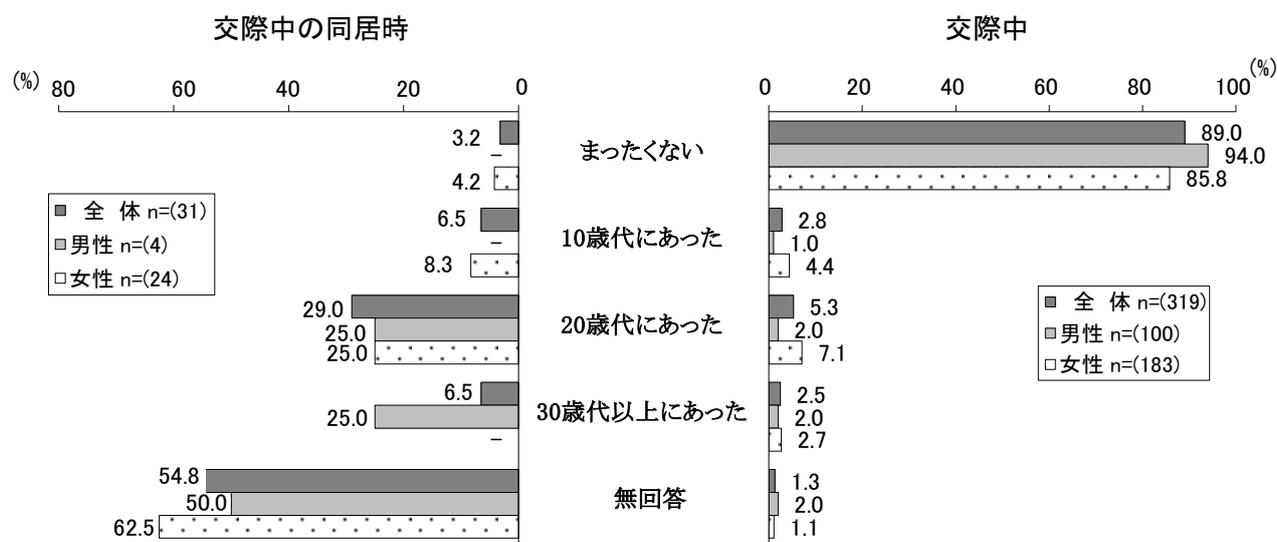
交際相手からの被害経験については、どの項目、年代も1割未満だが、被害に「20歳代にあった」は『身体的暴行』で5.3%、『心理的攻撃』で7.5%、『性的強要』で5.0%、『経済的圧迫』で4.4%とすべての項目でやや多くなっている。『心理的攻撃』はどの年代でも5.0%前後と多くなっている。



交際相手からの同居期間中の被害経験については、20歳代がどの項目でも多くなっている。20歳代は『身体的暴行』が29.0%となっている。30歳代以上は『心理的攻撃』が10.2%となっている。

①身体的暴行

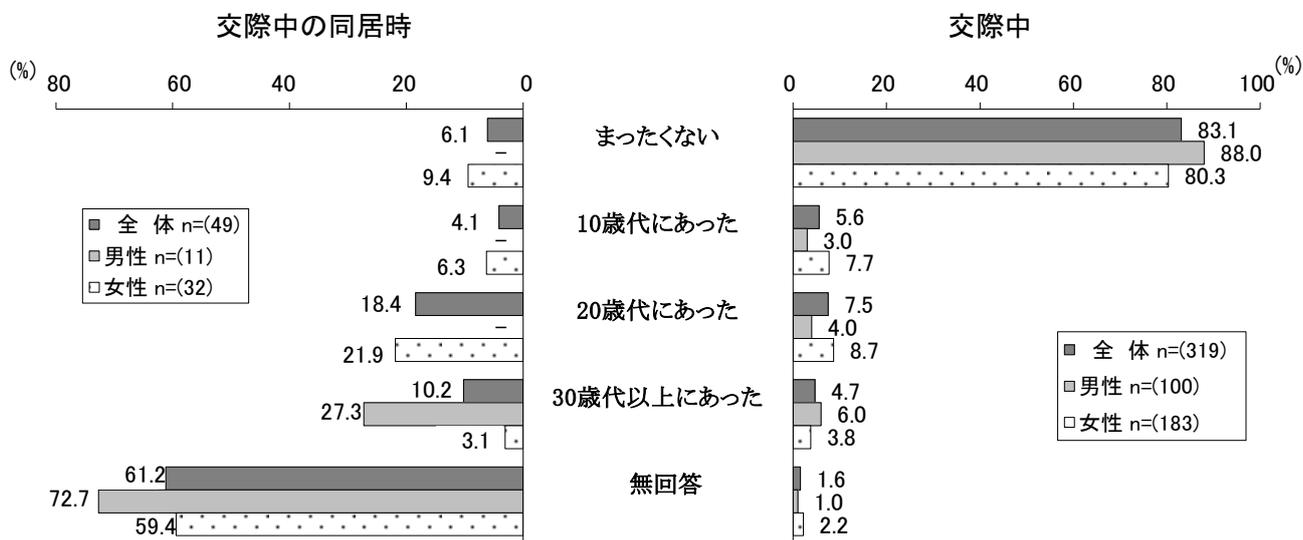
【性別】



『身体的暴行』について、交際中は女性のほうが男性より被害にあっていることが多くなっている。交際中の同居時は、男性で20歳代、30歳代以上、女性で10歳代、20歳代で被害にあっている。

②心理的攻撃

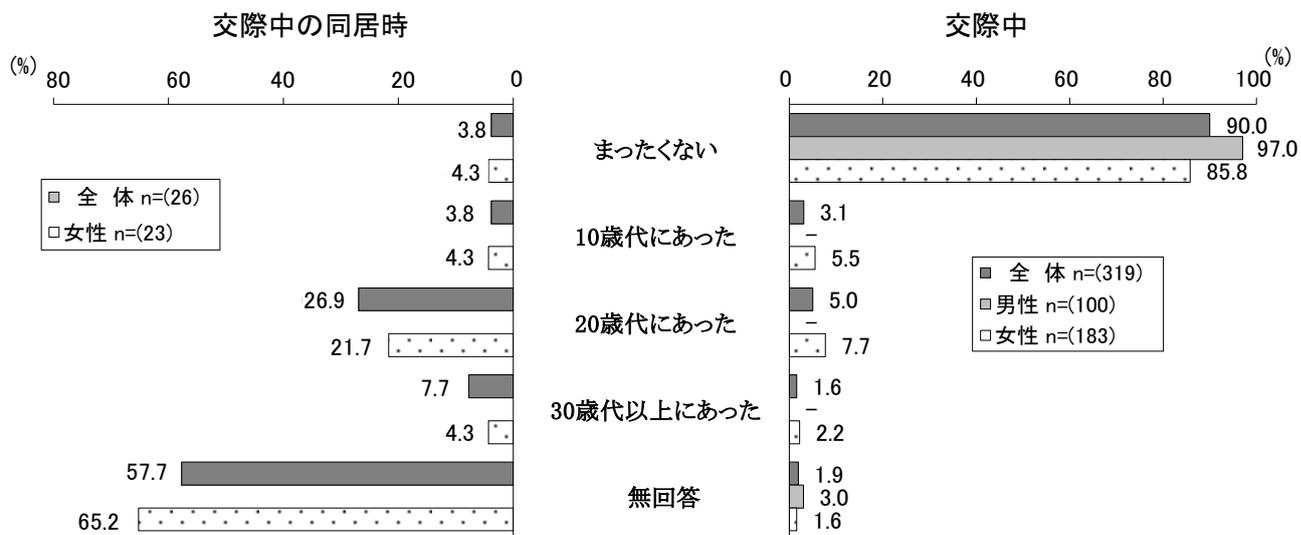
【性別】



『心理的攻撃』について、交際中は10歳代、20歳代で女性のほうが男性より被害にあっていることが多くなっており、30歳代以上は男性のほうが多くなっている。交際中の同居時は、男性は30歳代以上で被害にあっている。女性は20歳代で21.9%と多くなっている。

③性的強要

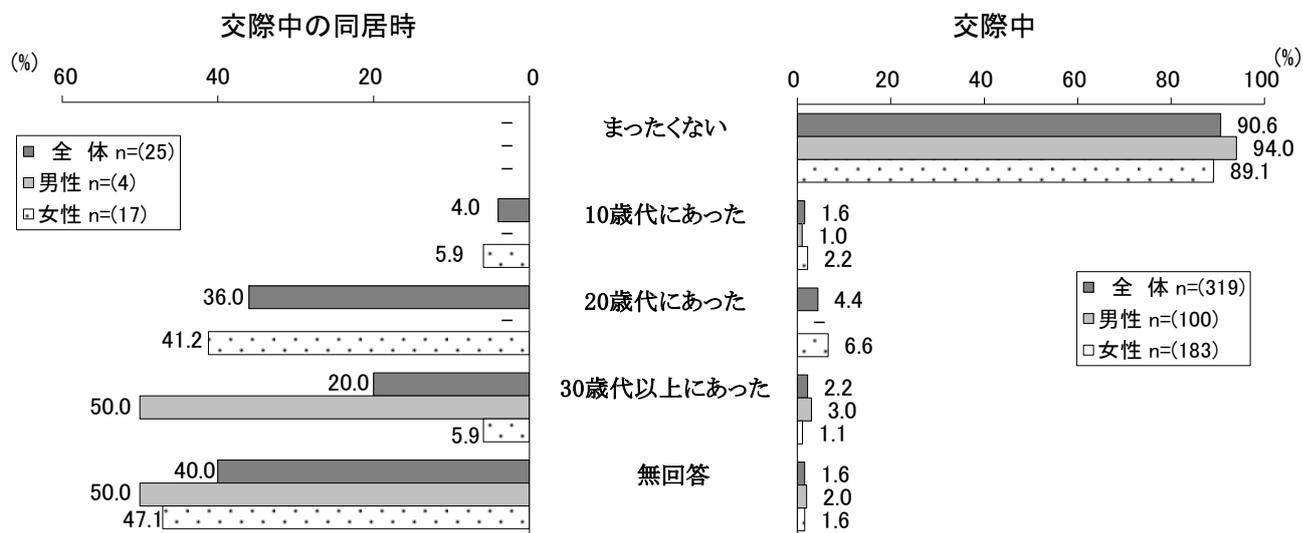
【性別】



『性的強要』について、交際中は、女性は10歳代で5.5%、20歳代で7.7%、30歳代以上で2.2%となっており、男性の回答はなかった。交際中の同居時は、20歳代で被害にあったとの回答が5件あった。

③経済的圧迫

【性別】

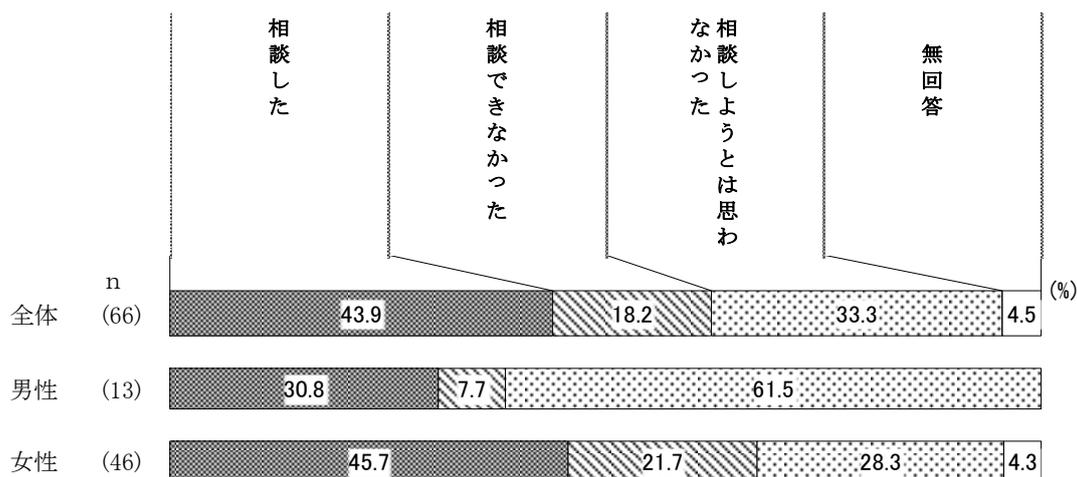


『経済的圧迫』について、交際中は、男性は10歳代、30歳代以上で被害にあっており、女性はすべての年代に回答があり、特に20歳代で6.6%と多くなっている。交際中の同居時は、男性は30歳以上に回答があり、女性は20歳代で被害にあったとの回答が7件あった。

(10) 交際相手からの被害の相談経験について

【問12で、AまたはBで「10歳代にあった」「20歳代にあった」「30歳代以上にあった」に1つでも回答した方にお伺いします】

問13 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものに○を1つつけてください)



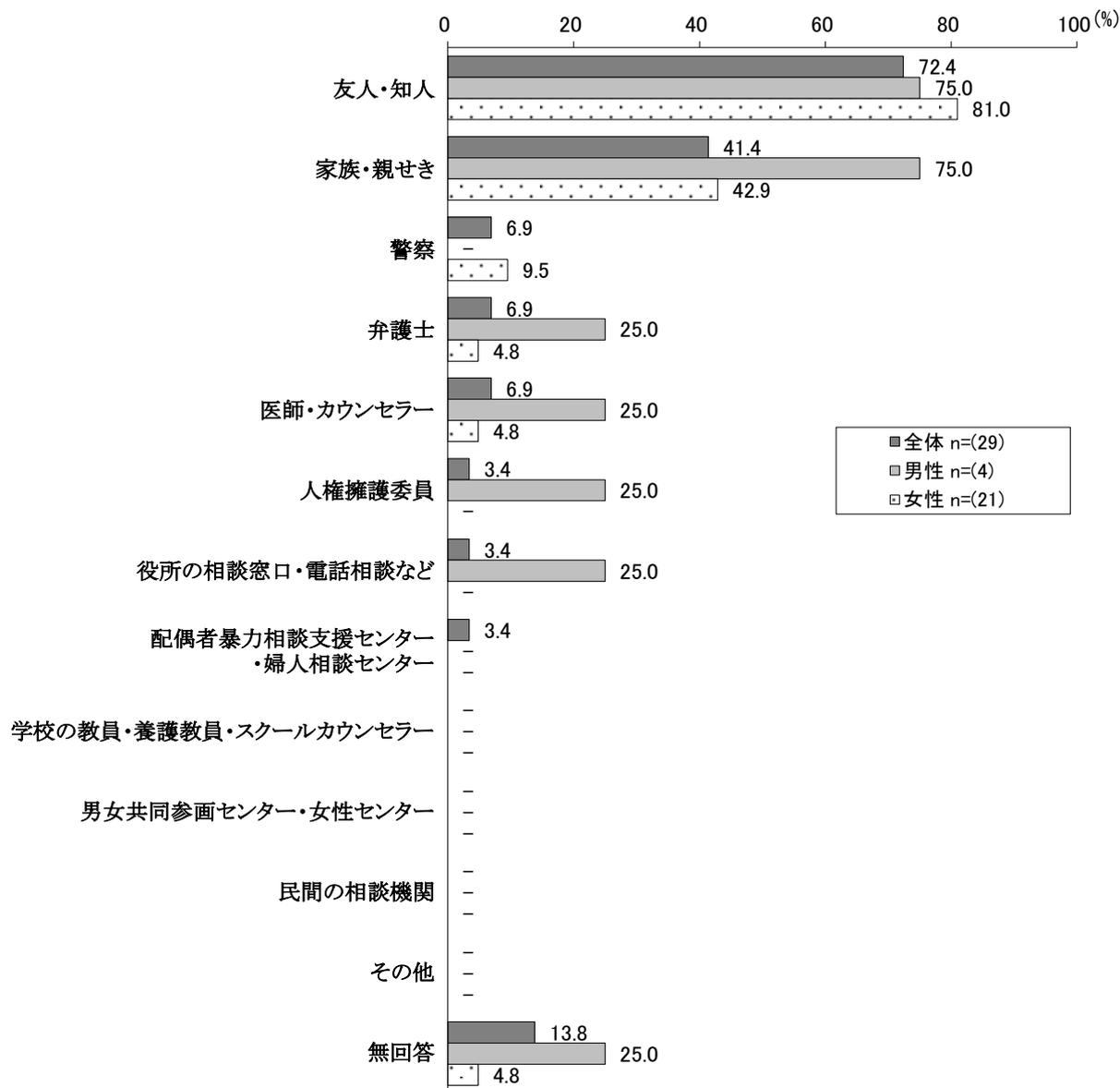
相手から受けた行為について、「相談した」は全体で43.9%、「相談できなかった」は18.2%、「相談しようとは思わなかった」は33.3%となっている。

性別でみると、女性で「相談できなかった」は21.7%、「相談しようとは思わなかった」は28.3%となっており、5割が相談していない。

(11) 相談した相手

【問13で、「相談した」と回答した方にお伺いします】

問13-1 あなたが、相談した人（場所）を教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

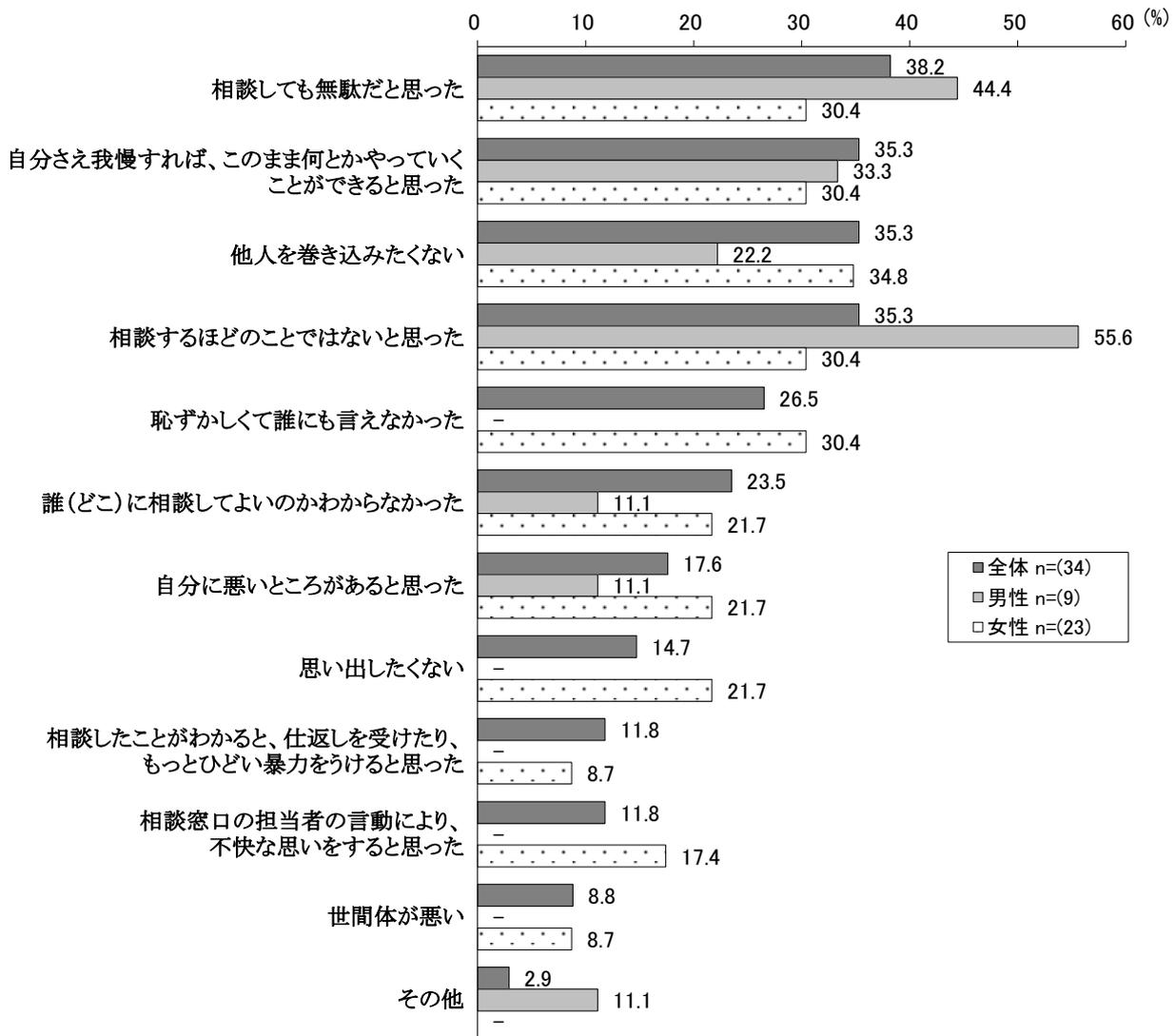


相談した人（場所）について、「友人・知人」は全体で72.4%と最も多くなっており、次いで「家族・親せき」が41.4%となっている。男性で回答した人はすべて「友人・知人」、「家族・親せき」に相談している。

(12) 相談できなかった理由

【問13で、「相談できなかった」または「相談しようとは思わなかった」と回答した方にお伺いします】

問13-2 あなたが、誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



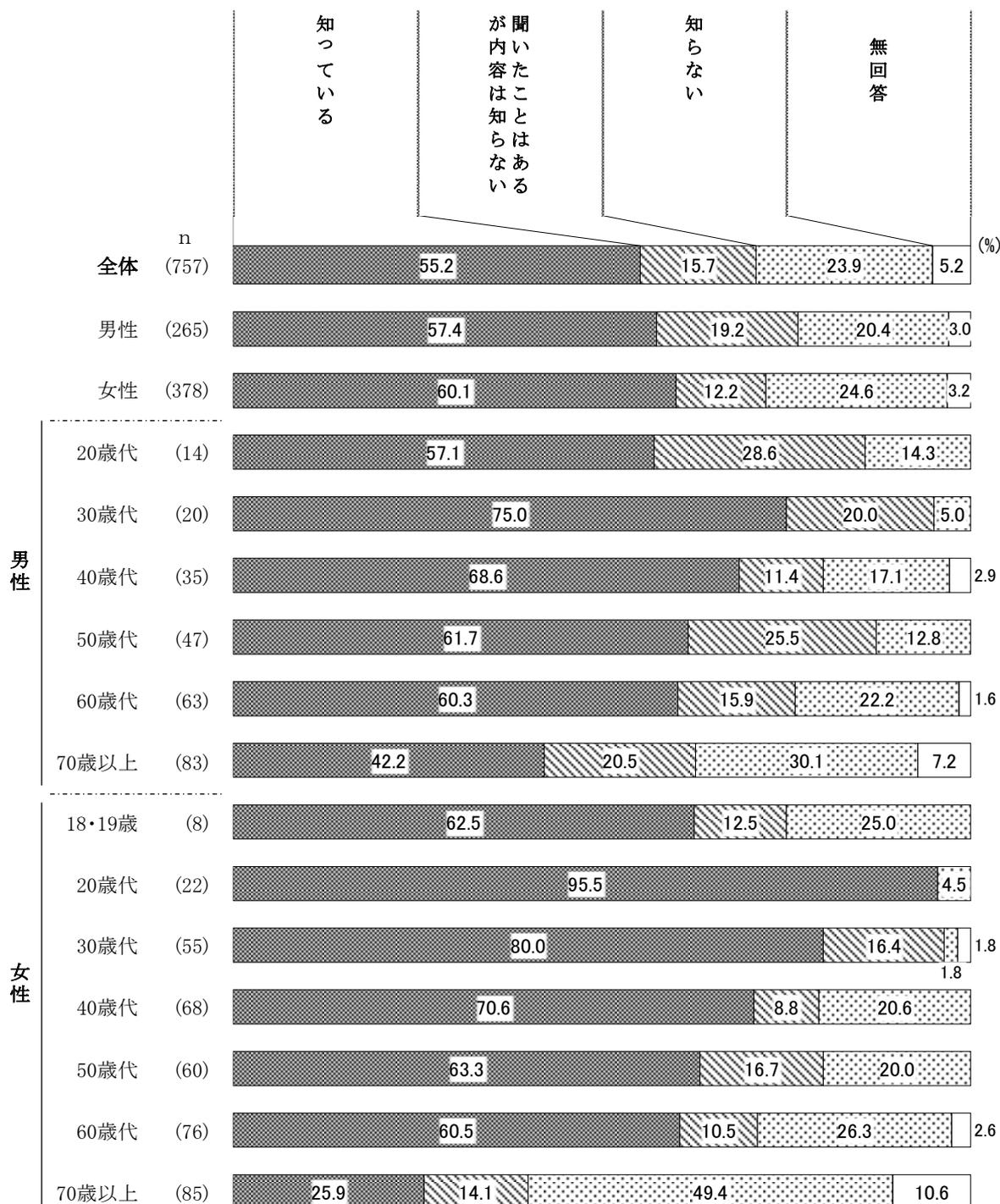
誰（どこ）にも相談できなかった理由について、「相談しても無駄だと思った」は全体で38.2%となっており、次いで「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った」、「他人を巻き込みたくない」、「相談するほどのことではないと思った」が全体で35.3%となっている。

## 5. 性について

### (1) 「LGBT」という言葉の認知度

問14 あなたは「LGBT」という言葉について、内容を知っていますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

【性別・年代別】



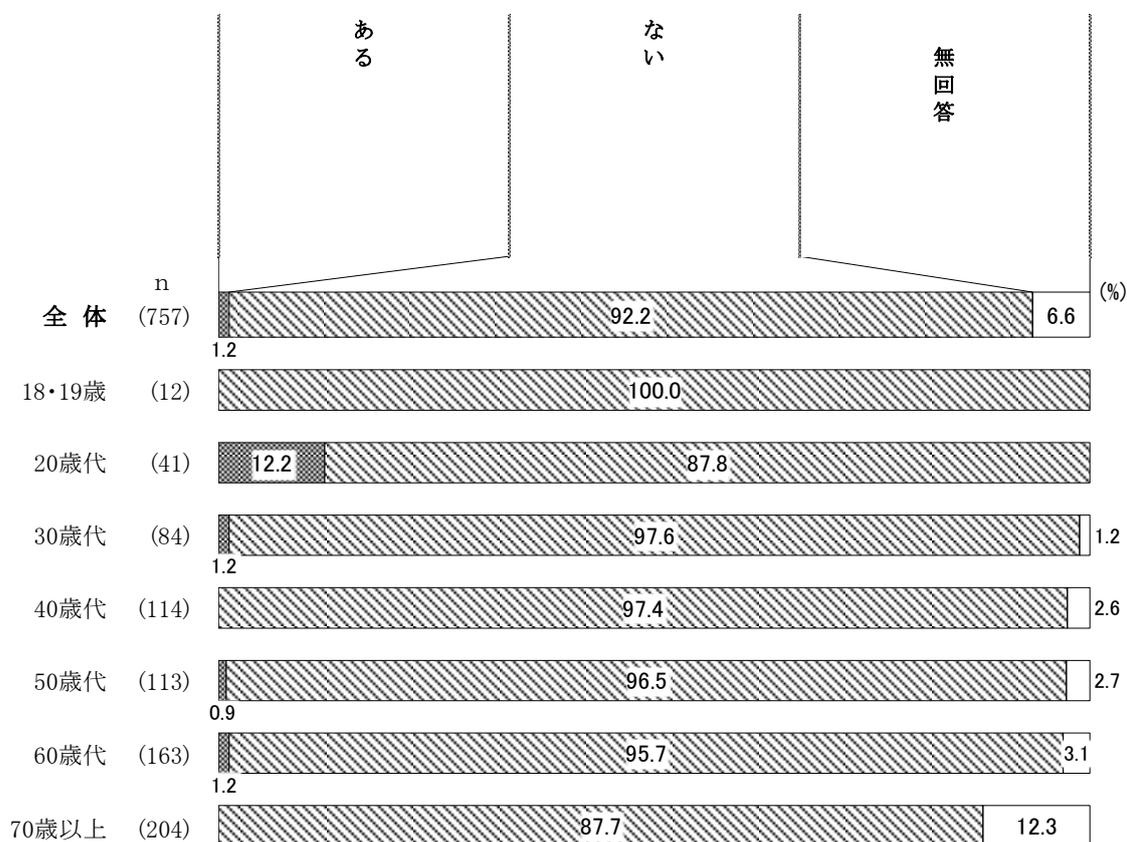
「LGBT」の内容の認知度について、「知っている」は全体で55.2%となっている。

性別・年代別でみると、「知っている」は男性40歳代で68.6%、女性30歳代で80.0%と多くなっている。「知らない」は男性70歳以上で30.1%、女性70歳以上で49.4%と最も多くなっている。

## (2) 性別についての悩みの有無

問15 ご自身の性別について悩んだことはありますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

## 【年代別】



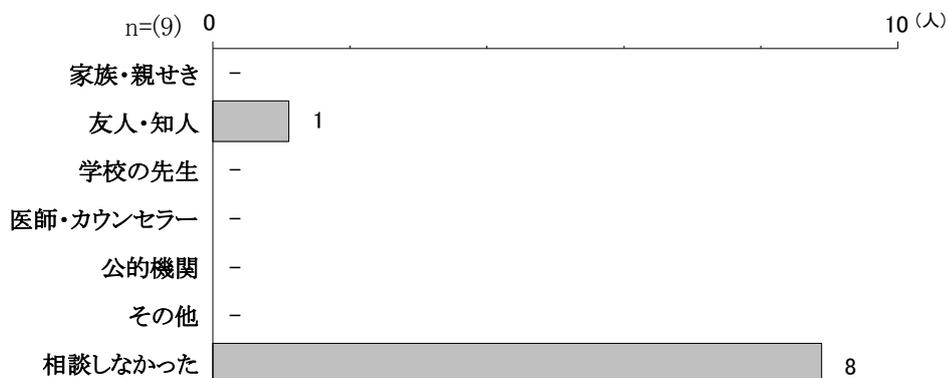
自分の性別について悩んだ経験は、「ある」は1.2%、「ない」は92.2%となっている。

年代別で見ると、20歳代で12.2%、30歳代で1.2%、50歳代で0.9%、60歳代で1.2%となっている。

(3) 相談した相手

【問15で、「ある」と回答した方にお伺いします】

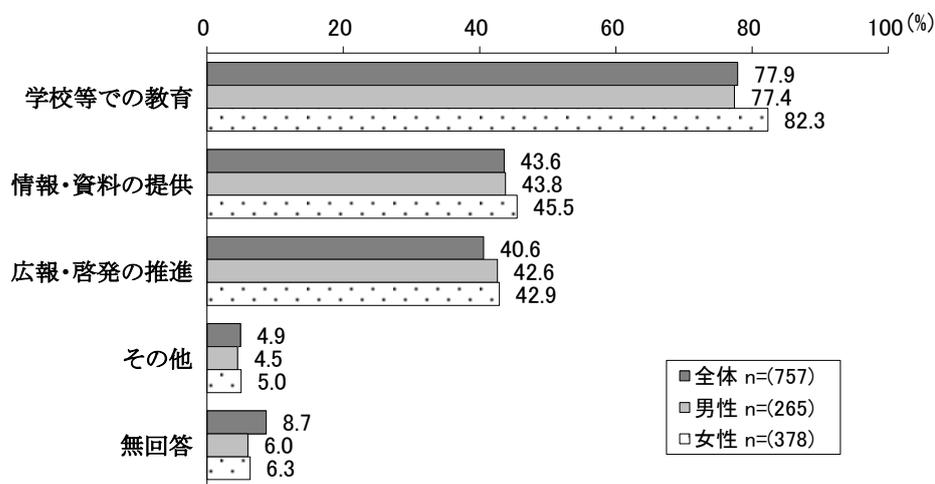
問15-1 あなたは性別についての悩みを誰（どこ）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



性別についての悩みの相談先については、8人が「相談しなかった」と回答している。「友人・知人」に唯一回答があった。

(4) 性に関する正しい情報を得るために必要なこと

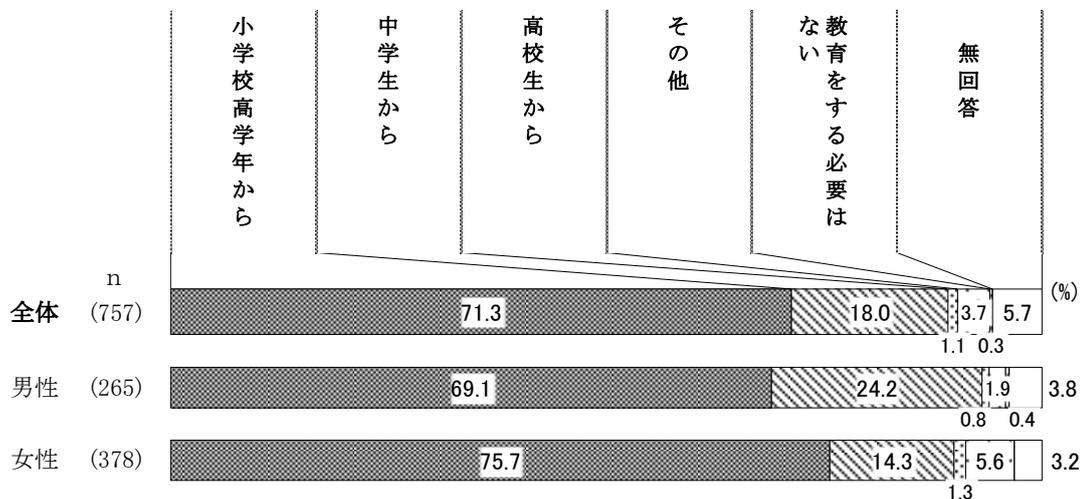
問16 性に関する正しい情報を得るために、必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



性に関する正しい情報を得るために必要なことについて、「学校等での教育」が全体で77.9%と最も多く、男性で77.4%、女性で82.3%となっている。次いで「情報・資料の提供」が全体で43.6%、「広報・啓発の推進」が全体で40.6%となっており、男女ともにどちらも4割台となっている。

(5) 性に関する教育を始めるべき時期

問17 性に関する教育は、どの時期から始めるべきだと思いますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)



性に関する教育の開始時期について、「小学校高学年から」は71.3%となっており、性別で見ると男性で69.1%、女性で75.7%と6.6ポイント女性が男性を上回っている。次いで「中学生から」は18.0%となっており、男性で24.2%、女性で14.3%と9.9ポイント男性が女性を上回っている。

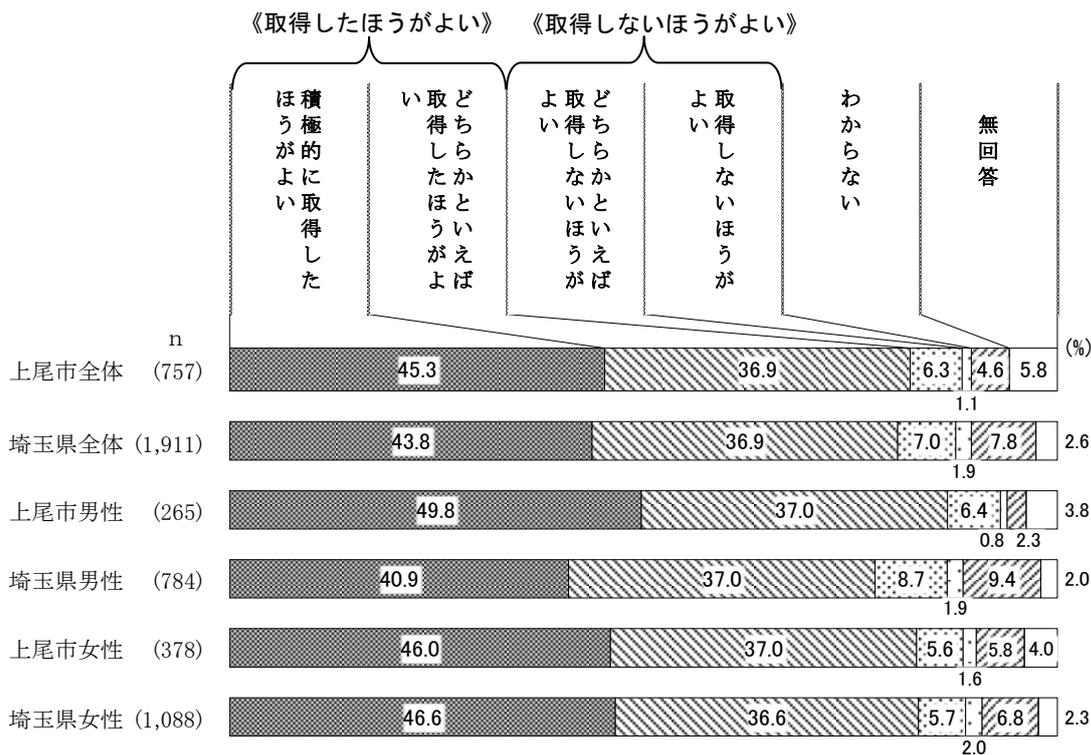
## 6. 就業について

### (1) 男性が育児／介護休業を取得することについて

問18 子育てや家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思いますか。(各項目それぞれあてはまるものに○を1つつけてください)

#### ①育児休業

##### 【性別／埼玉県との比較】



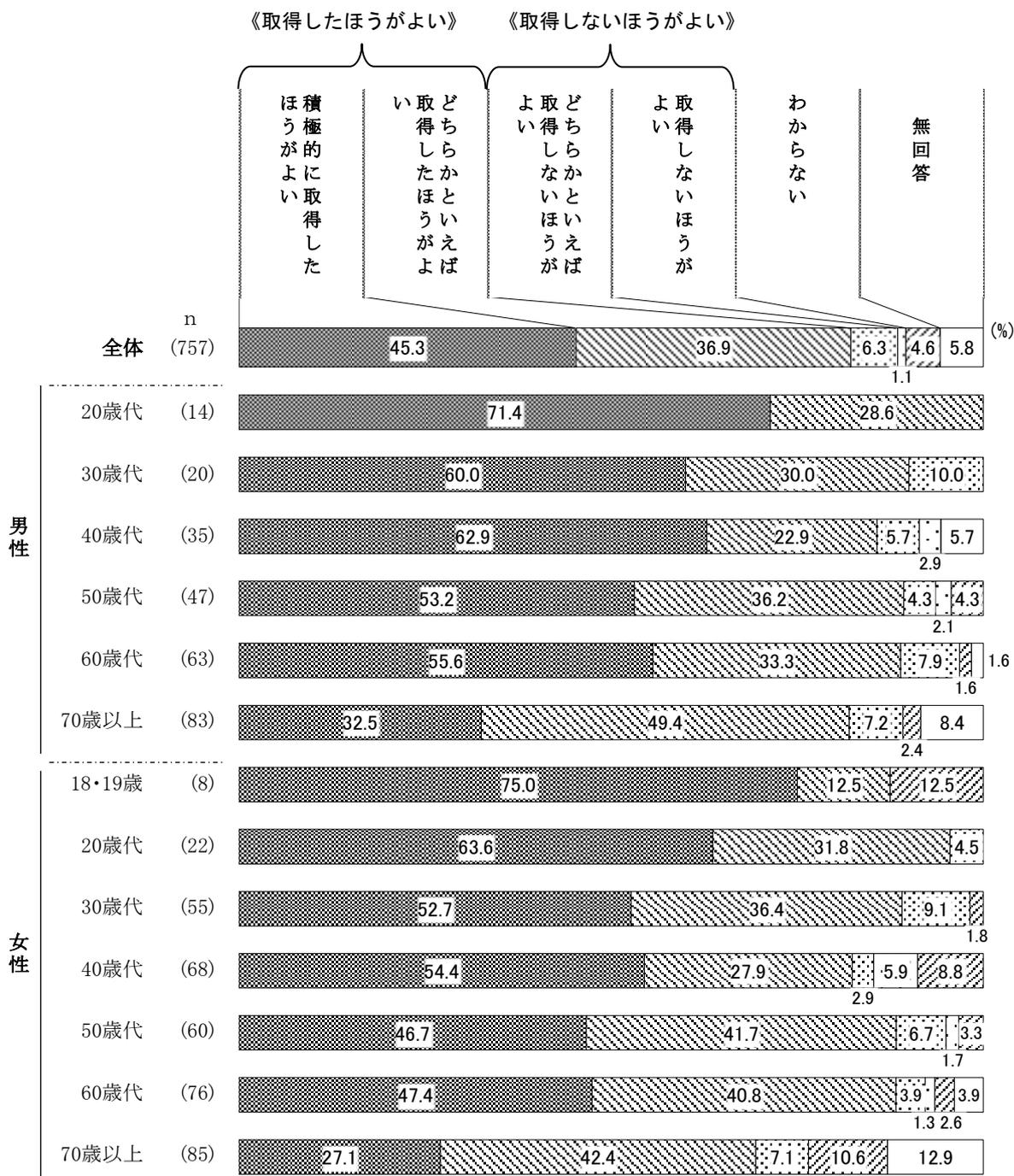
男性の育児休業取得について、《取得したほうがよい》（「積極的に取得したほうがよい」と「どちらかといえば取得したほうがよい」の合計）は82.2%となっている。

性別でみると、《取得したほうがよい》は男性で86.8%、女性で83.0%と3.8ポイント男性が女性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「積極的に取得したほうがよい」は上尾市男性で49.8%、埼玉県男性で40.9%と8.9ポイント上尾市男性が上回っている。

①育児休業

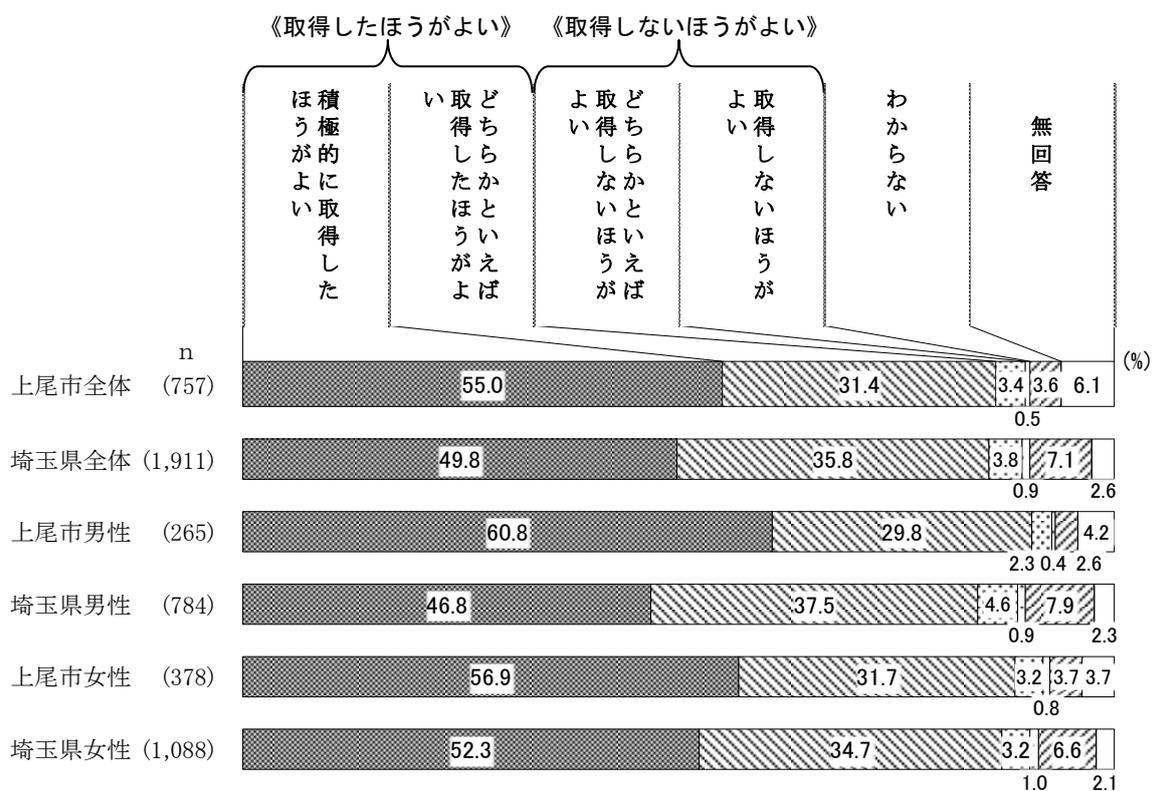
【性別・年代別】



性別・年代別でみると、「積極的に取得したほうがよい」は男性70歳以上で32.5%、女性70歳以上で27.1%と少なくなっている。「どちらかといえば取得しないほうがよい」は女性30歳代で9.1%と比較的多くなっている。

②介護休業

【性別／埼玉県との比較】



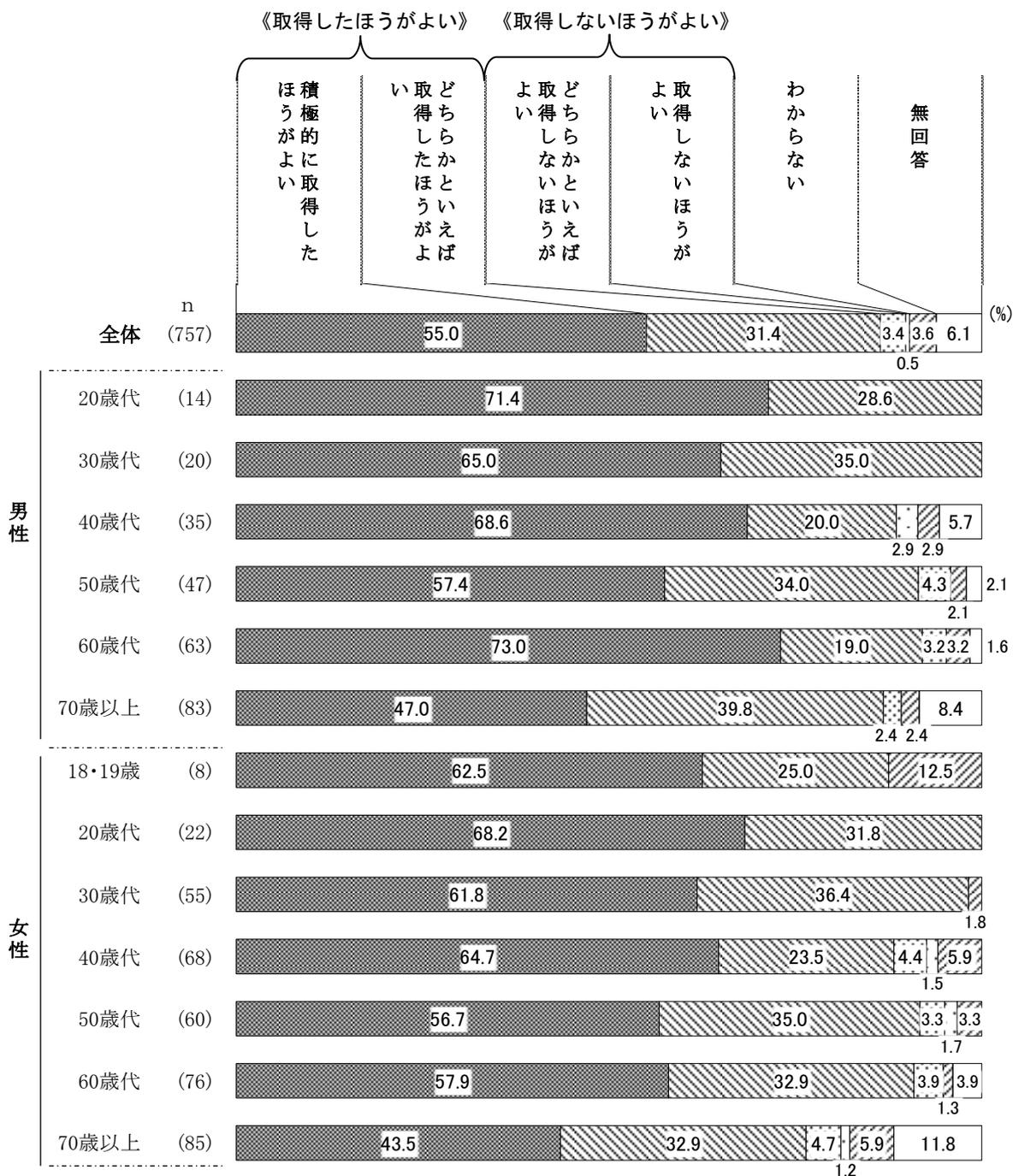
介護休業の取得について、《取得したほうがよい》は86.4%となっている。

性別でみると、「積極的に取得したほうがよい」は男性で60.8%、女性で56.9%と3.9ポイント男性が女性を上回っている。

埼玉県の調査と比較すると、「積極的に取得したほうがよい」は上尾市男性で60.8%、埼玉県男性で46.8%と14.0ポイント上尾市男性が上回っている。

②介護休業

【性別・年代別】

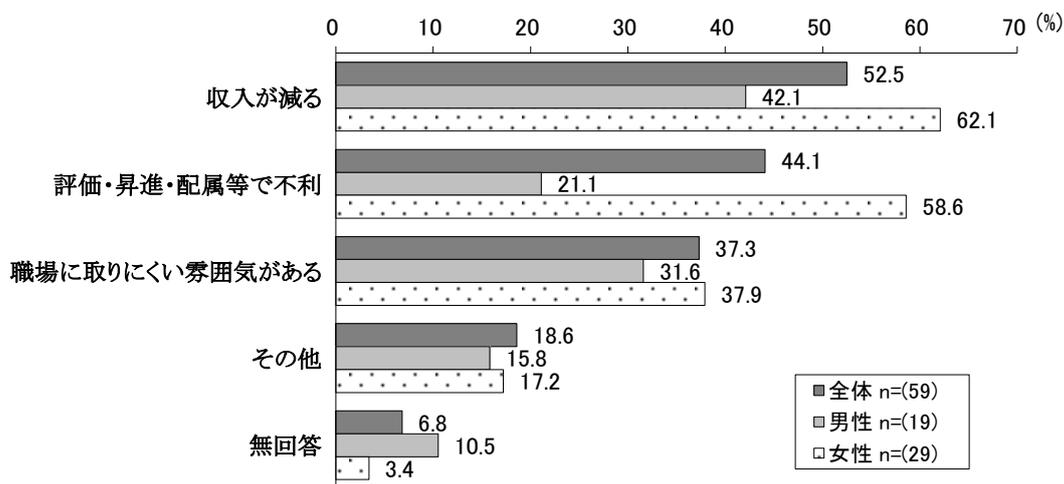


性別・年代別でみると、「積極的に取得したほうがよい」は男性60歳代で73.0%と最も多くなっている。一方で、男性70歳以上で47.0%、女性70歳以上で43.5%と少なくなっている。

(2) 取得しないほうがよいと思う理由

【問18で、「どちらかといえば取得しないほうがよい」または「取得しないほうがよい」と回答した方にお伺いします】

問18-1 取得しないほうがよいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

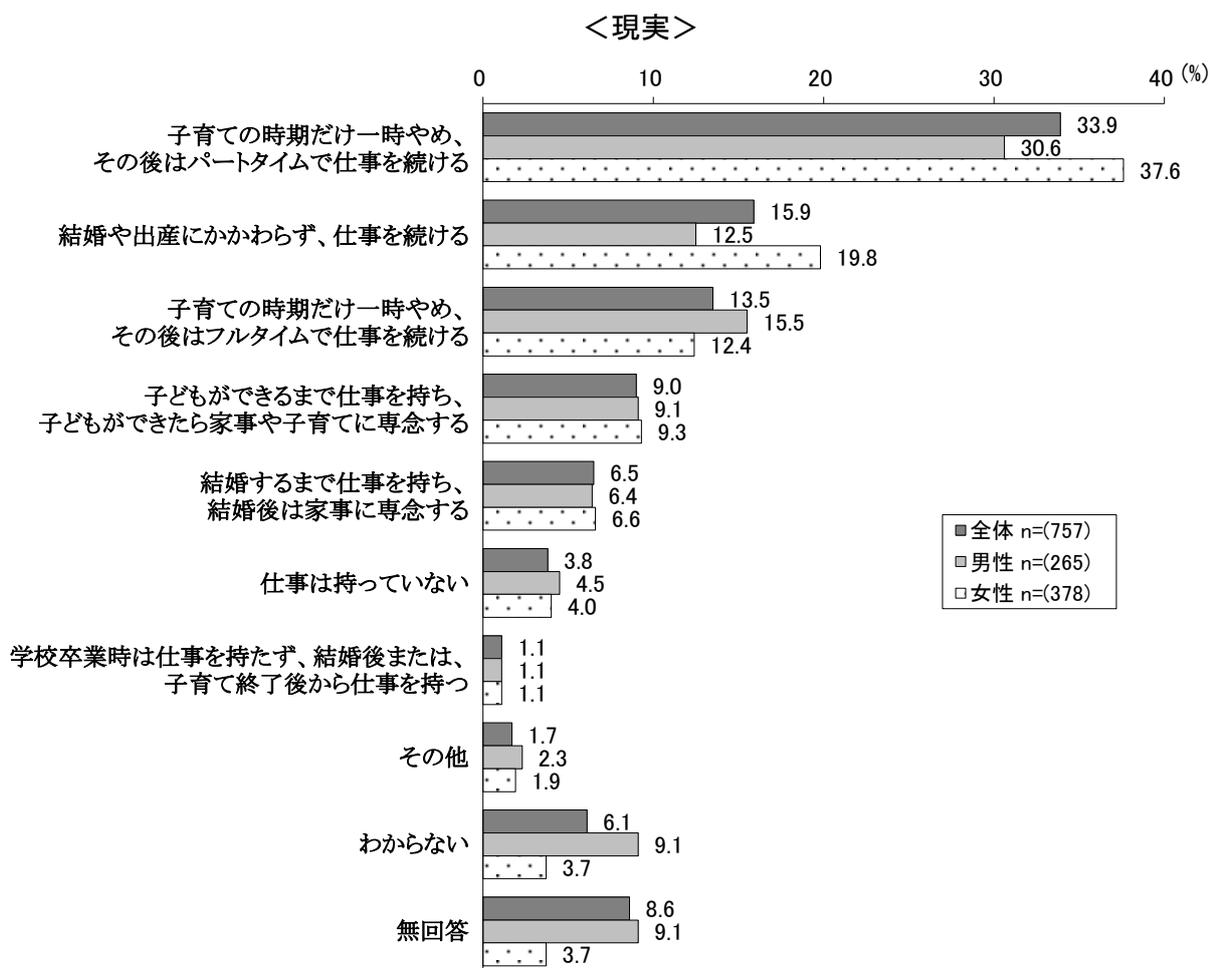


育児／介護休業を取得しないほうがよいと思う理由について、「収入が減る」は52.5%となっている。次いで「評価・昇進・配属等で不利」は44.1%、「職場に取りにくい雰囲気がある」は37.3%となっている。

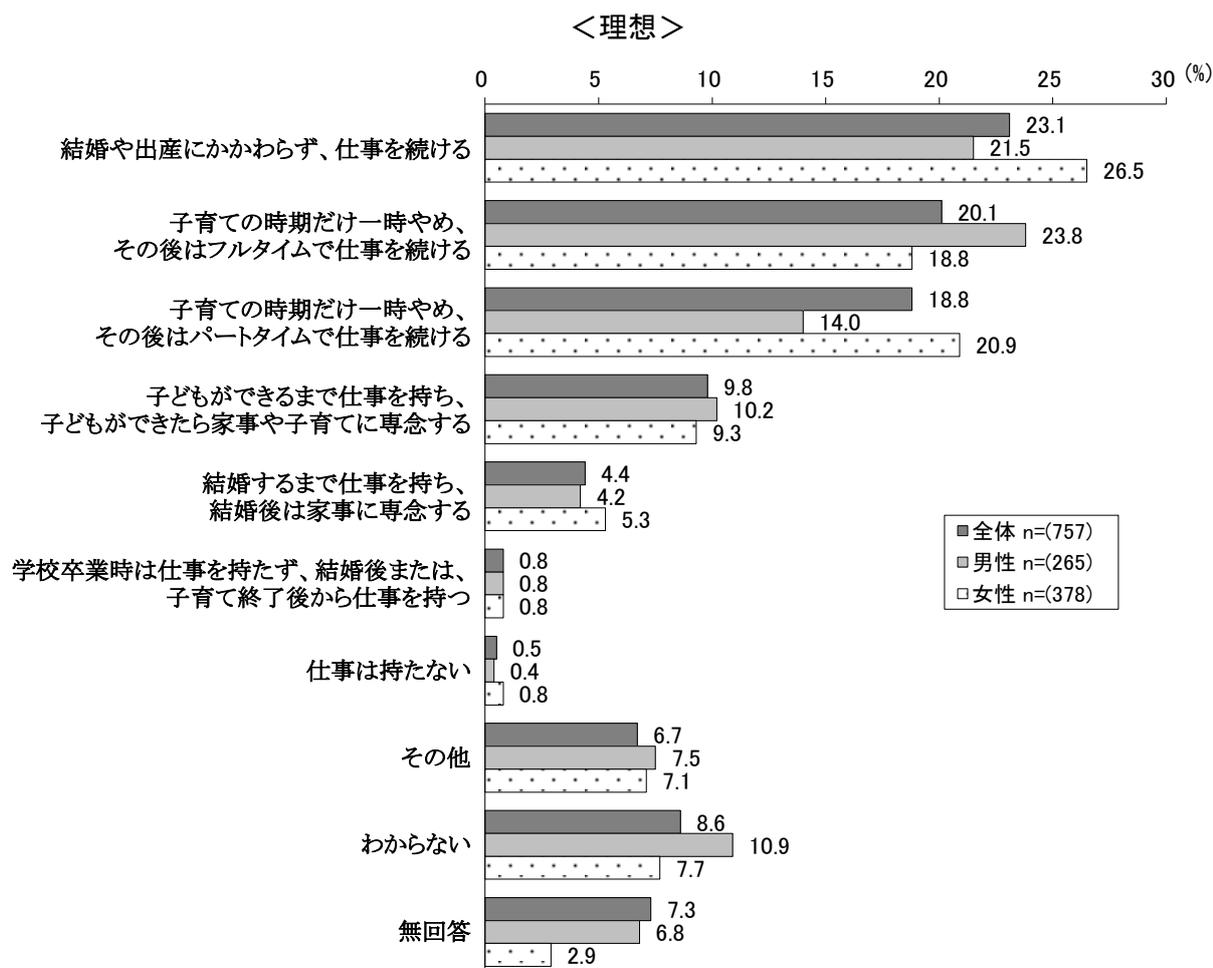
(3) 女性が職業を持つことについての現実と理想

問19 女性の働き方について、現実にはどうでしょうか。ご自身の状況、ご家庭の状況からお答えください。(あてはまるものに○を1つつけてください)

問20 女性の働き方について、理想はどうあるべきと思いますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

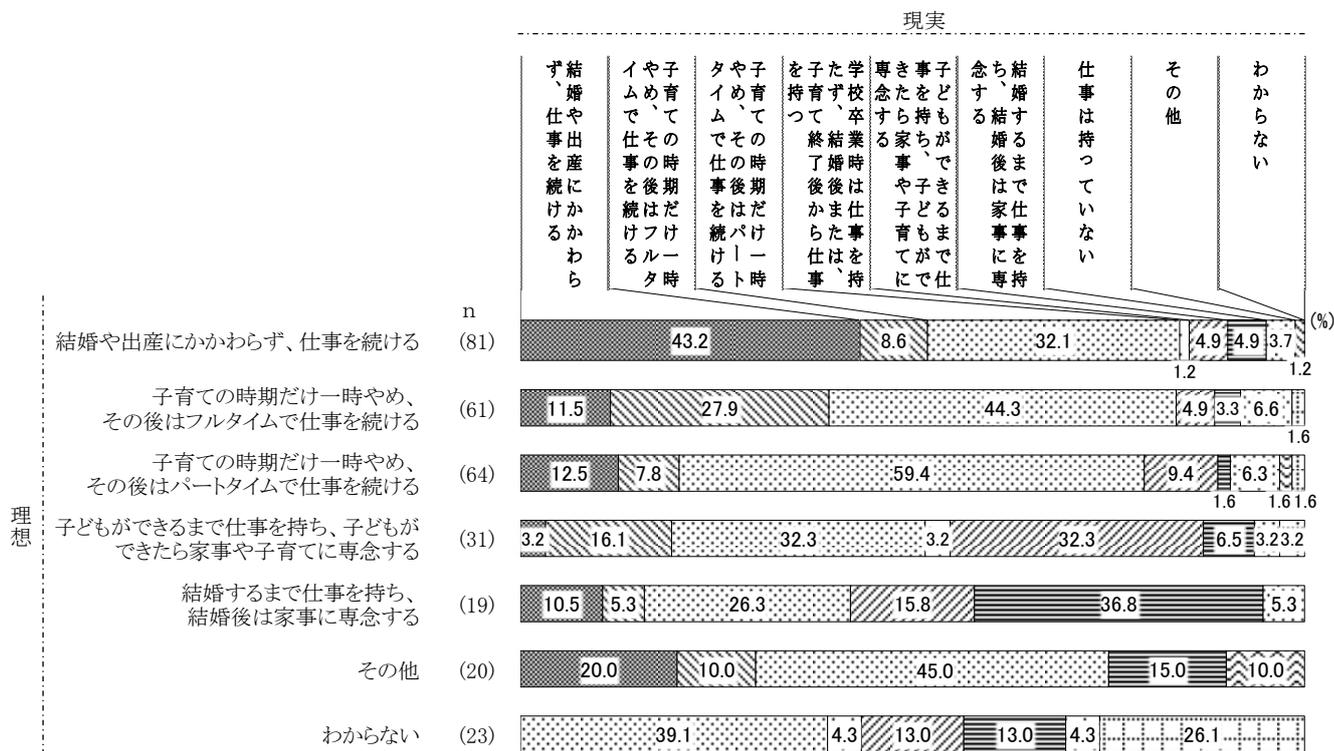


女性の働き方の現実について、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は全体で33.9%となっており、男性で30.6%、女性で37.6%と男女ともに最も多くなっている。次いで女性では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」が19.8%と多くなっており、男性では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が15.5%となっている。



女性の働き方の理想について、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」は全体で23.1%となっており、女性でも26.5%と最も多くなっている。「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」は全体で20.1%となっており、男性では23.8%と最も多くなっている。「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は男性で14.0%、女性で20.9%と6.9ポイント女性が男性を上回っている。

【女性の働き方の現実と理想のマッチング】

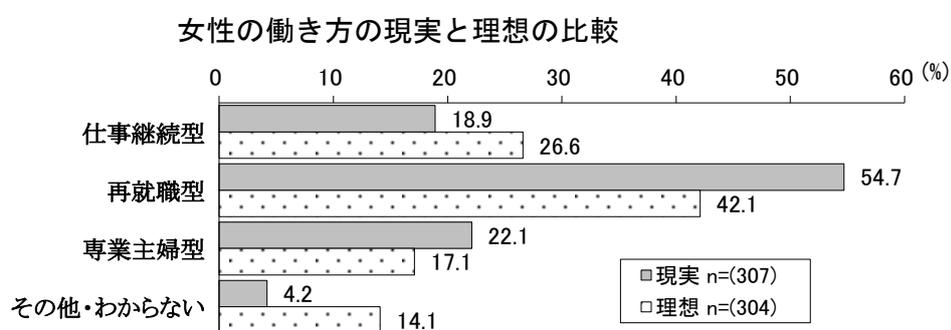


※「学校卒業時は仕事をもち、結婚後または、子育て終了後から仕事をもち」、「仕事はもちない」は回答者が3人未満のため、グラフには未掲載

結婚している女性で、問 19（女性の働き方の現実について）と問 20（女性の働き方の理想について）の両方に回答している人について、現実と理想の働き方をみると、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」という働き方を理想としている女性の 43.2%は、現実でも同じ働き方となっている一方で、32.1%は、現実では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」という働き方になっている。「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」という働き方を理想としている女性の 44.3%は、現実では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」という働き方になっており、現実で「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」という働き方より 16.4 ポイント多くなっている。

## 【女性の働き方を3つに分類した場合】

結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	仕事継続型
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	再就職型
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	
学校卒業時は仕事を持たず、結婚後または、子育て終了後から仕事を持つ	
子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する	専業主婦型
結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する	
仕事は持たない	
その他	その他・
わからない	わからない

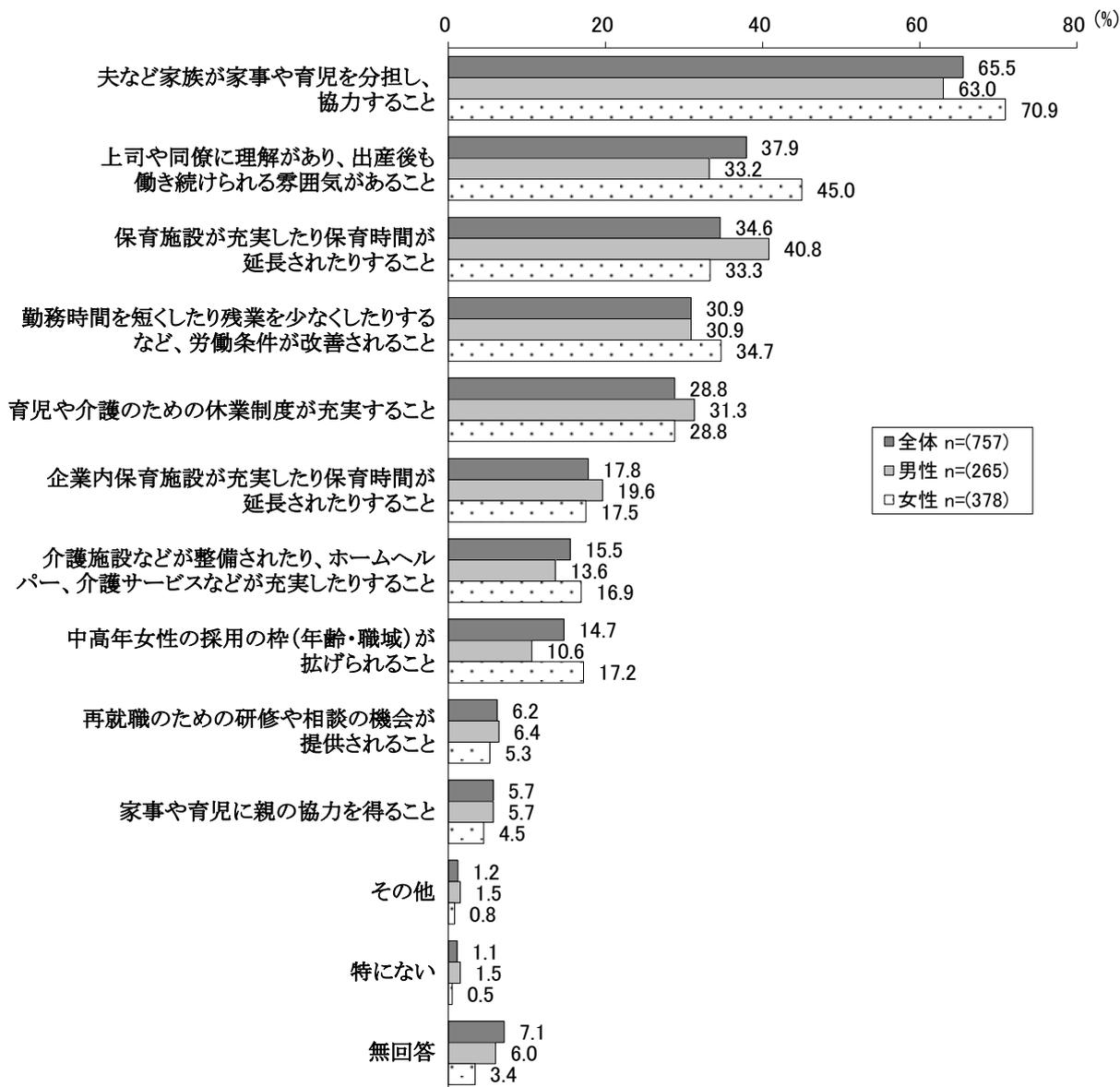


女性の働き方を、「仕事継続型」、「再就職型」、「専業主婦型」の3つに分類し、現実と理想で比較を行ったところ、「仕事継続型」は、現実で18.9%、理想で26.6%と現実が理想より7.7ポイント少なくなっている。「再就職型」は、現実で54.7%、理想で42.1%と現実が理想より12.6ポイント多くなっている。「専業主婦型」は、現実で22.1%、理想で17.1%と現実が理想より5.0ポイント多くなっている。

現実、理想ともに、「再就職型」が最も多くなっている。次いで、現実では「専業主婦型」が多くなっているが、理想では「仕事継続型」が多くなっている。

(4) 女性が働き続けたり、再就職するために必要なこと

問21 女性が働き続けたり、再就職したりするために特に必要だと思うものは何ですか。(あてはまるものに○を3つまでつけてください)



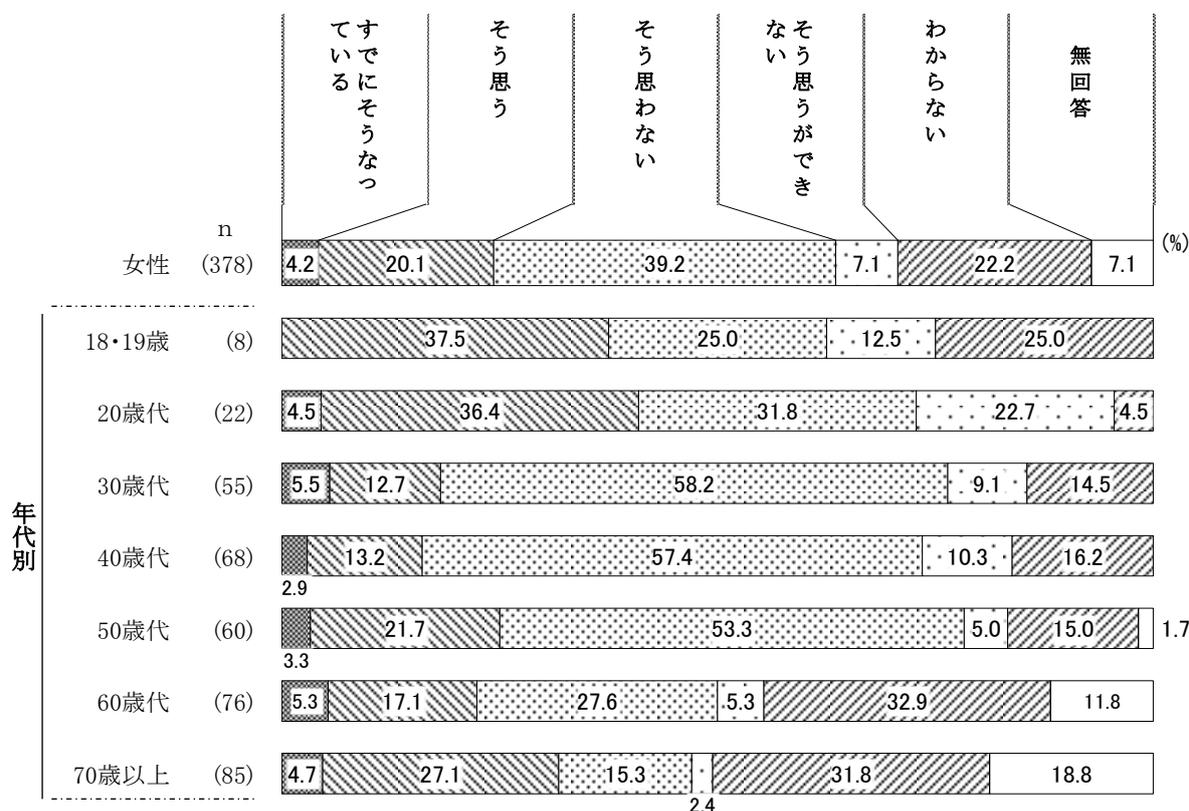
女性が働き続けたり、再就職するために特に必要だと思うことについて、「夫など家族が家事や育児を分担し、協力すること」は全体で65.5%となっており、男女ともに最も多くなっている。次いで女性では「上司や同僚に理解があり、出産後も働き続けられる雰囲気があること」が多くなっており、男性で33.2%、女性で45.0%と11.8ポイント女性が男性を上回っている。男性では「保育施設が充実したり保育時間が延長されたりすること」が次いで多くなっており、男性で40.8%、女性で33.3%と7.5ポイント男性が女性を上回っている。

(5) 女性の管理職以上への昇進に対する意識

【女性の方にお伺いします】

問22 キャリアアップし、組織の意志決定に加わる立場（管理職への昇任等）になりたいと思いますか。（あてはまるものに○を1つつけてください）

【年代別】



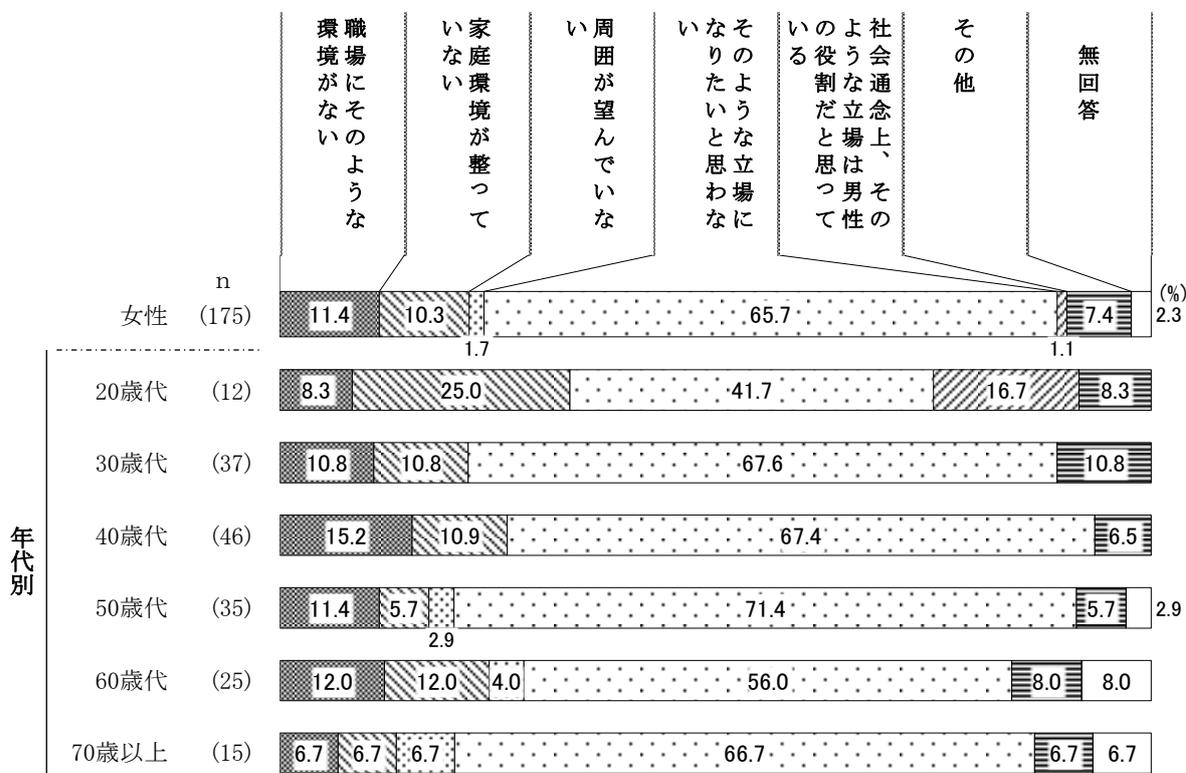
女性の組織の意志決定に加わる立場（管理職への昇任等）への意向について、女性全体で「そう思う」は20.1%、「そう思わない」は39.2%、「そう思うができない」は7.1%となっている。「すでにそうなの」は4.2%である。

年代別にみると、「そう思う」は50歳代で21.7%、70歳以上で27.1%と2割台となっている。「そう思わない」は30歳代～50歳代で5割以上となっている。「そう思うができない」は40歳代以下の若年層で多くなっている。

(6) 女性が管理職以上への昇進を希望しない理由

【問22で、「そう思わない」または「そう思うができない」と回答した方にお伺いします】  
 問23 そのように思う理由は何ですか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

【年代別】



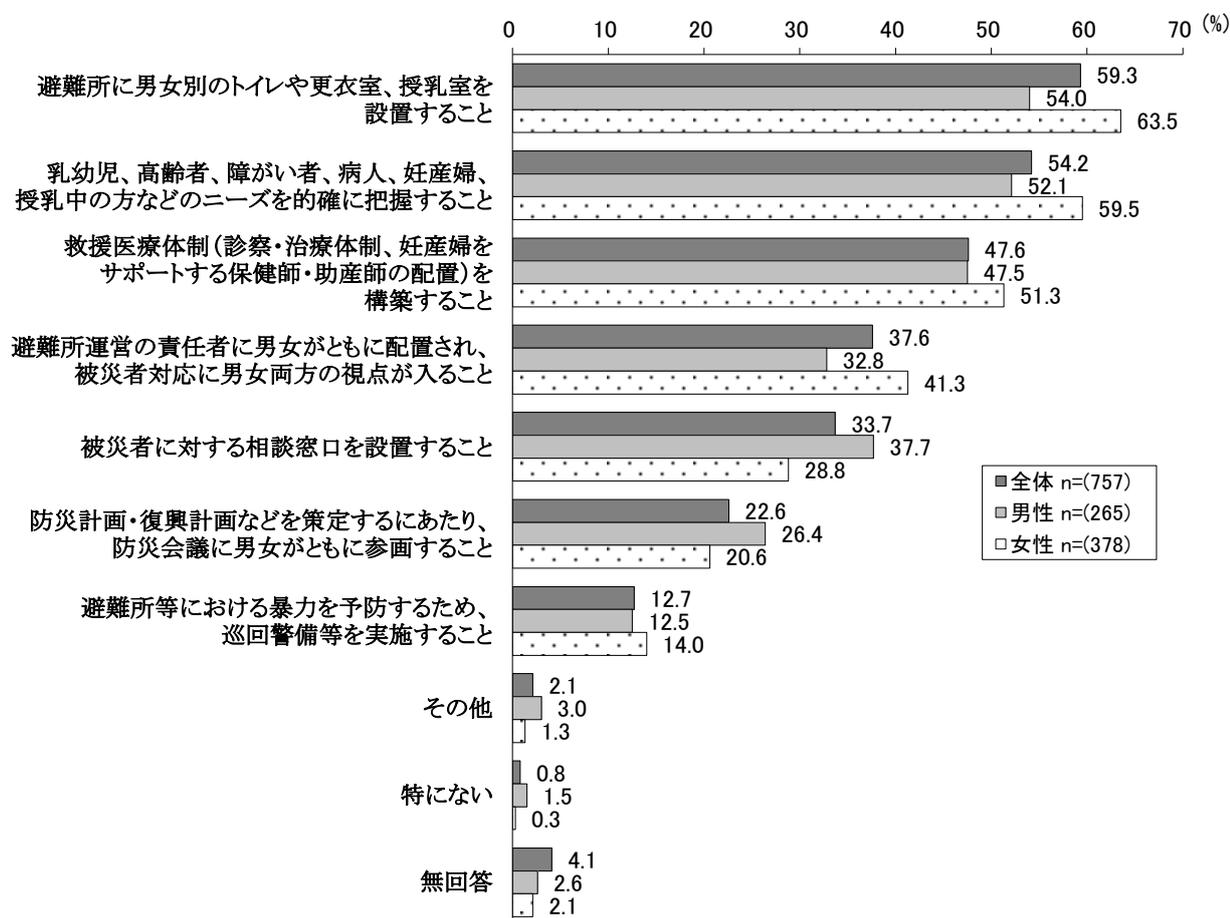
昇任等を望まない（できない）理由について、「そのような立場になりたいと思わない」は65.7%と最も多くなっており、次いで「職場にそのような環境がない」は11.4%、「家庭環境が整っていない」は10.3%となっている。

年代別で見ると、「そのような立場になりたいと思わない」は20歳代を除いたすべての年代で5割以上となっており、50歳代で71.4%と最も多くなっている。「周囲が望んでいない」は50歳代以上で回答があった。

## 7. 防災について

### (1) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があること

問24 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。(あてはまるものに○を3つまでつけてください)

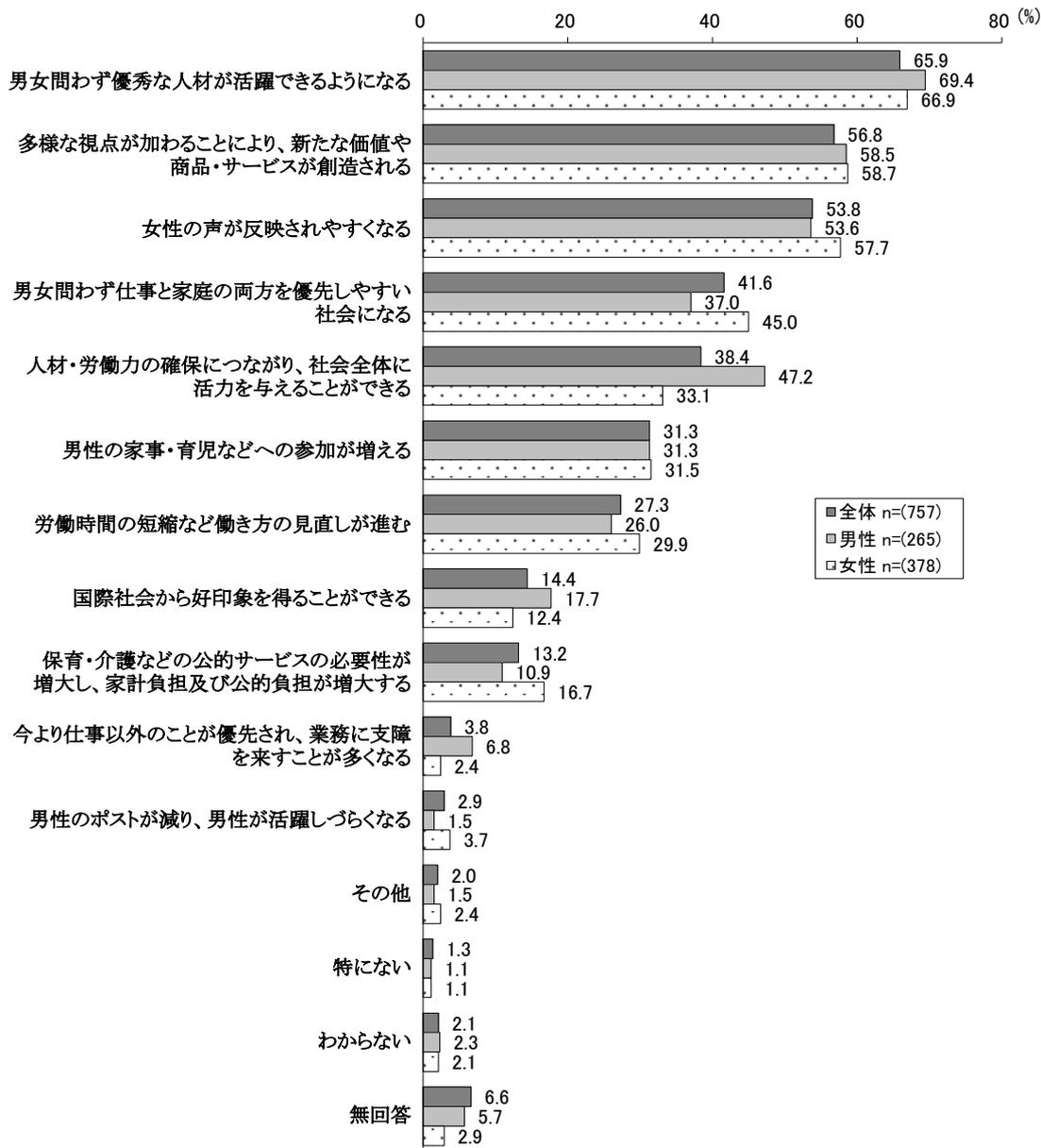


防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があることについて、「避難所に男女別のトイレや更衣室、授乳室を設置すること」が全体で59.3%となっており、男性で54.0%、女性で63.5%と男女ともに最も多くなっている。次いで「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること」は54.2%、「救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること」は47.6%となっている。「避難所運営の責任者に男女がともに配置され、被災者対応に男女両方の視点が入ること」は男性で32.8%、女性で41.3%と8.5ポイント女性が男性を上回っているが、「被災者に対する相談窓口を設置すること」は男性で37.7%、女性で28.8%と8.9ポイント男性が女性を上回っている。

## 8. 女性の活躍推進について

### (1) 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿

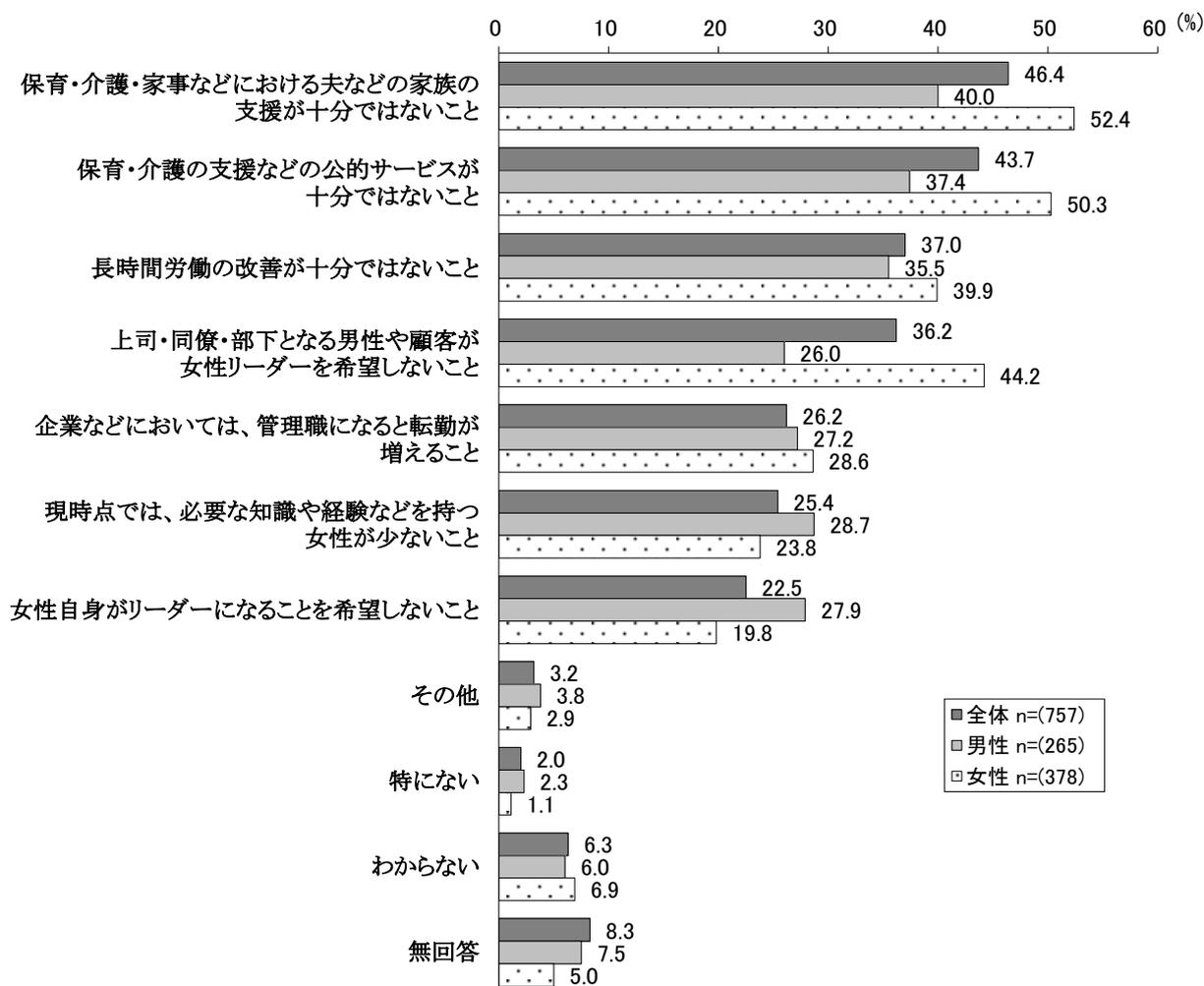
問25 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーが増えることによる影響について、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が全体で65.9%となっており、男女ともに最も多くなっている。「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」は男性で37.0%、女性で45.0%と8.0ポイント女性が男性を上回っている。「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」は男性で47.2%、女性で33.1%と14.1ポイント男性が女性を上回っている。

(2) 女性の活躍を進めるに際しての障害

問26 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

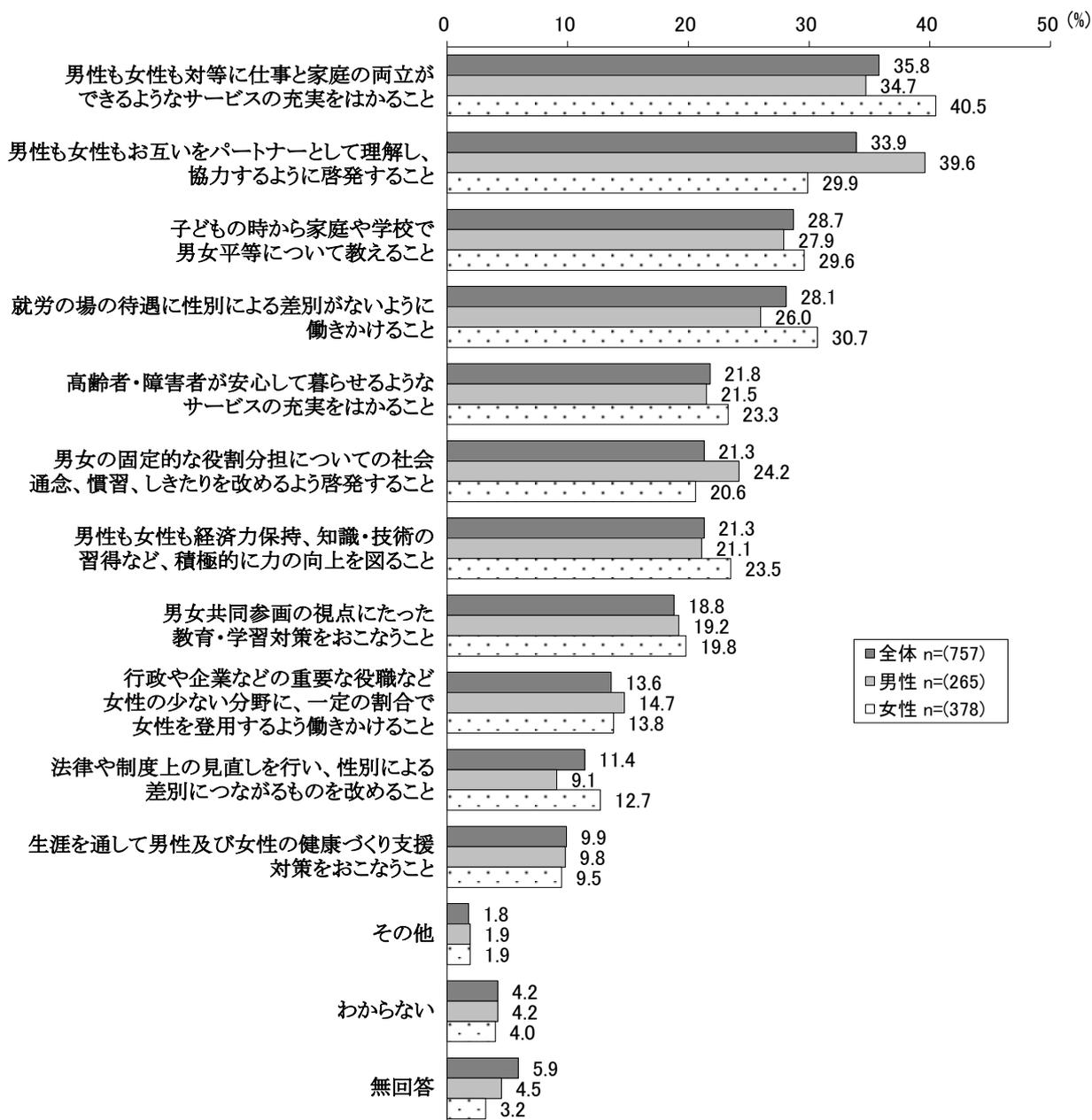


政治・経済・地域などの各分野で女性リーダーを増やすときに障害となるものについて、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」は全体で46.4%、男性で40.0%、女性で52.4%と男女ともに最も多くなっており、12.4ポイント女性が男性を上回っている。次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」は全体で43.7%となっており、男性で37.4%、女性で50.3%と12.9ポイント女性が男性を上回っている。「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」は女性で44.2%となっているが、男性では3割を下回り、「その他」や「特にない」、「わからない」以外の項目の中で最も少なくなっている。「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」で、男性が女性を上回っている。

## 9. 市の男女共同参画の推進に関する施策について

### (1) 上尾市の施策について

問27 今後、男女がともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参加していくために、上尾市としてどのようなことに力を入れていくべきと思いますか。(あてはまるものに○を3つまでつけてください)



市の男女共同参画の推進に関する施策で今後力を入れていくべきものについて、「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実をはかること」が全体で35.8%となっており、女性で40.5%と最も多くなっている。「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力するように啓発すること」は男性で39.6%と最も多くなっている。

## 10. 自由記述

## (1) 男女共同参画に関して感じていること、市の男女共同参画施策に望むこと

あなたが、男女共同参画に関して日ごろ感じていることや、上尾市の男女共同参画施策について望むことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

## 意見（一部抜粋）

## 【家庭生活について】

- ・育児は、どうしても、母親がメインと考えられがちで、家庭の役割も、女性が負担増である。職場復帰したが、仕事・家事・育児と担うものが多く、相談してもマインドが異なる為、もっと、幼い頃から、男性の家庭への関わり方を、教育して行って欲しい。※男性が家事をすると「ありがとう」、女性がするのは「あたりまえ」、納得できませんが、そういう世の中になっていると思う。  
(女性・30歳代)
- ・子供をもって、女性が、働くことの大変さを、身をもって感じてきました。夫と同程度の働き方をしているも、家庭内や子供の学校関係での役割は、ほぼ、女性にかかってきます。能力があっても、働くことをあきらめている女性は多く、せつかくの能力が、多数うもれている社会です。  
(女性・40歳代)
- ・女性が、仕事と家庭を両立させるには、夫（家族）の協力が必要です。私は、31年間、フルタイムで働きました。仕事を家へ持ち帰った事もありましたが、「無理しないで早く寝な、先に寝るよ」と、いやな顔をしないで、体を労ってくれました。家族・会社に、成長させてもらったと感謝しています。協力する父親の姿、労りあう両親の姿を見て育った子供は、DV等、相手への暴力等は、しないと思います。男女共同参画を推進するには、小学校低学年からの教育が必要だと思います。  
(女性・70歳以上)

## 【男女平等に関する意識について】

- ・社会全体が、まだ、男性優位の社会と思われまます。女性が、参画しやすい雰囲気を作っていく事が、必要と思います。(男性・70歳以上)
- ・男女平等には賛成だが、「女性に出来る事」「男性に出来る事」をお互いに理解し、「女だからダメ」「男だからダメ」という考え方を、無くしていく努力をした方が良いと思います。世間では、平等という言葉ばかりが先行している様に思えるが、男女平等というより、男女共存していくには、何が必要なのかを考えた方が良いと思います。(女性・40歳代)
- ・小・中学生時代から、男女共同参画についての教育に触れ、私生活の中では、女性に対し、優位な立場である等の考えは全く無いが、年配者（50代～）の発言や考え方には、違和感を抱く事がある。幼い頃からの教育により、改善されていくのではないかと感じる。(男性・20歳代)

**【人権について】**

- ・1人でも多く、DV被害にあっている方が、少なくなる様にお力添えをお願いします。(男性・50歳代)
- ・共同参画とは少し外れてしまうのかもしれませんが、性被害・加害の啓もうポスター等において、被害者(女性)の自衛を促すのではなく、加害者を責めるように、表現すべきだと感じます。性被害で悪いのは、加害者側であり、被害者には、何の落ち度もないためです。又、年少者に、男女平等を説くことも必要ですが、より必要なのは、成人した人達だと考えます。最後に、今回、このように意見を述べる機会を下さり、ありがとうございました。上尾が、皆に魅力的な町になることを願います。(女性・20歳代)

**【就業について】**

- ・男女平等とは、無理に押しつけるものではなく、性別に関係なく、個々の能力を上げ、人間として向上していけば、男性でも女性でも、社会に積極的に参加していけると思います。女性が、男性と同様に働ける環境作りを推進して欲しいです。女性にとっても、選択の巾を広げることだと思います。(女性・50歳代)
- ・職場によって、男女比率に差が大きくなる職種が、一定数あると思いますが(保育施設etc)、女性が多い職場内の男性保育士の立場が、少し下なのかな?と思う場面が数回ありました。世間という大きなくくりで見ると、女性が守られる立場という考えが、今は、先行していると思います。能力・キャラクターに応じたフラットな世の中になると、人間としてのモチベーションが、性別に関係なく上がると思います。(女性・30歳代)
- ・勤めをしていて、同じ量・同じ時間、勤めていても、給料が、女性の方が少ない点がまだまだある。いくら社会進出を促す、共同をうたったとしても、上が男性ばかりで、女性はつかえない、結婚で、仕事も出来なくなるだろうとのきめつけも多いので、制度や法律を決めても意味はない。まずは、現在の上の世代の男性の意識や考えを、変える意見交換や対談機会を、多くもうけるなどしても良いと思います。(女性・40歳代)
- ・男性が、育休取得をしやすい環境づくり(「男性がとるものではない」という考え方をなくすこともふくめ)を望みます。(女性・30歳代)

### 【女性の活躍推進について】

- ・女性の方が、社会へ積極的に参加することは、大賛成です。(男性・70歳以上)
- ・まだまだ、女性が活躍している感じは、少ないと思います。その中、優秀な女性もたくさんいる現代、積極的に、あらゆる分野で活躍出来る様、女性の立場から希望します！！(女性・50歳代)
- ・ボランティアや地域との関わりでは、女性が多いにもかかわらず、男性リーダーのみしかいないことが、見受けられます。向き、不向きもあるかと思いますが、女性の方が、積極的に参加できる施策をお願いします。(女性・30歳代)

### 【市の男女共同参画に関する施策について】

- ・共働きの家庭です。パートタイマーで働いておりますが、出勤・帰宅時間は、主人と余り変わりありません。家事の負担は、現実、妻の私に多く降りかかっています。男性の家事に対する意識は、未だ、薄いと感じております。施策課の方で、男女（共働き夫婦）の時間、1日の仕事（家事含む）を、グラフなどにさせていただいて、男性に、女性の負担率を目にさせていただくなど、理解してもらう場を設けてもらいたいと思います。夫婦参加型のディスカッションの場を設けるのも、効果的かと思えます（他の夫婦の方々の意見を聞くと、各々の考え方も、変わってくるのではとも思えます）。  
(女性・40歳代)
- ・「男性は、家事育児ができない（仕事をする方が大事）」という風潮は、まだ、根強いと思います。子どもに関する支援を手厚くすることで（世に言う）、イクメンが集まる→男女平等に対する考えが、アップデートされやすくなると思うので、市をあげて、子育て支援が、更に、充実されると、とてもうれしいです！（トワイライトステイなど）(女性・30歳代)
- ・上記案件に関わらず、市としてのサービスや提供できる事などの情報発信を、HPだけでなく、QRコード e t c、駅前チラシなど、市へ、アクセスしやすい環境を、もっと、増やすべきだと思う。  
(男性・40歳代)
- ・大切に、重要なことだと考えていますが、何か、もっと親しみやすく、中身が解るような名称があると、良いと思います。(男性・70歳以上)
- ・どういったことを取り組んでいるのか、よく分かっていない（広報は、毎月、目を通してはいるが、よく分からない）。なかなか、関心を持ちづらい事なので、何かのイベントの時にでも、啓発運動などを行う必要があると思います（活動をやっていたら、知られていないという事です）。  
(女性・40歳代)
- ・女性の地位向上を進める為に、行政も積極的に取り組んで欲しい。例、(1) パワハラ・セクハラ・マタハラ等の被害をなくす（女性の被害が多い）。(2) 女性が結婚して、出産・育児が出来る環境の整備。(3) 職場の中で、男女平等（職位・賃金・権利・母体保護）を進める。(4) 社会全体で、女性に対する活動に、理解のできる世の中にする。(男性・60歳代)



## 第4章 調査票



上尾市男女共同参画に関する市民意識・実態調査

【ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。上尾市では、男女共同参画社会の実現をめざして、さまざまな取り組みを行っています。この調査は、市民の皆様の男女共同参画に関するご意見を幅広くお伺いし、令和3年度からの上尾市男女共同参画計画の基礎資料とさせていただきます。この調査の対象者は、市内にお住まいの満18歳以上の方、2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

回答は無記名です。調査の結果は、統計的な集計・分析だけに用いられますので、ご迷惑をお掛けすることはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月

上尾市長 島山 稔

- 1) 調査には、封筒のあて名のご本人がお答えください。
- 2) お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、お手教ですが、( ) 内にその内容をご記入ください。
- 3) お答えは、設問ごとに（あてはまるものに○を1つつけてください）など指定されていますので、お間違えのないようお気を付けてください。
- 4) 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ご注意ください。
- 5) すべての設問に対して回答がなくても、投函してください。
- 6) ご記入いただいた調査票は、10月17日(木)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

〔連絡先〕この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

上尾市市民生活部人権男女共同参画課  
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号  
TEL：048-778-5111（直通）  
FAX：048-778-5112

家庭生活について

問1 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。(①～⑧の項目それぞれ1～5からあてはまるものに○を1つつけてください)

	主として男性	共同して分担	主として女性	その他	該当しない
① 家事（炊事・洗濯・掃除・買物）	1	2	3	4	5
② 子育て（子どもの世話・しつけ・教育）	1	2	3	4	5
③ 介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）	1	2	3	4	5
④ 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
⑤ 自治会・PTA活動への参加	1	2	3	4	5
⑥ 生活費の確保	1	2	3	4	5
⑦ 家計の管理	1	2	3	4	5
⑧ 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4	5

問2 次のことについて、どのように担うほうがいいと思いますか。(①～⑧の項目それぞれ1～4からあてはまるものに○を1つつけてください)

	主として男性	共同して分担	主として女性	その他
① 家事（炊事・洗濯・掃除・買物）	1	2	3	4
② 子育て（子どもの世話・しつけ・教育）	1	2	3	4
③ 介護・看護（介護や看護の必要な家族の世話）	1	2	3	4
④ 地域の行事への参加	1	2	3	4
⑤ 自治会・PTA活動への参加	1	2	3	4
⑥ 生活費の確保	1	2	3	4
⑦ 家計の管理	1	2	3	4
⑧ 高額な商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4

【配偶者・パートナーのいる方にお伺いします】

問3 あなたと配偶者・パートナーそれぞれに子育ての経験、介護の経験はありますか。(A、Bについて①～②の項目それぞれ1～2からあてはまるものに○を1つつけてください)

	A 子育て経験		B 介護経験	
	ある	ない	ある	ない
① あなた	1	2	1	2
② 配偶者・パートナー	1	2	1	2

問3-1にもお答えください 問3-2にもお答えください

問6 男女共同参画に関する以下の事柄について、内容を知っていますか。(①～⑯の項目それぞれ1～3からあてはまるものに○を1つつけてください)

	内容を知っている	内閣 審議は知らない 審議は知らない 審議は知らない 審議は知らない	知らない
① 上尾市男女共同参画推進条例	1	2	3
② 上尾市男女共同参画計画	1	2	3
③ 上尾市男女共同参画情報紙「デュエット」	1	2	3
④ 男女共同参画社会	1	2	3
⑤ ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	1	2	3
⑥ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑦ セクシャル・ハラスメント	1	2	3
⑧ 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（マタニティ・ハラスメント等）	1	2	3
⑨ 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス/DV）	1	2	3
⑩ デートDV（交際相手からの暴力）	1	2	3
⑪ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（生涯を通じた女性の健康の保持増進）	1	2	3
⑫ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑬ 男女共同参画社会基本法	1	2	3
⑭ DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）	1	2	3
⑮ 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	1	2	3
⑯ 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	1	2	3
⑰ 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	1	2	3
⑱ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
⑲ 女子差別撤廃条約	1	2	3

【問3のA子育て経験で、「1 ある」と回答した方にお伺いします】  
問3-1 あなたと配偶者・パートナーの子育てのかかわりは十分だ(だった)と思いますか。(①～②の項目それぞれの1～5からあてはまるものに○を1つつけてください)

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分でない	十分でない	わからない
① あなた	1	2	3	4	5
② 配偶者・パートナー	1	2	3	4	5

【問3のB介護経験で、「1 ある」と回答した方にお伺いします】  
問3-2 あなたと配偶者・パートナーの介護へのかかわりは十分だ(だった)と思いますか。(①～②の項目それぞれの1～5からあてはまるものに○を1つつけてください)

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分でない	十分でない	わからない
① あなた	1	2	3	4	5
② 配偶者・パートナー	1	2	3	4	5

**男女平等に関する意識について**

問4 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたは、どう思いますか。  
(あてはまるものに○を1つつけてください)

同感する	どちらともいえない	同感しない	わからない
1	2	3	4

問5 次の分野で男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。(①～⑧の項目それぞれ1～6からあてはまるものに○を1つつけてください)

	男性 性 優 越	男 ど い ち ら 優 越 は か	平 等	女 ど い ち ら 優 越 は か	女 性 優 越	わ か ら な い
① 家庭の中で	1	2	3	4	5	6
② 職場の中で	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の中で	1	2	3	4	5	6
④ 政治の中で	1	2	3	4	5	6
⑤ 自治会やPTA等の地域活動の中で	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念や風潮（慣習・しきたり）で	1	2	3	4	5	6
⑦ 法律や制度で	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体で	1	2	3	4	5	6

人権について

問7 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いませんか。(①～⑯の項目それぞれの1～3からあてはまるものに○を1つつけてください)  
※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。

	と暴力を 加えられた 場合あなた はどの程度 悩まされた か	あてはまる 可能性の 程度を お答え ください	と暴力 を加え られた 場合 あなた はどの 程度 悩ま された か
① 平手で打つ	1	2	3
② 足で蹴る	1	2	3
③ 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1	2	3
④ なぐるふりをして、おどす	1	2	3
⑤ 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
⑥ 大声でどなる	1	2	3
⑦ 他の異性との会話を許さない	1	2	3
⑧ 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
⑨ 交友関係や行き先、電話・メール、SNSなどを細かく監視する	1	2	3
⑩ 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
⑪ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑫ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う	1	2	3
⑬ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑭ 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑮ 避妊に協力しない	1	2	3

問8 あなたは、これまでに、配偶者・パートナーに対して次のようなことをしたことがありますか。  
(①～④の項目それぞれの1～3からあてはまるものに○を1つつけてください)

※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。

	くま なつ いた	あ 1、 つ た た た も	あ 何 つ た た も
① 身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3
② 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メール、SNSなどを細かく監視したり、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたは、あなたの配偶者・パートナーもしくはその家族に危害を加えるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
③ 性的強要 (例えば、いやがっているのに、性的な行為を強要する、見たくないのに性的な映像等を見せる、避妊に協力しないなど)	1	2	3
④ 経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、貯金を勝手に使う、外で働くことを妨害するなど)	1	2	3

【問8で、「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお伺いします】  
問10-1 あなたがそのような行為をするに至ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 相手が自分の言うことを聞こうとしないので、行動でわからせようとした
2 いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発した
3 相手がそうされても仕方ないようなことをした
4 相手が自分に危害を加えてきたので、身を守ろうと思った
5 親しい関係ではこうしたことは当然である
6 その他 ( )
7 覚えていない
8 特に理由はない

問9 あなたは、これまでに、あなたの配偶者・パートナーから次のようなことをされたことがありますか。(①～④の項目それぞれの1～3からあてはまるものに○を1つつけてください)

※「配偶者・パートナー」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。

	く ま な つ い た	あ 1、 つ た た も	あ 何 つ た た も
① 身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3
② 心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メール、SNSなどを細かく監視したり、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたは、あなたの家族に危害を加えるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3
③ 性的強要 (例えば、いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのに性的な映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3
④ 経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害するなど)	1	2	3

問10-1

【問9で、「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお伺いします】  
問10 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 相談した	2 相談できなかった	3 相談しようとは思わなかった
問10-1へ → 問10-2へ		

問10-1

【問10で、「1 相談した」と回答した方にお伺いします】

問10-1 あなたが、相談した人(場所)を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 家族・親せき	7 男女共同参画センター・女性センター
2 友人・知人	8 弁護士
3 警察	9 医師・カウンセラー
4 人権擁護委員	10 民間の相談機関
5 役所の相談窓口・電話相談など	11 その他 ( )
6 配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター	

【問10で、「2 相談できなかった」または「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方にお伺いします】  
 問10-2 あなたが、誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 誰(どこ)に相談してよいかわからなかった  
 2 恥ずかしくて誰にも言えなかった  
 3 相談しても無駄だと思った  
 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力をうけると思った  
 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすることをできなかった  
 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った  
 7 世間体が悪い  
 8 他人を巻き込みたくない  
 9 思い出したくない  
 10 自分に悪いところがあると思った  
 11 相談するほどのことではないと思った  
 12 その他( )

相談窓口を13ページで紹介しています。ぜひご覧ください。

【問11は、あなたの交際相手からの暴力の被害経験についてうかがいます。】

問11 あなたは、これまでに交際相手がいましてか。結婚している方、したことのある方(事実婚を含む)は、配偶者・パートナーとなった相手以外についてお答えください。(あてはまるものに○をつけてください)

1 交際相手がいいた(いる) →問12にもお答えください  
 2 交際相手はいなかった(いない)

【問11で、「1 交際相手がいいた(いる)」と回答した方にお伺いします】

問12 あなたは、これまでに、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。①～④のそれぞれについて、「A交際相手からの被害」のあてはまる番号に○をつけてください。また、交際相手と同居した経験(いわゆる同棲経験)がある方は、「B同居期間中の被害」についてもお答えください。(①～④の項目それぞれ1～4からあてはまるものに○をつけてください)

	A 交際相手からの被害				B 同居期間中の被害			
	なまあい	あ10	あ20	あ30	なまあい	あ10	あ20	あ30
	いたく	たたく	たたく	たたく	いたく	たたく	たたく	たたく
① 身体的暴行(例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	1	2	3	4	1	2	3	4
② 心理的攻撃(例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メール、SNSなどを細かく監視したり、長期間無視するなど精神的虐待からせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 性的強要(例えば、いやがっているのに性的な行為を強要される、見たくないのに性的な映像を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 経済的圧迫(例えば、いつもおごらされる、お金を貸しても返してもらえない)	1	2	3	4	1	2	3	4

【問12で、AまたはBで「1」～「3」に1つでも回答した方にお伺いします】  
 問13 あなたは、相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 相談した →問13-1へ  
 2 相談できなかった →問13-2へ  
 3 相談しようとは思わなかった

【問13で、「1 相談した」と回答した方にお伺いします】

問13-1 あなたが、相談した人(場所)を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 家族・親せき  
 2 友人・知人  
 3 学校の教員・養護教員・スクールカウンセラー  
 4 警察  
 5 人権保護委員  
 6 役所の相談窓口・電話相談など  
 7 配偶者暴力相談支援センター・婦人相談センター  
 8 男女共同参画センター・男性相談センター  
 9 弁護士  
 10 医師・カウンセラー  
 11 民間の相談機関  
 12 その他( )

【問13で、「2 相談できなかった」または「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方にお伺いします】  
 問13-2 あなたが、誰(どこ)にも相談できなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 誰(どこ)に相談してよいかわからなかった  
 2 恥ずかしくて誰にも言えなかった  
 3 相談しても無駄だと思った  
 4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力をうけると思った  
 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすることをできなかった  
 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った  
 7 世間体が悪い  
 8 他人を巻き込みたくない  
 9 思い出したくない  
 10 自分に悪いところがあると思った  
 11 相談するほどのことではないと思った  
 12 その他( )

性について

問14 あなたは「LGBT」という言葉について、内容を知っていますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 知っている  
 2 聞いたことはあるが内容は知らない  
 3 知らない

問15 ご自身の性別について悩んだことはありますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 ある →問15-1へ  
 2 ない

【問15で、「1 ある」と回答した方にお伺いします】

問15-1 あなたは性別についての悩みを誰(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 家族・親せき  
 2 友人・知人  
 3 学校の先生  
 4 医師・カウンセラー  
 5 公的機関  
 6 その他( )  
 7 相談しなかった

問 16 性に關する正しい情報を得るために、必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 広報・啓蒙の推進	3 情報・資料の提供
2 学校等での教育	4 その他 ( )

問 17 性に関する教育は、どの時期から始めるべきだと思いますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 小学校高学年から	3 高校生から	5 教育をする必要はない
2 中学生から	4 その他 ( )	

**就業について**

問 18 子育てや家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取得することについてどう思っていますか。(①～②の項目それぞれ1～5からあてはまるものに○を1つつけてください)

	積極的に取得しようがよい	どちらかといえは取得したほうがよい	どちらかといえは取得しないほうがよい	どちらかといえは取得しないほうがよい	わからない
① 育児休業	1	2	3	4	5
② 介護休業	1	2	3	4	5

【問 18 で、「3. どちらかといえば取得しないほうがよい」または「4. 取得しないほうがよい」と回答した方にお伺いします】  
問 18-1 取得しないほうがよいと思う理由は何か。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1 収入が減る	3 評価・昇進・配属等で不利
2 職場に取りにくい雰囲気がある	4 その他 ( )

問 19 女性の働き方について、現実にはどうでしょうか。ご自身の状況、ご家庭の状況からお答えください。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
4 学校卒業時は仕事を持たず、結婚後は、子育て終了後から仕事を持つ
5 子どもができるまで仕事を続け、子どもができた後から専業主婦に専念する
6 結婚するまで仕事を続け、結婚後は専業主婦に専念する
7 仕事は持っていない
8 その他 ( )
9 わからない

問 20 女性の働き方について、理想はどうあるべきだと思いますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
2 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
3 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
4 学校卒業時は仕事を持たず、結婚後は、子育て終了後から仕事を持つ
5 子どもができるまで仕事を続け、子どもができた後から専業主婦に専念する
6 結婚するまで仕事を続け、結婚後は専業主婦に専念する
7 仕事は持たない
8 その他 ( )
9 わからない

問 21 女性が働き続けたり、再就職したりするために特に必要だと思うものは何ですか。(あてはまるものに○を3つまでつけてください)

1 夫など家族が家事や育児を分担し、協力すること
2 保育施設が充実したり保育時間が延長されたりすること
3 企業内保育施設が充実したり保育時間が延長されたりすること
4 家事や育児に親の協力を得ること
5 育児や介護のための休業制度が充実すること
6 勤務時間を短くしたり残業を少なくしたりするなど、労働条件が改善されること
7 上司や同僚に理解があり、出産後も働き続けられる雰囲気があること
8 再就職のための研修や相談の機会が提供されること
9 中高年女性の採用の枠(年齢・職種)が広がられること
10 介護施設などが整備されたり、ホームヘルパー、介護サービスなどが充実したりすること
11 その他 ( )
12 特にない

【女性の方にお伺いします】  
問 22 キャリアアップし、組織の意志決定に加わる立場(管理職への昇進等)になりたいと思えますか。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 すでにそうになっている	3 そう思わない	5 わからない
2 そう思う	4 そう思うがでない	

→ 問 23へ

【問 22 で、「3. そう思わない」または「4. そう思うがでない」と回答した方にお伺いします】

問 23 そのように思う理由は何か。(あてはまるものに○を1つつけてください)

1 職場にそのような環境がない	5 社会通念上、そのような立場は男性の役割だと思っている
2 家庭環境が整っていない	6 その他 ( )
3 周囲が望んでいない	
4 そのような立場になりたいと思わない	

**防災について**

問 24 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。(あてはまるものに○を3つまでつけてください)

1 避難所に男女別のトイレや更衣室、授乳室を設置すること
2 被災者に対する相談窓口を設置すること
3 避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること
4 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること
5 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、被災者対面に男女両方の視点が入ること
6 防災計画・復興計画などを策定するにあたり、防災会議に男女がともに参加すること
7 救護医療体制(診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置)を構築すること
8 その他 ( )
9 特にない

### 女性の活躍推進について

問 25 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えることのような影響があると思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 多様な視点が増えることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
- 2 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えられることができる
- 3 女性の声が反映されやすくなる
- 4 国際社会から好印象を得ることができる
- 5 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 6 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
- 7 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 8 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 9 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる
- 10 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 11 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
- 12 その他 ( )
- 13 特にない
- 14 わからない

問 26 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 5 企業などにおいては、管理職になると転勤が増えること
- 6 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 7 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 8 その他 ( )
- 9 特にない
- 10 わからない

### 市の男女共同参画の推進に関する施策について

問 27 今後、男女がともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参加していくために、上尾市としてどのようなことを入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力するように啓発すること
- 2 男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めるよう啓発すること
- 3 子どもの時から家庭や学校で男女平等について教えること
- 4 男女共同参画の視点にたった教育・学習対策をおこなうこと
- 5 男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実をはかること
- 6 行政や企業などの重要な役割など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用するよう働きかけること
- 7 就労の場の待遇に性別による差別がないように働きかけること
- 8 男性も女性も経済力保持、知識・技術の習得など、積極的に力の向上を図ること
- 9 生涯を通じて男性及び女性の健康づくり支援対策をおこなうこと
- 10 高齢者・障害者が安心して暮らせるようなサービスの充実をはかること
- 11 法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること
- 12 その他 ( )
- 13 わからない

### 最後に、あなたご自身について、お伺いします。

(それぞれにあてはまるものに○を1つつけてください)

性別	1 男性	2 女性	3 その他
年齢	1 18・19歳 2 20～24歳 3 25～29歳 4 30～34歳	5 35～39歳 6 40～44歳 7 45～49歳 8 50～54歳	9 55～59歳 10 60～64歳 11 65～69歳 12 70歳以上
職業	1 会社員・団体職員 2 自由業、自営業、家業 3 パート、アルバイト 4 公務員、教員	5 専業主婦、専業主夫 6 学生 7 無職	8 その他 ( )
世帯	1 単身世帯 (1人住まい) 2 1世代世帯 (夫婦のみ) 3 2世代世帯 (親+子ども)	4 3世代世帯 (親+子ども+孫) 5 その他 ( )	
婚姻	1 結婚している (※事実婚を含む) 2 結婚していたが、離別・死別した 3 結婚していない	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     あなたの配偶者・パートナーの職業はどれに当てはまりますか。                      (あてはまるものに○を1つつけてください)                      1 会社員・団体職員                      2 自由業、自営業、家業                      3 パート、アルバイト                      4 公務員、教員                      5 専業主婦、専業主夫                      6 学生                      7 無職                      8 その他 ( )                 </div>	
お子さん	1 いる ①お子さんは何人いらっしゃいますか。(あてはまるものに○を1つつけてください) 1 1人 2 2人 3 3人 4 4人 5 5人以上 ②一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(あてはまるものに○を1つつけてください) 1 乳幼児 (3歳未満の子ども) 4 中学生 (その年齢にあたる方を含む) 2 未就学児 (3歳以上小学校入学前の子ども) 5 高校生 (その年齢にあたる方を含む) 3 小学生 6 19歳以上の子ども	2 いない	
介護の必要なご家族	1 いる あなたには、介護が必要なご家族と同居していますか。 1 同居している	2 いない	

◇あなた、男女共同参画に関して日ごろ感じていることや、上尾市の男女共同参画施策について 望む点などがありましたら、ご自由にお書きください。


この調査票を封筒に入れ、無記名のまま**10月17日(木)**までにポストに投函してください。

相談窓口～ひとりで悩まず、相談を～

結婚したことのある女性のうち、およそ10人に1人が配偶者などから「身体的攻撃」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」といった暴力をくり返し受けたトモスティック・バイオレンス(DV)の経験があることが明らかになった調査報告があります。

もしも暴力を受け、悩みを抱えている時は、ひとりで悩まず相談してください。

下に記載しているのは、市役所や公的機関が行う相談窓口です。

切り取って手元に置いておいてください。

相談機関	電話番号	相談時間など
上尾市男女共同参画推進センター (女性のためのDV電話相談)	048-778-5110	毎週(月)木 10時～12時・13時～16時 予約不要 毎週(水) 10時～12時・13時～16時 (1回の相談は50分) 予約制
上尾市男女共同参画推進センター (女性のための相談)	048-773-0110	24時間対応 *緊急の場合は110番
上尾警察署(警察安全相談担当)	048-600-3800	(月)～(土) (第3木曜日を除く) 10時～20時 30分
埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま (男性のための男性臨床心理士による電話相談)	048-601-2175	毎月第3日曜日 11時～15時
婦人相談センター(DV相談担当)	048-863-6060	(月)～(土)9時30分～20時30分 (日)祝 9時30分～17時

※特に記載のないものは祝日・年末年始が休みです。

※上尾市男女共同参画推進センターでは配偶者暴力相談支援センター業務を行っています。

性暴力被害についての相談窓口はこちらです。

相談機関	電話番号	相談時間など
アイリスホットライン (性暴力等犯罪被害専用相談電話)	048-839-8341	(月)～(金)8時30分～17時
よりそいホットライン(フリーダイヤル)	0120-279-338	24時間相談可





上尾市男女共同参画に関する市民意識・実態調査  
報告書

令和2年3月

【編集・発行】上尾市市民生活部人権男女共同参画課  
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号  
TEL 048-775-5111(代表)